

家政学部専門科目

家 政 学 科

(授業科目名五十音順)

科目名	アパレルCAD入門		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	中西 正恵			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] アパレルCAD(Computer Aided Design)を駆使して、織物や編物などの布素材のデザインや、衣服のデザイン、パターンメイキング、マーキング、縫製仕様書の作成など、テキスタイル・アパレル製品の企画・設計・製造等に関する知識とコンピュータを活用した実践力を身につける。</p> <p>[授業概要] 「繊維材料学」で学んだ織物と編物の構造についての知識をベースに、テキスタイルCADソフトを使って織物や編物などの素材設計を体験します。さらに、刺繍や起毛などの加工をした布の画像表現や、種々のプリント柄の作成、衣服のイラスト画や写真に布柄をマッピングする手法など、アパレルデザインソフトを用いた画像編集についても学びます。 また、アパレルCADソフトを使って、衣服のパターンメイキングの基本操作や、出来上がりの衣服のシミュレーション、衣服の製造を想定した工業用パターン、マーキング図、縫製仕様書の作成などを演習します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業時間内に課題が完了できない場合でも、空き時間等を利用して、次回授業までに完了させておくこと。各回、予習・復習合わせて1時間程度。アパレル造形学、繊維材料学等の関連する内容の復習をしておくこと。</p> <p>[授業計画] 1.本科目の授業概要説明、テキスタイル・アパレルCADの概要、糸や布の基礎知識 2.織物のデザイン① 3.織物のデザイン② 4.織物のデザイン③ 5.ニットのデザイン① 6.ニットのデザイン② 7.プリント柄作成、送りつけ、色まとめと配色展開、各種素材合成 8.アパレルデザイン(ハンガーイラスト、全身スタイル画) 9.刺繍シミュレーション、付属・装飾副資材 10.アパレルCADシステムの構成・用語、パターンメイキング 11.着装シミュレーション、布の力学特性と衣服の形態との関連 12.プロダクトパターンの作成(縫い代、ノッチの設定等)、 13.グレーディング、マーキング、縫製仕様書、まとめ</p>				

科目名	アパレルCAD入門	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中西 正恵		
<p>[成績評価方法] 課題提出物・プレゼン(35%)、授業態度(35%)、理解度確認試験(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 理解度確認試験を回収後、解答の解説を行います。 課題は授業時間内での解説やmanabaを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:理解度確認試験、提出物</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題提出物 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題提出物・プレゼン 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題提出物・プレゼン</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	アパレルCAD入門		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	中西 正恵			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] アパレルCAD(Computer Aided Design)を駆使して、織物や編物などの布素材のデザインや、衣服のデザイン、パターンメイキング、マーキング、縫製仕様書の作成など、テキスタイル・アパレル製品の企画・設計・製造等に関する知識とコンピュータを活用した実践力を身につける。</p> <p>[授業概要] 「繊維材料学」で学んだ織物と編物の構造についての知識をベースに、テキスタイルCADソフトを使って織物や編物などの素材設計を体験します。さらに、刺繍や起毛などの加工をした布の画像表現や、種々のプリント柄の作成、衣服のイラスト画や写真に布柄をマッピングする手法など、アパレルデザインソフトを用いた画像編集についても学びます。 また、アパレルCADソフトを使って、衣服のパターンメイキングの基本操作や、出来上がりの衣服のシミュレーション、衣服の製造を想定した工業用パターン、マーキング図、縫製仕様書の作成などを演習します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業時間内に課題が完了できない場合でも、空き時間等を利用して、次回授業までに完了させておくこと。各回、予習・復習合わせて1時間程度。アパレル造形学、繊維材料学等の関連する内容の復習をしておくこと。</p> <p>[授業計画] 1.本科目の授業概要説明、テキスタイル・アパレルCADの概要、糸や布の基礎知識 2.織物のデザイン① 3.織物のデザイン② 4.織物のデザイン③ 5.ニットのデザイン① 6.ニットのデザイン② 7.プリント柄作成、送りつけ、色まとめと配色展開、各種素材合成 8.アパレルデザイン(ハンガーイラスト、全身スタイル画) 9.刺繍シミュレーション、付属・装飾副資材 10.アパレルCADシステムの構成・用語、パターンメイキング 11.着装シミュレーション、布の力学特性と衣服の形態との関連 12.プロダクトパターンの作成(縫い代、ノッチの設定等)、 13.グレーディング、マーキング、縫製仕様書、まとめ</p>				

科目名	アパレルCAD入門	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中西 正恵		
<p>[成績評価方法] 課題提出物・プレゼン(35%)、授業態度(35%)、理解度確認試験(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 理解度確認試験を回収後、解答の解説を行います。 課題は授業時間内での解説やmanabaを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:理解度確認試験、提出物</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題提出物</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題提出物・プレゼン</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題提出物・プレゼン</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	アパレル造形演習	前期	2 単位
サブタイトル	ジャケット	演習	
担当者	十一 玲子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 表布と裏布、芯地などの扱い方、ジャケットの仕立て方の知識と技術を身につける。</p> <p>[授業概要] 基礎アパレル造形演習(履修のこと)で学習した知識・技術をもとにジャケットの制作を行う。裏地・芯地などの扱い方について学ぶ。機能的で着心地のよい衣服の条件、各素材の特性と有効な使用法などを考慮し、上着の構造を理解し、製作する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] アパレル造形学、基礎アパレル造形演習で履修した内容について復習しておくこと。授業中に行った内容に遅れた場合は、次回までに各自で計画的に学習しておくこと(2時間程度)。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション、製図(1/5)(ジャケット後ろ身頃・前身頃)、採寸、型紙作成、布丈見積り 2.表布裁断、標つけ、仮縫い 3.仮縫い、試着・補正、見返し・ポケット裁断、見返しの芯張り、標つけ 4.身頃本縫い、見返し合わせ 5.見返し合わせ 6.製図(1/5)(テーラーカラー・二枚袖) 7.裏布裁断(袖・ポケット)、標付け 8.袖作り 9.ポケット作り・付け 10.袖付け① 11.袖付け②、縫い代始末 12.仕上げ、試着 13.発表(プレゼンテーション)、まとめ</p>			

科目名	アパレル造形演習	前期	2 単位
サブタイトル	ジャケット	演習	
担当者	十一 玲子		
<p>[成績評価方法] 作品・製図(80%)、プレゼンテーション(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 作品・課題などを提出後、確認作業を行い、コメントをつけて返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 洋裁研究 スーツ編 著者名:行吉哉女 出版社:学校法人行吉学園</p> <p>[参考書(ISBN)] 適宜紹介する</p>			

科目名	アパレル造形演習	前期	2 単位
サブタイトル	ジャケット	演習	
担当者	十一 玲子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 表布と裏布、芯地などの扱い方、ジャケットの仕立て方の知識と技術を身につける。</p> <p>[授業概要] 基礎アパレル造形演習(履修のこと)で学習した知識・技術をもとにジャケットの制作を行う。裏地・芯地などの扱い方について学ぶ。機能的で着心地のよい衣服の条件、各素材の特性と有効な使用法などを考慮し、上着の構造を理解し、製作する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] アパレル造形学、基礎アパレル造形演習で履修した内容について復習しておくこと。授業中に行った内容に遅れた場合は、次回までに各自で計画的に学習しておくこと(2時間程度)。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション、製図(1/5)(ジャケット後ろ身頃・前身頃)、採寸、型紙作成、布丈見積り 2.表布裁断、標つけ、仮縫い 3.仮縫い、試着・補正、見返し・ポケット裁断、見返しの芯張り、標つけ 4.身頃本縫い、見返し合わせ 5.見返し合わせ 6.製図(1/5)(テーラーカラー・二枚袖) 7.裏布裁断(袖・ポケット)、標付け 8.袖作り 9.ポケット作り・付け 10.袖付け① 11.袖付け②、縫い代始末。 12.仕上げ、試着 13.発表(プレゼンテーション)、まとめ</p>			

科目名	アパレル造形演習	前期	2 単位
サブタイトル	ジャケット	演習	
担当者	十一 玲子		
<p>[成績評価方法] 作品・製図(80%)、プレゼンテーション(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 作品・課題などを提出後、確認作業を行い、コメントをつけて返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 洋裁研究 スーツ編 著者名:行吉哉女 出版社:学校法人行吉学園</p> <p>[参考書(ISBN)] 適宜紹介する</p>			

科目名	アパレル造形学	後期	2 単位
サブタイトル	アパレル、人間の身体、既製品、デザイン、着装	講義	
担当者	十一 玲子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他	○	実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 人間とアパレルの関わりについて、様々な角度からアパレルの専門に関する基本的知識を学ぶ。平面構成は、長着(きもの)の形態と名称、構成方法について学ぶ。立体構成は、身体への適合性・着心地・安全性など体型に合ったパターン設計に必要な知識、複雑な曲面を持つ人体を覆うために平面的な布地を立体的な衣服にするための技法について学ぶ。人体の曲面に近似するように、布地を立体に変形するために必要な布地の特性、布地の立体化に関する技法について理解する。</p> <p>[授業概要] 被服の形状は様々である。1枚の布と人体との関わりについて着目する。平面構成は、日本の伝統文化「和服」、立体構成は「洋服」で、形状・デザイン性などを把握する。被服に関する基礎知識を学び、既製品の製造工程、形、素材、品質表示などについても広く学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業内容を各自ノートにまとめること。 衣服に関心を持ち、世の中の流行などの情報を得る。 各回、予習復習を合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画] 1.アパレルとは、衣服の起源、目的と機能 2.アパレルの構成法 3.日本の伝統衣装 4.自己分析(未来をプロデュースする) 5.自分の魅せ方、センスの磨き方 6.アパレルデザイン 7.素材と性能 8.アパレルの生産システム 9.既製品衣料の表示(品質・サイズ) 10.既製品衣料の選択・購入上の留意点 11.服飾副資材を取り巻くファッションビジネス 12.健康のために衣服が果たす役割 13.まとめ</p>			

科目名	アパレル造形学	後期	2 単位
サブタイトル	アパレル、人間の身体、既製品、デザイン、着装	講義	
担当者	十一 玲子		
<p>[成績評価方法] 授業中の課題(20%)、筆記試験(80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験後に解説する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『新版アパレル構成学—着やすさと美しさを求めて—』 著者名:富田明美編 出版社:朝倉書店 (978-4-254-60631-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] 適宜紹介する</p>			

科目名	衣生活文化論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中西 正恵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>1.基本的な被服関連用語を理解し、原料の繊維から被服ができるまでの流れを説明できる。</p> <p>2.古代から現代にいたるまでの服装のデザイン、被服材料、製造技術、社会背景など、衣生活の変遷を理解できる。</p> <p>3.環境に負荷が少ない衣生活を考え、自ら工夫して実践できる。</p> <p>4.伝統的な服飾文化から発想を得て、現代のファッションデザインに応用できる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>被服素材、デザイン、服作り、着装、管理、廃棄や資源活用、衣服が果たす様々な役割、過去から現代への衣生活の変遷など幅広く学びます。過去の服装から発想を得たファッションデザインの創作や、衣服の取り扱いや手芸等の実演や体験も取り入れ、これからの持続可能な衣生活の実践に向けて役立つ内容です。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>1回生時に学修した被服の授業内容は復習しておく。</p> <p>服飾関連のテレビ番組や展覧会などを見る機会を積極的にもってほしい。</p> <p>各回、予習・復習・課題を合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <p>1.授業概要説明、神戸のファッション</p> <p>2.衣服の成り立ち ①</p> <p>3.衣服の成り立ち ②</p> <p>4.歴史衣装の収集と研究の意義について(学外特別講師 京都服飾文化研究財団 筒井直子)</p> <p>5.衣生活の変遷(古代・中世)</p> <p>6.衣生活の変遷(近世)</p> <p>7.衣生活の変遷(近代)</p> <p>8.染織・装飾技法①</p> <p>9.衣生活の変遷(現代)</p> <p>10.染織・装飾技法②</p> <p>11.現代の衣生活とSDGs</p> <p>12.服飾デザイン</p> <p>13.まとめ</p>			

科目名	衣生活文化論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中西 正恵		
<p>[成績評価方法] 理解度確認試験(70%)、提出物・プレゼン(30%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 理解度確認試験を回収後、解答を解説します。 課題は授業時間内やmanabaで行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:理解度確認試験、提出物</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:提出物</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:理解度確認試験、提出物</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:理解度確認試験、提出物</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:プレゼン</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:提出物</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] プリント配布</p>			

S70090 [HHH1-001]

科目名	衣生活文化論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中西 正恵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な被服関連用語を理解し、原料の繊維から被服ができるまでの流れを説明できる。 2. 古代から現代にいたるまでの服装のデザイン、被服材料、製造技術、社会背景など、衣生活の変遷を理解できる。 3. 環境に負荷が少ない衣生活を考え、自ら工夫して実践できる。 <p>[授業概要]</p> <p>被服学の基礎として、被服素材、デザイン、服作り、着装、管理、廃棄や資源活用、衣服が果たす様々な役割、過去から現代への衣生活の変遷などを、幅広く学びます。衣服の取り扱いや手芸等、実演や体験も取り入れ、これからの持続可能な衣生活の実践に向けて役立つ内容です。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>服飾関連のテレビ番組や展覧会などを見る機会を積極的にもってほしい。 各回、予習・復習・課題を合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業概要説明、神戸のファッション文化 2. 布の成り立ち① 3. 布の成り立ち② 4. 衣服の成り立ち 5. 洗濯を専門的に見てみれば(学外特別講師 ライオン株式会社) 6. 衣生活の変遷(古代・中世) 7. 衣生活の変遷(近世) 8. 衣生活の変遷(近代) 9. 染織・装飾技法① 10. 衣生活の変遷(現代) 11. 現代の衣生活とSDGs 12. 染織・装飾技法② 13. まとめ 			

科目名	衣生活文化論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中西 正恵		
<p>[成績評価方法] 理解度確認試験(70%)、提出物・プレゼン(30%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 理解度確認試験を回収後、解答を解説します。 課題は授業時間内やmanabaで行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:理解度確認試験、提出物</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:提出物</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:理解度確認試験、提出物</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:理解度確認試験、提出物</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:プレゼン</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:提出物</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] プリント配布</p>			

S70091 [HHH1-001]

科目名	インテリアCAD入門	前期	1 単位
サブタイトル	CADソフトを利用したインテリア設計	講義	
担当者	田中 栄治		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>目標1: CADソフトの基本操作を理解しいろいろな図形の作図ができる。 目標2: CADソフトを用いて建築図面(平面図、立面図、断面図)の作図ができる。 目標3: インテリア設計におけるCADソフトの役割、メリット・デメリットを説明できる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>一級建築士・インテリアプランナー・福祉住環境コーディネーターの資格を持ち、建築設計・インテリアデザインの実務経験のある教員が、建築・インテリア業界で多く利用されているAutoCADを使用して、インテリア設計の作図の基本操作を習得する科目を指導します。 コンピューターによるインテリア設計を、個人単位でソフトを操作して行います。パソコンを利用した設計手法の基礎知識について理解した上で、テキストを用いて作図の基本操作を習得し、課題図面の作図を行います。課題図面は戸建住宅を題材とし、平面図・立面図・断面図の描き方を習得します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>テキストを基に授業範囲の予習・復習を十分に行うと共に、他の設計ソフトにも関心を持ち、インテリア設計に関する幅広い知識習得に努めてください。各回、予習復習合わせて2時間程度行ってください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建築製図・CADの基本知識、AutoCADの基本操作 2. 製図の準備 3. 平面図の作成1(通り芯、仕上げ壁など) 4. 平面図の作成2(躯体壁など) 5. 平面図の作成3(建具など) 6. 平面図の作成4(造作線など) 7. 立面図の作成1(基準線、屋根など) 8. 立面図の作成2(壁、バルコニーなど) 9. 立面図の作成3(建具など) 10. 断面図の作成1(基準線、屋根など) 11. 断面図の作成2(壁など) 12. 断面図の作成3(建具など) 13. 印刷・オプションについて 			

科目名	インテリアCAD入門	前期	1 単位
サブタイトル	CADソフトを利用したインテリア設計	講義	
担当者	田中 栄治		
<p>[成績評価方法] 作図課題1(基本操作による作図):目標1に対応(20%) 作図課題2(建築図面の作成):目標2に対応(60%) レポート(CADソフトを用いたインテリア製図):目標3に対応(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題は提出前に添削を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:作図課題1 作図課題2</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:作図課題1 作図課題2</p> <p>[教科書(ISBN)] 『AutoCADで学ぶ建築製図の基本』 AutoCAD 2022対応 著者名:鳥谷部 真 出版社:エクスナレッジ (978-4767829296)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	インテリアCAD入門	前期	1 単位
サブタイトル	CADソフトを利用したインテリア設計	講義	
担当者	田中 栄治		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>目標1: CADソフトの基本操作を理解しいろいろな図形の作図ができる。 目標2: CADソフトを用いて建築図面(平面図、立面図、断面図)の作図ができる。 目標3: インテリア設計におけるCADソフトの役割、メリット・デメリットを説明できる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>一級建築士・インテリアプランナー・福祉住環境コーディネーターの資格を持ち、建築設計・インテリアデザインの実務経験のある教員が、建築・インテリア業界で多く利用されているAutoCADを使用して、インテリア設計の作図の基本操作を習得する科目を指導します。 コンピューターによるインテリア設計を、個人単位でソフトを操作して行います。パソコンを利用した設計手法の基礎知識について理解した上で、テキストを用いて作図の基本操作を習得し、課題図面の作図を行います。課題図面は戸建住宅を題材とし、平面図・立面図・断面図の描き方を習得します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>テキストを基に授業範囲の予習・復習を十分に行うと共に、他の設計ソフトにも関心を持ち、インテリア設計に関する幅広い知識習得に努めてください。各回、予習復習合わせて2時間程度行ってください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.建築製図・CADの基本知識、AutoCADの基本操作 2.製図の準備 3.平面図の作成1(通り芯、仕上げ壁など) 4.平面図の作成2(躯体壁など) 5.平面図の作成3(建具など) 6.平面図の作成4(造作線など) 7.立面図の作成1(基準線、屋根など) 8.立面図の作成2(壁、バルコニーなど) 9.立面図の作成3(建具など) 10.断面図の作成1(基準線、屋根など) 11.断面図の作成2(壁など) 12.断面図の作成3(建具など) 13.印刷・オプションについて 			

科目名	インテリアCAD入門	前期	1 単位
サブタイトル	CADソフトを利用したインテリア設計	講義	
担当者	田中 栄治		
<p>[成績評価方法] 作図課題1(基本操作による作図):目標1に対応(20%) 作図課題2(建築図面の作成):目標2に対応(60%) レポート(CADソフトを用いたインテリア製図):目標3に対応(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題は提出前に添削を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:作図課題1 作図課題2</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:作図課題1 作図課題2</p> <p>[教科書(ISBN)] 『AutoCADで学ぶ建築製図の基本』 AutoCAD 2022対応 著者名:鳥谷部 真 出版社:エクスナレッジ (978-4767829296)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	インテリアデザイン演習	後期	1 単位
サブタイトル	飲食店舗のインテリアデザイン	演習	
担当者	田中 栄治		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

- 目標1: 課題に関連する事例を調査し、インテリアデザインのコンセプトをつくることができる。
 目標2: インテリアのプランニングを行い、平面図・展開図を描くことができる。
 目標3: インテリアのデザインを行い、透視図を描くことができる。
 目標4: コンセプト・図面・透視図等をまとめてプランニングボードに表現できる。
 目標5: プランニングボードを用いてプレゼンテーションができる。

[授業概要]

一級建築士・インテリアプランナー・福祉住環境コーディネーターの資格を持ち、建築設計・インテリアデザインの実務経験のある教員が、飲食店舗をテーマにしてインテリアデザインの技術を学び、それを応用した作品を制作する科目を指導します。
 大学周辺の既存施設を題材として、飲食店舗のインテリアデザイン(家具・照明・植栽等を含む)を行います。課題に関連する事例を調査し、インテリアデザインのコンセプトをつくり、アイデアを考えてインテリアのプランニングを行い、平面図・展開図を描きます。また、インテリアのデザインを行い、透視図を描き、設計作品のプランニングボードを作成してプレゼンテーションをおこないます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

授業で作成する課題に関する資料収集や事例研究を行ってください。題材とする既存施設は現地に行って施設や周辺の状況を確認しながらインテリアをデザインしてください。参考になる飲食店に行って実際のインテリアを体験して、自分の作品に活かしてください。各回、予習復習合わせて2時間程度行ってください。

[授業計画]

1. ガイダンス、事例調査・コンセプトメイキング
2. ゾーニング・プランニングの検討
3. 家具レイアウトの検討、透視図の練習
4. 家具レイアウト案のラフパース作成
5. 家具レイアウト案のラフパースによりプランニング見直し
6. 平面図の作成
7. 平面図の仕上げ
8. 展開図の作成・仕上げ
9. 透視図の作成
10. 透視図の仕上げ
11. プランニングボードの作成
12. プランニングボードの仕上げ
13. 作品プレゼンテーション、講評

科目名	インテリアデザイン演習	後期	1 単位
サブタイトル	飲食店舗のインテリアデザイン	演習	
担当者	田中 栄治		
<p>[成績評価方法]</p> <p>課題1(事例調査シート・コンセプトシート):目標1に対応(10%) 課題2(平面図・展開図):目標2に対応(20%) 課題3(透視図):目標3に対応(20%) 課題4(プランニングボード):目標4に対応(40%) 課題5(プレゼンテーション):目標5に対応(10%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>演習作品は、プレゼンテーション後に講評を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:課題1~5</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:課題1~5</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題1~5</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>適宜プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>なし</p>			

科目名	インテリアデザイン演習	後期	1 単位
サブタイトル	飲食店舗のインテリアデザイン	演習	
担当者	田中 栄治		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

- 目標1: 課題に関連する事例を調査し、インテリアデザインのコンセプトをつくることができる。
 目標2: インテリアのプランニングを行い、平面図・展開図を描くことができる。
 目標3: インテリアのデザインを行い、透視図を描くことができる。
 目標4: コンセプト・図面・透視図等をまとめてプランニングボードに表現できる。
 目標5: プランニングボードを用いてプレゼンテーションができる。

[授業概要]

一級建築士・インテリアプランナー・福祉住環境コーディネーターの資格を持ち、建築設計・インテリアデザインの実務経験のある教員が、飲食店舗をテーマにしてインテリアデザインの技術を学び、それを応用した作品を制作する科目を指導します。
 大学周辺の既存施設を題材として、飲食店舗のインテリアデザイン(家具・照明・植栽等を含む)を行います。課題に関連する事例を調査し、インテリアデザインのコンセプトをつくり、アイデアを考えてインテリアのプランニングを行い、平面図・展開図を描きます。また、インテリアのデザインを行い、透視図を描き、設計作品のプランニングボードを作成してプレゼンテーションをおこないます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

授業で作成する課題に関する資料収集や事例研究を行ってください。題材とする既存施設は現地に行って施設や周辺の状況を確認しながらインテリアをデザインしてください。参考になる飲食店に行って実際のインテリアを体験して、自分の作品に活かしてください。各回、予習復習合わせて2時間程度行ってください。

[授業計画]

1. ガイダンス、事例調査・コンセプトメイキング
2. ゾーニング・プランニングの検討
3. 家具レイアウトの検討、透視図の練習
4. 家具レイアウト案のラフパース作成
5. 家具レイアウト案のラフパースによりプランニング見直し
6. 平面図の作成
7. 平面図の仕上げ
8. 展開図の作成・仕上げ
9. 透視図の作成
10. 透視図の仕上げ
11. プランニングボードの作成
12. プランニングボードの仕上げ
13. 作品プレゼンテーション、講評

科目名	インテリアデザイン演習	後期	1 単位
サブタイトル	飲食店舗のインテリアデザイン	演習	
担当者	田中 栄治		
<p>[成績評価方法]</p> <p>課題1(事例調査シート・コンセプトシート):目標1に対応(10%) 課題2(平面図・展開図):目標2に対応(20%) 課題3(透視図):目標3に対応(20%) 課題4(プランニングボード):目標4に対応(40%) 課題5(プレゼンテーション):目標5に対応(10%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>演習作品は、プレゼンテーション後に講評を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:課題1~5</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:課題1~5</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題1~5</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>適宜プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>なし</p>			

科目名	インテリアデザイン論	前期	2 単位
サブタイトル	内部空間デザインの基礎知識	講義	
担当者	田中 栄治		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>目標1: インテリアの歴史を理解し説明できる。 目標2: 実際のインテリアを体験し特徴を説明できる。 目標3: インテリアデザインに必要な基礎知識を理解し説明できる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>一級建築士・インテリアプランナー・福祉住環境コーディネーターの資格を持ち、建築設計・インテリアデザインの実務経験のある教員が、インテリアデザインの仕事や、インテリアの歴史、構成要素、色彩、照明などの基礎知識について講義し、演習課題を通してインテリアデザインを体験する科目を指導します。またインテリアコーディネーターなどの試験受験情報についても適宜解説します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>教科書で次回の授業範囲の内容を確認すると共に、普段からインテリアデザインの雑誌などで実例を見るようにしてください。また、実際のインテリアの実例を見に行き、授業で学んだ内容について理解を深めてください。各回、予習復習合わせて4時間程度行ってください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インテリアデザインの仕事 2. インテリアの歴史 日本 3. インテリアの歴史 西洋 4. インテリアの歴史 近代 5. インテリアを構成する要素 6. イメージスタイル、色彩・照明計画 7. 寸法とモジュール 8・9. インテリアの見学1(日本と西洋のインテリア比較)※土曜補講日に実施予定 10. 構造と仕上げ材料 11. インテリアの見学2(大学キャンパスのインテリア) 12. インテリアアクセサリなど 13. まとめ 			

科目名	インテリアデザイン論	前期	2 単位
サブタイトル	内部空間デザインの基礎知識	講義	
担当者	田中 栄治		
<p>[成績評価方法] レポート(インテリアの歴史): 目標1に対応(15%) 演習課題1(住生活とインテリア): 目標2に対応(15%) 演習課題2(大学キャンパスのインテリア): 目標2に対応(15%) 総括試験: 目標3に対応(55%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題は後日添削して返却します。 試験後、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法: レポート 総括試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法: 演習課題1 演習課題2</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 演習課題1 演習課題2</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 演習課題1 演習課題2</p> <p>[教科書(ISBN)] 『超図解で全部わかる インテリアデザイン入門【増補改訂版】』 著者名: Aiprah(アイプラーフ) 出版社: エクスナレッジ (978-4-7678-2591-5)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	インテリアデザイン論	後期	2 単位
サブタイトル	内部空間デザインの基礎知識	講義	
担当者	田中 栄治		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>目標1: インテリアの歴史を理解し説明できる。 目標2: 実際のインテリアを体験し特徴を説明できる。 目標3: インテリアデザインに必要な基礎知識を理解し説明できる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>一級建築士・インテリアプランナー・福祉住環境コーディネーターの資格を持ち、建築設計・インテリアデザインの実務経験のある教員が、インテリアデザインの仕事や、インテリアの歴史、構成要素、色彩、照明などの基礎知識について講義し、演習課題を通してインテリアデザインを体験する科目を指導します。またインテリアコーディネーターなどの試験受験情報についても適宜解説します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>教科書で次回の授業範囲の内容を確認すると共に、普段からインテリアデザインの雑誌などで実例を見るようにしてください。また、実際のインテリアの実例を見に行き、授業で学んだ内容について理解を深めてください。各回、予習復習合わせて4時間程度行ってください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インテリアデザインの仕事 2. インテリアの歴史 日本 3. インテリアの歴史 西洋 4. インテリアの歴史 近代 5. インテリアを構成する要素 6. イメージスタイル、色彩・照明計画 7. 寸法とモジュール 8・9. インテリアの見学1(日本と西洋のインテリア比較)※土曜補講日に実施予定 10. 構造と仕上げ材料 11. インテリアの見学2(大学キャンパスのインテリア) 12. インテリアアクセサリなど 13. まとめ 			

科目名	インテリアデザイン論	後期	2 単位
サブタイトル	内部空間デザインの基礎知識	講義	
担当者	田中 栄治		
<p>[成績評価方法] レポート(インテリアの歴史): 目標1に対応(15%) 演習課題1(住生活とインテリア): 目標2に対応(15%) 演習課題2(大学キャンパスのインテリア): 目標2に対応(15%) 総括試験: 目標3に対応(55%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題は後日添削して返却します。 試験後、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法: 小レポート 総括試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法: 演習課題1 演習課題2</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 演習課題1 演習課題2</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 演習課題1 演習課題2</p> <p>[教科書(ISBN)] 『超図解で全部わかる インテリアデザイン入門【増補改訂版】』 著者名: Aiprah(アイプラーフ) 出版社: エクスナレッジ (978-4-7678-2591-5)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	栄養学総論	後期	2 単位
サブタイトル	栄養素の役割と機能	講義	
担当者	坂元 美子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>栄養素の基本概念と、体内での役割、代謝過程が統括的に理解できるよう学習する</p> <p>[授業概要]</p> <p>摂取した食品の栄養素が体の構成成分となる経路、エネルギーへの変換にいたる代謝の過程を学び、ヒトの総体レベルで栄養現象を理解する。エネルギー代謝および栄養素の中間代謝経路では栄養素の体内相互変換について理解し、一連の代謝像を体系的に捉える。栄養学の基本理念と意義の理解により、健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割を解説する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習で2時間程度次回の教科書を予習する。復習で2時間程度前回のノート・教科書を見直す。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養とは 2. 健康と栄養、食事摂取基準 3. 食物の摂取 4. 疾病と栄養 5. 栄養素の構造と機能:たんぱく質の栄養と代謝 6. 栄養素の構造と機能:たんぱく質の消化と吸収 7. 栄養素の構造と機能:糖質の栄養と代謝 8. 栄養素の構造と機能:糖質の消化と吸収 9. 栄養素の構造と機能:脂質の栄養と代謝 10. 栄養素の構造と機能:脂質の消化と吸収 11. 栄養素の構造と機能:ビタミン 12. 栄養素の構造と機能:ミネラル 13. まとめ 			

科目名	栄養学総論	後期	2 単位
サブタイトル	栄養素の役割と機能	講義	
担当者	坂元 美子		
<p>[成績評価方法] 試験(100%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題提出後、解答例をmanabaに掲載する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:試験(100%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:試験(100%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:試験(100%)</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:試験(100%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験(100%)</p> <p>[教科書(ISBN)] スポーツ・健康栄養学 著者名:坂元美子 編集 出版社:化学同人 (978-4-7598-1709-6)</p> <p>[参考書(ISBN)] 必要に応じて随時紹介します</p>			

科目名	家政学概論		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	佐藤 佐織			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 家政学の目的や独自性、社会的意義と役割について理解するとともに、生活における課題を設定し問題解決に向けて考察することができる。</p> <p>[授業概要] 家政学の意義や目的、対象領域に関する基礎的事項について概説する。 家政学の起源と歴史、家庭並びに学校教育としての家政教育について概説する。 各自課題を設定し、レポート作成、発表を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、復習を2時間程度行うことが必要である。 後半のレポート作成、発表にむけて、各回の授業内容を記録し、まとめておくことが必要である。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス・家政学と家政学概論 2. 家政学の意義と目的 3. 家政学の歴史① 4. 家政学の歴史② 5. 家政学と生活① 6. 家政学と生活② 7. 家政学と教育① 8. 家政学と教育② 9. 家政学とSDGs 10. 課題設定とレポート作成① 11. 課題設定とレポート作成② 12. 発表① 13. 発表②・まとめ 				

科目名	家政学概論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤 佐織		
<p>[成績評価方法] 授業態度(20%)、課題(30%)、発表(30%)、試験(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題へのコメント、発表への指導講評を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 必要に応じて資料を配布する。</p> <p>[参考書(ISBN)] 家政学概論 著者名:好本照子他 出版社:朝倉書店 (9784250000000)</p>			

科目名	家政学を学ぶ	前期	2 単位
サブタイトル	家政学と家政学科での学びを理解するために	講義	
担当者	大淵 裕美、十一 玲子、中西 正恵、山根 千弘、梶木 典子、貝増 匡俊、砂本 文彦、田中 栄治、佐藤 佐織		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 家政学の専門領域を知るとともに、興味を持ち、各自の長期的な学習目的(はげみ、動機付けなど)を得ること。加えて日本語力を高め、レポート作成法を修得すること。</p> <p>[授業概要] この講義は、これから家政学科で学ぶ専門科目の魅力を、多角的・総合的に知ってもらい、教員と学生とのコミュニケーションをはかるための導入教育として行うものである。家政学は、さまざまな角度からアプローチすることができるので、各教員の専門に関する内容を少人数のゼミ形式で学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 家政学を幅広く学ぶための科目である。日頃から、家政学に関連するニュース等に興味を持って、情報を収集しておくこと。「レポートを課すため4回目以降予習復習合せて4時間」</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本講義の目的、家政学科での学びについて(全教員) 2. 須磨離宮公園におけるフィールドワーク(全教員) 3. レポートの書き方、図書館の活用(1年生担任) 4.~12. 受講生全員を5の小グループに分け、毎週開講される以下の9の講義をひとつずつ順繰りに受講する(受講順は第1回目の講義で通知する)。 <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の家族を考える(大淵裕美) ・生活をプロデュースする(貝増匡俊) ・起居様式と現代のくらし(梶木典子) ・タイトル未定(佐藤佐織) ・被服の機能性とTPOを考える(十一玲子) ・韓国の住生活文化(砂本 文彦) ・家族の生活と住まい(田中栄治) ・織物のデザイン(中西正恵) ・これからの被服素材(山根千弘) 13. まとめ 			

科目名	家政学を学ぶ	前期	2 単位
サブタイトル	家政学と家政学科での学びを理解するために	講義	
担当者	大淵 裕美、十一 玲子、中西 正恵、山根 千弘、梶木 典子、貝増 匡俊、砂本 文彦、田中 栄治、佐藤 佐織		
<p>[成績評価方法] レポート(100%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは添削して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法:レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] 本学全学共通教育部作成の「レポート執筆の基礎」、適宜プリント配布</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

S70000 [HHI1-001]

科目名	家族関係学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大淵 裕美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 家族とは何かについて考えることができる。また、家族に関する基礎的な諸概念や理論を理解し、現実に行っている家族の諸問題について考察することができる。</p> <p>[授業概要] 社会の変化に伴い、家族の形態や機能も大きく変化している。出生率の低下、晩婚化・非婚化の進行、離婚の増大、家族をつくらない人々の増加など、家族の多様化が進んでいる。本授業では、このような家族に関する基本理論を、家族社会学の立場から体系的に解説する。 家族は誰にとっても身近な存在であるが、それだけに、いざ家族を定義づけようすると難しい。家族の定義からはじめ、次に、結婚、出産、高齢期といったライフサイクル的視点で家族をとらえていく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・日ごろから、新聞やニュースで話題になる現代家族がかかえている諸問題に関心をもつようにする。その上で、毎回の授業のテーマと関連づけて考えてみる。 ・予習・復習合わせて4時間程度行うこと。</p> <p>[授業計画] 1. イントロダクション:家族とは? 家族をどうとらえるか。 2. 「近代家族」の成立:家族は歴史的に変化するか 3. 家族・貧困・福祉:家族と貧困 4. 家族・貧困・福祉:日本の生活保障システムと家族 5. 結婚:結婚とは何か。未婚化という変化。 6. 結婚:離婚における変化。パートナーシップの多様化。 7. 就業と家族:ワークライフバランスの実現に向けて。 8. 妊娠・出産・子育て:少子化 9. 妊娠・出産・子育て:医療技術と子どもをもつこと 10.妊娠・出産・子育て:家事と育児の分担 11. 親-成人子関係のゆくえ:親-成人子関係についての理論的枠組み、親-成人子関係の変化 12. 個人・家族・親密性のゆくえ:多様化する家族 13. 家族関係に関する理解度確認テスト・解説</p>			

科目名	家族関係学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大淵 裕美		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で実施する小テスト、課題 60% ・定期試験 40% <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントシートについては、確認して次回授業時に返却します。 ・manabaで実施する小テストは、提出後に解答・解説が閲覧できるように自動採点設定をします。 ・試験後、問題の解説を行います。 <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>なし 出版社:</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>『新しい家族関係学』 著者名:森岡清美・望月嵩 出版社:培風館 (978-4-5630-5034-4)</p> <p>『よくわかる現代家族』 著者名:神原文子・杉井淳子・竹田美知編著 出版社:ミネルヴァ書房 (978-4-623-07683-3)</p> <p>『入門 家族社会学』 著者名:永田夏来・松本洋人 出版社:新泉社 (978-4-7877-1704-7)</p>			

科目名	家庭科指導法 I		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	佐藤 佐織			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート		○	グループワーク	○
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された中学校技術・家庭科(家庭分野)及び高等学校家庭科の目標・内容が説明できる。 ・家庭科の学習指導計画・方法の基礎・基本を理解している。 ・家庭科におけるICTの効果的な利用法を理解している。 <p>[授業概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭科の性格や学習指導要領に示された中学校技術・家庭科(家庭分野)及び高等学校家庭科の目標及び内容、学習評価について概説する。 ・家庭科の授業をするための基礎的・基本的事項について概説する。 <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>毎回の授業の復習に2時間程度あてることが必要である。 家庭科指導法Ⅱにむけて、この授業の内容を理解し、記録化、まとめておく必要がある。</p> <p>[授業計画]</p> <p>第1回:ガイダンス・家庭科の授業とは 第2回:家庭科教育の意義 第3回:中学校家庭分野「A家族・家庭生活」と高等学校家庭科「A家族・家庭及び福祉」の目標及び内容 第4回:中学校家庭分野「B衣食住の生活」と高等学校家庭科「B衣食住」の目標及び内容① 第5回:中学校家庭分野「B衣食住の生活」と高等学校家庭科「B衣食住」の目標及び内容② 第6回:中学校家庭分野「B衣食住の生活」と高等学校家庭科「B衣食住」の目標及び内容③ 第7回:中学校家庭分野「C消費生活・環境」と高等学校家庭科「C消費生活・環境」の目標及び内容 第8回:指導計画の作成と内容の取扱い 第9回:「指導と評価の一体化」のための学習評価 第10回:家庭科の学習形態とICTの活用 第11回:板書方法とワークシートの作成 第12回:家庭科教育の実習環境と施設設備 第13回:まとめ</p>				

科目名	家庭科指導法 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤 佐織		
<p>[成績評価方法] 授業態度(30%)、課題(40%)、試験(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題へのコメント、最終授業での解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 高等学校学習指導要領(平成30年告示) 解説 家庭編 文部科学省 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂 (978-4-304-04166-2) 家庭総合 明日の生活を築く(高等学校検定済教科書 家総704) 著者名:大竹美登利他 出版社:開隆堂 (978-4-304-08105-7) 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 技術・家庭編 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂 (978-4-304-02154-1) 技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生(中学校検定済教科書 家庭703) 著者名:大竹美登利他 出版社:開隆堂 (978-4-304-08074-6)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	家庭科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤 佐織		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校技術・家庭科(家庭分野)の学習で育成を目指す資質・能力を教育内容に結び付けて理解している。 ・高等学校家庭科の学習で育成を目指す資質・能力を教育内容に結び付けて理解している。 ・学習指導案を書き、模擬授業をすることができる。 ・模擬授業を通して、生徒と授業者の両方の立場から実践上の課題をつかむことができる。 <p>[授業概要]</p> <p>授業概要[授業の計画、教材研究、実施、評価の流れを理解した上で学習指導案を作成し、模擬授業を行う。模擬授業では、目標に向かって学習過程を展開するための課題、および発問・説明・指示、板書、机間指導等の課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業に参加することにより、他の受講生の授業について評価をしながら、授業を改善し、視点と方法について探究する。 <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭科指導法Ⅰ」の講義内容は、本授業のベースになるので必ず復習しておく。 ・指導計画や模擬授業の準備等、授業の課題に積極的に取り組む。 ・授業内容を理解したり、模擬授業のための学習指導案の作成・教材研究のために4時間程度の時間を充てることが求められる。 <p>[授業計画]</p> <p>第1回:ガイダンス・家庭科の教材研究と授業づくり① 第2回:家庭科の教材研究と授業づくり② 第3回:家庭科の教材研究と授業づくり③ 第4回:家庭科の教材研究と授業づくり④ 第5回:家庭科の教材研究と授業づくり⑤ 第6回:模擬授業用学習指導案作成・板書計画 第7回:実習教材のねらいと意義① 第8回:実習教材のねらいと意義② 第9回:実習教材のねらいと意義③ 第10回:模擬授業① 第11回:模擬授業② 第12回:模擬授業③ 第13回:模擬授業④</p>			

科目名	家庭科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤 佐織		
<p>[成績評価方法] 授業態度(20%)、課題(40%)、模擬授業(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題へのコメント、模擬授業への指導講評を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 高等学校学習指導要領(平成30年告示) 解説 家庭編 文部科学省 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂 (978-4-304-04166-2) 家庭総合 明日の生活を築く(高等学校検定済教科書 家総704) 著者名:大竹美登利他 出版社:開隆堂 (978-4-304-08105-7) 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 技術・家庭編 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂 (978-4-304-02154-1) 技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生(中学校検定済教科書 家庭703) 著者名:大竹美登利他 出版社:開隆堂 (978-4-304-08074-6)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	家庭電気・機械		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	西崎 敏			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標]</p> <p>機械、電気、情報の基礎と家庭機器の利用とエネルギー消費について理解できるようになる。家庭機器の動作原理、機能、活用および管理等について理解できるようになる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>私たちは、さまざまな電気機器や家庭用機械を利用しながら生活している。これらの機器は、家事の合理化など、私たちの快適な生活を支えている。また年々機器の性能も向上し、高機能化している。これらの機器についての仕組みや構造等を理解することが望まれる。本講義では、機械、電気、情報についての基礎知識および、エネルギー消費や機械、電気機器のしくみなどを学習する。これらの基礎知識をベースに、関連する最新情報を紹介し、紹介した最新情報をレポートにまとめ、お互いにディスカッションし、毎回の講義を整理することにより学習内容の定着を図る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>中学理科(電気、磁気)や技術・家庭科の内容が基礎となります。日常生活において電気製品や機器を利用するとき、その機能や環境問題についても意識して講義での質問事項を考えておいてください。各回の講義についての予習復習を、4時間程度行ってください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス(科学技術の進歩と現代の生活)(ライフライン) 2. 機械要素とその働き1 家庭用マシン、自転車の構造としくみ(ねじ、歯車、ベルト等) 3. 機械要素とその働き2 自動車(エンジン、モーター、バッテリー、燃料電池等) 4. 生活と材料(金属材料, 非金属材料, 機能性材料など) 5. 機械とエネルギー変換(力学とエネルギー変換技術) 6. 電気の基礎1 発電(水力、火力、原子力、太陽光) 7. 電気の基礎2(電子、電流と電圧、磁気、磁界、電気の単位など) 8. 電気の基礎3(直流と交流、周波数、直列と並列、電力と電力量、ジュールの法則など) 9. 家庭用機器 (電熱機器、照明機器、動力機器) 10. 家庭用音声映像機器(テレビ、スマートスピーカー)の基礎知識(構造、しくみなど)・家庭の屋内配線(電気、LANケーブル) 11. エネルギー事情と対策(日本のエネルギーの現状と課題) 12. 家庭生活と情報機器(機器操作と情報リテラシー) 13. 教育の情報化と全体のまとめ 				

科目名	家庭電気・機械	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	西崎 敏		
<p>[成績評価方法] 授業中の課題(30%) 試験(記述式)(70%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 講義途中の試験・レポートについては、次の講義でコメントしフィードバックする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:授業中のレポート(30%)、試験(記述式)(70%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:授業中のレポート(30%)、試験(記述式)(70%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:授業中のレポート(30%)、試験(記述式)(70%)</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業中のレポート(30%)、試験(記述式)(70%)</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし(該当なし)</p>			

科目名	家庭福祉論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大淵 裕美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 社会環境の変化や家族の多様化にともなう様々な家庭と福祉に関する現状や課題を理解し、より良いあり方を検討・提示できる。</p> <p>[授業概要] 社会環境は歴史的・社会的に変化しており、それに伴い家庭のあり方や福祉のあり方も多様化している。本授業では、福祉の基盤となる社会保障について学習するとともに、様々な家族形態における福祉的課題について検討・解説する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 新聞やニュースには、毎日のように家族にかかわる様々な問題が報告されている。これらに関心をもつようにする。その上で、毎回の授業のテーマと関連づけて考えてみる。 予習・復習合わせて4時間程度行うこと。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス・家族を取り巻く社会環境の変化と福祉 <福祉の基盤としての社会保障> 2. 医療保険 3. 生活保護と社会福祉 4. 年金 5. 雇用保険 6. 労働者災害補償保険 7. 社会保険と民間保険 <家庭福祉の諸課題> 8. 母子保健 9. ひとり親家庭 10. 社会的養護 11. 虐待・非行 12. DV・依存症と家庭 13. 本授業のまとめ</p>			

科目名	家庭福祉論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大淵 裕美		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で実施する小テスト、課題 60% ・定期試験 40% <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回提出するコメントシートについては、確認して次回授業時に返却します。 ・毎授業時にmanabaにて実施する小テストは、自動採点時に解答・解説が閲覧できるように設定します。 ・試験後、解答の解説を行います。 <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>なし</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>児童・家庭福祉 著者名:林浩康・山本真実・湯澤直美編 出版社:ミネルヴァ書房 はじめての社会保障(第20版) 著者名:椋野美智子・田中耕太郎 出版社:有斐閣 『ボクのことわすれちゃったの?—お父さんはアルコール依存症—』 著者名:ブルスアルハ 出版社:ゆまに書房 CRAFT 依存症者家族のための対応ハンドブック 著者名:ロバート・メイヤーズ、ブレンダ・ウォルフ 出版社:金剛出版 DV加害者プログラム・マニュアル 著者名:NPO法人リスペクトフル・リレーションシップ・プログラム研究会 出版社:金剛出版</p>			

科目名	基礎アパレル造形演習	前期	2 単位
サブタイトル	製図、パターン、立体構成	演習	
担当者	十一 玲子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 被服のパターンに関するパーツなどを総合的に理解し、被服に必要な基本的な知識および技術を身につける。創造力と感性の養成を目指し、パターンの作成、展開などの理論について学ぶ。基礎縫いを実施し、基本的なスカートを製作できるようになる。</p> <p>[授業概要] 衣服がどのようなパーツからできているのかを理解し、製図に必要な知識を身につける。デザイン画、写真、雑誌などを見て製図ができることが理想である。 縫製の基本的な部分を学び、自分のサイズの作品(スカート)を製作する。自分で最初から最後まで完成するまでの力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 市場には多くの既製服が販売されている。常に関心、好奇心を持って、見るようにする。授業中に行った課題に遅れた場合、次回までに各自で計画をたてて、学習しておくこと2時間程度。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション、採寸、型紙作成、布丈の見積り 2.製図(1/5)(原型・タイトスカート)、展開(スカート) 3.基礎縫い(手縫い) 4.基礎縫い(手縫い) 5.基礎縫い(ミシン縫い) 6.裁断、標付け、ミシン使用方法の説明 7.本縫い、ギャザーミシン、脇縫い、脇・裾オーバーロックミシン 8.ベルト作り、ベルト付け 9.ベルト付け、ゴム通し、渡しまつり 10.裾始末 11.製図(1/5)(ブラウス)、展開(袖) 12.仕上げ、完成 13.まとめ、発表(プレゼンテーション)</p>			

科目名	基礎アパレル造形演習	前期	2 単位
サブタイトル	製図、パターン、立体構成	演習	
担当者	十一 玲子		
<p>[成績評価方法] 作品・製図(70%),プレゼンテーション(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 作品・課題などを提出後、確認を行い、コメントをつけて返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 洋裁研究(基礎編) 著者名:共著 出版社:学校法人 行吉学園</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	基礎アパレル造形演習	前期	2 単位
サブタイトル	製図、パターン、立体構成	演習	
担当者	十一 玲子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 被服のパターンに関するパーツなどを総合的に理解し、被服に必要な基本的な知識および技術を身につける。創造力と感性の養成を目指し、パターンの作成、展開などの理論について学ぶ。基礎縫いを実施し、基本的なスカートを製作できるようになる。</p> <p>[授業概要] 衣服がどのようなパーツからできているのかを理解し、製図に必要な知識を身につける。デザイン画、写真、雑誌などを見て製図ができることが理想である。 縫製の基本的な部分を学び、自分のサイズの作品(スカート)を製作する。自分で最初から最後まで完成するまでの力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 市場には多くの既製服が販売されている。常に関心、好奇心を持って、見るようにする。授業中に行った課題に遅れた場合、次回までに各自で計画を立てて、学習しておくこと2時間程度。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション、採寸、型紙作成、布丈の見積り 2.製図(1/5)(原型・タイトスカート)、展開(スカート) 3.基礎縫い(手縫い) 4.基礎縫い(手縫い) 5.基礎縫い(ミシン縫い) 6.裁断、標付け、ミシン使用方法の説明 7.本縫い、ギャザーミシン、脇縫い、脇・裾オーバーロックミシン 8.ベルト作り、ベルト付け 9.ベルト付け、ゴム通し、渡しまつり 10.裾始末 11.製図(1/5)(ブラウス)、展開(袖) 12.仕上げ、完成 13.まとめ、発表(プレゼンテーション)</p>			

科目名	基礎アパレル造形演習	前期	2 単位
サブタイトル	製図、パターン、立体構成	演習	
担当者	十一 玲子		
<p>[成績評価方法] 作品・製図(70%),プレゼンテーション(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 作品・課題などを提出後、確認を行い、コメントをつけて返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 洋裁研究(基礎編) 著者名:共著 出版社:学校法人 行吉学園</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	基礎アパレル造形演習	後期	2 単位
サブタイトル	製図、パターン、立体構成	演習	
担当者	十一 玲子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 被服のパターンに関するパーツなどを総合的に理解し、被服に必要な基本的な知識および技術を身につける。創造力と感性の養成を目指し、パターンの作成、展開などの理論について学ぶ。基礎縫いを実施し、基本的なスカートを製作できるようになる。</p> <p>[授業概要] 衣服がどのようなパーツからできているのかを理解し、製図に必要な知識を身につける。デザイン画、写真、雑誌などを見て製図ができることが理想である。 縫製の基本的な部分を学び、自分のサイズの作品(スカート)を製作する。自分で最初から最後まで完成するまでの力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 市場には多くの既製服が販売されている。常に関心、好奇心を持って、見るようにする。授業中に行った課題に遅れた場合、次回までに各自で計画を立てて、学習しておくこと2時間程度。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション、採寸、型紙作成、布丈の見積り 2.製図(1/5)(原型・タイトスカート)、展開(スカート) 3.基礎縫い(手縫い) 4.基礎縫い(手縫い) 5.基礎縫い(ミシン縫い) 6.裁断、標付け、ミシン使用方法の説明 7.本縫い、ギャザーミシン、脇縫い、脇・裾オーバーロックミシン 8.ベルト作り、ベルト付け 9.ベルト付け、ゴム通し、渡しまつり 10.裾始末 11.製図(1/5)(ブラウス)、展開(袖) 12.仕上げ、完成 13.まとめ、発表(プレゼンテーション)</p>			

科目名	基礎アパレル造形演習	後期	2 単位
サブタイトル	製図、パターン、立体構成	演習	
担当者	十一 玲子		
<p>[成績評価方法] 作品・製図(70%),プレゼンテーション(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 作品・課題などを提出後、確認を行い、コメントをつけて返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 洋裁研究(基礎編) 著者名:共著 出版社:学校法人 行吉学園</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	基礎アパレル造形演習	後期	2 単位
サブタイトル	製図、パターン、立体構成	演習	
担当者	十一 玲子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 被服のパターンに関するパーツなどを総合的に理解し、被服に必要な基本的な知識および技術を身につける。創造力と感性の養成を目指し、パターンの作成、展開などの理論について学ぶ。基礎縫いを実施し、基本的なスカートを製作できるようになる。</p> <p>[授業概要] 衣服がどのようなパーツからできているのかを理解し、製図に必要な知識を身につける。デザイン画、写真、雑誌などを見て製図ができることが理想である。 縫製の基本的な部分を学び、自分のサイズの作品(スカート)を製作する。自分で最初から最後まで完成するまでの力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 市場には多くの既製服が販売されている。常に関心、好奇心を持って、見るようにする。授業中に行った課題に遅れた場合、次回までに各自で計画を立てて、学習しておくこと2時間程度。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション、採寸、型紙作成、布丈の見積り 2.製図(1/5)(原型・タイトスカート)、展開(スカート) 3.基礎縫い(手縫い) 4.基礎縫い(手縫い) 5.基礎縫い(ミシン縫い) 6.裁断、標付け、ミシン使用方法の説明 7.本縫い、ギャザーミシン、脇縫い、脇・裾オーバーロックミシン 8.ベルト作り、ベルト付け 9.ベルト付け、ゴム通し、渡しまつり 10.裾始末 11.製図(1/5)(ブラウス)、展開(袖) 12.仕上げ、完成 13.まとめ、発表(プレゼンテーション)</p>			

科目名	基礎アパレル造形演習	後期	2 単位
サブタイトル	製図、パターン、立体構成	演習	
担当者	十一 玲子		
<p>[成績評価方法] 作品・製図(70%),プレゼンテーション(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 作品・課題などを提出後、確認を行い、コメントをつけて返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 洋裁研究(基礎編) 著者名:共著 出版社:学校法人 行吉学園</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	基礎製図演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	梶木 典子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 製図の基礎を学び、住宅の基礎図面である平面図・展開図を理解し、描画できるようになること。</p> <p>[授業概要] 基礎製図演習では、住宅図面を理解したうえで、自ら考え、表現する力を養うことを目的としている。製図用具の使用法、製図法、文字の表現方法について学習し、図面表現の約束ごとを理解する。そして、木造住宅の平面図、展開図等の基本的な図面の役割や表現方法の決まりを学び、自分で図面を読み、表現できるように演習を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 図面を読むために必要となる縮尺を理解できるようになっておくこと。住宅内部にあるものをよく観察しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス:製図用具の説明、製図とは 2. 線の練習、文字の練習 3. 平面図の練習(1) 4. 平面図の練習(2) 5. 展開図の練習 6. 住宅内のモデルプランの計画(1) 7. 住宅内のモデルプランの計画(2) 8. 住宅内のモデルプランの計画(3) 9. 住宅内のモデルプランの設計(1) 10. 住宅内のモデルプランの設計(2) 11. 住宅内のモデルプランの設計(3) 12. 住宅内のモデルプランの提案(1) 13. 住宅内のモデルプランの提案(2) 			

科目名	基礎製図演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	梶木 典子		
<p>[成績評価方法] 課題への取組み度と提出状況 (15%)、成果品 (85%) により評価</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 成果品は、コメントを付す。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法: 上記、評価方法による。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、評価方法による。</p> <p>[教科書 (ISBN)] プリントを配布する</p> <p>[参考書 (ISBN)] 「コンパクト建築設計資料集成<住居>」 著者名: 日本建築学会編 出版社: 丸善 (4621076884) 一生使えるサイズ事典住宅のリアル寸法完全版 出版社: エクスナレッジ (476782978X) コンパクト建築設計資料集成 インテリア 著者名: 日本建築学会編 出版社: 丸善 (4621082965)</p>			

科目名	基礎調理学実習	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	清水 典子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 調理に関する知識と基礎的な調理技術を習得する。安全面や衛生面についても留意しながら、実習を通して健康で豊かな食生活を実践する能力を養うことを目標とする。</p> <p>[授業概要] 健康な食生活を送るためには、自らの手で食事を整えていくことが重要となるので、基本的な調理技術を習得し、食品の調理性を理解する。 日本料理、西洋料理、中国料理、韓国料理の様式別に実習を行い、その国の食文化についても学び、変化を楽しめる食事作りができるようになる。 また、食品の安全性や衛生管理の重要性を理解し、実践することを学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回実習の復習(出来れば実際に調理を行う、栄養計算、食材調べなど)と今回実習のタイムテーブル(実習計画)を作成し、実習献立を限られた時間内に効率的にかつおいしく調理出来るように準備する。各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 日本料理1 3. 日本料理2 4. 日本料理3 5. 西洋料理1 6. 西洋料理2 7. 中国料理1 8. 中国料理2 9. 韓国料理 10. 行事食(西洋料理) 11. 行事食(日本料理) 12. 災害時の料理 13. 実習のまとめ・掃除 			

科目名	基礎調理学実習	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	清水 典子		
<p>[成績評価方法] 実習態度(40%)、レポート(40%)、実習のまとめ(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート添削後、コメントして返却</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。 成績評価方法:レポート、実習のまとめ</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:実習態度・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:実習態度・レポート・実習のまとめ</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:実習態度・レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習態度・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習態度・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート・実習のまとめ</p> <p>[教科書(ISBN)] 調理の基本 まるわかり便利帳 著者名:松本仲子 監修 出版社:女子栄養大学出版部 (978-4-7895-0523-9) 毎回プリントを配布。 ビジュアル食品成分表 著者名:新しい食生活を考える会 出版社:大修館書店 (978-4-469-27012-9)</p> <p>[参考書(ISBN)] 調理のためのベーシックデータ 著者名:松本仲子 監修 出版社:女子栄養大学出版部 (978-4-7895-0323-5) 新・ベターホームのお料理一年生 著者名:ベターホーム協会 出版社:ベターホーム協会 (978-4-86586-015-3)</p>			

科目名	教材開発研究	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤 佐織		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育内容を組織・構造化して教材とすることができる。 2. 教材解釈ができ、それを授業設計や授業実践に生かすことができる。 <p>[授業概要]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教材研究を教材開発および教材解釈の観点から論じ、教材開発の方法を探究する。 2. 学習のねらいとユニバーサルな視点をふまえた実習教材を開発する。 3. 生活課題を素材とした教材開発を行い、教材レポートの作成と発表を行う。 <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭科指導法Ⅲ」で実践した教科書教材比較分析、食物アレルギーに対応した調理実習指導の課題と反省を踏まえ、家庭科の教材開発に取り組む。 ・授業前後の自習に4時間を充てることが求められる。 <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業設計と教材研究、教材開発、教材解釈 2. 実習教材開発① 3. 実習教材開発② 4. 実習教材開発③ 5. 実習教材開発④ 6. 実習教材開発⑤ 7. 開発した実習教材の発表① 8. 生活課題を素材とした教材開発① 9. 生活課題を素材とした教材開発② 10. 生活課題を素材とした教材開発③ 11. 生活課題を素材とした教材開発④ 12. 生活課題を素材とした教材開発⑤ 13. 開発した教材の発表② 			

科目名	教材開発研究	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤 佐織		
<p>[成績評価方法] 授業態度30%、教材レポート40%、発表30%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 教材レポートへのコメント、発表への指導講評を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追随して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 技術・家庭編 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂 (978-4-304-02154-1) 技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生(中学校検定済教科書 家庭703) 著者名:大竹美登利他 出版社:開隆堂 (978-4-304-08074-6) 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して(中学校検定済教科書 家庭701) 著者名:佐藤文子他 出版社:東京書籍 (978-4-487-12382-7) New 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する(中学校検定済教科書 家庭702) 著者名:伊藤葉子他 出版社:教育図書 (978-4-87730-101-9) ・高等学校学習指導要領(平成30年告示) 解説 家庭編 文部科学省 ・家庭総合 明日の生活を築く(高等学校検定済教科書 家総704) 著者名:・文部科学省 ・大竹美登利他 出版社:・開隆堂 ・開隆堂 (・978-4-304-04166-2 ・978-4-304-08105-7)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

S70330 [HHH3-001]

科目名	空間デザイン演習	前期	2 単位
サブタイトル	住まいの空間デザイン	演習	
担当者	田中 栄治		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

- 目標1: 課題に関連する事例を調査し、住まいの空間デザインのコンセプトをつくることができる。
- 目標2: 住まいの空間のプランニングを行い、平面図・展開図を描くことができる。
- 目標3: 住まいの空間のデザインを行い、透視図を描くことができる。
- 目標4: コンセプト・図面・透視図等をまとめてプランニングボードに表現できる。
- 目標5: プランニングボードを用いてプレゼンテーションができる。

[授業概要]

一級建築士・インテリアプランナー・福祉住環境コーディネーターの資格を持ち、建築設計・インテリアデザインの実務経験のある教員が、戸建て住宅をテーマにして空間デザインの技術を学び、それを応用した作品を制作する科目を指導します。
 既存の戸建て住宅を題材として、住まいの空間デザイン(家具・照明・植栽等を含む)を行います。課題に関連する事例を調査し、空間デザインのコンセプトをつくり、アイデアを考えて住まいの空間のプランニングを行い、平面図・展開図を描きます。また、住まいの空間のデザインを行い、透視図を描き、設計作品のプランニングボードを作成してプレゼンテーションをおこないます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

授業で作成する課題に関する資料収集や事例研究を行ってください。関連する書籍や雑誌などを参考にし、家族の生活をイメージして住まいの空間をデザインしてください。各回、予習復習合わせて2時間程度行ってください。

[授業計画]

1. ガイダンス、事例調査・コンセプトメイキング
2. ゾーニング・プランニングの検討
3. 家具レイアウトの検討、透視図の練習
4. 家具レイアウト案のラフパース作成
5. 家具レイアウト案のラフパースによりプランニング見直し
6. 平面図の作成
7. 平面図の仕上げ
8. 展開図の作成・仕上げ
9. 透視図の作成
10. 透視図の仕上げ
11. プランニングボードの作成
12. プランニングボードの仕上げ
13. 作品プレゼンテーション、講評

科目名	空間デザイン演習	前期	2 単位
サブタイトル	住まいの空間デザイン	演習	
担当者	田中 栄治		
<p>[成績評価方法]</p> <p>課題1(事例調査シート・コンセプトシート):目標1に対応(10%) 課題2(平面図・展開図):目標2に対応(20%) 課題3(透視図):目標3に対応(20%) 課題4(プランニングボード):目標4に対応(40%) 課題5(プレゼンテーション):目標5に対応(10%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>演習作品は、プレゼンテーション後に講評を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:課題1~5</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:課題1~5</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題1~5</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>適宜プリント配布。</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>なし</p>			

科目名	くらしの社会学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大淵 裕美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>・社会学の基本的知識を修得することができる。また、日常生活における違和感や疑問に対して、社会的なもの の見方や基礎的知識を活用して分析することができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>本授業では、社会学なものの見方の基礎的な事柄について学修する。具体的には、くらしの様々な現象を対象 に、違和感や課題の発見し、社会学の視点で物事をとらえ分析する力量の形成を目指す。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>日ごろから、新聞やニュースで話題になる諸問題に関心をもつようにする。その上で、毎回の授業のテーマと関連 づけて考えてみる。予習・復習合わせて4時間程度行うこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会を学ぶための学びとは—社会とは、社会学とは 2. 自己、インタラクション—自分って何だろう？ 3. 家族・親密圏、—標準世帯はどの程度当たり前？ 4. 文化・家族・階層—文化的再生産とは？ 5. 教育・学校—スクールカーストの中でどうサバイブする？ 6. ジェンダー・セクシュアリティ—多様な性って何だろう？ 7. 情報・メディア—メディアは誰のもの？ 8. 世代・労働—日本的な働き方とは？ 9. 消費・流行—一億総中流から格差社会へ 10. 文化・表象・観光—伝統が創られるとは何か？ 11. 都市、コミュニティ—都市への集住と、都市での分断 12. グローバリゼーション、エスニティー内なる国際化について考える 13. まとめ 			

科目名	くらしの社会学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大淵 裕美		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト、課題 60% ・定期試験 40% <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回提出する課題・コメントシートについては、確認して次回授業時に返却します。 ・毎授業時にmanabaにて実施する小テストは、自動採点時に解答・解説が閲覧できるように設定します。 ・試験後、解答の解説を行います。 <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>なし</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>新版 社会学 著者名:長谷川 公一, 浜 日出夫, 藤村 正之, 町村 敬志 出版社:有斐閣 (9784640000000)</p> <p>社会学の力 最重要概念・命題集 著者名:友枝 敏雄, 浜 日出夫, 山田 真茂留 出版社:有斐閣 (9784640000000)</p> <p>社会学用語図鑑 人物と用語でたどる社会学の全体像 著者名:友枝 敏雄, 浜 日出夫, 山田 真茂留 出版社:プレジデント社 (9784830000000)</p> <p>広告で社会学 著者名:難波 功士 出版社:弘文堂 (978-4335551895)</p>			

科目名	公衆衛生学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	井村 聡子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 公衆衛生の現状と問題について、理解し、自身の意見を述べるようになる。</p> <p>[授業概要] 本科目は国際協力機構(JICA)の委託事業の経験を有する教員が、公衆衛生学を指導します。 公衆衛生学では全ての人を対象とした健康の保持・増進、寿命の延伸、疾病の予防について扱います。 具体的には、全住民を対象とした健康増進と生活の質(QOL)の向上や、それに向けて地域社会の住民や行政が実施するヘルスプロモーション活動について学習します。加えて、地球環境、社会・疾病構造の変化、医療の現状と課題、世界の保健医療問題など、現在起こっている日本および世界の問題を取り上げ、地域や文化の異なる人間集団の相違点を比較し考察します。 授業は教科書および配布資料を中心に進めますので、各回それらを持参するようにしてください。また、新聞記事、映像等身近にある公衆衛生の問題を積極的に取り入れ、知識の習得を目指します。受講生のみなさんにも意見や考えを積極的に述べてもらい理解を深めます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日頃からニュースや新聞を精読し、現代社会の現状と保健医療の動向を把握しておくとともに各回の講義についての予習・復習を行うようにしてください。(各回、予習・復習合わせて4 時間程度)。</p> <p>[授業計画] 1.健康の概念 2.人口静態統計 3.人口動態統計 4.社会保障 5.高齢者保健 6.地域保健 7.成人保健 8.疫学 9.感染症 10.学校保健・環境保健 11.母子保健 12.国際保健 13.まとめ</p>			

科目名	公衆衛生学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	井村 聡子		
<p>[成績評価方法] 筆記試験(90%)と課題の提出(10%)で評価します。筆記試験は得られた得点で評価します。課題の提出は課題が提出されなかった場合や記述事項が十分に記載されていない場合には評価を下げます。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 各回、配布する課題には記述欄を設け、回収後次回の講義内で各自の意見の共有を図ります。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:筆記試験および課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:筆記試験および課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:筆記試験および課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:筆記試験および課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:筆記試験および課題</p> <p>[教科書 (ISBN)] 『よくわかる専門基礎講座公衆衛生』 著者名:松木秀明編 出版社:金原出版株式会社 (978-4-307-)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 資料を作成し配布する</p>			

科目名	公衆衛生学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	井村 聡子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 公衆衛生の現状と問題について、理解し、自身の意見を述べるようになる。</p> <p>[授業概要] 本科目は国際協力機構(JICA)の委託事業の経験を有する教員が、公衆衛生学を指導します。公衆衛生学では全ての人を対象とした健康の保持・増進、寿命の延伸、疾病の予防について扱います。具体的には、全住民を対象とした健康増進と生活の質(QOL)の向上や、それに向けて地域社会の住民や行政が実施するヘルスプロモーション活動について学習します。加えて、地球環境、社会・疾病構造の変化、医療の現状と課題、世界の保健医療問題など、現在起こっている日本および世界の問題を取り上げ、地域や文化の異なる人間集団の相違点を比較し考察します。 授業は教科書および配布資料を中心に進めますので、各回それらを持参するようにしてください。また、新聞記事、映像等身近にある公衆衛生の問題を積極的に取り入れ、知識の習得を目指します。受講生のみなさんにも意見や考えを積極的に述べてもらい理解を深めます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日頃からニュースや新聞を精読し、現代社会の現状と保健医療の動向を把握する。また、授業計画に基づき、予習と復習を行う。(各回、予習復習合わせて4 時間程度)</p> <p>[授業計画] 1.健康の概念 2.人口静態統計 3.人口動態統計 4.社会保障 5.高齢者保健 6.地域保健 7.成人保健 8.疫学 9.感染症 10.学校保健・環境保健 11.母子保健 12.国際保健 13.まとめ</p>			

科目名	公衆衛生学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	井村 聡子		
<p>[成績評価方法] 筆記試験(90%)と課題の提出(10%)で評価します。筆記試験は得られた得点で評価します。課題の提出は課題が提出されなかった場合や記述事項が十分に記載されていない場合には評価を下げます。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 各回、配布する課題には記述欄を設け、回収後次回の講義内で各自の意見の共有を図ります。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:筆記試験および課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:筆記試験および課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:筆記試験および課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:筆記試験および課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:筆記試験および課題</p> <p>[教科書 (ISBN)] 『よくわかる専門基礎講座公衆衛生』 著者名:松木秀明編 出版社:金原出版株式会社 (978-4-307-)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 資料を作成し配布する</p>			

科目名	色彩論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大森 正子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 色を正しく区別し、再現し、活用する能力を養うことが目標である。また色彩検定2級の合格を目指す内容とする。</p> <p>[授業概要] 色彩は、光学や生理学、心理学などの学問との関連が深く、“学際的”であるのが特徴である。また、わたしたちの生活の中で、色彩は情報の伝達手段として重要な機能を持っている。それだけでなく、わたしたちを取り巻く環境の媒質・背景として心理的効用を持っているといえる。本講義では、人間の感覚・知覚、色彩の理論、色彩の調和、色彩の認知、環境における色彩の役割、色彩の好みといった知識を学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておく。(予習復習含めて4時間程度)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活と色 2. 光と色 3. 色の生理 4. 色の測定 5. 色の表示 6. 色の調和と配色技法 7. 色の心理的効果 8. 色材の基礎 9. 色と文化 10. 生活における色彩計画 11. 色相・明度による配色 12. トーンによる配色 13. 色彩配色テストとまとめ 			

科目名	色彩論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大森 正子		
<p>[成績評価方法] 授業中に課す課題(60%)、配色テスト(40%)を総合的に評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題提出物は、授業中に返却します。最終課題(配色テスト)については後日返却。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 新版 生活の色彩学 快適な暮らしを求めて 著者名:橋本令子 出版社:朝倉書店 (4-254-60024-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] 色彩検定対策テキスト2級、3級 著者名:文部科学省後援 社団法人全国服飾教育者連合会(A・F・T)監修 出版社:株式会社 A・F・T企画 (978-4901257190 978-4901257183) カラーコーディネーター検定試験公式テキスト スタンダードクラス、アドバンスクラス 著者名:東京商工会議所編 出版社:東京商工会議所 (978-4-502-36601-7、978-4-502-33001-8)</p>			

科目名	色彩論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大森 正子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 色を正しく区別し、再現し、活用する能力を養うことが目標である。また色彩検定2級の合格を目指す内容とする。</p> <p>[授業概要] 色彩は、光学や生理学、心理学などの学問との関連が深く、“学際的”であるのが特徴である。また、わたしたちの生活の中で、色彩は情報の伝達手段として重要な機能を持っている。それだけでなく、わたしたちを取り巻く環境の媒質・背景として心理的効用を持っているといえる。本講義では、人間の感覚・知覚、色彩の理論、色彩の調和、色彩の認知、環境における色彩の役割、色彩の好みといった知識を学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておく。(予習復習含めて4時間程度)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活と色 2. 光と色 3. 色の生理 4. 色の測定 5. 色の表示 6. 色の調和と配色技法 7. 色の心理的効果 8. 色材の基礎 9. 色と文化 10. 生活における色彩計画 11. 色相・明度による配色 12. トーンによる配色 13. 色彩配色テストとまとめ 			

科目名	色彩論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大森 正子		
<p>[成績評価方法] 授業中に課す課題(60%)、配色テスト(40%)を総合的に評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題提出物は、授業中に返却します。最終課題(配色テスト)については後日返却。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 新版 生活の色彩学 快適な暮らしを求めて 著者名:橋本令子 出版社:朝倉書店 (4-254-60024-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] 色彩検定対策テキスト2級、3級 著者名:文部科学省後援 社団法人全国服飾教育者連合会(A・F・T)監修 出版社:株式会社 A・F・T企画 (978-4901257190 978-4901257183) カラーコーディネーター検定試験公式テキスト スタンダードクラス、アドバンスクラス 著者名:東京商工会議所編 出版社:東京商工会議所 (978-4-502-36601-7、978-4-502-33001-8)</p>			

科目名	色彩論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大森 正子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 色を正しく区別し、再現し、活用する能力を養うことが目標である。また色彩検定2級の合格を目指す内容とする。</p> <p>[授業概要] 色彩は、光学や生理学、心理学などの学問との関連が深く、“学際的”であるのが特徴である。また、わたしたちの生活の中で、色彩は情報の伝達手段として重要な機能を持っている。それだけでなく、わたしたちを取り巻く環境の媒質・背景として心理的効用を持っているといえる。本講義では、人間の感覚・知覚、色彩の理論、色彩の調和、色彩の認知、環境における色彩の役割、色彩の好みといった知識を学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておく。(予習復習含めて4時間程度)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活と色 2. 光と色 3. 色の生理 4. 色の測定 5. 色の表示 6. 色の調和と配色技法 7. 色の心理的効果 8. 色材の基礎 9. 色と文化 10. 生活における色彩計画 11. 色相・明度による配色 12. トーンによる配色 13. 色彩配色テストとまとめ 			

科目名	色彩論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大森 正子		
<p>[成績評価方法] 授業中に課す課題(60%)、配色テスト(40%)を総合的に評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題提出物は、授業中に返却します。最終課題(配色テスト)については後日返却。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 新版 生活の色彩学 快適な暮らしを求めて 著者名:橋本令子 出版社:朝倉書店 (4-254-60024-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] 色彩検定対策テキスト2級、3級 著者名:文部科学省後援 社団法人全国服飾教育者連合会(A・F・T)監修 出版社:株式会社 A・F・T企画 (978-4901257190 978-4901257183) カラーコーディネーター検定試験公式テキスト スタンダードクラス、アドバンスクラス 著者名:東京商工会議所編 出版社:東京商工会議所 (978-4-502-36601-7、978-4-502-33001-8)</p>			

科目名	室内環境学	前期	2 単位
サブタイトル	地球環境に配慮した建築環境	講義	
担当者	砂本 文彦		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 室内環境についての科学的基礎である光、熱、空気、音の現象と作用を説明できる。</p> <p>[授業概要] 住まいのつくりに対し、光、熱、空気、音といった環境要素がどのようにかかわっているかを知るとともに、環境工学的な視点から説明、ならびに具体的改善を加えることができるように学ぶ。 その際、住まいのあり方を決める重要な要素である、エネルギー資源、環境負荷、ライフサイクルなど地球環境を考慮して、室内環境とのバランスのとり方を生活科学として実学的に学び、持続可能型社会を構築する住まいを理解する。 また、実地について学ぶために学外講師による授業を行う。さらに状況に応じて学内環境の改善を課題とするPBLも実施する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 一般的な環境問題に関心を払うとともに、住まいにおける環境(光、熱、空気、音)に対して、絶えず具体的な疑問を持つように心がけておくこと。後期の室内環境学実験では自ら実験を企画し、遂行することになるため、そうした実験に於いて活用できる知識を身に付けておけるよう、各回、予習復習合わせて4時間程度します。</p> <p>[授業計画] 1.住まいを取り巻く自然環境／地球環境と生活技術 2.住まいの日照と日射 3.生活にもたらされる光の性質 4.住まいと自然照明の計画 5.住まいと人工照明の計画 6.住まいと空気 7.住まいと換気 8.人と温熱感覚 9.住まいと熱 10.住まいの湿気と結露 11.住まいと音 12.騒音と振動 13.響きと吸音とまとめ</p>			

科目名	室内環境学	前期	2 単位
サブタイトル	地球環境に配慮した建築環境	講義	
担当者	砂本 文彦		

[成績評価方法]

試験(70%)・レポート課題(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

課題については適宜、授業中にフィードバックをします。授業の成果については後期に開講される関連科目・室内環境学実験においてフィードバックをします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

住まいと環境 住まいのつくりを環境から考える 著者名:大内孝子 出版社:彰国社 (9784400000000)

[参考書(ISBN)]

なし

科目名	室内環境学演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	砂本 文彦		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>室内環境についての科学的基礎である光、熱、空気、音の現象と作用を理解したうえで、これからの地球環境問題のなかで前述の4項目について身近な室内環境についての調査ができ、導かれた問題の解決案を提案できる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>室内環境学で学んだ内容にかんする各種実験課題を設定し、物理的環境を実験器具を用いて計測して考察を行う。実験は、グループワークによる特定課題を設定したPBLを実施する。実験を通じて環境工学的な知識を経験的に体得することで、将来にせまる室内環境問題に対して、ライフスタイルに合わせた有効な提案ができるようになるようになる。また、次世代エネルギー、未来社会、バリアフリー社会にむけた実験についても触れる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>前期の室内環境学で学んだことを復習しておくこと。また、住まいでの環境(熱、光、空気、音)について疑問をもつように心がけること。演習実施後は、演習中にしたメモをすぐに整理して、課題内容に即してまとめること。各回、予習復習合わせて2時間程度します。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.室内環境学実験のガイダンスと計測機器 2.赤外線放射温度計を用いた熱環境実験 3.照度計を用いた光環境実験 4.紫外線強度計を用いた光環境実験 5.風速計を用いた空気環境実験 6.CO2濃度計を用いた空気環境実験 7.騒音計を用いた音環境実験 8.放射線強度計を用いた放射線測定実験 9.PBLによる実験1 課題設定、実験の企画 10.PBLによる実験2 計測の実施 11.PBLによる実験3 計測の実施、データ整理 12.PBLによる実験4 プレゼンボード作成 13.PBLによる実験5 プレゼンテーションと討論、まとめ 			

科目名	室内環境学演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	砂本 文彦		
<p>[成績評価方法] レポート(50%)、プレゼンテーション(20%)、実験実施状況(30%)で評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートはプレゼンテーションを通じて授業内で共有してコメントをすることで、フィードバックをします。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 教科書はなし。適宜プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	室内環境学演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	砂本 文彦		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 室内環境についての科学的基礎である光、熱、空気、音の現象と作用を理解したうえで、これからの地球環境問題のなかで前述の4項目について身近な室内環境についての調査ができ、導かれた問題の解決案を提案できる。</p> <p>[授業概要] 室内環境学で学んだ内容にかんする各種実験課題を設定し、物理的環境を実験器具を用いて計測して考察を行う。実験は、グループワークによる特定課題を設定したPBLを実施する。実験を通じて環境工学的な知識を経験的に体得することで、将来にせまる室内環境問題に対して、ライフスタイルに合わせた有効な提案ができるようになるようになる。また、次世代エネルギー、未来社会、バリアフリー社会にむけた実験についても触れる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前期の室内環境学で学んだことを復習しておくこと。また、住まいでの環境(熱、光、空気、音)について疑問をもつように心がけること。演習実施後は、演習中にしたメモをすぐに整理して、課題内容に即してまとめること。各回、予習復習合わせて2時間程度します。</p> <p>[授業計画] 1.室内環境学実験のガイダンスと計測機器 2.赤外線放射温度計を用いた熱環境実験 3.照度計を用いた光環境実験 4.紫外線強度計を用いた光環境実験 5.風速計を用いた空気環境実験 6.CO2濃度計を用いた空気環境実験 7.騒音計を用いた音環境実験 8.放射線強度計を用いた放射線測定実験 9.PBLによる実験1 課題設定、実験の企画 10.PBLによる実験2 計測の実施 11.PBLによる実験3 計測の実施、データ整理 12.PBLによる実験4 プレゼンボード作成 13.PBLによる実験5 プレゼンテーションと討論、まとめ</p>			

科目名	室内環境学演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	砂本 文彦		
<p>[成績評価方法] レポート(50%)、プレゼンテーション(20%)、実験実施状況(30%)で評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートはプレゼンテーションを通じて授業内で共有してコメントをすることで、フィードバックをします。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 教科書はなし。適宜プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	社会組織論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	貝増 匡俊		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の役割や機能などを理解する。 ・イノベーションやSDGsなど新しい流れの中で分析手法について理解する。 ・組織の中で個人がどのように振る舞っていくのか説明できる。 <p>[授業概要]</p> <p>私たちは、何らかの組織に所属し、活動を行なっています。組織について学んでいきます。組織は、家庭、地域だけでなく学校や企業などであり、人が集まれば、必ず組織が存在します。インターネットなどのネット社会の発達や急速な少子高齢化など現在日本国内外では、社会の大きな変化が進行しています。このような状況の中で、組織について学ぶことは、とても重要です。社会における組織について理解をするために、事例を踏まえながら組織の分析などを行いながら、理論的な枠組みについて学んでいきます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>事前に教科書を読んで予習を行って下さい。授業後は振り返り、復習を行って下さい。各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <p>第1回: ガイダンス 第2回: 組織の定義 第3回: 組織の目的 第4回: ステークホルダーとコミュニケーション 第5回: 組織の中の個人と動機付け(モチベーション) 第6回: 組織の形態 第7回: 組織文化 第8回: リーダーシップ 第9回: イノベーション 第10回: 組織戦略 第11回: 変化する組織 第12回: 新しい潮流(SDGs、ESG経営など) 第13回: まとめ</p>			

科目名	社会組織論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	貝増 匡俊		
<p>[成績評価方法] 試験(記述式)60%、宿題30%、manaba上での参加(書き込み)(10%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 宿題は返却します。 試験後、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:試験、宿題、授業貢献(manaba)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:試験、宿題、授業貢献(manaba)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:試験、宿題、授業貢献(manaba)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:試験、宿題、授業貢献(manaba)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:試験、宿題、授業貢献(manaba)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法:試験、宿題、授業貢献(manaba)</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:試験、宿題、授業貢献(manaba)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:試験、宿題、授業貢献(manaba)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験、宿題、授業貢献(manaba)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験、宿題、授業貢献(manaba)</p> <p>[教科書(ISBN)] はじめての経営組織論 著者名:高尾義明 出版社:有斐閣 (9784640000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] 授業内でスライドを示します。</p>			

S73130 [HHH2-001]

科目名	社会組織論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	貝増 匡俊		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の役割や機能などを理解する。 ・イノベーションやSDGsなど新しい流れの中で分析手法について理解する。 ・組織の中で個人がどのように振る舞っていくのか説明できる。 <p>[授業概要]</p> <p>私たちは、何らかの組織に所属し、活動を行なっています。組織について学んでいきます。組織は、家庭、地域だけでなく学校や企業などであり、人が集まれば、必ず組織が存在します。インターネットなどのネット社会の発達や急速な少子高齢化など現在日本国内外では、社会の大きな変化が進行しています。このような状況の中で、組織について学ぶことは、とても重要です。社会における組織について理解するために、事例を踏まえながら組織の分析などを行いながら、理論的な枠組みについて学んでいきます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>事前に教科書を読んで予習を行って下さい。授業後は振り返り、復習を行って下さい。各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <p>第1回: ガイダンス 第2回: 組織の定義 第3回: 組織の目的 第4回: ステークホルダーとコミュニケーション 第5回: 組織の中の個人と動機付け(モチベーション) 第6回: 組織の形態 第7回: 組織文化 第8回: リーダーシップ 第9回: イノベーション 第10回: 組織戦略 第11回: 変化する組織 第12回: 新しい潮流(SDGs、ESG経営など) 第13回: まとめ</p>			

科目名	社会組織論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	貝増 匡俊		
<p>[成績評価方法] 試験(記述式)60%、宿題30%、manaba上での参加(書き込み)(10%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 宿題は返却します。 試験後、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:試験、宿題、授業貢献(manaba)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:試験、宿題、授業貢献(manaba)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:試験、宿題、授業貢献(manaba)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:試験、宿題、授業貢献(manaba)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:試験、宿題、授業貢献(manaba)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法:試験、宿題、授業貢献(manaba)</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:試験、宿題、授業貢献(manaba)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:試験、宿題、授業貢献(manaba)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験、宿題、授業貢献(manaba)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験、宿題、授業貢献(manaba)</p> <p>[教科書(ISBN)] はじめての経営組織論 著者名:高尾義明 出版社:有斐閣 (9784640000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] 授業内でスライドを示します。</p>			

S73130F [HHH2-001]

科目名	社会調査法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大淵 裕美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 社会調査の基礎的な考え方やさまざまな調査方法について理解する。さらに、実際に各自の問題関心に基づきデータを収集し、分析した図表を読むことができる。</p> <p>[授業概要] この授業では、社会調査の全体について、その概要を説明する。社会調査の意義と諸類型に関する基本的事項を理解し、資料やデータの収集から分析までの諸過程に関する基礎的な事項について学習する。社会調査を実際に行うためのスキルを養うとともに、データを正しく理解し利用するための調査リテラシーを身につけることを目指す。なお、この授業は、社会調査士資格科目のA科目(社会調査の基本的事項に関する科目)に該当する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 新聞やニュースには、毎日のように社会調査の結果が報告されている。これらに関心をもつようにする。その上で、毎回の授業のテーマと関連づけて考えてみる。 予習・復習を4時間程度行うこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクションー社会調査の目的と意義 2. 社会調査とはなにか1ー社会調査史 3. 社会調査とはなにか2ー社会とのかかわりと調査目的による分類 4. 日本における官公庁統計 5. 社会調査のプロセスー構想からデータ管理まで 6. 問題関心と仮説の設定 7. 量的調査1ー量的調査の種類と特徴 8. 量的調査2ー量的調査の実施プロセス 9. 質的調査1ー質的調査とはなにか 10. 質的調査2ー質的調査の種類と特徴 11. 質的調査3ー質的調査の実施プロセス 12. 調査倫理と社会調査の諸問題 13. 講義のまとめ 			

科目名	社会調査法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大淵 裕美		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題・小テスト(60%) ・定期試験(40%) <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業課題は、確認して次回授業時に共有します。 ・授業時にmanabaにて実施する小テストは、自動採点時に解答・解説が閲覧できるように設定します。 ・試験後、解答の解説を行います。 <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>なし</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>入門・社会調査法[第4版]—2ステップで基礎から学ぶ 著者名:轟亮・杉野勇・平沢和司 編 出版社:法律文化社 社会調査の基礎—社会調査士A・B・C・D科目対応 著者名:篠原清夫・清水強志・榎本環・大矢根淳 編 出版社:弘文堂 社会調査の基礎 著者名:北川由紀彦・山口恵子 出版社:放送大学教育振興会</p>			

科目名	社会調査法演習		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	大淵 裕美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>①多変量解析の基本的な考え方や意義・目的を説明できる。 ②分散分析の考え方を説明し、簡単な分析ができる。 ③重回帰分析の考え方を説明し、簡単な分析ができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>社会調査データの分析で用いる基礎的な多変量解析法について、基本的な考え方を理解し、それらのうちのいくつかについては、コンピュータを用いて実際に使用することのできる能力を習得する。受講者は講義をふまえて、自身でそれを応用したデータ分析を行うことを通して、実践可能性を高めていく。本科目は、社会調査士資格のE科目(多変量解析の方法に関する科目)に該当する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「社会調査法」で学修した内容を復習して臨むこと。 ・「生活統計学」の内容を踏まえて展開するため授業内容を事前に復習すること。 ・予習・復習を2時間程度行うこと。 <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1ガイダンス、多変量解析の概説 2社会統計学の基礎:変数、記述統計、推定・検定 3基本的な考え方①:関連と因果、統制変数 4基本的な考え方②:三元クロス、偏相関係数 5分散分析①:分散分析の概要、意義と目的 6分散分析②:一元配置分散分析の方法 7分散分析③:二元配置分散分析の意義と目的 8分散分析④:二元配置分散分析の方法と交互作用 9重回帰分析①:重回帰分析の概要、意義と目的 10重回帰分析②:決定係数と検定① 11重回帰分析③:決定係数と検定② 12重回帰分析④:標準化係数と多重共線性 13まとめ 				

科目名	社会調査法演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大淵 裕美		
<p>[成績評価方法] 毎授業時間中に行う課題・コメントシート(70%) 最終課題(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・課題は添削後返却する。 ・小テストはmanabaで実施し、自動採点及び解説が確認できるように設定する。 ・コメントシート・質問等については次回授業時に共有する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:課題、コメントシート、最終課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:課題、コメントシート、最終課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:課題、コメントシート、最終課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、コメントシート、最終課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、コメントシート、最終課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、コメントシート、最終課題</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 調査データ分析の基礎—JGSSデータとオンライン集計の活用 著者名:岩井紀子・保田時男 出版社:有斐閣 SPSSによる多変量解析 著者名:村瀬 洋一、高田 洋、廣瀬 毅士 出版社:オーム社 社会調査の応用—量的調査編:社会調査士E・G科目対応 著者名:金井雅之・小林盾・渡邊大輔 編 出版社:弘文堂 Excelで今すぐはじめる心理統計:簡単ツールHADで基本を身につける 著者名:小宮あすか・布井雅人 出版社:講談社 SPSSによる分散分析と多重比較の手順 第5版 著者名:石村 貞夫、石村 光資郎 出版社:東京書籍</p>			

科目名	住居計画学(製図を含む)		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	梶木 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 住生活に関する基礎的な知識を習得するとともに、住宅の計画設計(単位空間)ができるようになることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 豊かな生活は、人々が住む建物の周辺ばかりでなく、その地域(都市、農山村)が健康的で、安全性が確保され、より快適に暮らせるように計画された居住環境が整えられてはじめて実現できるといえる。本講義では、人間と自然環境の関係、より快適な住まい環境を実現するための設備機器、快適な人工環境による居住空間から生まれた新たな問題の発生、高齢化社会に対応するための環境要因、人工環境から環境共生に視点が向けられている現状など、住環境に関わる事柄を包括的に論じる。そして、これらの講義にもとづき、住宅計画および設計演習を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 住まいに関する文献を読んだり講演会を聞きに行ったり、国内外の住まいの事例を見に各地へ出かけ、住まい・暮らしへの関心を深めるようにする。</p> <p>[授業計画] 1. 住居計画学について、住まいとは 2. 住まいの歴史・間取りの変遷 3. 現代のライフスタイルと住まい 4. 人間工学・人体寸法 5. 人間工学・人間の行動特性 6. 西洋のインテリアの歴史 7. 西洋のインテリアの歴史:近代以降 8. 気候と暮らし、災害と暮らし 9. 住教育と自然災害 10. 住まいの管理 11. 住まいと環境:温熱環境・空気環境・視環境・音環境 12. 住まいの材料と構造 13. 設計演習:住まいの計画、住宅計画の考え方、寝室・LDKの設計1 14. 設計演習:寝室・LDKの設計2</p>				

科目名	住居計画学(製図を含む)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	梶木 典子		
<p>[成績評価方法] 授業中の小課題および小試験 (90%)、設計演習の作品 (10%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験終了後に、適宜解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 住まいのデザイン 著者名:北村 薫子(著),梶木 典子(著),中村 久美(著),光田 恵(著),齋藤 功子(著),& 4 その他 出版社:朝倉書店 (9784250000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	住空間設計実習		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	梶木 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 生活に対応した住宅設計の基礎を、課題として提示した平面図の作成と模型製作を通して具体的に理解する。</p> <p>[授業概要] 生活は、そこに住む人のライフステージ、家族構成、趣味や生活スタイルによって大きく変わる。その生活を入れる器である住居について、住む人に合わせた住居を設計することが大切である。本授業では、その設計を平面図、展開図で表し、あわせてその内容を模型で表現することを学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 平面図・断面図を読み取れるようになっておくこと。住宅設計の事例を学んでおくこと。 授業の前後に各回2時間程度の学習を要する。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の趣旨説明、住居設計の考え方、各室設計をする際の要点 2. 設定した家族の住宅設計①(家づくりシート) 3. 設定した家族の住宅設計②(家づくりコンセプト、イメージ、ゾーニング) 4. 設定した家族の住宅設計③(平面図) 5. 設定した家族の住宅設計④(平面図) 6. 設定した家族の住宅設計⑤(平面図、プランニングボードの完成) 7. 室内模型作製①(模型作製の基礎) 8. 室内模型作製②(躯体) 9. 室内模型作製③(躯体、家具) 10. 室内模型作製④(家具) 11. 室内模型作製⑤(家具) 12. 室内模型作製⑥(家具、組み立て) 13. プレゼンテーション、講評 				

科目名	住空間設計実習	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	梶木 典子		
<p>[成績評価方法] 提出された図面と模型(80%)、プレゼンテーション内容(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] プレゼンテーションにおいて作品の講評を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>[教科書(ISBN)] プリントを配布する。 一生使えるサイズ事典 住宅のリアル寸法 完全版 出版社:エクスナレッジ (476782978X)</p> <p>[参考書(ISBN)] 授業時に紹介する。</p>			

科目名	住空間設計実習		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	梶木 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 生活に対応した住宅設計の基礎を、課題として提示した平面図の作成と模型製作を通して具体的に理解する。</p> <p>[授業概要] 生活は、そこに住む人のライフステージ、家族構成、趣味や生活スタイルによって大きく変わる。その生活を入れる器である住居について、住む人に合わせた住居を設計することが大切である。本授業では、その設計を平面図、展開図で表し、あわせてその内容を模型で表現することを学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 平面図・断面図を読み取れるようになっておくこと。住宅設計の事例を学んでおくこと。 授業の前後に各回2時間程度の学習を要する。</p> <p>[授業計画] 1. 授業の趣旨説明、住居設計の考え方、各室設計をする際の要点 2. 設定した家族の住宅設計①(家づくりシート) 3. 設定した家族の住宅設計②(家づくりコンセプト、イメージ、ゾーニング) 4. 設定した家族の住宅設計③(平面図) 5. 設定した家族の住宅設計④(平面図) 6. 設定した家族の住宅設計⑤(平面図、プランニングボードの完成) 7. 室内模型作製①(模型作製の基礎) 8. 室内模型作製②(躯体) 9. 室内模型作製③(躯体、家具) 10. 室内模型作製④(家具) 11. 室内模型作製⑤(家具) 12. 室内模型作製⑥(家具、組み立て) 13. プレゼンテーション、講評</p>				

科目名	住空間設計実習	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	梶木 典子		
<p>[成績評価方法] 提出された図面と模型(80%)、プレゼンテーション内容(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] プレゼンテーションにおいて作品の講評を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>[教科書(ISBN)] プリントを配布する。 一生使えるサイズ事典 住宅のリアル寸法 完全版 出版社:エクスナレッジ (476782978X)</p> <p>[参考書(ISBN)] 授業時に紹介する。</p>			

科目名	住生活文化論	前期	2 単位
サブタイトル	日本と世界の住宅とくらし	講義	
担当者	砂本 文彦		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 世界と日本の住生活の多様性と歴史的展開を、生活文化のあり様に即して理解し、説明ができる。 また、住まいのかたちが生活様式、ひいては社会を作り出しているありようも説明できる。</p> <p>[授業概要] 世界と日本の住まいの多様な拡がりや歴史的展開について、生活文化のあり様と対応させて住まいのかたちを学んでいく。また、身近な住まいについても生活様式の器としてあることを理解できるようにする方法論を学ぶ。さらに、現代における課題や将来に向けての展望についても幅広く考察し、今後の家政学科における学修の基礎的な知見を備える。また、理解を深めるために学外での見学を行う場合がある。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日頃から世界や日本各地の住まいと生活のさまについて、関心を持っておくこと。図書館などで住まいにかかわる図録や写真集を見て知識を増やし、自身の生まれたところや旅先の住まいと生活についてどのようなものか意識して考えておくこと。各回、予習復習合わせて4時間程度します。</p> <p>[授業計画] 1.ひとの住まいとは？ 住生活における近年の著しい構造的変化 2.互いの暮らしから、住生活を学ぶ 3.住居の選択と管理 4.世界の住生活文化(気候風土に応じた住居) 5.住宅の構造と工法 6.原始時代の暮らし<竪穴住居><高床建物><平地住居> 7.古代の住まいと暮らし<寝殿造> 8.中世の住宅とその暮らし<主殿造><書院造> 9.近世の住宅とその暮らし<武家住宅><町家><農家> 10.近代の住宅とその暮らし<サラリーマンの住宅><田園都市><集合住宅> 11.現代の住宅とその暮らし 12.住宅地の諸相―なりわいと住まいの場所― 13.地域生活と住まい(社会環境と住居)と住生活文化論のまとめ</p>			

科目名	住生活文化論	前期	2 単位
サブタイトル	日本と世界の住宅とくらし	講義	
担当者	砂本 文彦		

[成績評価方法]

試験(70%)、レポート(30%)
試験とレポートについては、実施後に適宜解説を行います。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

課題については授業中に紹介するなどして、適宜フィードバックをします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

改訂版 図説日本住宅の歴史 著者名:平井 聖 出版社:学芸出版社(9784760000000)

[参考書(ISBN)]

なし

科目名	食生活文化論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	安原 美帆		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 食生活における文化面(人文・社会的側面)を学び、食の多様性を理解することをめざします。</p> <p>[授業概要] 食を人文・社会的側面から学び、食生活における文化の役割と価値を理解し、食の多様性を尊重できる力を養うことを目的として講義します。そして、自身の食への取り組みに結びつけて考察し、説明できる能力を養います。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎回の授業内容をよく理解しておいてください。特に、新しく学んだ用語や名称は、整理してまとめておいてください。 各回の授業についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 食生活と生活文化 2. 日本の食生活の変遷(1)古代から現代 3. 日本の食生活の変遷(2)食物選択の影響 4. 世界の食生活(1)世界の主食類型 5. 世界の食生活(2)世界の食事文化 6. 日本の食の多様性(1)小麦の利用と応用 7. 日本の食の多様性(2)和食(Washoku) 8. 日本の食の多様性(3)菓子からスイーツへの展開 9. 日本の食の多様性(4)飲み物の多様性 10. 食生活の道具(食具と食器) 11. 食生活と伝統文化(1)行事食(ハレの食) 12. 食生活と伝統文化(2)郷土食と郷土料理 13. 食のブランド化 			

科目名	食生活文化論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	安原 美帆		
<p>[成績評価方法] 小テスト(40%)、課題発表(20%)、レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストは回収後、manabaに模範解答を掲載します。 レポートは、後日添削して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:小テスト、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:課題発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:小テスト、レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] プリントを配布</p> <p>[参考書(ISBN)] 『改訂 食生活論』 著者名:川端晶子他 出版社:建帛社 (978-4-7679-0237-1) 『秘められた和食史』 著者名:カタジーナ・チフィエルトカ、安原美帆 出版社:新泉社 (978-4-7877-1601-1) 『Branding Japanese Food : From Meibutsu to Washoku (Food in Asia and the Pacific)』 著者名:Katarzyna J. Cwiertka with Yasuhara Miho 出版社:University of Hawaii Press (978-0824881211)</p>			

科目名	食品学総論	前期	2 単位
サブタイトル	食と健康	講義	
担当者	細見 和子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 食品の本質について理解し、基礎知識を習得することにより、心身ともに健康な生活が実践できるようになることを目指します。</p> <p>[授業概要] 科学技術や流通機構の発展により、手に入る食品の種類や量は今日非常に増加しており、豊かで健康な食生活を送るために、食品に関する正確な知識を持つことが重要になってきています。そこで、この食品学総論では、食品がどのような成分からできているか、栄養とのかかわりはどうか、食品の物性など食品の品質と食品成分との関わりはどうなっているのか、また、調理、加工、保存中にこれら食品成分がどのように変化するかなど、食品の本質について学びます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 「食品」に関連する情報に関心を持ち、資料として集積しておいてください。 講義内容の指定箇所の復習や次の授業の質問事項を考えておいてください。 各回講義について予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間と食品 2. 食品の成分(水分、たんぱく質、脂質) 3. 食品の分類(動物性食品 食肉類・魚介類) 4. 食品の分類(動物性食品 卵類・乳類) 5. 食品の成分(炭水化物、ビタミン・ミネラル) 6. 食品の分類(植物性食品 穀類・いも類・豆類・種実類) 7. 食品の分類(植物性食品 野菜類・果実類・きのこ類・藻類) 8. 食品の分類(調味料、香辛料、嗜好飲料) 9. 食品の嗜好成分 10. 食品成分の反応 11. 食品の物性 12. 食品の機能 13. 食品を取りまく現状の復習 			

科目名	食品学総論	前期	2 単位
サブタイトル	食と健康	講義	
担当者	細見 和子		

[成績評価方法]

課題レポート30%、理解度確認テスト70%で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

後日、解説を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。

成績評価方法:課題レポート30%、理解度確認テスト70%

学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。

成績評価方法:課題レポート30%、理解度確認テスト70%

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題レポート30%、理解度確認テスト70%

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:課題レポート30%、理解度確認テスト70%

[教科書(ISBN)]

食べ物と健康 食品学総論(演習問題付)【第3版】 著者名:谷口亜樹子編者 出版社:光生館 (978-4-332-04071-2)

必要に応じてプリントを配布する。

[参考書(ISBN)]

新版 食品学一総論・各論一 著者名:甲斐達男・石川洋哉 編 出版社:講談社 (978-4-06-522469-4)

食品学各論 著者名:瀬口正晴他 出版社:化学同人 (ISBN978-4-7598-0473-7)

食品学総論 著者名:森田潤司他 出版社:化学同人 (ISBN978-4-7598-0472-0)

科目名	食品学総論	前期	2 単位
サブタイトル	食と健康	講義	
担当者	細見 和子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 食品の本質について理解し、基礎知識を習得することにより、心身ともに健康な生活が実践できるようになることを目指します。</p> <p>[授業概要] 科学技術や流通機構の発展により、手に入る食品の種類や量は今日非常に増加しており、豊かで健康な食生活を送るために、食品に関する正確な知識を持つことが重要になってきています。そこで、この食品学総論では、食品がどのような成分からできているか、栄養とのかかわりはどうか、食品の物性など食品の品質と食品成分との関わりはどうなっているのか、また、調理、加工、保存中にこれら食品成分がどのように変化するかなど、食品の本質について学びます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 「食品」に関連する情報に関心を持ち、資料として集積しておいてください。 講義内容の指定箇所の復習や次の授業の質問事項を考えておいてください。 各回講義について予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間と食品 2. 食品の成分(水分、たんぱく質、脂質) 3. 食品の分類(動物性食品 食肉類・魚介類) 4. 食品の分類(動物性食品 卵類・乳類) 5. 食品の成分(炭水化物、ビタミン・ミネラル) 6. 食品の分類(植物性食品 穀類・いも類・豆類・種実類) 7. 食品の分類(植物性食品 野菜類・果実類・きのこ類・藻類) 8. 食品の分類(調味料、香辛料、嗜好飲料) 9. 食品の嗜好成分 10. 食品成分の反応 11. 食品の物性 12. 食品の機能 13. 食品を取りまく現状の復習 			

科目名	食品学総論	前期	2 単位
サブタイトル	食と健康	講義	
担当者	細見 和子		

[成績評価方法]

課題レポート30%、理解度確認テスト70%で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

後日、解説を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。

成績評価方法:課題レポート30%、理解度確認テスト70%

学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。

成績評価方法:課題レポート30%、理解度確認テスト70%

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題レポート30%、理解度確認テスト70%

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:課題レポート30%、理解度確認テスト70%

[教科書(ISBN)]

食べ物と健康 食品学総論(演習問題付)【第3版】 著者名:谷口亜樹子編者 出版社:光生館 (978-4-332-04071-2)

必要に応じてプリントを配布する。

[参考書(ISBN)]

新版 食品学一総論・各論一 著者名:甲斐達男・石川洋哉 編 出版社:講談社 (978-4-06-522469-4)

食品学各論 著者名:瀬口正晴他 出版社:化学同人 (ISBN978-4-7598-0473-7)

食品学総論 著者名:森田潤司他 出版社:化学同人 (ISBN978-4-7598-0472-0)

科目名	生活科学基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山根 千弘		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

家政学を学ぶ上で最低限必要な科学的な考え方を体得することを目標とする

[授業概要]

家政学の基本として、科学的な視野を持つことは重要である。この演習では、生活の基本をなす事象を対象に、主として化学を主体とした基本的な考え方、調べ方の方法を学ぶ。高等学校で化学や物理を本格的に学修してこなかった学生でも理解できるように、基礎的な事項からスタートするように計画してある。演習を通して自分の目と手で確かめながら、基礎的な事項を習得する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

高校の化学, 特に有機化学の知識があるほうが好ましい。レポートの作成などで2時間程度。

[授業計画]

1. 生活科学基礎演習の概要説明
2. レポートの書き方、演習・実験の説明
3. レポートの書き方、演習・実験の説明
4. 基本操作1:容量測定
5. 基本操作2:中和滴定
6. 水の精製1:イオン交換、吸着
7. 水の精製2:蒸留と不純物測定
8. インジゴによる染色1:インジゴの染浴の調整
9. インジゴによる染色2:インジゴによる絞り染め
10. せっけんと洗浄1:せっけんの製造
11. せっけんと洗浄2:洗浄力測定
12. 繊維の製造1:キュブラの紡糸
13. 繊維の製造2:ナイロンの合成

科目名	生活科学基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山根 千弘		
<p>[成績評価方法] レポート(100%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 提出されたレポートへのフィードバック</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし(プリント配布)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし(プリント配布)</p>			

科目名	生活環境学	後期	2 単位
サブタイトル	環境とエネルギーそして社会のあり方	講義	
担当者	貝増 匡俊		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境やエネルギーに関する知識が増える。(家政2-1、家政3-3) ・環境とエネルギーが関連付けられ、これからの私たちの生活がどのようにすべきなのかについて多面的に考えることができる。(家政3-2) ・コモンズなどの概念を実際の事例に適用して考えることができようになる。(家政3-3) <p>[授業概要]</p> <p>私たちの生活では資源やエネルギーを使って、様々な活動を行っており、社会的経済的な活動には必要不可欠である。しかし、1990年に入り、地球の温暖化(気候変動)による異常気象などが頻繁に起こるようになり、環境面を考慮した持続可能な(サステナブル)な資源やエネルギーの利用を行っていく必要が出てきた。SDGsやパリ協定などに見られるように世界的に温室効果ガスの排出量を削減する動きが見られる。本授業では、環境、資源やエネルギーの利用、エネルギー政策及び資源・エネルギーに関する諸問題について議論するための基礎的知識を学ぶ。その上で、資源・エネルギーの利用に関する現状と持続可能な社会における資源・エネルギーの選択・利用のあり方について考えていく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>レジュメ及び資料は事前配布するので、授業前には必ず読んでおいて下さい。また専門用語も多いことから、予習でわからない用語があれば事前に調べておいて下さい。授業後は一度は振り返りの復習は必ずして下さい。(予習、復習、宿題を含めて毎回4時間程度)</p> <p>[授業計画]</p> <p>第 1回:身の回りの環境(イントロダクション)</p> <p>第 2回:コモンズとは(反転授業)</p> <p>第 3回:コモンズの悲劇(反転授業)</p> <p>第 4回:気候変動(温暖化)(1)</p> <p>第 5回:気候変動(温暖化)(2) ~世界のトレンド(京都議定書、パリ協定)~</p> <p>第 6回:パリ協定と神戸市の環境政策</p> <p>第 7回:衣食住と環境</p> <p>第 8回:廃棄物(1)</p> <p>第 9回:廃棄物(2)</p> <p>第10回:電力政策(3S+E)</p> <p>第11回:SDGの事例紹介(再生可能エネルギー)</p> <p>第12回:SDGの事例紹介(分散電源、省エネ・スマートグリッド)</p> <p>第13回:まとめ</p>			

科目名	生活環境学	後期	2 単位
サブタイトル	環境とエネルギーそして社会のあり方	講義	
担当者	貝増 匡俊		

[成績評価方法]

宿題 2回(40%)、manabaへの書き込み(授業での貢献度)(10%)、試験(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

宿題は返却します。
試験後、解答の解説を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

レジュメを配布します

科目名	生活環境学	後期	2 単位
サブタイトル	環境とエネルギーそして社会のあり方	講義	
担当者	貝増 匡俊		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境やエネルギーに関する知識が増える。(家政2-1、家政3-3) ・環境とエネルギーが関連付けられ、これからの私たちの生活がどのようにすべきなのかについて多面的に考えることができる。(家政3-2) ・コモンズなどの概念を実際の事例に適用して考えることができようになる。(家政3-3) <p>[授業概要]</p> <p>私たちの生活では資源やエネルギーを使って、様々な活動を行っており、社会的経済的な活動には必要不可欠である。しかし、1990年に入り、地球の温暖化(気候変動)による異常気象などが頻繁に起こるようになり、環境面を考慮した持続可能な(サステナブル)な資源やエネルギーの利用を行っていく必要が出てきた。SDGsやパリ協定などに見られるように世界的に温室効果ガスの排出量を削減する動きが見られる。本授業では、環境、資源やエネルギーの利用、エネルギー政策及び資源・エネルギーに関する諸問題について議論するための基礎的知識を学ぶ。その上で、資源・エネルギーの利用に関する現状と持続可能な社会における資源・エネルギーの選択・利用のあり方について考えていく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>レジュメ及び資料は事前配布するので、授業前には必ず読んでおいて下さい。また専門用語も多いことから、予習でわからない用語があれば事前に調べておいて下さい。授業後は一度は振り返りの復習は必ずして下さい。(予習、復習、宿題を含めて毎回4時間程度)</p> <p>[授業計画]</p> <p>第 1回:身の回りの環境(イントロダクション)</p> <p>第 2回:コモンズとは(反転授業)</p> <p>第 3回:コモンズの悲劇(反転授業)</p> <p>第 4回:気候変動(温暖化)(1)</p> <p>第 5回:気候変動(温暖化)(2) ~世界のトレンド(京都議定書、パリ協定)~</p> <p>第 6回:パリ協定と神戸市の環境政策</p> <p>第 7回:衣食住と環境</p> <p>第 8回:廃棄物(1)</p> <p>第 9回:廃棄物(2)</p> <p>第10回:電力政策(3S+E)</p> <p>第11回:SDGの事例紹介(再生可能エネルギー)</p> <p>第12回:SDGの事例紹介(分散電源、省エネ・スマートグリッド)</p> <p>第13回:まとめ</p>			

科目名	生活環境学	後期	2 単位
サブタイトル	環境とエネルギーそして社会のあり方	講義	
担当者	貝増 匡俊		

[成績評価方法]

宿題 2回(40%)、manabaへの書き込み(授業での貢献度)(10%)、試験(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

宿題は返却します。
試験後、解答の解説を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

レジュメを配布します

科目名	生活経営学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	ガンガ 伸子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 生活を経営(マネジメント)することの意味を理解すること。 家族関係と生活経済に関する基礎的内容を理解すること。</p> <p>[授業概要] 私たちは、ヒト、モノ、ココロ、時間などの生活資源をもっており、それらを活用して幸福な生活を送りたいと願っている。本授業では、社会とのかかわり中で、生活をマネジメントするというのはどういうことかを考えていく。具体的には、家族・家庭や個人のあり方、生活経済のしくみ、さらにリスクや生活保障に関する内容を学習することから、生活経営の課題について解説する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 「くらしの経済学」を履修していること。 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 生活経営の内容は、家族、家庭、生活経済、生活保障等多岐にわたる。日ごろから、生活経営に関する話題に関心をもつこと。</p> <p>[授業計画] 1. イントロダクション、家族を考える:変容する家族 2. 家族を考える:ゆれる男女の役割と家族、これからの家族を考える 3. 女性の就労 4. 国民経済の中の家計 5. 家計のしくみ 6. ライフステージの各段階での家計 7. 現在と将来の生活バランス 8. 社会の変化と家庭経済の変容 9. 消費社会を生きる(消費者問題の現在、コンシューマリズムの確立と消費者の権利) 10. 消費社会を生きる(消費者の行動と消費者主権:市場経済と消費者主権、購入と消費者行動) 11. 生活におけるリスクと生活保障 12. 子どもと育つ 13. 老いを生きる、まとめ 外部講師による生活設計・リスク管理の講座も予定している。</p>			

科目名	生活経営学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	ガンガ 伸子		
<p>[成績評価方法] 30分以上の遅刻は欠席とみなす。 授業時における小テストと課題評価(30%)、定期試験(70%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時に、小テストと課題のポイントを解説する。 定期試験は授業時の解説をもとに、自己採点すること。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)]</p>			

S70070 [HHS1-001]

科目名	生活経済学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	ガンガ 伸子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 経済社会の中で個人や家族の位置づけ、家計のしくみを理解できるよう、家計や消費者に関する経済学の基礎概念を習得する。また、家計に関する統計資料の解析ができ、家計の実態や課題を見つけるための手法も身につける。さらに、現状を踏まえ社会とのかかわりにおいて、家計の課題について考えることを目標とする。</p> <p>[授業概要] はじめに、経済社会における生活者や家計の役割について学ぶ。次に、家計や消費者に関する経済学の基礎理論について理解し、統計資料の読み取りから家計の実態について学んでいく。また、家計費分析を実際に行い、家計の実態や課題について考察できるような分析力を身につける。 次に、家計の時系列変化から、私たちの暮らしがどのように変わってきたかを知り、将来はどのような方向に進むかについても考えてみる。自分自身の生活デザインのためにも、生活設計の考え方や手法についても学習する。夫婦の家計管理についても考えてみる。 さらには、格差・貧困や消費者問題など、身の回りの生活経済に関わる課題についても理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 「くらしの経済学」「生活経営学」を履修していること。 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 日々行っている経済活動について、関心をもってみること。 新聞等の経済ニュースを読むこと。</p> <p>[授業計画] 1. イントロダクション、生活の経済(生活経済の構造、国民経済と家計、ゆたかさを測る、生活の単位) 2. 家計に関する基礎概念と家計調査(収入と支出) 3. 家計に関する基礎概念と家計調査(フローとストック) 4. 家計に関する基礎概念と家計調査(物価の変動-名目値と実質値-)、家計の統計) 5. 家計にみるくらしの変化(収入の変化、支出の変化) 6. 家計にみるくらしの変化(平均消費性向の推移、ストックの変化) 7. 生活の設計とリスク 8. 賃金と所得格差・貧困、家計にみる地域差 9. 消費社会と家計-消費行動 10. 消費社会と家計問題 11. 生活と金融 12. 妻と夫の経済関係 13. まとめ</p>			

科目名	生活経済学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	ガンガ 伸子		
<p>[成績評価方法] 30分以上の遅刻は欠席とみなす。 授業時の小テストと課題評価(20%)、定期試験(80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時の小テストと課題については、授業時間内に解答のポイントを解説する。 定期試験は授業時の解説をもとに、自己採点すること。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 生活経済学(改訂新版) 著者名:重川純子 出版社:放送大学教育振興会 (9784600000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] 『はじめての金融リテラシー』 著者名:奥田真之・大藪千穂 出版社:昭和堂 (978-4-8122-1721-4)</p>			

K73100 [HHS2-005]

科目名	生活経済学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	ガンガ 伸子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>経済社会の中で個人や家族の位置づけ、家計のしくみを理解できるよう、家計や消費者に関する経済学の基礎概念を習得する。また、家計に関する統計資料の解析ができ、家計の実態や課題を見つけるための手法も身につける。さらに、現状を踏まえ社会とのかかわりにおいて、家計の課題について考えることを目標とする。</p> <p>[授業概要]</p> <p>はじめに、経済社会における生活者や家計の役割について学ぶ。次に、家計や消費者に関する経済学の基礎理論について理解し、統計資料の読み取りから家計の実態について学んでいく。また、家計費分析を実際に行い、家計の実態や課題について考察できるような分析力を身につける。</p> <p>次に、家計の時系列変化から、私たちの暮らしがどのように変わってきたかを知り、将来はどのような方向に進むかについても考えてみる。自分自身の生活デザインのためにも、生活設計の考え方や手法についても学習する。夫婦の家計管理についても考えてみる。</p> <p>さらには、格差・貧困や消費者問題など、身の回りの生活経済に関わる課題についても理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>「くらしの経済学」「生活経営学」を履修していること。 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 日々行っている経済活動について、関心をもってみること。 新聞等の経済ニュースを読むこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション、生活の経済(生活経済の構造、国民経済と家計、ゆたかさを測る、生活の単位) 2. 家計に関する基礎概念と家計調査(収入と支出) 3. 家計に関する基礎概念と家計調査(フローとストック) 4. 家計に関する基礎概念と家計調査(物価の変動-名目値と実質値-、家計の統計) 5. 家計にみるくらしの変化(収入の変化、支出の変化) 6. 家計にみるくらしの変化(平均消費性向の推移、ストックの変化) 7. 生活の設計とリスク 8. 賃金と所得格差・貧困、家計にみる地域差 9. 消費社会と家計-消費行動 10. 消費社会と家計問題 11. 生活と金融 12. 妻と夫の経済関係 13. まとめ 			

科目名	生活経済学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	ガンガ 伸子		
<p>[成績評価方法] 30分以上の遅刻は欠席とみなす。 授業時の小テストと課題評価(20%)、定期試験(80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時の小テストと課題については、授業時間内に解答のポイントを解説する。 定期試験は授業時の解説をもとに、自己採点すること。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 生活経済学(改訂新版) 著者名:重川純子 出版社:放送大学教育振興会 (9784600000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] 『はじめての金融リテラシー』 著者名:奥田真之・大藪千穂 出版社:昭和堂 (978-4-8122-1721-4)</p>			

S73100 [HHS2-005]

科目名	生活経済学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	ガンガ 伸子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>経済社会の中で個人や家族の位置づけ、家計のしくみを理解できるよう、家計や消費者に関する経済学の基礎概念を習得する。また、家計に関する統計資料の解析ができ、家計の実態や課題を見つけるための手法も身につける。さらに、現状を踏まえ社会とのかかわりにおいて、家計の課題について考えることを目標とする。</p> <p>[授業概要]</p> <p>はじめに、経済社会における生活者や家計の役割について学ぶ。次に、家計や消費者に関する経済学の基礎理論について理解し、統計資料の読み取りから家計の実態について学んでいく。また、家計費分析を実際に行い、家計の実態や課題について考察できるような分析力を身につける。</p> <p>次に、家計の時系列変化から、私たちの暮らしがどのように変わってきたかを知り、将来はどのような方向に進むかについても考えてみる。自分自身の生活デザインのためにも、生活設計の考え方や手法についても学習する。夫婦の家計管理についても考えてみる。</p> <p>さらには、格差・貧困や消費者問題など、身の回りの生活経済に関わる課題についても理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>経済学の基礎知識を有していることが望ましい。 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 日々行っている経済活動について、関心をもってみること。 新聞等の経済ニュースを読むこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション、生活の経済(生活経済の構造、国民経済と家計、ゆたかさを測る、生活の単位) 2. 家計に関する基礎概念と家計調査(収入と支出) 3. 家計に関する基礎概念と家計調査(フローとストック) 4. 家計に関する基礎概念と家計調査(物価の変動-名目値と実質値-、家計の統計) 5. 家計にみる暮らしの変化(収入の変化、支出の変化) 6. 家計にみる暮らしの変化(平均消費性向の推移、ストックの変化) 7. 生活の設計とリスク 8. 賃金と所得格差・貧困、家計にみる地域差 9. 消費社会と家計-消費行動 10. 消費社会と家計問題 11. 生活と金融 12. 妻と夫の経済関係 13. まとめ 			

科目名	生活経済学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	ガンガ 伸子		
<p>[成績評価方法] 30分以上の遅刻は欠席とみなす。 授業時の小テストと課題評価 (20%)、定期試験 (80%)</p> <p>[課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法] 授業時の小テストと課題については、授業時間内に解答のポイントを解説する。 定期試験は授業時の解説をもとに、自己採点すること。</p> <p>[オフィスアワー (質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)]</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 家政1-1 / 生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 家政1-2 / 家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 家政1-3 / 人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 家政2-1 / 社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 家政2-2 / 社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 家政3-1 / 社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 家政3-2 / よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 家政3-3 / 責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 多様性理解 / 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 論理的思考力 / 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 問題発見力 / 現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 計画・実行力 / 課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 生活経済学 (改訂新版) 著者名: 重川純子 出版社: 放送大学教育振興会 (9784600000000)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 『はじめての金融リテラシー』 著者名: 奥田真之・大藪千穂 出版社: 昭和堂 (978-4-8122-1721-4)</p>			

S73100F [HHS2-005]

科目名	生活材料学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山根 千弘		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	授業内小テストとそのディスカッション	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

生活関連科学、衣・食・住に関連の専門領域を検討する際のベースとなる科目なので、材料に関する基本的知見を修得することを第一の目標にする。材料の種類は有機材料、無機材料など広範に取り扱う。その中で、被服材料はもとより、インテリア材料に関してもカーテン、カーペット、ソファーをはじめ家具・調度品にいたるまで高分子材料が広範に用いられているため、これについては注力して教授する。さらに、最終製品へあたえる材料の影響を理解し、生活に関する製品の設計をするための基盤を修得することも目標である。

[授業概要]

まず有機材料、無機材料などすべての材料に関して、幅広く概説する。有機材料に関しては、繊維高分子材料や木材、プラスチック材料などであり、無機材料に関しては金属、セラミック、セメントなどであり、それぞれの特徴、位置付けなどを学修する。この中で、繊維高分子材料は、被服やインテリア材料として幅広く用いられるので特に重点的に学修する。被服やインテリアとして材料を使いこなすには、材料を単に感覚的に理解するだけでなく、その構造や性質を深く理解しておく必要がある。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

身の廻りの「もの」について有機材料、無機材料という観点で調べておく。具体的には繊維素材、プラスチック、ゴム、ガラス、陶器、金属などがキーワードとなる。予習復習4時間程度。

[授業計画]

1. 生活材料の概説①
2. 生活材料の概説②
3. 衣生活材料の分類と特性①
4. 衣生活材料の分類と特性②
5. 衣生活材料の分類と特性③
6. 住生活材料の分類と特性①
7. 住生活材料の分類と特性②
8. 住生活材料の分類と特性③
9. 食生活材料の分類と特性①
10. 食生活材料の分類と特性②
11. 食生活材料の分類と特性③
12. これからの生活材料のあり方
13. まとめ

科目名	生活材料学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山根 千弘		
<p>[成績評価方法] 試験(100%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 次週の授業などでフィードバック</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 配布資料(該当しない)</p> <p>[参考書(ISBN)] 衣服材料の科学(第3版) 著者名:島崎恒蔵編著 出版社:建帛社(9784770000000)</p>			

科目名	生活情報処理	後期	1 単位
サブタイトル	情報機器の操作と活用	演習	
担当者	平田 真弓		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 授業を通して、次のことを目標とします。 ①各種のビジネスソフトを活用するスキルをさらに向上させる ② ICTを使って適切なコミュニケーションをとることができる ③情報社会にふさわしいモラルを身に付け、実践できる</p> <p>[授業概要] 現代は様々なメディアから膨大な情報が提供される。この中から必要な情報を取捨選択し、整理・集計していかに効果的で効率よく情報を活用していくのが重要になってくる。表計算ソフトやプレゼンテーションソフト等を利用した情報の効率的な活用方法について学習する。さらに、情報通信の活用を通じ、情報伝達の方法を学習する。現代では、インターネット犯罪が増加傾向にある。そこで表計算ソフトやプレゼンテーションソフト等を利用した情報の活用方法について学習すると共に、情報モラル・ネットワーク利用のエチケットやセキュリティを学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 課題に取り組むことで(30分程度)次の授業への意欲が増すため、復習をしておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. 授業ガイダンス 2. 関数と数式の基礎 3. 関数と数式の応用 4. データベースの活用(並べ替え、検索) 5. データベースの活用(クロス集計) 6. グラフの基礎 7. グラフの応用 8. プレゼンテーションソフトウェアの概要と効果的なプレゼンテーション方法 9. プレゼンテーションの作成 10. 操作の自動化 11. インターネットの仕組み 12. 情報モラルと情報セキュリティ 13. まとめと学習成果確認、解説</p>			

科目名	生活情報処理	後期	1 単位
サブタイトル	情報機器の操作と活用	演習	
担当者	平田 真弓		

[成績評価方法]

課題作成(70%)、レポート課題(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

レポートや課題については、個別に直接問題点等を指摘し改善を求めます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。

成績評価方法:課題 レポート

学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。

成績評価方法:課題 レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:課題 レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:課題 レポート

[教科書(ISBN)]

なし

[参考書(ISBN)]

プリント配布

科目名	生活統計学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宇野 伸孝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>様々なデータをネットや書籍等から収集し、Excelで整理や管理ができるようなスキルを身につける。そして、そのデータから統計的手法を用いた基本的な分析ができるようになる。</p> <p>なお、本講義は社会調査士カリキュラム【D科目】に該当する。</p> <p>[授業概要]</p> <p>世の中は多種多様なデータで溢れている。身近なところでは学校の成績や摂取カロリー、GDPや株価などの経済データ、他にも気象情報やスポーツの記録、テレビの視聴率等々。データの一つひとつは何の変哲もない数値だとしても、それらが集まることで意味を持ち、傾向や特性を読み取ることができる。</p> <p>ただ、我々はデータを主観で捉えがちなので、様々な場面での判断基準を明確にするためには、客観性を伴った説得力のある分析が不可欠となる。統計学とは、そのために必要な手法や理論を学ぶ学問である。</p> <p>この授業では、主にExcelを使いながら基本的な統計学を学習することに重きを置く。毎回の例題や課題を解いていくことで理解を深めてもらいたい。また、別途Excelの自習問題を配布するとともに、解説ビデオを配信する予定である。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>毎回の予習として、教科書の該当範囲を読み、分からないことをまとめておくこと(2時間程度)。Excelの基本操作(簡単な計算やグラフ作成)ができることが望ましい。また、日頃からExcelの操作に慣れるために、必ず前回の例題や課題を復習すること(2時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> Excelの基本練習とデータ収集 記述統計学の基礎(1) 度数分布表とヒストグラム 記述統計学の基礎(2) 代表値、分散と標準偏差 相関分析(1) クロス表 相関分析(2) 相関係数 相関分析(3) 疑似相関 確率理論の基礎(1) 確率と確率変数、確率分布 確率理論の基礎(2) 正規分布 推測統計学の基礎(1) 点推定と区間推定 推測統計学の基礎(2) 基本的な検定方法 推測統計学の基礎(3) 様々な検定 回帰分析(1) 単回帰と決定係数 回帰分析(2) 重回帰とt検定、F検定 			

科目名	生活統計学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宇野 伸孝		
<p>[成績評価方法] 授業内課題(60%)、試験もしくは最終レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題の提出と採点結果の提示にはmanabaを利用し、詳しい解説は次回授業冒頭で行う。なお、試験もしくは最終レポートの解答・解説及び返却は予定していない。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 社会科学のための統計学入門—実例からていねいに学ぶ 著者名:毛塚和宏 出版社:講談社 (978-4-06-528450-6)</p> <p>[参考書(ISBN)] 例題で学ぶ 初歩からの統計学[第2版] 著者名:白砂堤津耶 出版社:日本評論社 (978-4-5355-5790-1) 統計学 改訂版 著者名:森棟公夫他 出版社:有斐閣 (978-4-6410-5380-9) 文系のための統計学の教室 著者名:涌井良幸、涌井貞美 出版社:SB Creative (978-4-8156-0153-9)</p>			

K70130 [HHS2-006]

科目名	生活統計学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宇野 伸孝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

様々なデータをネットや書籍等から収集し、Excelで整理や管理ができるようなスキルを身につける。そして、そのデータから統計的手法を用いた基本的な分析ができるようになる。
 なお、本講義は社会調査士カリキュラム【D科目】に該当する。

[授業概要]

世の中は多種多様なデータで溢れている。身近なところでは学校の成績や摂取カロリー、GDPや株価などの経済データ、他にも気象情報やスポーツの記録、テレビの視聴率等々。データの一つひとつは何の変哲もない数値だとしても、それらが集まることで意味を持ち、傾向や特性を読み取ることができる。

ただ、我々はデータを主観で捉えがちなので、様々な場面での判断基準を明確にするためには、客観性を伴った説得力のある分析が不可欠となる。統計学とは、そのために必要な手法や理論を学ぶ学問である。

この授業では、主にExcelを使いながら基本的な統計学を学習することに重きを置く。毎回の例題や課題を解いていくことで理解を深めてもらいたい。また、別途Excelの自習問題を配布するとともに、解説ビデオを配信する予定である。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

毎回の予習として、教科書の該当範囲を読み、分からないことをまとめておくこと(2時間程度)。Excelの基本操作(簡単な計算やグラフ作成)ができることが望ましい。また、日頃からExcelの操作に慣れるために、必ず前回の例題や課題を復習すること(2時間程度)。

[授業計画]

- Excelの基本練習とデータ収集
- 記述統計学の基礎(1) 度数分布表とヒストグラム
- 記述統計学の基礎(2) 代表値、分散と標準偏差
- 相関分析(1) クロス表
- 相関分析(2) 相関係数
- 相関分析(3) 疑似相関
- 確率理論の基礎(1) 確率と確率変数、確率分布
- 確率理論の基礎(2) 正規分布
- 推測統計学の基礎(1) 点推定と区間推定
- 推測統計学の基礎(2) 基本的な検定方法
- 推測統計学の基礎(3) 様々な検定
- 回帰分析(1) 単回帰と決定係数
- 回帰分析(2) 重回帰とt検定、F検定

科目名	生活統計学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宇野 伸孝		
<p>[成績評価方法] 授業内課題(60%)、試験もしくは最終レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題の提出と採点結果の提示にはmanabaを利用し、詳しい解説は次回授業冒頭で行う。なお、試験もしくは最終レポートの解答・解説及び返却は予定していない。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 社会科学のための統計学入門—実例からていねいに学ぶ 著者名:毛塚和宏 出版社:講談社 (978-4-06-528450-6)</p> <p>[参考書(ISBN)] 例題で学ぶ 初歩からの統計学[第2版] 著者名:白砂堤津耶 出版社:日本評論社 (978-4-5355-5790-1) 統計学 改訂版 著者名:森棟公夫他 出版社:有斐閣 (978-4-6410-5380-9) 文系のための統計学の教室 著者名:涌井良幸、涌井貞美 出版社:SB Creative (978-4-8156-0153-9)</p>			

科目名	生活統計学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宇野 伸孝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>様々なデータをネットや書籍等から収集し、Excelで整理や管理ができるようなスキルを身につける。そして、そのデータから統計的手法を用いた基本的な分析ができるようになる。</p> <p>なお、本講義は社会調査士カリキュラム【D科目】に該当する。</p> <p>[授業概要]</p> <p>世の中は多種多様なデータで溢れている。身近なところでは学校の成績や摂取カロリー、GDPや株価などの経済データ、他にも気象情報やスポーツの記録、テレビの視聴率等々。データの一つひとつは何の変哲もない数値だとしても、それらが集まることで意味を持ち、傾向や特性を読み取ることができる。</p> <p>ただ、我々はデータを主観で捉えがちなので、様々な場面での判断基準を明確にするためには、客観性を伴った説得力のある分析が不可欠となる。統計学とは、そのために必要な手法や理論を学ぶ学問である。</p> <p>この授業では、主にExcelを使いながら基本的な統計学を学習することに重きを置く。毎回の例題や課題を解いていくことで理解を深めてもらいたい。また、別途Excelの自習問題を配布するとともに、解説ビデオを配信する予定である。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>毎回の予習として、教科書の該当範囲を読み、分からないことをまとめておくこと(2時間程度)。Excelの基本操作(簡単な計算やグラフ作成)ができることが望ましい。また、日頃からExcelの操作に慣れるために、必ず前回の例題や課題を復習すること(2時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> Excelの基本練習とデータ収集 記述統計学の基礎(1) 度数分布表とヒストグラム 記述統計学の基礎(2) 代表値、分散と標準偏差 相関分析(1) クロス表 相関分析(2) 相関係数 相関分析(3) 疑似相関 確率理論の基礎(1) 確率と確率変数、確率分布 確率理論の基礎(2) 正規分布 推測統計学の基礎(1) 点推定と区間推定 推測統計学の基礎(2) 基本的な検定方法 推測統計学の基礎(3) 様々な検定 回帰分析(1) 単回帰と決定係数 回帰分析(2) 重回帰とt検定、F検定 			

科目名	生活統計学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宇野 伸孝		
<p>[成績評価方法] 授業内課題(60%)、試験もしくは最終レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題の提出と採点結果の提示にはmanabaを利用し、詳しい解説は次回授業冒頭で行う。なお、試験もしくは最終レポートの解答・解説及び返却は予定していない。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 社会科学のための統計学入門—実例からていねいに学ぶ 著者名:毛塚和宏 出版社:講談社 (978-4-06-528450-6)</p> <p>[参考書(ISBN)] 例題で学ぶ 初歩からの統計学[第2版] 著者名:白砂堤津耶 出版社:日本評論社 (978-4-5355-5790-1) 統計学 改訂版 著者名:森棟公夫他 出版社:有斐閣 (978-4-6410-5380-9) 文系のための統計学の教室 著者名:涌井良幸、涌井貞美 出版社:SB Creative (978-4-8156-0153-9)</p>			

科目名	生活プロジェクト応用演習		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	大淵 裕美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族関係学分野に関する知識を活用し、それに関連する具体的なテーマを設定し、実証的な方法を用いて分析・考察することができる。 ・社会調査の全過程(企画、設計、実施、分析・考察、報告書作成)に関わることで、質的調査に必要な知識とスキルを獲得することができる。 <p>[授業概要]</p> <p>家族関係学分野に関する具体的な研究課題を設定し、質的調査の手法を用いて、調査の企画から報告書作成といった全過程を体系的に学習する。本授業では、家族関係学分野の中でも「大学生の生活文化と家族関係の影響」という共通テーマのもと、受講者の関心(生活文化の種類、文化的活動歴、文化的活動への時間的・金銭的投資度、家族の文化的活動の有無、生活文化の世代間伝達の程度、文化的活動への家族の理解度、居住地域と文化的活動拠点へのアクセスの程度など)に基づいて、問いを設定する。本学学生生活文化と家族関係を多角的に把握することを念頭に置きつつ、調査の準備、企画・設計、実施、分析、考察、成果報告書の作成まで行う。なお、社会調査士資格のG科目に該当する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「社会調査法」「生活プロジェクト基礎演習」で学習した内容を復習しておくこと。 ・「大学生の趣味と家族関係」というテーマについて、自身の関心事を明確にしたうえで、授業に臨むこと。 ・予習・復習合わせて2時間程度行うこと。 <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.イントロダクション 2.問題意識の明確化とブレインストーミング 3.テーマの決定と先行研究の調査(1) 4.テーマの決定と先行研究の調査(2) 5.仮説構成(1) 6.仮説構成(2) 7.インタビューの設計(1) 8.インタビューの設計(2) 9.インタビューの練習 10.インタビュー対象者の選定 11.調査準備(1) 12.調査準備(2) 13.調査要領・実施上の注意 14.調査実施(1) 15.調査実施(2) 16.トランスクリプトの作成(1) 17.トランスクリプトの作成(2) 18.インタビューデータ分析(1) 19.分析結果の中間発表とディスカッション 20.インタビューデータ分析(2) 21.考察(1) 22.考察の中間発表とディスカッション 23.考察(2) 24.報告書原稿作成(1) 25.報告書原稿作成(2) 26.報告書作成、総括 				

科目名	生活プロジェクト応用演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大淵 裕美		
<p>[成績評価方法] 毎回の授業課題・プレゼンテーション・ディスカッション(40%)、最終レポート(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・課題、コメントシート、レポートは、提出後にフィードバックを行う。 ・プレゼンテーションは、実施直後にフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、ディスカッション、最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、ディスカッション、最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、ディスカッション、最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、ディスカッション、最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、ディスカッション、最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、ディスカッション、最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、ディスカッション、最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、ディスカッション、最終レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、ディスカッション、最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、ディスカッション、最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、ディスカッション、最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、ディスカッション、最終レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 質的社会調査の方法—他者の合理性の理解社会学 著者名:岸政彦・石岡丈昇・丸山里美 出版社:有斐閣 質的調査の方法[第3版]—都市・文化・メディアの感じ方 著者名:工藤保則・寺岡伸悟・宮垣元 編 出版社:法律文化社 最強の社会調査入門—これから質的調査をはじめるときのために 著者名:前田拓也・秋谷直矩・朴沙羅・木下衆 出版社:ナカニシヤ出版</p>			

S73170 [HHI3-018]

科目名	生活プロジェクト応用演習		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	貝増 匡俊			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> 与えられた課題に対する理解が深まり、ロジカルな分析ができる。 具体的な解決策を複数考えることができるようになり、複眼的な視点から課題を考えることができる。 プロジェクトの計画立案手法が習得できる。 具体的な解決策や目標などを設定して作成した計画に基づき実行する実行力がつく。 グループワークを通して、チームワーク、リーダーシップやフォローシップ等が求められるため個々の倫理観、責任感などが強化される。 <p>[授業概要]</p> <p>プロジェクトサイクルマネジメント(PCM)手法を適用した数多くのプロジェクトを経験した教員が本演習を指導します。本演習ではこれまでの演習や社会調査法などで学んだ事を実践する場とし、履修生が主体的に演習を進めます。予め設定したテーマ(2021年度はSDGS×神戸女子大学)に沿って、問題分析、計画立案を行いながらプロジェクトを実施して、振り返りを行います。状況によっては学外で協働する場合があります。前半は分析手法として、①フィールドワークでの観察②SWOT分析③問題ツリー④関係者分析など生活プロジェクト論で学んだ手法を使って、計画立案します。後半は、提案したプロジェクトを実施します。最後にプロジェクトのモニタリング、評価を行います。なお、グループの中での役割、責任、コミュニケーションは重要になります。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>レポートなどがあり、宿題や調査文献を読んで事前事後に学習してください。事後はルーブリックを使って振り返りを行って下さい。授業外での作業が場合によりあります。(各回予習復習合わせて4時間程度)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> ガイダンス テーマ設定 目標設定 学外研修事前学習(1) 学外研修事前学習(2) フィールド調査(1) フィールド調査(2) フィールド調査のまとめ 事例調査とSWOT分析 関係者分析 問題分析(1) 問題分析(2) プロジェクト企画案 中間発表の準備 中間発表 計画書作成 関係者との調整 グループ毎での活動1 グループ毎での活動2 グループ毎での活動3 途中経過報告 グループ毎での活動4 グループ毎での活動5 レポートテイング・評価方法 グループ報告書作成 発表&振り返りのレポート作成 <p>※進行状況を確認しながら、演習を進めるため内容に変更が生じることがあります。</p>				

科目名	生活プロジェクト応用演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	貝増 匡俊		
<p>[成績評価方法] manabaへの書き込み(40%)、最終レポート(グループ及び個人レポート)や発表用スライド(50%)、発表(10%)※</p> <p>※ルーブリックに基づく</p> <p>なお、グループワークを基本とするので欠席するとグループのメンバーの作業が増えるため、必ず出席すること。3回以上休むと単位は認められないこととします。また病気等で欠席した場合はかならず別日に教員に作業内容や課題の確認を行うこと。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 提出物及び課題は返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] ワークブック 第1回目の授業で配布します。</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	生活プロジェクト応用演習	後期	2 単位
サブタイトル	生活経済学分野	演習	
担当者	ガンガ 伸子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

生活経済学の課題に関して、社会調査の企画から報告書作成までにまたがる量的調査の全過程を実習を通じて体験的に学習する。本実習では、本学学生の行動・意識を多角的に把握することを念頭に置きつつ、調査設計から、実査・データ分析・報告書作成まで行う。問題意識の明確化や仮説構築の作業を行うとともに、既存研究の質問項目を参照しながら、調査票を作成し、調査を実施する。そのデータ作成および分析を中心に展開する。学生調査の結果について考察を深め、最終的に報告書にまとめしていく。

[授業概要]

「生活プロジェクト基礎演習」(生活経済学分野)履修者を対象に、社会調査法を用いた生活経済学の分析手法に関して、応用的な内容の演習を行う。

ただし、受講生に社会調査士資格取得希望者がいない場合は、授業内容を大幅に変更し、家計の経済行動の分析に特化する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

「生活経済学」および「生活プロジェクト基礎演習」(生活経済学分野)を履修していること。

統計学の基礎を習得しておく。

コンピュータの操作に習熟しておく。

予習・復習5時間程度。

[授業計画]

1. イントロダクション
2. 問題意識の明確化とブレインストーミング
3. テーマの決定と先行研究の調査(1)
4. テーマの決定と先行研究の調査(2)
5. 仮説の構築と質問文作成(1)
6. 仮説の構築と質問文作成(2)
7. 調査票作成(1)
8. 調査票作成(2)
9. プリテストと調査票の修正
10. 調査票の修正と完成
11. 調査実施計画(1)
12. 調査実施計画(2)
13. 調査要領・実施上の注意(調査倫理)
14. 調査実施(1)
15. 調査実施(2)
16. 回収表の確認とデータ入力(1)
17. 回収表の確認とデータ入力(2)
18. エラーチェックとデータクリーニング(1)
19. エラーチェックとデータクリーニング(2)
20. データ分析(1)
21. データ分析(2)
22. データ分析(3)
23. データ分析に基づく中間発表会
24. 報告書原稿作成(1)
25. 報告書原稿作成(2)
26. 報告書作成、総括

本授業は、社会調査士カリキュラム【G科目】に該当することもありうる(未定)。

科目名	生活プロジェクト応用演習	後期	2 単位
サブタイトル	生活経済学分野	演習	
担当者	ガンガ 伸子		
<p>[成績評価方法] 30分以上の遅刻は欠席とみなす。 授業時に課す課題(20%)、ディスカッション・プレゼンテーション(20%)、報告書作成(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 演習時にフィードバックする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。別途プリント配布。 著者名:なし。 出版社:なし。(なし。)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし。別途プリント配布。 著者名:なし。 出版社:なし。(なし。)</p>			

科目名	生活プロジェクト基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大淵 裕美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

・家族関係学分野に関する知識を活用し、それに関連する具体的な研究テーマを発見・設定し、実証するための基本的な方法を身に付けることができる。
 ・社会調査によって資料やデータを収集し、分析しうる形にまで整理していく具体的な方法を習得することができる。

[授業概要]

本演習は、家族関係学分野の中でも「文化と家族」というテーマを事例としてとりあげながら、社会調査の企画・設計から実施までのプロセスと方法を具体的に学び、実際に調査を行うための知識と技能の基礎を習得することを目的とする。また、それらを通じて、社会科学によるものの見方・考え方を理解し、社会現象にアプローチするための視座を培うことを目指す。
 なお、本授業は社会調査士資格B科目に該当する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

・社会調査法で学習した内容を復習しておくこと。
 ・「文化と家族」というテーマについて、自身の関心事を明確にしたうえで、授業に臨むこと。
 ・予習・復習合わせて2時間程度行うこと。

[授業計画]

- 1.イントロダクション:社会調査の目的とプロセス
- 2.調査の企画と設計(1)調査企画のための準備―「文化と家族」に関する調査を計画してみよう
- 3.調査の企画と設計(2)リサーチクエスションの設定
- 4.調査の企画と設計(3)「問い」と仮説・仮説に応じた調査方法の決め方
- 5.調査の企画と設計(4)「文化と家族」に関する「問い」と仮説の検討
- 6.調査の企画と設計(5)「文化と家族」に関する「問い」と仮説の作成
- 7.調査の企画と設計(6)「文化と家族」に関する「問い」と仮説のプレゼンテーション
- 8.調査の企画と設計(7)プレゼンテーションでのコメントを踏まえた修正
- 9.調査票の構成と作成(1)調査票の構成要素
- 10.調査票の構成と作成(2)質問文作成の留意点(ワーディング問題)
- 11.調査票の構成と作成(3)「文化と家族」に関する調査票の検討
- 12.調査票の構成と作成(4)「文化と家族」に関する質問文の作成
- 13.調査票の構成と作成(5)「文化と家族」に関する質問文のプレゼンテーション
- 14.調査票の構成と作成(6)プレゼンテーションでのコメントを踏まえた修正
- 15.量的調査での対象の選定(1)全数調査と標本調査
- 16.量的調査での対象の選定(2)サンプリングの考え方と方法
- 17.量的調査の方法(1)実査の種類と方法
- 18.量的調査の方法(2)調査票の配布と回収方法
- 19.量的調査データの整理(1)エディティング
- 20.量的調査データの整理(2)コーディング
- 21.量的調査データの整理(3)クリーニング
- 22.量的調査データの分析(1)単純集計
- 23.量的調査データの分析(2)仮説検定1
- 24.量的調査データの分析(3)仮説検定2
- 25.量的調査データによるレポート作成
- 26.本授業のまとめ

科目名	生活プロジェクト基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大淵 裕美		
<p>[成績評価方法] 毎回の授業課題・ディスカッション・プレゼンテーション(40%)、最終レポート(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートおよび課題・コメントシートについては提出後にフィードバックする。 また、プレゼンテーションについては、プレゼンテーション終了後にその場でフィードバックする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、ディスカッション、最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、ディスカッション、最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、ディスカッション、最終レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、ディスカッション、最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、ディスカッション、最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、ディスカッション、最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、ディスカッション、最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、ディスカッション、最終レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 質的社会調査の方法—他者の合理性の理解社会学 著者名:岸 政彦、石岡 文昇、丸山 里美 出版社:有斐閣 質的調査の方法[第3版]:都市・文化・メディアの感じ方 著者名:工藤 保則、寺岡 伸悟、宮垣 元 出版社:法律文化社 最強の社会調査入門—これから質的調査をはじめるときのために 著者名:前田拓也、秋谷直矩、朴 沙羅、木下 衆 出版社:ナカニシヤ出版 入門・社会調査法[第4版]—2ステップで基礎から学ぶ 著者名:轟 亮、杉野 勇、平沢 和司 編 出版社:法律文化社 社会調査の基礎—社会調査士A・B・C・D科目対応 著者名:篠原清夫、清水強志、榎本環、大矢根淳 編 出版社:弘文堂</p>			

科目名	生活プロジェクト基礎演習		前期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	貝増 匡俊			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークを通じて、課題発見力、情報収集・分析力が身につく。 ・具体的な解決策を複数考えることができるようになり、複眼的な視点から課題を考えることができる。 ・プロジェクト設計手法を使って企画案の作り方を理解する。 ・プロジェクトの目標が設定できるようになる。 ・プロジェクトの計画立案手法が習得できる。 ・グループワークでの数多くの発表／討論の機会を通して、プレゼンテーション能力、質問力、異なる意見をもった人と対話するコミュニケーション力を身に付けることができる。 <p>[授業概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトサイクルマネジメント(PCM)手法を適用した数多くのプロジェクトを経験した教員が、デザイン思考やロジカルシンキングの手法を使った問題分析や計画作成について指導します。 ・テーマに関連する分野全般を理解するために調査レポートをグループ単位で作成し、俯瞰的に理解を図ります。 ・ペルソナ設定やカスタマージャーニーマップを作成し、課題改善のための本質的なニーズを明らかにする手法を実際に学んでいきます。 ・学外でのフィールドワークを実施し、関連した事項に関する動画作成するとともにプレゼンテーションを行なっていきます。 <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>ワークブックを配布するので、予習として翌週での学習する箇所や授業後の振り返りをしてください。場合によっては授業外での作業等も生じます。(各回予習復習合わせて4時間程度)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、グループ分け 2. ガイダンス、グループ分け 3. テーマ設定の決定 4. テーマ設定の決定 5. 各グループ内でテーマに沿ったレポート作成準備(1) 6. 各グループ内でトピックに沿ったレポート作成準備(1) 7. 各グループ内でトピックに沿ったレポート作成準備(2)及び学外研修事前学習 8. 各グループ内でトピックに沿ったレポート作成準備(2)及び学外研修事前学習 9. 学外研修事後学習 10. 学外研修事後学習 11. 学外研修 12. 学外研修 13. ペルソナの設定 14. ペルソナの設定 15. カスタマージャーニーマップ 16. カスタマージャーニーマップ 17. ストーリーを作る(1) 18. ストーリーを作る(1) 19. ストーリーを作る(2) 20. ストーリーを作る(2) 21. 動画作成準備 22. 動画作成準備 23. 動画作成 24. 動画作成 25. 演習成果の発表準備 26. 総括:演習成果の発表 <p>なお、進行状況を確認しながら、演習を進めるため内容に変更が生じることがあります。 また、新型コロナウイルス感染状況によっては、学外施設での活動が厳しいことも予想されます。このため、オンラインで企業や施設等を繋ぎ、遠隔での学習などを取り入れ、学外施設での活動は極力最小限にした内容になることもあります。</p>				

科目名	生活プロジェクト基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	貝増 匡俊		
<p>[成績評価方法] 演習への取組態度(40%)、レポート(60%)※</p> <p>※ルーブリックに基づく</p> <p>なお、グループワークを基本とするので欠席するとグループのメンバーの作業が増えるため、必ず出席すること。3回以上休むと単位は認められないこととします。また病気等で欠席した場合はかならず別日に教員に作業内容や課題の確認を行うこと。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは状況に応じて個別指導します。また最終的に提出を受けたレポートやプレゼンスライドは返却し解説します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:取り組み態度、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:取り組み態度、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:取り組み態度、レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:取り組み態度、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:取り組み態度、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:取り組み態度、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:取り組み態度、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:取り組み態度、レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] ワークブック (第1回目の授業の中で配布します)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	生活プロジェクト基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル	生活経済学分野	演習	
担当者	ガンガ 伸子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

本演習の前半の目標は、生活経済学分野の課題に取り組むために、公的統計や簡単な調査報告・フィールドワーク論文が読めるための基本的知識を習得し、そうしたスキルを身につけることである。後半では、前半の演習で身につけたことを用いて家計の経済行動に関する分析を行うことを目標とする。

[授業概要]

本演習の前半1-13回では、公的統計や簡単な調査報告、さらにはフィールドワーク論文が読めるための基本的知識について学び、そうしたスキルを身につけるために、(1)単純集計、度数分布、代表値、クロス集計などの記述統計の読み方や算出方法、(2)グラフの読み方および特性、さらに作成の仕方、(3)質的データの読み方と基本的なまとめ方について学習する。また、相関係数などの基礎的統計概念だけでなく、「関係がある」とはどのような意味なのかなどについても学び、本演習の後半の本格的な家計の経済行動の分析に発展させていく。

本演習の後半14-26回では、計量経済学的手法を用いて、家計の経済行動の分析を行う。

ただし、受講生に社会調査士資格希望者がいない場合は、授業内容を大幅に変更し、家計の経済行動の分析に特化する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

「生活経済学」を履修していること。

統計学の基礎を習得しておく。

コンピュータの操作に習熟しておく。

予習・復習5時間程度。

[授業計画]

1. イントロダクション、生活経済に関する基本的な資料とデータ分析について
 2. 公的統計資料収集とデータの読み方・利用の仕方
 3. 記述統計データの読み方①:単純集計
 4. 記述統計データの読み方②:度数分布と代表値(ヒストグラム)
 5. 記述統計データの読み方③:平均値の見方(平均値、メジアン、モード)
 6. 記述統計データの読み方④:データの散らばり(分散、標準偏差)
 7. 記述統計データの読み方⑤:データの散らばり(分散、標準偏差)
 8. 記述統計データの読み方⑥:クロス集計
 9. 記述統計データの読み方⑦:相関係数
 10. 記述統計データの読み方⑧:因果関係と相関関係、疑似相関
 11. さまざまな質的データの読み方①
 12. さまざまな質的データの読み方②
 13. 中間まとめ(プレゼンテーション)
 14. 家計データの特徴をとらえる:時系列データ(時系列プロット、指数化)
 15. 家計データの特徴をとらえる:時系列データ(変化率)
 16. 家計データの特徴をとらえる:時系列データ(寄与度、寄与率)
 17. 家計データの分析(収入階級別の比較)
 18. 家計データの分析(地域間の比較)
 19. 家計データの分析(世帯属性間の比較)
 20. 回帰分析①(単回帰分析)
 21. 回帰分析②(単回帰分析:所得と家計支出の関係)
 22. 回帰分析③(重回帰分析)
 23. 回帰分析④(重回帰分析:所得・価格と家計支出の関係)
 24. 回帰分析⑤(重回帰分析:データ収集と推計)
 25. 回帰モデルの仮説と検定
 26. 本授業のまとめ(プレゼンテーション)
- 1-13回目は、社会調査士カリキュラム【C科目】に該当することもありうる(未定)。

科目名	生活プロジェクト基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル	生活経済学分野	演習	
担当者	ガンガ 伸子		
<p>[成績評価方法] 30分以上の遅刻は欠席とみなす。 授業時に課す課題(70%)、ディスカッション・プレゼンテーション(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 演習時にフィードバックする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。別途プリント配布。 著者名:なし。 出版社:なし。(なし。)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし。別途プリント配布。 著者名:なし。 出版社:なし。(なし。)</p>			

科目名	生活プロジェクト論	後期	2 単位
サブタイトル	プロジェクトマネジメント概論	講義	
担当者	貝増 匡俊		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生活の中でプロジェクト的な要素を理解する。(家政1-2) ・プロジェクト(企画)を立ち上げるために問題発見や分析手法について理解する。(家政2-2) ・プロジェクトが立ち上がる際、計画立案手法、スケジュール、リスク計画を作成することができるようになる。(家政2-2) <p>[授業概要]</p> <p>日本国内外で様々なプロジェクトを実務として経験してきた教員がプロジェクトマネジメント概論について指導します。本授業の中で解説するプロジェクトと言えは特別なものを考えがちですが、身の回りには様々なことやものがプロジェクト的な要素をもっています。例えば、高校での文化祭などの活動がそれにあたります。文化祭での模擬店を出す時、私たちには勤や経験に基づいていることがほとんどです。本授業では勤や経験に頼らず、体系的にプロジェクトマネジメントを学んでいき、効果が高く、かつ効率的な活動にするためです。</p> <p>授業は前半と後半に分かれます。前半は、企画もしくはプロジェクトを立ち上げるための手法について学びます。アイデアの創出や企画書を作るという観点から、SWOT等、デザイン思考、ロジカルシンキングなどの方法論を学びます。後半は、プロジェクトマネジメントとして、計画の立案、モニタリング、評価について学びます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>教科書の該当ページなども示します。レジュメは事前に示すので、講義の前には読んでください。講義で学んだことを定着するために復習してください。各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コースガイダンス及びプロジェクトの定義 2. プロジェクトの設計手法(1)(ペルソナ&類推思考) 3. プロジェクトの設計手法(2)(デザイン思考) 4. プロジェクトの設計手法(2)(デザイン思考) 5. プロジェクトの設計手法(3)(サービスデザイン) 6. プロジェクトの設計手法(4)(ロジカルシンキング) 7. プロジェクトマネジメント手法 8. 要素分解:WBS(ワークブレイクダウンストラクチャー) 9. プロジェクトスケジュール作成手法 10. リスクマネジメント 11. プロジェクト組織とコミュニケーションマネジメント 12. ふりかえり(まとめ) 13. モニタリングと評価手法 			

科目名	生活プロジェクト論	後期	2 単位
サブタイトル	プロジェクトマネジメント概論	講義	
担当者	貝増 匡俊		
<p>[成績評価方法] 小テスト3回(30%)、manabaへの書き込み(20%)、試験(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストは終了後に解説します。 試験は終了後に解説します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 「プロジェクトマネジメント」実践講座 著者名:伊藤大輔 出版社:日本実業出版社 (978-4534054692) レジュメ(第1回から15回まで)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	繊維材料学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中西 正恵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 生活材料学で学んだ繊維素材の知見をもとに、繊維を集合させた糸や布の製造方法や構造、様々な特性、衣服等の繊維製品の性能について理解できる。</p> <p>[授業概要] 被服やインテリア材料として用いられる布の最も基本的構成単位は、高分子であり、それが凝集して繊維となるが、ここまでは、1回生前期の生活材料学で学修済みです。繊維材料学では、より製品側に位置する、繊維の集合構造体である糸および布について学びます。糸や布を被服やインテリアの材料として使いこなすには、糸・布を単に感覚的に理解するだけでなく、構造や性質を科学的に理解しておく必要があります。この授業では糸・布の種類や製造法、着心地に関わる力学特性や熱・水分・空気の移動特性、耐久性、審美性などを解説します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度。 生活材料学の内容は理解していることをもとに授業を進めるので、この授業の復習が必要。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 糸の製造法、種類や構造、性質 2. 織物の種類や構造、製造法① 3. ウール素材について(学外特別講師 日本毛織株式会社) 4. 織物の種類や構造、製造法② 5. 編物の種類や構造、製造法 6. 不織布、充填材料(中わた)等の繊維材料 7. 布の力学的性質① 8. 布の力学的性質② 9. 布の外観的な性質① 10. 布の外観的な性質② 11. 布の可縫製性等 12. 布の着心地や快適さに関する性質 13. まとめ 			

科目名	繊維材料学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中西 正恵		
<p>[成績評価方法] 理解度確認試験(80%)、提出課題(10%)、授業態度(10%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 理解度確認試験を回収後、解答の解説を行います。 課題は授業時間内での解説やmanabaを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:理解度確認試験、提出課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:提出課題</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] プリント配布</p>			

科目名	繊維製品品質管理	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	春元 隆		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	授業内課題実施とディスカッション	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

繊維製品関連の一般知識からそれらを取り巻く各種環境を習得し、衣料品の品質問題や消費者クレーム分析などの幅広い知識を通して、その検証方法や再発防止策を身につけながら繊維製品の品質管理の重要性について理解する。

[授業概要]

本科目は現在企業で繊維製品等の品質管理を行っている講師が担当します。

本科目は繊維製品に関する基礎的な専門知識を身につけ、繊維製品の品質管理・消費者苦情事例や不良品の現状を把握して原因究明や再発防止対策を取得する科目であり、同時に繊維業界の最新情報を知り、アパレルなど繊維業界での活躍や繊維製品品質管理士(TES)資格取得を目指す方々への能力向上を目指す科目でもあります。

企業の現場で実際に行なわれている各種繊維製品試験や評価の仕方の講義のほか、実際の不良品やクレーム品などを見たり苦情解析演習も取り入れながら、繊維製品の品質管理の理解を深めてもらいます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

1回生で学んだ「繊維材料学」、2回生前期で学ぶ「被服管理学」「被服科学実験」なども復習し、繊維製品の品質知識や品質管理に関心を持つ。

各回、予習復習を合わせて4時間程度行い、知識・技量を確実なものにするように。

[授業計画]

1. 講義の概要、繊維・糸・布の種類と性質、染色加工工程
2. 各種機能加工、衣料品の企画・設計・製造
3. 衣料品の品質要求項目と消費性能、繊維・糸・布・製品の試験方法及び品質管理
4. 消費者調査、消費者問題・政策
5. 衣料品の流通・消費
6. 衣料品の表示と消費者苦情・環境問題
7. 損傷に関するトラブル事例
8. 形態変化・外観変化に関するトラブル事例
9. 色の関するトラブル事例
10. 風合い変化、加工低下、安全・衛生・表示に関するトラブル事例
11. トラブル事例のまとめ
12. 繊維製品の品質問題、業界の課題について(論文)
13. 品質管理の総合まとめ

科目名	繊維製品品質管理	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	春元 隆		
<p>[成績評価方法] 授業中のレポート課題(理解度確認)40%、試験 60%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート課題の課題の解答・解説は原則次の授業で行います</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:レポート課題と試験で評価する</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート課題と試験で評価する</p> <p>[教科書(ISBN)] 繊維製品の品質問題研究ガイド ―消費者苦情の原因究明・再発防止策― 著者名:(一社)日本衣料管理協会刊行委員会編 出版社:日本衣料管理協会</p> <p>[参考書(ISBN)] 『新改訂版 繊維製品の基礎知識』(2023年11月発行) ただし改訂前の『新訂4版 繊維製品の基礎知識』でも可 著者名:(一社)日本衣料管理協会刊行委員会編 出版社:日本衣料管理協会</p>			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大淵 裕美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 卒業論文を提出し、卒業研究発表会で口頭発表をする。</p> <p>[授業概要] 家族社会学・ジェンダー論・文化社会学に関連する問題を設定し、調査・研究する。研究内容および成果を卒業論文として完成させる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・研究テーマに関する先行研究の整理しておく。 ・教養科目、専門科目の中で取り上げられた文献や資料を整理しておく。 ・テーマに関連した文献・資料をまとめたノートを作成する。 ・予習・復習を含め8時間程度行う。</p> <p>[授業計画] 1. 問題関心の確認と研究テーマの設定について 2. 研究テーマと研究方法について 3. 先行研究の収集と分析① 4. 先行研究の収集と分析② 5. 研究テーマの選定① 6. 研究テーマの選定② 7. 研究テーマに関連した特別講義(学外講師) 8. 研究計画の作成① 9. 研究計画の作成② 10. 研究テーマ・計画にそって、適切な方法で研究を進める① 11. 研究テーマ・計画にそって、適切な方法で研究を進める② 12. 研究テーマ・計画にそって、適切な方法で研究を進める③ 13. 研究テーマ・計画にそって、適切な方法で研究を進める④ 14. 研究テーマ・計画にそって、適切な方法で研究を進める⑤ 15. 論文の執筆① 16. 論文の執筆② 17. 論文の執筆③ 18. 論文の執筆④ 19. 論文の執筆⑤ 20. 論文の執筆⑥ 21. 論文の執筆⑦ 22. 論文の執筆⑧ 23. 提出 24. 修正 25. 卒業論文の提出 26. 卒業研究発表</p>			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大淵 裕美		
<p>[成績評価方法] 家政学科の卒業研究評価ルーブリックに従い、成績評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 適宜添削し後日返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:卒業論文本文、梗概集、卒業研究発表会のプレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:卒業論文本文、梗概集、卒業研究発表会のプレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:卒業論文本文、梗概集、卒業研究発表会のプレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:卒業論文本文、梗概集、卒業研究発表会のプレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:卒業論文本文、梗概集、卒業研究発表会のプレゼンテーション</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:卒業論文本文、梗概集、卒業研究発表会のプレゼンテーション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:卒業論文本文、梗概集、卒業研究発表会のプレゼンテーション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:卒業論文本文、梗概集、卒業研究発表会のプレゼンテーション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:卒業論文本文、梗概集、卒業研究発表会のプレゼンテーション</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。適宜紹介する。</p> <p>[参考書(ISBN)] 問いからはじめる家族社会学 著者名:岩間暁子・大和礼子・田間泰子 出版社:有斐閣 (9784640000000) 最強の社会調査入門 著者名:前田拓也・谷直矩・朴沙羅・木下衆 出版社:ナカニシヤ出版 メディアの卒論—テーマ・方法・実際(第2版) 著者名:藤田真文編 出版社:ミネルヴァ書房 (9784620000000) ゆるレポ—卒論・レポートに役立つ「現代社会」と「メディア・コンテンツ」に関する40の研究 著者名:岡本健・松井広志・松本健太郎 編 出版社:人文書院</p>			

S79400 [HHH4-001]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大森 正子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 実験計画のたてかた、実験手法の修得、実験結果の解析を学び、卒業論文として最終的にまとめ提出する。</p> <p>[授業概要] 外界からの情報は8割以上を視覚から得ているといわれている。加齢に伴い視覚機能は低下が認められ、色彩や文字表示についての安全で快適な視環境整備は重要である。そこで、視覚機能と快適な視環境について、人間工学的に明らかにするため、立体認知と視機能、高齢者の視環境と快適性、最適表示文字サイズとフォントデザイン、色の見えと加齢影響、手指運動の習熟と脳機能、快適なパンプス開発のための歩行動作解析、といったテーマで実験を行い研究をすすめていくこととする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 卒業研究に関する文献を調査しまとめる。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業研究のためのオリエンテーション 2. 文献検索のための図書館利用について 3. 卒論テーマ決定1 4. 卒論テーマ決定2 5. 卒論テーマ決定3 6. 卒論テーマ決定4 7. 調査・実験方法の検討1 8. 調査・実験方法の検討2 9. 調査・実験方法の検討3 10. 解析方法についての検討1 11. 解析方法についての検討2 12. 実験準備1 13. 実験準備2 14. 本実験1 15. 本実験2 16. 本実験3 17. データ解析1 18. データ解析2 19. データ解析3 20. データ解析4 21. データ解析5 22. データ解析6 23. 卒業論文作成1 24. 卒業論文作成2 25. 卒業論文作成3 26. 卒業論文作成・提出 			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大森 正子		
<p>[成績評価方法] 実験に対する取り組み方と分析結果のまとめ、中間報告、卒業論文、卒論発表など、ルーブリック評価に基づき総合的に評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

S79410 [HHH4-001]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	貝増 匡俊		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究計画作成して研究を進めることができるようになる。 ・設定した研究テーマ(例えば環境や社会的な課題など)に沿った知識を文献調査やフィールドワークや社会調査を実施する。 ・論理的思考力や多面的なクリティカルな思考力を身につける。 <p>[授業概要]</p> <p>生活プロジェクト論や演習などで身につけた方法論的アプローチ、社会組織論での組織分析、生活環境学など生活の中に密接に関係する環境やエネルギー問題に関する研究テーマを組み合わせながら、テーマは、自らが主体的に設定して研究を進める。研究テーマとしては、①地域の活性化②デザイン思考やロジカルシンキングなどの方法論③生活環境、④家庭におけるエネルギー⑤プロジェクトマネジメント手法などが挙げられる。</p> <p>ゼミでの授業内容については、毎回持ち回りでゼミノートとして取りまとめゼミ終了後5日以内にmanabaにて公開するようにすること。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>参考文献や課題図書は教員が示す場合もありますが、自らが主体的に文献など調べて下さい。(予習復習を含めて8時間)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス(進め方、評価方法) 2. 文献調査準備の説明 3. 文献調査実践(1) 4. 文献調査実践(2) 5. 輪読(1) 6. 輪読(2) 7. 輪読(3) 8. 研究方法、研究計画の検討(全体計画の作成) 9. フィールドワーク準備 10. フィールドワークの実施 11. レポートニング 12. 発表 13. 研究方法、研究計画の検討(全体計画の作成) 14. 研究計画の概要作成 15. 研究計画の概要発表(1) 16. 研究計画の概要発表(2) 17. 卒業論文の構成作成 18. 卒業論文の構成発表 19. 文献調査及びフィールドワーク調査計画(1) 20. フィールドワーク調査計画 21. フィールドワーク調査取りまとめ 22. 論文執筆(1) 23. 論文執筆(2) 24. 研究発表の準備(1) 25. 研究発表の準備(2) 26. 研究発表 			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	貝増 匡俊		
<p>[成績評価方法] 研究に取り組む姿勢(30%)、論文及び要旨(2頁)(60%)、研究発表(10%) なお、評価基準はルーブリックを参照のこと。(自己評価を含む)</p> <p>週に一度のゼミを休む場合は必ず別の日に来て、1週間に1回は出席すること。主体性やコミュニケーションは重要視します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 卒業論文の構成、アンケートなどの調査用紙は必ずコメントします。 卒業論文、梗概集、発表スライドに関しては、初稿提出後、必ずコメントを付して返却します。 卒業論文以外の提出物に関しても必ずコメントを付して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:研究に取り組む姿勢、論文及び要旨、研究発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:研究に取り組む姿勢、論文及び要旨、研究発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 配布プリント</p> <p>[参考書(ISBN)] 適宜紹介する。</p>			

S79420 [HHH4-001]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル	生活経済学研究	演習	
担当者	ガンガ 伸子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>研究課題の設定と分析方法、分析結果の考察、研究報告のとりまとめを修得する。</p> <p>[授業概要]</p> <p>家計を対象とした生活経済学に関わる研究課題に、計量経済学的手法を用いて取り組む。具体的な研究内容は、以下に示すとおりである。</p> <p>1)食料消費行動に関する課題 2)家計の消費行動に関する課題 3)家計の貯蓄行動に関する課題</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>生活経済に関する研究論文を読んでおく。 統計学の基礎を習得しておく。 コンピュータの操作に習熟しておく。 各回の授業についての予習・復習5時間以上。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究計画の発表① 2. 研究計画の発表② 3. 先行研究の購読① 4. 先行研究の購読② 5. 統計資料からのデータ収集① 6. 統計資料からのデータ収集② 7. 研究の背景(資料分析)をまとめて発表③ 8. 研究の背景(資料分析)をまとめて発表③ 9. 分析方法の習得②(相関分析) 10. 分析方法の習得③(単回帰分析) 11. 分析方法の習得④(重回帰分析① モデル設定) 12. 分析方法の習得⑤(重回帰分析② モデルの推計) 13. 分析方法の習得⑥(重回帰分析③ 決定係数、検定) 14. 分析方法の習得⑦(重回帰分析④ 結果と考察) 15. 中間発表(研究目的、先行研究、研究の背景等) 16. 分析結果途中報告① 17. 分析結果途中報告② 18. 章立ての報告① 19. 章立ての報告② 20. 分析結果のとりまとめと考察① 21. 分析結果のとりまとめと考察② 22. 分析結果のとりまとめと考察③ 23. 卒業論文下書きの提出 24. 卒業論文下書きの再提出 25. 卒業論文の完成 26. 成果発表・梗概集原稿完成 			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル	生活経済学研究	演習	
担当者	ガンガ 伸子		

[成績評価方法]

研究計画の立て方、先行研究のサーベイ、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容(論理性、実証性、結論の適格性)等。

家政学科の卒業研究評価ルーブリックに従い、成績評価する。

週1回のゼミには、必ず出席し、ゼミ内で活発にディスカッションすること。

大学の規則に従い、授業回数の3分の2以上出席していない場合は、無資格とする。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

演習時にフィードバックする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

なし。別途プリント配布。

[参考書(ISBN)]

『入門 計量経済学』 著者名:山本拓・竹内明香 出版社:新世社 (978-4-88384-198-1)

『入門AHP』 著者名:木下栄蔵 出版社:日科技連 (4-8171-5031-9)

『データ包絡分析法』 著者名:Wade D. Cook, Joe Zhu(森田浩訳) 出版社:静岡学術出版 (978-4-86474-030-2)

科目名	卒業研究		前期～後期	8 単位
サブタイトル			演習	
担当者	梶木 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 卒業研究のテーマの設定、研究の目的、方法、考察を経て結果を導き出すこと。そして、研究で得られた知見を卒業論文としてまとめ、発表すること。</p> <p>[授業概要] 1)～5)の研究テーマについて優先して取り組むこととするが、学生との対話を通して決定する。 1)子どもの遊び環境に関する研究(冒険遊び場、児童館など大人が関わる遊び場の利用実態と評価、およびまちづくりの視点からみた子どもの遊び環境のあり方の検討) 2)安心・安全なまちづくりに関する研究 3)ニュータウンの暮らしに関する研究 4)人間の生活空間における快適性に関する研究 5)様々な地域居住に関する研究</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習2時間程度。 日々、新聞を読む習慣をつけるとともに、様々な文献を読み、講演会やシンポジウムなどに積極的に参加すること。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス 2. 文献収集の方法① 3. 文献収集の方法② 4. 文献の読み方① 5. 文献の読み方② 6. 研究テーマの選定① 7. 研究テーマの選定② 8. 研究方法の検討① 9. 研究方法の検討② 10. 研究指導① 11. 研究指導② 12. 研究指導③ 13. 研究指導④ 14. 研究指導⑤ 15. 研究指導⑥ 16. 研究指導⑦ 17. 研究指導⑧ 18. 研究指導⑨ 19. 研究指導⑩ 20. 論文執筆指導① 21. 論文執筆指導② 22. 論文執筆指導③ 23. 論文執筆指導④ 24. 論文執筆指導⑤ 25. 研究発表指導① 26. 研究発表指導②</p>				

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	梶木 典子		
<p>[成績評価方法] ルーブリック評価に基づき卒業論文および口頭試問の評価を行う。 卒業論文執筆時、口頭発表準備時に指導を行う。 口頭発表終了時に、評価説明を行う。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 論文やプレゼンテーションについては、毎回、解説を付す。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、成績評価による。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価による。</p> <p>[教科書(ISBN)] 適宜、提示する。</p> <p>[参考書(ISBN)] 適宜、提示する。</p>			

S79440 [HHH4-001]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	十一 玲子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他	○	実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 被服に関する知識や技術をさらに向上させるために、各自が課題を見つけ情報を収集し、計画をたてて進めていく。文献および資料を収集し、卒業論文としてまとめ、発表する。</p> <p>[授業概要] 被服構成の立場から捉える。 1)衣装に関する研究 2)ファストファッションに関する研究 3)高齢者の衣服調査 4)子供服の研究 5)作品製作</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 1～3回生で履修した被服立体構成の知識や技術をさらに積み上げるため、自分自身で製作する作品の構成などを調べ、製作工程についても考える。 論文を書くために必要な文献や資料をできるだけ多く集め、読み、整理しておくこと。 予習復習合わせて8時間程度。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション 2.研究テーマの検討 3.研究テーマの選定① 4.研究テーマの選定② 5.文献の収集① 6.文献の収集② 7.計画書の作成① 8.計画書の作成② 9.文献および資料の収集① 10.文献および資料の収集② 11.研究テーマにそって、研究を進める① 12.研究テーマにそって、研究を進める② 13.研究テーマにそって、研究を進める③ 14.研究テーマにそって、研究を進める④ 15.研究テーマにそって、研究を進める⑤ 16.論文の執筆① 17.論文の執筆② 18.論文の執筆③ 19.論文の執筆④ 20.論文の執筆⑤ 21.論文の執筆⑥ 22.提出 23.修正① 24.修正② 25.卒業論文の提出 26.卒論研究発表</p>			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	十一 玲子		
<p>[成績評価方法] 授業に取り組む姿勢(20%)、論文(60%)、発表(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 卒業論文提出後、梗概集の作成、発表までに個別指導を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

S79460 [HHH4-001]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	砂本 文彦		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 自身の調査研究に基づき、学術的な研究成果を論文にすることができる。またこれについて発表ができる。</p> <p>[授業概要] 住空間に関わる関連研究の文献調査、自身の研究テーマの設定、調査の立案・実施、成果のまとめと公表を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 客観的な調査・考察に基づいた研究活動が行えるよう、日々関心の幅を広げておくこと。住生活文化にかかわる文献を常日頃から参照し、ノートに整理しておくこと。調査内容についてはすべて記録を残し、1年間、研究ノートを作成すること。一週間あたり8時間程度自習をする。</p> <p>[授業計画] 随時、調査研究に関する打ち合わせを行う。主な内容は次である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 先行研究の調査1 2. 先行研究の調査2 3. 先行研究の調査3 4. 論文輪読1 5. 論文輪読2 6. 論文輪読3 7. テーマ設定1 6. テーマ設定① 7. 文献調査1 8. 文献調査2 9. 文献調査3 10. 現地調査1 11. 現地調査2 12. 現地調査3 13. 現地調査4 14. 論文執筆1 15. 論文執筆2 16. 論文執筆3 17. 論文執筆4 18. 論文執筆5 19. 論文執筆6 20. 論文執筆7 21. 論文執筆8 22. 論文執筆9 23. 論文執筆10 			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	砂本 文彦		
<p>[成績評価方法] 課題の設定(10%)、論理性(10%)、文章の構成(10%)、文章表現(10%)、引用の方法(10%)、計画の設定と実行(10%)、取り組み姿勢(10%)、教員の指導を受けた改善(10%)、口頭説明(10%)、質疑応答(10%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 逐次、グループ別に、個人別にフィードバックを行い、自身の研究計画を再検討して研究を前進します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中西 正恵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 衣服に関する課題を発見しそれを解決するために、情報収集、素材選定、デザイン、パターン設計、実験、制作など計画を立て研究できる力、研究成果を制作物や卒業論文としてまとめ、口頭発表する力を身につける。</p> <p>[授業概要] CAD/CGソフトを活用して布や衣服等のデザインやパターンを作成し、適切な材料で、縫製手順、使用する道具なども検討しながら、意図した衣服等を作成し、人のために役立つように研究成果としてまとめ、発表します。この研究過程においては、社会のニーズ、材料・デザイン・技法などの情報収集や、布地、縫製、パターンなどに関連した実験なども含みます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 被服関連科目の内容を復習し、アパレルCAD入門、卒研基礎演習等で習得したデザインやパターン作成、各種縫製機器等に使い慣れておく。 通年で計90時間以上、卒業研究、制作のためCAD室での自己学修が必要。</p> <p>[授業計画] 1.卒業研究の説明 2.CADパターンメイキング演習(1) 3.CADパターンメイキング演習(2) 4.CADパターンメイキング演習(3) 5.CADパターンメイキング演習(4) 6.縫製演習(1) 7.縫製演習(2) 8.縫製演習(3) 9.縫製演習(4) 10.アパレルCAD/CG演習(1) 11.アパレルCAD/CG演習(2) 12.アパレルCAD/CG演習(3) 13.研究課題の構想、資料収集、予備実験・試作 14.研究課題の構想、資料収集、予備実験・試作 15.卒業研究(制作・実験等) 16.卒業研究(制作・実験等) 17.卒業研究(制作・実験等) 18.卒業研究(制作・実験等) 19.卒業研究(制作・実験等) 20.卒業研究(制作・実験等) 21.卒業研究(制作・実験等) 22.卒業研究(制作・実験等) 23.卒業研究(制作・実験等) 24.卒業研究(制作・実験等) 25.卒業研究発表準備 26.卒業研究発表、まとめ</p>			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中西 正恵		
<p>[成績評価方法] 卒業研究ルーブリックに基づく評価(研究課題設定、研究プロセス、研究成果・制作物、卒業論文・梗概集、研究発表)(70%)、指定の課題(20%)、授業態度(10%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 指定課題等の提出物は授業期間内に返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:卒業研究ルーブリック、指定の課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:卒業研究ルーブリック</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:卒業研究ルーブリック</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:卒業研究ルーブリック</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:卒業研究ルーブリック</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:卒業研究ルーブリック、指定の課題、授業態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:卒業研究ルーブリック、指定の課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:卒業研究ルーブリック</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:卒業研究ルーブリック、指定の課題(20%)、授業態度</p> <p>[教科書(ISBN)] なし 著者名:なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし 出版社:なし</p>			

S79490 [HHH4-001]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山根 千弘		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 最新の研究を通して、テーマの選定、調査、実験の進め方、論文執筆など研究の方法論を習得すること。</p> <p>[授業概要] セルロース(綿や木の成分)を対象にして、将来の生活材料のあるべき姿を検討する。具体的には、(1)プラスチックに代わるセルロース系の成型体をつくる研究、(2)食べられるおいしいセルロース(究極のダイエット健康食)の研究、(3)コットンを超えるような再生繊維の研究、(4)海洋分解性の容器を創る研究など、時代のニーズに応じた興味深いテーマを卒論研究の題材とする。この卒業論文の目的は、これらのテーマを研究することにより、研究のすすめ方を学ぶとともに、科学的な思考法や、問題解決の方法論を会得することにある。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 卒業研究の準備授業として、家政学総合演習を設けているので、この演習を復習することが好ましい。予習復習2時間程度</p> <p>[授業計画] 前期は関連の文献などを収集し講読するとともに、パソコンでのデータ解析処理、解析機器、各種物性の試験法などを修得するとともにその原理を理解する。 後期は各自の研究課題に応じて、研究を進めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 関連論文などの検討(1) 2. 関連論文などの検討(2) 3. 関連論文などの検討(3) 4. 関連論文などの検討(4) 5. 解析機器類の操作及び機能の学修(1) 6. 解析機器類の操作及び機能の学修(2) 7. 解析機器類の操作及び機能の学修(3) 8. 解析機器類の操作及び機能の学修(4) 9. 物性試験法(1) 10. 物性試験法(2) 11. データ解析法(1) 12. データ解析法(2) 13. データ解析法(3) 14. 卒論研究課題の検討Ⅰ(1) 15. 卒論研究課題の検討Ⅰ(2) 16. 卒論研究課題の検討Ⅰ(3) 17. 卒論研究課題の検討Ⅰ(4) 18. 中間発表と討論会(1) 19. 中間発表と討論会(2) 20. 卒論研究課題の検討Ⅱ(1) 21. 卒論研究課題の検討Ⅱ(2) 22. 卒論研究課題の検討Ⅱ(3) 23. 卒論研究課題の検討Ⅱ(4) 24. 卒論研究の発表(1) 25. 卒論研究の発表(2) 26. まとめ 			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山根 千弘		
<p>[成績評価方法] ルーブリックにより評価する</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ゼミなどでフィードバック</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号／DP内容:家政1-2／家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号／DP内容:家政1-3／人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号／DP内容:家政2-1／社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号／DP内容:家政2-2／社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号／DP内容:家政3-1／社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし(該当しない)</p> <p>[参考書(ISBN)] セルロースの事典(新装版) 著者名:複数 出版社:朝倉書店(9784250000000)</p>			

S79510 [HHH4-001]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル	住空間の研究	演習	
担当者	田中 栄治		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

- 目標1: 文献調査とフィールド調査から自分の研究テーマを設定し、研究計画をまとめることができる。
 目標2: 研究テーマに沿った調査計画をまとめ、調査を実施することができる。
 目標3: 調査結果の分析・考察を行い、結論を導き出すことができる。
 目標4: 研究で得られた知見を論文にまとめることができる。
 目標5: 研究で得られた知見を発表し、質疑に答えることができる。

[授業概要]

人間生活の基本となる住まいの建築、インテリア、庭園などの具体的な研究対象を設定し、文献・現地・聞き取りなどの調査を通して情報を収集し、分析・考察を行い論文にまとめて発表します。

特に田中栄治ゼミでは須磨周辺をフィールドとした「須磨の住まい研究(通称:すますま研究)」を継続的に行います。

【須磨の住まい研究(通称:すますま研究)】

- ・近世以前の須磨の住まいに関する研究
- ・近代の須磨の住宅地・住まいの発展に関する研究
- ・現代の須磨の住宅地・住まいの特徴と課題に関する研究
- ・須磨の歴史文化遺産の保全と活用に関する研究

その他、

- ・近現代の建築家・デザイナーによる住宅設計・インテリアデザインの特質と変遷に関する研究
- ・実際のまち・建築・インテリアなどの生活空間の利用実態に関する研究

なども対象となります。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の授業についての予習・復習2時間程度。

日々、新聞を読む習慣をつけるとともに、様々な文献を読み、講演会やシンポジウムなどに積極的に参加すること。

[授業計画]

1. ガイダンス
2. 文献収集の方法①
3. 文献収集の方法②
4. 文献の読み方①
5. 文献の読み方②
6. 研究テーマの選定①
7. 研究テーマの選定②
8. 研究方法の検討①
9. 研究方法の検討②
10. 研究指導①
11. 研究指導②
12. 研究指導③
13. 研究指導④
14. 研究指導⑤
15. 研究指導⑥
16. 研究指導⑦
17. 研究指導⑧
18. 研究指導⑨
19. 研究指導⑩
20. 論文執筆指導①
21. 論文執筆指導②
22. 論文執筆指導③
23. 論文執筆指導④
24. 論文執筆指導⑤
25. 研究発表指導①
26. 研究発表指導②

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル	住空間の研究	演習	
担当者	田中 栄治		
<p>[成績評価方法] 課題1(研究計画):目標1に対応(10%) 課題2(調査の実施):目標2に対応(10%) 課題3(分析・考察):目標3に対応(10%) 課題4(論文執筆):目標4に対応(50%) 課題5(発表):目標5に対応(20%) ルーブリック評価に基づき卒業論文および口頭試問の評価を行う。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 卒業論文執筆時、口頭発表準備時に指導を行う。 口頭発表終了時に、評価説明を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:課題1～5</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:課題1～5</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:課題1～5</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:課題1～5</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追随して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:課題1～5</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題1～5</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題1～5</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題1～5</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題1～5</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] 授業で適宜紹介します。</p>			

S79520 [HHH4-001]

科目名	卒業研究基礎演習		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	山根 千弘			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 家政学を学び、研究する上で必要な方法論を演習ゼミ形式で体得し、4年次の卒業研究に繋げることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 卒業研究につながるゼミへの導入のための授業である。ゼミのテーマにそって、研究の企画・構想、文献などの利用、予備実験、制作実習、調査の方法やデータの整理、まとめ方、プレゼンテーションの手法など演習を通して、研究の方法を学ぶとともに、教員の専門領域を知る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 生活材料学、繊維材料学などを復習しておくことが望ましい。予習復習2時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 講義オリエンテーション 2. 糖と多糖糖の特徴と基本構造 3. 天然多糖① 4. セルロースの一次構造 5. セルロースの高次構造 6. セルロースの構造制御と溶解性 7. アルカリ可溶セルロース 8. これからの衣料用再生セルロース繊維 9. 再生セルロースの特徴と課題 10. 可食性セルロース成型体 11. 文献調査方法① 12. 文献調査方法② 13. 卒論の進め方とテーマ選定の考え方 				

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山根 千弘		
<p>[成績評価方法] レポートなど</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 主に次週の授業でフィードバック</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 配布資料 (該当しない)</p> <p>[参考書(ISBN)] セルロースの事典(新装版) 著者名:セルロース学会編 出版社:朝倉書店(2011年) (987-4-254-47044-4 C3561) セルロースの科学 著者名:磯貝明編 出版社:朝倉書店(2003年)</p>			

科目名	卒業研究基礎演習		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	梶木 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 家政学を学び、研究する上で必要な方法論を演習ゼミ形式で体得し、4年次の卒業研究に繋げることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 卒業研究につながるゼミへの導入のための授業である。ゼミのテーマにそって、研究の企画・構想、文献などの利用、予備実験、制作実習、調査の方法やデータの整理、まとめ方、プレゼンテーションの手法など演習を通して、研究の方法を学ぶとともに、教員の専門領域を知る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回授業についての予習・復習2時間程度。 住まい・暮らし・まちづくりに関する書籍、雑誌、新聞などを読む。美術館・博物館などを積極的に訪れる。日本各地のまちを訪れ、可能であれば地元の人々と交流する体験を積んでおく。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション(授業の進め方、心構え、自分をイメージする) 2. 新聞から学ぼう: 住まい・暮らしに関わるニュースについて議論する_1 3. 新聞から学ぼう: 住まい・暮らしに関わるニュースについて議論する_2 4. 新聞から学ぼう: 住まい・暮らしに関わるニュースについて議論する_3 5. 見学会を企画しよう: 神戸市内や近郊のまちについて学ぶ_1 6. 見学会を企画しよう: 神戸市内や近郊のまちについて学ぶ_2 7. 見学会を実施する: 6~8回で企画した見学会を実施_1 8. 見学会を実施する: 6~8回で企画した見学会を実施_2 9. 空間づくりをプロデュースしよう_1 10. 空間づくりをプロデュースしよう_2 11. 空間づくりをプロデュースしよう_3 12. 空間づくりをプロデュースしよう_4 13. 空間づくりをプロデュースしよう_5</p>				

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	梶木 典子		
<p>[成績評価方法] 毎回の議論の様子、参加態度(50%)、口頭試問(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 議論後、見学会後の振り返りの会にて、フィードバックを行う。 口頭試問において、全体のフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル	生活経済学研究	演習	
担当者	ガンガ 伸子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 生活経済学を学び、研究する上で必要な方法論を演習ゼミ形式で体得し、4年次の卒業研究に繋げることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 生活経済学領域での卒業研究につながるゼミへの導入のための授業である。研究の企画・構想、文献などの利用、データ収集方法と解析方法、分析結果のまとめ方と考察、プレゼンテーションなど、演習を通して、生活経済学領域の研究の方法を学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 「生活経済学」を履修していること。 夏休み中の課題をしてから、1回目の授業に臨むこと。 研究テーマに関心を持ち、論文、白書、資料等を読んでおくこと。 予習・復習2時間程度。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション(授業の概要と進め方)、プレゼンテーション(夏休みの課題発表) 2. 資料・文献の探し方 3. 生活経済に関する文献購読① 4. 生活経済に関する文献購読② 5. 統計指標の基礎①(比率と比、構成比など) 6. 統計指標の基礎②(寄与率と寄与度など) 7. データ解析①(実数と比率、代表値と散布度など) 8. データ解析②(量的データの区分) 9. データ解析③(ジニ係数と分布) 10. データ解析④(相関分析) 11. データ解析⑤(回帰分析:単回帰) 12. データ解析⑥(回帰分析:重回帰) 13. プレゼンテーション</p>			

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル	生活経済学研究	演習	
担当者	ガンガ 伸子		

[成績評価方法]

10回以上出席していなければ、到達目標を達成していないと判断し、不合格とする。
30分以上の遅刻は欠席とみなす。
授業時に課す課題(70%)、ディスカッション・プレゼンテーション(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

演習時にフィードバックする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

なし。別途プリント配布。

[参考書(ISBN)]

なし。別途プリント配布。

科目名	卒業研究基礎演習		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	大淵 裕美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 家政学を学び、研究する上で必要な方法論を演習形式で体得し、4年次の卒業研究につなげることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 卒業研究に向けて、研究の基礎を実践を交えて学習する授業である。ゼミのテーマに沿って、研究の企画・構想、文献などの利用、調査の方法やデータのまとめ方、プレゼンテーションの手法など演習を通して、研究の方法を学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 研究テーマに関心を持ち、論文、資料等読んでおくこと。 予習・復習合わせて2時間程度行うこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーション(授業の概要と進め方・研究テーマの見つけ方) 2.興味・関心に関する発表とブレイン・ストーミング① 3.興味・関心に関する発表とブレイン・ストーミング② 4.資料・文献の探し方(図書館等での検索方法) 5.資料・文献の検討①記述内容を批判的に検討する方法 6.資料・文献の検討②論文・文献の内容を要約し文章化する方法 7.先行研究を踏まえた問いの立て方、実証方法の検討 8.中間発表 9.データ収集 10.集めたデータの分析方法 11.分析の実際 12.データの考察 13.最終プレゼンテーション 				

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大淵 裕美		
<p>[成績評価方法] 授業課題・プレゼンテーション(50%)、レポート課題(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート提出後、プレゼンテーション後にフィードバックします。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、レポート課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業課題、プレゼンテーション、レポート課題</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] ゆるレポー卒論・レポートに役立つ「現代社会」と「メディア・コンテンツ」に関する40の研究 著者名:岡本健・松井広志・松本健太郎 編 出版社:人文書院</p>			

科目名	卒業研究基礎演習		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	大森 正子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 家政学を学び、研究する上で必要な方法論を演習ゼミ形式で体得し、4年次の卒業研究に繋げることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 卒業研究につながるゼミへの導入のための授業である。ゼミのテーマにそって、研究の企画・構想、文献などの利用、予備実験、制作実習、調査の方法やデータの整理、まとめ方、プレゼンテーションの手法など演習を通して、研究の方法を学ぶとともに、教員の専門領域を知る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 研究テーマに関心を持ち、論文、資料等読んでおくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 講義オリエンテーション 2. 人間工学に関する文献検索オリエンテーション 3. 実験方法、解析方法 4. 予備調査・実験 5. データの解析 6. 考察、まとめ 7. Photoshopによる画像処理1 8. Photoshopによる画像処理2 9. Photoshopによる画像処理3 10. Illustratorによる作画1 11. Illustratorによる作画2 12. Illustratorによる作画3 13. 課題作品提出 				

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大森 正子		
<p>[成績評価方法] 課題の提出で評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	卒業研究基礎演習		後期	1 単位
サブタイトル	多様性について学んでいこう		演習	
担当者	貝増 匡俊			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの身の回りにおいて日々の生活の中における課題や問題などが把握できる。 ・課題改善のための最適な手法を考えながら、課題設定や分析ができるようになる。 ・論文などを書くため必要な事項を理解し、使うことができる。 <p>[授業概要]</p> <p>この演習では、2つの次の事柄について学びます。一つ目はテーマに沿って個人ペアワークを組み合わせながら進めます。ゼミの少人数の中で学外講師とのディスカッションを1回から3回程度、また学外での活動も適宜行います。</p> <p>二つ目は、過去の卒業論文などを要約し輪読することで、卒業論文を執筆するために必要となる事項を理解しながら論文の書き方について説明していきます。(2021年度と2022年度は多様性について学びました)</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>講義で使用するプリントを事前に配布します。配布した資料は、必ず読んでおくこと。また、学んだことをより深く理解するために、さらなる調べものを課すこともあります。学んだことは毎回必ず振り返って下さい。(予習復習や教室外の時間を合わせて2時間)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 事前調べ&質問項目作成 3. 学外講師とのディスカッション(1)(学外特別講師) 4. 4年生就職体験談(家政学科共通) 5. 事前調べ&質問項目作成 6. 学外講師とのディスカッション(2)(学外特別講師) 7. 事前調べ&質問項目作成 8. 学外学習 9. 2~6回目までのまとめと振り返り 10. 卒業論文に関する概要説明 11. ピアレビュー(1) 12. ピアレビュー(2) 13. 卒論発表会 				

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル	多様性について学んでいこう	演習	
担当者	貝増 匡俊		

[成績評価方法]

課題(70%)、ゼミでの発言などの貢献度(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

課題の解説は行います。また返却も行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

授業前にレジュメなど資料配布

[参考書(ISBN)]

適宜示します

科目名	卒業研究基礎演習		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	砂本 文彦			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 家政学を学び、研究する上で必要な研究の範囲、基礎的な調査方法論を実例に基づいて説明できる。</p> <p>[授業概要] 卒業研究につながるゼミへの導入のための授業である。ゼミのテーマにそって、研究の企画・構想、文献などの利用、予備実験、制作実習、調査の方法やデータの整理、まとめ方、プレゼンテーションの手法など演習を通して、研究の方法を学ぶとともに、教員の専門領域を知る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 生活を成り立たせる住まい空間に関心を払い、関連文献を読んでおくこと。また、現地を訪れて比較検討できる個人的な経験と客観的な視点を得ておくこと。そうした学習の記録をノートにまとめて保存しておき、卒業研究に活用できるようにすること。各回、予習復習合わせて2時間程度します。</p> <p>[授業計画] 1.演習のオリエンテーション、個人的な関心の発見1 2.個人的な関心の発見2、ブレイン・ストーミング1 3.個人的関心の課題化1、文献調査1、ブレイン・ストーミング2 4.個人的関心の課題化2、文献調査2 5.個人的関心の課題化3 6.データ収集1 7.データ収集2 8.中間プレゼンテーション 9.追加データ収集1、考察1 10.追加データ収集2、考察2 11.追加データ収集3、考察3 12.最終プレゼンテーション 13.卒業研究レビュー</p>				

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	砂本 文彦		
<p>[成績評価方法] レポート(80%)、プレゼンテーション(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート提出後、プレゼンテーション後にフィードバックを実施します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 適宜</p>			

科目名	卒業研究基礎演習		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	佐藤 佐織			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
<p>[到達目標] 中学校家庭科、高等学校家庭総合の教科書の考察を通して、家庭科に関する自分の課題を明確にすることができる。 家政学ならびに家庭科教育に関する研究論文を読み、先行研究をならびに研究方法論を理解することができる。</p> <p>[授業概要] ・中学校家庭科、高等学校家庭総合の教科書、家政学・家庭科教育に関する研究論文を読み、考察する。 ・研究の構想、文献などの利用、調査の方法やデータの整理、まとめ方、プレゼンテーションの手法など演習を通して、研究の方法を学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各時間に取り上げられた論文は必ず授業後、熟読をし、自分の課題を確認する。 授業の事前の準備や復習においては、先行研究論文を学科専門科目、家庭科指導法等で学んだことに関連付けて考察する。 ゼミ発表に際しては万全に備えるために2時間の準備学習を必要とする。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス、研究の進め方 2. 家政学・家庭科教育における問題発掘と研究問題の検討・設定 3. 論文講読① 4. 論文講読② 5. 論文講読③ 6. 研究計画の作成 7. 研究の展開① 8. 研究の展開② 9. 研究の展開③ 10. 研究成果のまとめ 11. 研究成果の発表と検討① 12. 研究成果の発表と検討② 13. 卒業研究発表会に参加する</p>				

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤 佐織		
<p>[成績評価方法] 授業態度(20%)、課題(20%)、研究発表(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題へのコメント、研究発表への指導講評を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 授業のなかで紹介する。</p>			

科目名	卒業研究基礎演習		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	中西 正恵			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート			グループワーク	
プレゼンテーション		○	実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 4年次の卒業研究に繋げるために、参考となる研究論文等を検索できる。 特に卒業研究制作を行ううえで必要な知識、デザインや縫製技術などを身につける。</p> <p>[授業概要] これまでに学んだCAD、繊維材料や縫製に関する知識や技術を活かして、デザインや衣服製作の実習、実験をします。また、文献検索の方法や、テーマに関連した論文なども読みます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 研究テーマに関心を持ち、学術雑誌(日本家政学会誌、日本繊維製品消費科学会誌、繊維学会誌他)、織研新聞、服飾関係の本を見たり、実物を展覧会などで見たりするとよい。各回、予習復習合わせて1時間程度。</p> <p>[授業計画] 1.ゼミのオリエンテーション、夏休み課題のプレゼン 2.各種縫製機器や材料実験装置などの概要 3.各種情報収集、文献検索の方法、研究論文紹介 4.キャリアガイダンス(学科全体授業) 5.ニット縫製演習① 6.ニット縫製演習② 7.ニット縫製演習③ 8.コンピュータデザイン演習① 9.コンピュータデザイン演習② 10.コンピュータデザイン演習③ 11.糸と布を使った作品制作① 12.糸と布を使った作品制作② 13.作品発表会、まとめ</p>				

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中西 正恵		
<p>[成績評価方法] レポート・課題作品とそのプレゼン(50%)、授業態度(30%)、理解度確認試験(20%)、</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験は答案回収後に解説。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:理解度確認試験、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:課題作品とそのプレゼン</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:授業態度</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題作品とそのプレゼン</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート・課題作品とそのプレゼン</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート・課題作品とそのプレゼン</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート・課題作品とそのプレゼン、授業態度</p> <p>[教科書(ISBN)] なし(なし)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	卒業研究基礎演習		後期	1 単位
サブタイトル	被服、計画、製作、プレゼンテーション		演習	
担当者	十一 玲子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 家政学を学び、研究する上で必要な方法論を演習ゼミ形式で体得し、4年次の卒業研究に繋げることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 卒業研究に結びつけ、ゼミへの導入のための授業である。ゼミのテーマにそって、研究の企画・構想、文献などの利用、製作実習、調査の方法やデータの整理、まとめ方、プレゼンテーションの手法など演習を通して、研究の方法を学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 研究テーマに関心を持ち、論文、資料などを収集し、読んでおくこと。 作品制作などに必要なことを図書館・美術館に行き、調べる。 予習復習合わせて2時間程度。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション 2.卒論の進め方について 3.テーマについて説明 4.テーマの選択 5.文献の収集 6.文献の整理 7.個人指導 8.個人指導 9.各自実習 10.各自実習 11.各自実習 12.まとめ 13.発表</p>				

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル	被服、計画、製作、プレゼンテーション	演習	
担当者	十一 玲子		
<p>[成績評価方法] 課題(70%)、提出物(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 行なった内容に対して、毎回、個別にコメントする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 洋裁研究 基礎編 著者名:共著 出版社:行吉学園出版局</p>			

科目名	卒業研究基礎演習		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	田中 栄治			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>目標1: 既往研究や参考文献の調査方法を理解し検索できる。 目標2: フィールド調査を行い他の受講生と情報を共有できる。 目標3: 文献調査とフィールド調査から自分の研究テーマを設定できる。 目標4: 研究計画をまとめることができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>卒業研究への導入のための授業です。ゼミのテーマに沿って、研究の企画・構想、文献などの利用、調査の方法やデータの整理、まとめ方、プレゼンテーションの手法など、演習を通して研究の方法を学ぶとともに、教員の専門領域の知識を深めます。特に田中栄治ゼミでは須磨周辺をフィールドとした「須磨の住まい研究(通称:すますま研究)」を継続的に行います。</p> <p>【須磨の住まい研究(通称:すますま研究)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近世以前の須磨の住まいに関する研究 ・近代の須磨の住宅地・住まいの発展に関する研究 ・現代の須磨の住宅地・住まいの特徴と課題に関する研究 ・須磨の歴史文化遺産の保全と活用に関する研究 <p>その他に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近現代の建築家・デザイナーによる住宅設計・インテリアデザインの特質と変遷に関する研究 ・実際のまち・建築・インテリアなどの生活空間の利用実態に関する研究 <p>なども対象となります。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>研究のテーマや問いは文献とフィールド(現場)の往復から見つけ出します。普段から住まいやインテリアに関心を持ち、関連雑誌や書籍を読んでください。また、自分が良いと思うインテリアの施設やショップを訪れ、気づいた点をメモやスケッチしておきましょう。各回、予習復習合わせて2時間程度行ってください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーション、情報の集め方について 2.文献調査1: 住まい・インテリアについて自由に話し合ってみよう 3.文献調査2: 自分の関心のあるテーマを見つけよう 4.フィールド調査1: 気づきカードを活用しよう 5.フィールド調査2: 気づきについて話し合ってみよう 6.文献調査3: これまでにわかっていることを調べよう 7.文献調査4: 自分が調べることを見つけよう 8.中間プレゼンテーション(調査計画の発表) 9.フィールド調査3: データを集めよう 10.フィールド調査4: データを分析しよう 11.分析結果を考察しよう 12.研究計画まとめ、プレゼンテーション準備 13.最終プレゼンテーション(卒業研究に向けて) 				

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田中 栄治		
<p>[成績評価方法] 課題1(既往研究調査ワークシート):目標1に対応(20%) 課題2(フィールド調査グループワーク):目標2に対応(20%) 課題3(研究計画ワークシート):目標3に対応(20%) 課題4(研究計画まとめ):目標4に対応(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ワークシート・レポート提出後、プレゼンテーション後にフィードバックを実施します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:課題1~4</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:課題1~4</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:課題1~4</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:課題1~4</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題1~4</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題1~4</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題1~4</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題1~4</p> <p>[教科書(ISBN)] レジメ・資料を作成し配布します。</p> <p>[参考書(ISBN)] 授業で適宜紹介します。</p>			

科目名	都市デザイン演習		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	梶木 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 自ら考え、動き、振り返るという作業を通して、都市への多様な関わり方やその結果もたらされる生活の質から、今後の都市のあり方を考え、発信する力をつけること。</p> <p>[授業概要] 都市への関わり方は様々である。都市の課題が複雑かつ多様化していることは、その解決が容易ではなくなっている。また、課題に対するアプローチも多様化している。すでにある空間やコミュニティに向き合って、これからの時代の都市のあり方や使い方を考え、都市とそこに暮らす人々の生活を魅力あるものにするための実践を積み重ねる。具体的にはテーマ(例:安全なまちづくり)を取り上げ、その問題の構造をグループで討議しながら明らかにし、研究方法の検討、調査・実験・実習の実施、結果分析・考察、プレゼンテーション、研究レポートをまとめるといった一連の流れに従い取り組む。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について予習・復習2時間程度。 アンケート方法や、インタビュー方法など、基本的な調査研究方法について学んでいること。 類似施設やまちづくりの視察等。調査実施後は、記録を行う。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス:都市デザインとは? 2. テーマの設定 3. 研究方法の検討 1 4. 研究方法の検討 2 5. フィールド調査 1 6. フィールド調査 2 7. 研究結果の分析・考察 1 8. 研究結果の分析・考察 2 9. 研究成果の発表準備、報告書まとめ 10. 研究成果の発表 11. 地域の課題を解決するための住宅設計 1 12. 地域の課題を解決するための住宅設計 2 13. 地域の課題を解決するための住宅設計の発表</p>				

科目名	都市デザイン演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	梶木 典子		
<p>[成績評価方法] 演習への取組態度、成果物、発表(80%)、レポート(20%)など総合的に評価する。 毎回の発表内容について、課題と考えられる点や評価できる点についてコメントする。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で、コメント・解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 「コミュニティデザイン」 著者名:山崎亮(著) 出版社:学芸出版社 (4761512865) 「いま、都市をつくる仕事」 著者名:日本都市計画学会関西支部 次世代の「都市をつくる仕事」研究会 編著 出版社:学芸出版社 (4761512938) 「地域を変えるデザイン——コミュニティが元気になる30のアイデア」 著者名: issue+design project(著), 寛 裕介(監修) 出版社:英治出版 (4862761283) PUBLIC HACK: 私的に自由にまちを使う 著者名:笹尾 和宏 出版社:学芸出版社 (978-4761527198)</p>			

S72160 [HHI3-014]

科目名	都市デザイン演習		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	梶木 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 自ら考え、動き、振り返るという作業を通して、都市への多様な関わり方やその結果もたらされる生活の質から、今後の都市のあり方を考え、発信する力をつけること。</p> <p>[授業概要] 都市への関わり方は様々である。都市の課題が複雑かつ多様化していることは、その解決が容易ではなくなっている。また、課題に対するアプローチも多様化している。すでにある空間やコミュニティに向き合って、これからの時代の都市のあり方や使い方を考え、都市とそこに暮らす人々の生活を魅力あるものにするための実践を積み重ねる。具体的にはテーマ(例:安全なまちづくり)を取り上げ、その問題の構造をグループで討議しながら明らかにし、研究方法の検討、調査・実験・実習の実施、結果分析・考察、プレゼンテーション、研究レポートをまとめるといった一連の流れに従い取り組む。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について予習・復習2時間程度。 アンケート方法や、インタビュー方法など、基本的な調査研究方法について学んでいること。 類似施設やまちづくりの視察等。調査実施後は、記録を行う。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス:都市デザインとは? 2. テーマの設定 3. 研究方法の検討 1 4. 研究方法の検討 2 5. フィールド調査 1 6. フィールド調査 2 7. 研究結果の分析・考察 1 8. 研究結果の分析・考察 2 9. 研究成果の発表準備、報告書まとめ 10. 研究成果の発表 11. 地域の課題を解決するための住宅設計 1 12. 地域の課題を解決するための住宅設計 2 13. 地域の課題を解決するための住宅設計の発表</p>				

科目名	都市デザイン演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	梶木 典子		
<p>[成績評価方法] 演習への取組態度、成果物、発表(80%)、レポート(20%)など総合的に評価する。 毎回の発表内容について、課題と考えられる点や評価できる点についてコメントする。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で、コメント・解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、評価方法による。</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 「コミュニティデザイン」 著者名:山崎亮(著) 出版社:学芸出版社 (4761512865) 「いま、都市をつくる仕事」 著者名:日本都市計画学会関西支部 次世代の「都市をつくる仕事」研究会 編著 出版社:学芸出版社 (4761512938) 「地域を変えるデザイン——コミュニティが元気になる30のアイデア」 著者名: issue+design project(著), 寛 裕介(監修) 出版社:英治出版 (4862761283) PUBLIC HACK: 私的に自由にまちを使う 著者名:笹尾 和宏 出版社:学芸出版社 (978-4761527198)</p>			

科目名	都市デザイン論		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	梶木 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 都市計画の基本的事項とまちづくりにおける住民参加の重要性について理解する。</p> <p>[授業概要] われわれの生活は、地域と切り離して考えることができない。しかし、地域というものは、身近でありながら、地域住民として主体的に関わっていくとする人は少ないのが現状である。まちづくりは、多様な主体が協働して、時間をかけて成果を生み出していくものである。簡単そうにみえて大変凝縮されたノウハウと技術が求められるものである。 本講では、まちづくりのプロセスを実践できるような知識と技術を習得するために、都市計画の変遷、都市のデザイン、まちづくりデザイン、コミュニティデザイン、都市景観、法規制の理解等を学ぶとともに、ワークショップの進め方や合意形成の技術を実践を通して学ぶこととする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 国内外の様々なまちへ関心を持つこと。都市デザインに関わる図書を読んでおくこと。 まちあるきを習慣的に行き、まちの課題を発見し、それらの背景について自分で調べて明らかにできるようにする。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 都市デザインとは、本講のガイダンス 2. 都市デザインの系譜1 3. 都市デザインの系譜2 4. 子どもの遊び環境1 5. 子どもの遊び環境2 6. 子どもの遊び環境3 7. 緑と公園のデザイン1 8. 緑と公園のデザイン2 9. 緑と公園のデザイン3 10. 都市計画法1 11. 都市計画法2 12. まちづくりにおける住民参画1 13. まちづくりにおける住民参画2、まとめ 				

科目名	都市デザイン論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	梶木 典子		
<p>[成績評価方法] 試験(85%)と提出課題(15%)により評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験後、結果について解説する。 提出された課題については適宜、フィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、成績評価による。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価による。</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] 適宜、授業時に掲示する</p>			

科目名	人間生活工学演習		前期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	大森 正子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 人が着用する衣服によって身体にどのような生理的变化が生じるのか、実験を通して理解し、講義で得た知識を基に体系的に結びつけて理解できるようになることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 人間－衣服－環境系の関わりについて、総合的に考えて理解することをめざして、実際に各種の生理学的実験を行い、結果について討議し、内容をまとめてレポートする。期間中には前半と後半の2回に分けてパワーポイントを用いた実習成果の発表会を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 教科書、参考書、実習書等をよく読み、前回の授業実験内容を復習し理解してレポートを作成し、次回の実験授業に関する予習を十分にしておくこと。(予習復習合わせて2時間程度)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用機器の取扱い法や実習上の安全および履修・レポート提出に関する説明 2. 身体の高さを測る 3. 疲労・作業能率を測る 4. ストレスを測る 5. 目の働き・反応を測る 6. 交感神経活動を測る 7. 実習成果のまとめ(パワーポイントによるプレゼンテーション用スライド作成) 8. 前半成果発表会(各班2テーマずつ:パワーポイントによる発表) 9. 皮膚の敏感さを測る 10. 皮膚の温度・湿度を測る 11. 発汗計測演習 12. 実習成果のまとめ(パワーポイントによるプレゼンテーション用スライド作成) 13. 後半成果発表会(各班2テーマずつ:パワーポイントによる発表) 				

科目名	人間生活工学演習	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大森 正子		
<p>[成績評価方法] 演習中の取組み・毎回の演習後に提出するレポート内容および提出状況(70%)、2回実施するpptによる発表の出来ばえ(20%)、最後に行なう口頭試問試験の結果(10%)を総合的に評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題提出物は授業中に返却します。プレゼンテーション、口頭試問等のフィードバックは適宜行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容: 家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 看護形態機能学 生活行動からみるからだ 著者名: 菱沼典子著 出版社: 日本看護協会出版会 (978-4-8180-1626-2)</p>			

科目名	パーソナルファイナンス論		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	ガンガ 伸子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] これからの若者は、親の世代とは異なる社会環境の中で、必ずしもモデルのない人生設計において、ライフデザイン、マネジメントが必須となる。そのためには、金融に関する知識と判断する能力(金融リテラシー)のエンパワメントが必要となる。この授業では、変動する社会のなかで、各自のライフスタイルを見直し、自らの生活をデザインするために必要なパーソナルファイナンスの知識を習得を目標とする。</p> <p>[授業概要] はじめに、生活者の側から金融リテラシーによるエンパワメントについて考える。次に、家計管理・生活設計についての知識について学ぶ。さらに、多様なライフスタイルやライフサイクルとともに変化する家計の実態を解析するための分析方法について学ぶ。また、実際の家計管理や生活設計の方法については、家計簿診断、ライフイベント表やキャッシュフロー表の作成から、体験的に学んでいく。最後に、生活困難者の問題等、これからの社会のあり方について考えてみる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 「くらしの経済学」「生活経営学」「生活経済学」を履修していること。 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 生活の各場面において金融との関わりがある。日ごろから、身の回りの金融のさまざまなことに関心をもつこと。 FP検定取得希望者は、授業の他にFP検定用の問題集で勉強すること。</p> <p>[授業計画] 1. イントロダクション・生活から金融を考える、お金と経済 2. 家計管理と生活設計(人生とお金) 3. 家計管理と生活設計(稼ぐ・使う) 4. 家計管理と生活設計(生活を設計する①) 5. 家計管理と生活設計(生活を設計する②、キャッシュフロー表の作成) 6. 家計管理と生活設計(キャッシュフロー表の作成) 7. 家計管理と生活設計(貯める・遣す) 8. 金融と生活(お金を借りる) 9. 金融と生活(生活者のリスクについて考える①) 10. 金融と生活(生活者のリスクについて考える②) 11. 金融と生活(お金をふやす①②) 12. 社会とつながる(お金について相談する、持続可能な社会を創る) 13. まとめ 外部講師による、金融・保険に関する講座も予定している。</p>				

科目名	パーソナルファイナンス論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	ガンガ 伸子		
<p>[成績評価方法] 30分以上の遅刻は欠席とみなす。 小テストと授業時における課題評価 (50%)、定期試験 (50%)</p> <p>[課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法] 授業時に、小テストおよび課題のポイントを解説する。 定期試験は授業時の解説をもとに、自己採点すること。</p> <p>[オフィスアワー (質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政3-1/社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 『生活者の金融リテラシー ライフプランとマネーマネジメント』 著者名: 吉野直行監修 上村協子・藤野次雄・重川純子編集 出版社: 朝倉書店 (978-4-254-50031-8) 『学生生活マネー&キャリアお役立ちハンドブック』 配布する予定 (自分で購入する必要はありません) 著者名: 日本FP協会 出版社: 日本FP協会 『明るい暮らしの家計簿 2023年版』 配布する予定 (自分で購入する必要はありません) 出版社: とぎわ総合サービス株式会社</p> <p>[参考書 (ISBN)] 『お父さんが教える 13歳からの金融入門』 著者名: デヴィッド・ビアンキ 出版社: 日本経済新聞出版 (978-4532356859)</p>			

S73180 [HHS3-004]

科目名	パーソナルファイナンス論		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	ガンガ 伸子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] これからの若者は、親の世代とは異なる社会環境の中で、必ずしもモデルのない人生設計において、ライフデザイン、マネジメントが必須となる。そのためには、金融に関する知識と判断する能力(金融リテラシー)のエンパワメントが必要となる。この授業では、変動する社会のなかで、各自のライフスタイルを見直し、自らの生活をデザインするために必要なパーソナルファイナンスの知識を習得を目標とする。</p> <p>[授業概要] はじめに、生活者の側から金融リテラシーによるエンパワメントについて考える。次に、家計管理・生活設計についての知識について学ぶ。さらに、多様なライフスタイルやライフサイクルとともに変化する家計の実態を解析するための分析方法について学ぶ。また、実際の家計管理や生活設計の方法については、家計簿診断、ライフイベント表やキャッシュフロー表の作成から、体験的に学んでいく。最後に、生活困難者の問題等、これからの社会のあり方について考えてみる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 「生活経済学」を履修していることが望ましい。 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 生活の各場面において金融との関わりがある。日ごろから、身の回りの金融のさまざまなことに関心をもつこと。 FP検定取得希望者は、授業の他にFP検定用の問題集で勉強すること。</p> <p>[授業計画] 1. イントロダクション・生活から金融を考える、お金と経済 2. 家計管理と生活設計(人生とお金) 3. 家計管理と生活設計(稼ぐ・使う) 4. 家計管理と生活設計(生活を設計する①) 5. 家計管理と生活設計(生活を設計する②、キャッシュフロー表の作成) 6. 家計管理と生活設計(キャッシュフロー表の作成) 7. 家計管理と生活設計(貯める・遣す) 8. 金融と生活(お金を借りる) 9. 金融と生活(生活者のリスクについて考える①) 10. 金融と生活(生活者のリスクについて考える②) 11. 金融と生活(お金をふやす①②) 12. 社会とつながる(お金について相談する、持続可能な社会を創る) 13. まとめ 外部講師による、金融・保険に関する講座も予定している。</p>				

科目名	パーソナルファイナンス論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	ガンガ 伸子		
<p>[成績評価方法] 30分以上の遅刻は欠席とみなす。 小テストと授業時における課題評価 (50%)、定期試験 (50%)</p> <p>[課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法] 授業時に、小テストおよび課題のポイントを解説する。 定期試験は授業時の解説をもとに、自己採点すること。</p> <p>[オフィスアワー (質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 『生活者の金融リテラシー ライフプランとマネーマネジメント』 著者名: 吉野直行監修 上村協子・藤野次雄・重川純子編集 出版社: 朝倉書店 (978-4-254-50031-8) 『学生生活マネー&キャリアお役立ちハンドブック』 配布する予定 (自分で購入する必要はありません) 著者名: 日本FP協会 出版社: 日本FP協会 『明るい暮らしの家計簿 2023年版』 配布する予定 (自分で購入する必要はありません) 出版社: とぎわ総合サービス株式会社</p> <p>[参考書 (ISBN)] 『お父さんが教える 13歳からの金融入門』 著者名: デヴィッド・ビアンキ 出版社: 日本経済新聞出版 (978-4532356859)</p>			

S73180F [HHS3-004]

科目名	被服衛生学	前期	2 単位
サブタイトル	衣服の快適性と健康	講義	
担当者	深沢 太香子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 環境に応じた被服の選択、着衣方法について、ヒトの衛生・生理的な観点から基礎的な概念を理解・修得する。そして、快適かつ健康・安全な衣服の着方を日常生活に反映・応用する力を修得する。</p> <p>[授業概要] 乳幼児から高齢者など、様々な特徴を示すヒトが、健康・安全で快適な衣生活を送るために、望ましい着衣を正しく理解することは重要である。そこで、本授業では、人体の生理機能を確認し、それらが着衣によって受ける影響について解説する。さらに、被服の持つ多様な機能や様々な生活環境や生活シーンとの相互関係についても解説する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・授業内容を復習しながら理解するために、ミニペーパー課題を提出することがある。 ・次回講義での教科書範囲を指示するので予習を4時間程度行う。 ・講義に関連するニュースや情報を積極的に収集するように日頃から心掛ける。各自で収集した情報をテーマとしたレポートを課題として提出することがある。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション, 衣服の快適性と健康 2. 衣服に関する人体生理I 3. 衣服に関する人体生理II 4. ヒトと温熱環境 5. 衣服による気候調節I 6. 衣服による気候調節II 7. 衣服による圧迫 8. 衣服と身体の動き 9. 衣服の汚れと皮膚障害 10. 乳幼児・子どもと衣服 11. 高齢者と衣服 12. 各種の被服と機能 13. まとめ</p>			

科目名	被服衛生学	前期	2 単位
サブタイトル	衣服の快適性と健康	講義	
担当者	深沢 太香子		

[成績評価方法]

試験(60%)、課題(レポートなど)(40%)により総合評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

提出課題にコメントを付して返却する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

衣環境の科学 著者名:田村 照子 編著 出版社:建帛社 (4-7679-1047-1)

[参考書(ISBN)]

授業中に配布する資料・プリント類

科目名	被服科学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	山根 千弘		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

生活材料及び被服管理に関する知識、すなわち生活材料学、生活科学基礎実験、被服管理学などで学習した知識を、実験を通じた体験により深く理解することを目標とする。

[授業概要]

生活材料学、繊維材料学、被服管理学で学んだ知識をこの実験を通して強化する。机上での理論から実験を通して、体感する事でより深くこれらの知識をより深める。実験では基本的には4～6名程度のグループで実験を進める。実験は一回で完結するが、それに関するレポートを提出する。実験の内容に関する筆記テスト(試験)も実施する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

生活材料学、繊維材料学、被服管理学の知識を基に授業を進めるので、これらの授業の復習が必要。実験の指示書を事前に配布するので、十分に予習して実験の内容を理解しておくこと。またレポートを作成し、実験の内容を復習する。

[授業計画]

1. 実験の進め方、概要、安全上の注意
2. 樹脂加工と熱処理による織物の形態保持に関する実験
3. 織物の呈色反応と繊維の鑑別
4. 繊維の形態
5. 糸の太さ、より数、など糸の構成
6. 様々な布の水に対する影響
7. 布の硬さ、ドレープ性
8. 織物の防しわ、表面摩擦
9. 縫い目強さ
10. 縫いチジミ、縫いずれ評価
11. 実験内容の解説1
12. 実験内容の解説2
13. まとめ

科目名	被服科学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	山根 千弘		
<p>[成績評価方法] レポート(80%)、試験(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート提出後速やかにコメントを返却。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。実験テキスト(指示書)を第1回の授業で配布する。 著者名:該当しない。 出版社:該当しない。(該当しない。)</p> <p>[参考書(ISBN)] 被服材料実験書 著者名:石川欣造編 出版社:同文書院 (9784810000000) 衣服材料の科学(第3版) 著者名:島崎恒蔵編 出版社:建帛社 (9784770000000) 繊維製品の基礎知識シリーズ(第1、2部) 著者名:(社)日本衣料管理協会刊行委員会編 出版社:日本衣料管理協会 被服管理学および実験 著者名:文化女子大学被服管理学研究室著 出版社:文化出版局 (9784580000000)</p>			

科目名	被服科学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	山根 千弘		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

生活材料及び被服管理に関する知識、すなわち生活材料学、生活科学基礎実験、被服管理学などで学習した知識を、実験を通じた体験により深く理解することを目標とする。

[授業概要]

生活材料学、繊維材料学、被服管理学で学んだ知識をこの実験を通して強化する。机上での理論から実験を通して、体感する事でより深くこれらの知識をより深める。実験では基本的には4～6名程度のグループで実験を進める。実験は一回で完結するが、それに関するレポートを提出する。実験の内容に関する筆記テスト(試験)も実施する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

生活材料学、繊維材料学、被服管理学の知識を基に授業を進めるので、これらの授業の復習が必要。実験の指示書を事前に配布するので、十分に予習して実験の内容を理解しておくこと。レポートを作成し実験の内容を復習する。

[授業計画]

1. 実験の進め方、概要、安全上の注意
2. 樹脂加工や熱処理による織物の形態保持に関する実験
3. 織物の呈色反応と繊維の鑑別
4. 繊維の形態
5. 糸の太さ、より数、など糸の構成
6. 様々な布の水に対する影響
7. 布の硬さ、ドレープ性
8. 織物の防しわ、表面摩擦
9. 縫い目強さ
10. 縫いチジミ、縫いずれ評価
11. 実験内容の解説1
12. 実験内容の解説2
13. まとめ

科目名	被服科学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	山根 千弘		
<p>[成績評価方法] レポート(80%)、試験(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート提出後速やかにコメントを返却。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。実験テキスト(指示書)を第1回の授業で配布する。 著者名:該当しない。 出版社:該当しない。(該当しない。)</p> <p>[参考書(ISBN)] 被服材料実験書 著者名:石川欣造編 出版社:同文書院 (9784810000000) 衣服材料の科学(第3版) 著者名:島崎恒蔵編 出版社:建帛社 (9784770000000) 繊維製品の基礎知識シリーズ(第1、2部) 著者名:(社)日本衣料管理協会刊行委員会編 出版社:日本衣料管理協会 被服管理学および実験 著者名:文化女子大学被服管理学研究室著 出版社:文化出版局 (9784580000000)</p>			

科目名	被服管理学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山根 千弘		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	授業内小テストとそのディスカッション	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

- ・汚れを除去するために界面活性剤や漂白剤を使用して洗浄するが、界面活性剤や漂白剤の種類および、汚れを除去するメカニズムが説明できるようになる。
- ・被服の、主に洗濯による、しわや縮の原因や対処方法などを理解する。
- ・染料や染色について理解するとともに色落ち(堅牢度)のメカニズムを理解する。

[授業概要]

私たちの生活には欠かせない衣類は身の回りの製品の中で数少ないリユース(繰り返し使用)するものです。そのいわゆるリユースに欠かせない現象、汚れの付着や除去、しわや縮みの発生メカニズムや対処法、染色や色落ち(染色の堅牢性)などを科学をベースとして学びます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

生活材料学や生活科学基礎実験の授業がベースとなるので、これらの復習をしておいてください。
予習復習4時間程度

[授業計画]

1. コースガイダンスと繊維材料
2. 繊維と汚れについて
3. 界面活性剤の種類
4. 界面活性剤のはたらき
5. 繊維製品の加工(1)
6. 繊維製品の加工(2)
7. 染料(1)
8. 染料(2)
9. 顔料(1)
10. 顔料(2)
11. 染色法
12. 捺染法
13. まとめ

科目名	被服管理学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山根 千弘		
<p>[成績評価方法] 試験 (100%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業・試験後に質問に応ずる。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 配布資料 (なし)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 被服管理学 著者名:増子富美、齊藤昌子、牛腸ヒロミ、米山雄二、小林政司、藤居真理子、後藤純子、梅澤典子、生野晴美 出版社:朝倉書店 (9784250000000) 石鹼百科</p> <p>https://www.live-science.com/</p>			

科目名	ファッションデザイン演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	福西 由美子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] デザインの基本論理を理解し、ファッションにおいてデザインの機能性と審美性について理解を深め、アイデアの発想、デザイン表現できる能力を養うことを目標とします。</p> <p>[授業概要] 服飾デザインの役割や価値を理解し、デザインの構成要素である色彩、形態、素材の基礎知識を課題を通じて身につけます。そして、ファッションデザインの基本的な考え方、ファッション・ドローイングで具体的な描写テクニックを学び、アイデアの発想から独自のファッションデザインへ展開していきます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度。ファッション分野だけでなく、アートやカルチャーにも関心を持ち幅広い視野でデザインを捉える意識をもって授業に臨む姿勢が必要です。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ファッションデザイン概論 I デザインの定義、デザインの目的と役割 2. ファッションデザイン概論 II 服飾デザインの歩み 3. デザインの基礎 I 形とシルエット、構成について 4. デザインの基礎 II 素材の特性と造形性、トレンド感性について 5. ファッションドローイング I 基本プロポーションを描く 6. ファッションドローイング II 応用プロポーションを描く 7. ファッションドローイング III 顔・ヘアスタイル、着装スタイルを描く 8. ファッションドローイング IV ハンガーイラストを描く 9. ファッションスタイル表現 I アイテム別スタイリング表現 10. ファッションスタイル表現 II 画材の使い方・テキスタイル表現 11. ファッションデザイン展開 I アイデアの発想 12. ファッションデザイン展開 II アイデアからオリジナルデザイン表現へ 13. ファッションデザイン展開 III オリジナルデザイン作品・プレゼンテーション 			

科目名	ファッションデザイン演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	福西 由美子		
<p>[成績評価方法] 授業内課題(60%) 作品提出・プレゼンテーション(40%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題は、後日添削して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:授業内課題 授業での学びを的確にワークシート、課題作品に示しているかで評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:授業内課題 授業内容を踏まえて、作品コンセプトに自己の考えや考察が反映できているかで評価する。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:演習での積極的参加と発表、質問に対する積極性・適切な答えを統合して評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題の進め方、取り組み状況によって評価する。</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 「ファッションデザインテクニック」 著者名:高村是州 出版社:グラフィック社 (ISBN978-4-7661-1579-6)</p>			

科目名	ファッションデザイン論		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	中西 正恵			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		○
<p>[到達目標] デザインの基本論理を理解し、ファッションにおいてデザインの機能性と審美性について理解を深め、アイデアの発想、デザイン表現できる能力を養うことを目標とします。</p> <p>[授業概要] 服飾デザインの役割や価値を理解し、デザインの構成要素である色彩、形態、素材の基礎知識を課題を通じて身につけます。そして、ファッションデザインの基本的な考え方、ファッション・ドローイングで具体的な描写テクニックを学び、アイデアの発想から独自のファッションデザインへ展開していきます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度。ファッション分野だけでなく、アートやカルチャーにも関心を持ち幅広い視野でデザインを捉える意識をもって授業に臨む姿勢が必要です。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ファッションデザイン概論 I デザインの定義、デザインの目的と役割 2. ファッションデザイン概論 II 服飾デザインの歩み 3. デザインの基礎 I 形とシルエット、構成について 4. デザインの基礎 II 素材の特性と造形性、トレンド感性について 5. ファッションドローイング I 基本プロポーションを描く 6. ファッションドローイング II 応用プロポーションを描く 7. ファッションドローイング III 顔・ヘアースタイル、着装スタイルを描く 8. ファッションドローイング IV ハンガーイラストを描く 9. ファッションスタイル表現 I アイテム別スタイリング表現 10. ファッションスタイル表現 II 画材の使い方・テキスタイル表現 11. ファッションデザイン展開 I アイデアの発想 12. ファッションデザイン展開 II アイデアからオリジナルデザイン表現へ 13. ファッションデザイン展開 III オリジナルデザイン作品・プレゼンテーション 				

科目名	ファッションデザイン論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中西 正恵		
<p>[成績評価方法] 授業内課題(60%) 作品提出・プレゼンテーション(40%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題は、後日添削して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:授業内課題 授業での学びを的確にワークシート、課題作品に示しているかで評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:授業内課題 授業内容を踏まえて、作品コンセプトに自己の考えや考察が反映できているかで評価する。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:演習での積極的参加と発表、質問に対する積極性・適切な答えを統合して評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題の進め方、取り組み状況によって評価する。</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 「ファッションデザインテクニック」 著者名:高村是州 出版社:グラフィック社 (ISBN978-4-7661-1579-6)</p>			

科目名	ファッションビジネス論	後期	2 単位
サブタイトル	ファッションブランドを学ぶ	講義	
担当者	田中 健一		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] ファッションビジネスの基礎知識とマーケティング戦略について認識し、理解を深める。 ファッションビジネスにおけるのビジネスパーソンとしての基礎知識を習得する。</p> <p>[授業概要] アクセサリ販売の実務に携わる教員がファッションビジネスについて指導します。ファッションビジネスは、生活者のライフスタイルの中から生まれるニーズやウオンツを素早く察知し、魅力的・創造的・機能的・合理的な要素を付加し、さらに価値ある商品に仕上げ、生活者に提供する最先端のビジネスです。つまり、ファッション生活を楽しむ生活者のためのビジネスと言えます。現在、ファッションは、「衣・食・住」など広範囲に定義づけられており、そのため、幅広い知識を学んでいきます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ファッション情報や世の中の出来事に関心を持つこと。(予習2時間、復習2時間)</p> <p>[授業計画] 授業計画□ 授業計画について 2. ファッションビジネスの定義と主な専門分野内容 3. ファッション産業の分類、構造、特性 4. ファッションビジネスの変遷 5. ブランド戦略とマーケット 6. ファッション消費と消費者行動 7. ファッションマーケティング1 8. ファッションマーケティング2 9. ファッションマーチャンダイジング1 10. ファッションマーチャンダイジング2 11. ビジネス基礎知識1 12. ビジネス基礎知識2 13. ビジネス基礎知識3</p>			

科目名	ファッションビジネス論	後期	2 単位
サブタイトル	ファッションブランドを学ぶ	講義	
担当者	田中 健一		
<p>[成績評価方法] 授業内レポート・ミニテスト50% 定期試験50% レポートは期限厳守のこと。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内でレポートテーマ、ミニテストの解答を解説します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 教科書はなしです。</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	フィールドワーク	前期	2 単位
サブタイトル	豊かな暮らしを創造するための課題解決型フィールドワーク	実習	
担当者	ガンガ 伸子、大森 正子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家政学に関連する実践的な取り組みを企業や諸施設で実感し、これに関するテーマで調査・研究、制作や実践活動ができるようになる。 ・キャンパスから離れて、フィールド(研究の現地)で多様な価値観や考え方・ものの見方に出会い、自分自身の成長につなげていく。 ・この授業で取り上げたテーマの成果は、報告書やポスターとしてまとめるとともに、口頭発表も行い、第三者に伝えられるようになる。 <p>[授業概要]</p> <p>フィールドワークとは、「フィールド」として選択した場所に行き、テーマに即して体験や聞き取り、調査・研究活動を行なうことを意味する。本授業では、班ごとに設定したテーマに関連する企業や美術館・工房等の施設の訪問・見学・オンラインインタビューにより、聞き取りなどの調査研究や、テーマに関連したものを制作して提案するなど、実践的な創意工夫のある有意義な時間を得る。そして、研究の成果をポスターや報告書にまとめ、発表し、意見交換を行う。</p> <p>*毎週の授業の他、事前打ち合わせや学外見学や実践活動等は、各班のメンバーと班担当教員の空き時間、週末や授業のない日、夏季休業期間中等に設定するため、このことを了解しておくこと。また、自己負担が適当と認められる学外見学時の飲食費、交通費、体験費用等が発生することも了解しておくこと。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>設定したテーマに関心をもち関連する分野・領域の内容に関して資料を収集し他者に説明ができるように学修しておく。調べた資料は報告書や発表時に参考資料として必要となるため整理し出典を必ず記録しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション(フィールドワークについて) 2. 事前学習(テーマ設定1) 3. 事前学習(テーマ設定2) 4. 事前学習(テーマ設定3) 5. 事前学習(データ解析1) 6. 事前学習(データ解析2) 7. 事前学習(データ解析3) 8. 事前学習(文献調査1) 9. 事前学習(文献調査2) 10. 事前学習(文献調査3) 11. 事前学習(事前資料作成1) 12. 事前学習(事前資料作成2) 13. 事前学習(事前質問票の作成) 14. フィールドワーク(学外研修1) 15. フィールドワーク(学外研修1) 16. フィールドワーク(学外研修2) 17. フィールドワーク(学外研修2) 18. フィールドワーク(学外研修2) 19. フィールドワーク(学外研修2) 20. 事後学習(ふりかえり) 21. 事後学習(レポート、パネルポスター作成) 22. 事後学習(レポート、パネルポスター作成) 23. 事後学習(レポート、パネルポスター作成) 24. 事後学習(レポート、パネルポスター作成) 25. 事後学習(レポート、パネルポスター作成) 26. 発表 			

科目名	フィールドワーク	前期	2 単位
サブタイトル	豊かな暮らしを創造するための課題解決型フィールドワーク	実習	
担当者	ガンガ 伸子、大森 正子		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み姿勢や研究・実践活動の成果(40%)、報告書・ポスター・発表等(30%)、個人レポート(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 報告書、ポスター、発表原稿等のフィードバックは適宜行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	福祉住環境学	後期	2 単位
サブタイトル	居住福祉	講義	
担当者	砂本 文彦		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 福祉住環境の考え方を理解し、高齢者・障害者の心身特性と、これに対応する福祉用具の活用法、ならびに福祉住環境整備の基本的技術を説明できる。</p> <p>[授業概要] 高齢者や障害者の肢体不自由について知るとともに、これに対処する福祉住環境の考え方を学ぶ。具体的には、高齢者・障害者の心身特性の多様性と実際について理解し、生活活動をサポートする個別の福祉用具の活用法を知るとともに、高齢者や障害者のQOLを高める福祉住環境整備の設計技術を学ぶ。また、福祉住環境をとりまく法規と行政サポートを知ること、福祉住環境整備における自助・共助・公助の効果的な設定についても理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 高齢者や障害者がおかれている肢体不自由の状況について思いを巡らす習慣をつけておくこと。また、高齢者福祉、障害者福祉にかかわる時事問題が理解できるように、関心の幅を広げておくこと。本授業での課題は学生個別の課題になるので、スケジュールを各自調整すること。各回、予習復習合わせて4時間程度します。</p> <p>[授業計画] 1.福祉住環境を取り巻く社会状況 2.福祉住環境に関連する理論や考え方 3.福祉住環境に関する諸制度 4.生活機能と基本動作の理解 5.福祉用具の内容とその選択 6.福祉住環境整備の考え方 7.福祉用具の活用 8.福祉住環境整備の基本技術(技術基準、段差、手すり、動作空間) 9.福祉住環境整備の基本技術(建具、仕上げ材、家具、室内環境) 10.生活行為別に見た空間整備手法(就寝、整容、排泄、入浴) 11.生活行為別に見た空間整備手法(移動、食事、家事、外出) 12.障害に配慮して計画された住まい 13.ライフステージに配慮した住まいと福祉住環境学のまとめ</p>			

科目名	福祉住環境学	後期	2 単位
サブタイトル	居住福祉	講義	
担当者	砂本 文彦		
<p>[成績評価方法] 試験(70%)、レポート課題(発表)(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に課題成果の紹介をするなどを通じて、フィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『初めて学ぶ福祉住環境 第三版』 著者名:長澤泰監修 出版社:市ヶ谷出版社 (978-4-87071-008-5)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	保育学(実習及び家庭看護学を含む)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	寺村 ゆかの		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児の心身の発達について理解する 2. 乳幼児とその養育者との関係性の発達について理解する 3. 乳幼児の健康が障害された(病気やケガ)時のケアの方法を理解できる 4. 子育てに課題を抱える養育者に対する支援のあり方を考えることができる <p>[授業概要]</p> <p>助産師・看護師の実務経験のある教員から、保育の対象である胎児期から就学前までの子どもの発達過程を、生涯発達の観点から解説するとともに、「子どもの社会性」などの発達にとって極めて重要な乳幼児期の対人関係のあり方・遊びの意味なども検討する。また、乳幼児の健康や安全(病気と看護の方法、予防接種 屋内の事故防止など)管理の重要性を説明する。さらに、保育をめぐる現状と課題(マルトリートメント、ひとり親家庭や貧困家庭、産後うつや育児不安、待機児童、発達障害など)を家庭での保育(養育)・保育サービス・地域子育て支援という視点から解説する。これらとは別に、乳幼児の観察を通して、現代の子どもを取り巻く社会や環境が、子どもの発達や遊びにどのような影響を与えているのかなどを議論する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>授業前学修: 次回授業のテーマについてキーワードを提示するので、それについて文献で調べたり新聞等の記事を読んだりして自己学習を行う。</p> <p>授業後学修: 自分で調べたキーワードについて、授業を通して補足し、内容を深める。 (各回、予習復習合わせて、4時間程度)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭科教育における保育／子どもの成長・発達とは 2. 妊娠期の女性(母親)の心身の変化と胎児の成長・発達 3. 新生児・乳児期の心身の成長・発達 4. 幼児期(1～3歳)の心身の成長・発達 5. 幼児期(4～6歳)の心身の成長・発達 6. 乳幼児期の遊びと生活(実習またはそれにかわる演習) 7. 乳児期の人間関係の発達(愛着 安全基地 分離・個体化理論など) 8. 乳幼児の健康①(子どものかかりやすい病気) 9. 乳幼児の健康②(子どもの体調不良などに対する家庭看護) 10. 乳幼児の健康③(子どもの事故の特徴と事故防止) 11. 乳用児の健康④(応急処置) 12. 家庭保育の現状と課題 ①(産後うつ 育児不安) 13. 家庭保育の現状と課題 ②(マルトリートメント) 14. 地域の子育て支援の現状と課題(保育施設・地域子育て支援拠点事業) 			

科目名	保育学(実習及び家庭看護学を含む)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	寺村 ゆかの		
<p>[成績評価方法] 成績評価方法 ① 毎回提出するミニレポート又は小テスト 14回×5点=70点 ② 最終レポート 30点 ①と②の合計 100点</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回のミニレポート・小テストに関して、次回の授業中に解説・回答を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:授業中のミニレポート又は小テスト および最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:授業中のミニレポート又は小テスト および最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:授業中のミニレポート又は小テスト および最終レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のミニレポート又は小テスト および最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のミニレポート又は小テスト および最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業中のミニレポート又は小テスト および最終レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし 毎回、資料(レジメ)を配布する</p> <p>[参考書(ISBN)] 保育の心理学 (MINERVA はじめて学ぶ子どもの福祉) 著者名:伊藤篤 編著 寺村ゆかの(第2章) 出版社:ミネルヴァ書房 (9784620000000) 授業で現場で役に立つ! 子どもの保健テキスト 著者名:小林美由紀 編著 出版社:診断と治療社 (9784790000000)</p>			

K70280 [HHB3-003]

科目名	保育学(実習及び家庭看護学を含む)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	寺村 ゆかの		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児の心身の発達について理解する 2. 乳幼児とその養育者との関係性の発達について理解する 3. 乳幼児の健康が障害された(病気やケガ)時のケアの方法を理解できる 4. 子育てに課題を抱える養育者に対する支援のあり方を考えることができる <p>[授業概要]</p> <p>助産師・看護師の実務経験のある教員から、保育の対象である胎児期から就学前までの子どもの発達過程を、生涯発達の観点から解説するとともに、「子どもの社会性」などの発達にとって極めて重要な乳幼児期の対人関係のあり方・遊びの意味なども検討する。また、乳幼児の健康や安全(病気と看護の方法、予防接種 屋内の事故防止など)管理の重要性を説明する。さらに、保育をめぐる現状と課題(マルトリートメント、ひとり親家庭や貧困家庭、産後うつや育児不安、待機児童、発達障害など)を家庭での保育(養育)・保育サービス・地域子育て支援という視点から解説する。これらとは別に、乳幼児の観察を通して、現代の子どもを取り巻く社会や環境が、子どもの発達や遊びにどのような影響を与えているのかなどを議論する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>授業前学修: 次回授業のテーマについてキーワードを提示するので、それについて文献で調べたり新聞等の記事を読んだりして自己学習を行う。</p> <p>授業後学修: 自分で調べたキーワードについて、授業を通して補足し、内容を深める。 (各回、予習復習合わせて、4時間程度)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭科教育における保育／子どもの成長・発達とは 2. 妊娠期の女性(母親)の心身の変化と胎児の成長・発達 3. 新生児・乳児期の心身の成長・発達 4. 幼児期(1～3歳)の心身の成長・発達 5. 幼児期(4～6歳)の心身の成長・発達 6. 乳幼児期の遊びと生活(実習またはそれにかわる演習) 7. 乳児期の人間関係の発達(愛着 安全基地 分離・個体化理論など) 8. 乳幼児の健康①(子どものかかりやすい病気) 9. 乳幼児の健康②(子どもの体調不良などに対する家庭看護) 10. 乳幼児の健康③(子どもの事故の特徴と事故防止) 11. 乳用児の健康④(応急処置) 12. 家庭保育の現状と課題 ①(産後うつ 育児不安) 13. 家庭保育の現状と課題 ②(マルトリートメント) 14. 地域の子育て支援の現状と課題(保育施設・地域子育て支援拠点事業) 			

科目名	保育学(実習及び家庭看護学を含む)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	寺村 ゆかの		
<p>[成績評価方法] 成績評価方法 ① 毎回提出するミニレポート又は小テスト 14回×5点=70点 ② 最終レポート 30点 ①と②の合計 100点</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回のミニレポート・小テストに関して、次回の授業中に解説・回答を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:授業中のミニレポート又は小テスト および最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:授業中のミニレポート又は小テスト および最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:授業中のミニレポート又は小テスト および最終レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のミニレポート又は小テスト および最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のミニレポート又は小テスト および最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業中のミニレポート又は小テスト および最終レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし 毎回、資料(レジメ)を配布する</p> <p>[参考書(ISBN)] 保育の心理学 (MINERVA はじめて学ぶ子どもの福祉) 著者名:伊藤篤 編著 寺村ゆかの(第2章) 出版社:ミネルヴァ書房 (9784620000000) 授業で現場で役に立つ! 子どもの保健テキスト 著者名:小林美由紀 編著 出版社:診断と治療社 (9784790000000)</p>			

科目名	和装文化演習	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小林 政子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着物全般について深く理解できるようになる。 ・着物の生地、柄、TPOを踏まえ目的に応じた和の装いができるようになる。 ・着物の構成や縫製方法を理解し自分で簡単な管理や手入れができるようになる。 <p>[授業概要]</p> <p>着物は、日本人の美意識が日本人の技術によって見事に表現された民族衣装である。演習では、四季を通して着物を着用するための知恵を知り日本の文化に触れ、さらに、着物のコーディネート、着付け方、および立ち居振る舞いについて学習し、日常生活に活かす。また、職業としての和服縫製と縫製指導の実務経験をもとに、着装に必要な消耗品の製作等も指導する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>教科書の指定された範囲に目を通し、基礎知識として蓄えておくこと。各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.ペーパークラフトによる女物単長着の製作、長着の各部の名称 2.着物、帯、小物 3.着るときに必要なもの 繰り回しの実践として腰紐の製作 4.素材と夏物、着物の文様 5.羽織とコート、ペーパークラフトによる女物単羽織の製作、羽織の各部名称 6.着物の主な産地と特徴、紋 7.子供物着物、男物着物、収納と手入れ 8.浴衣の着付け 9.浴衣の着付け、半幅帯で蝶々結び 10.浴衣の着付け、半幅帯で文庫結び 11.浴衣の着付け、半幅帯で貝ノ口、着物の立ち居振る舞い 12.ペーパークラフトによる女物道行コートの製作、道行コートの各部名称 13.まとめ 			

科目名	和装文化演習	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小林 政子		
<p>[成績評価方法] 授業態度(20%)、提出物・レポート(40%)、試験(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは、後日添削して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。 成績評価方法:レポート、試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:提出物・レポート、試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:提出物・レポート、試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業態度、提出物・レポート、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業態度、提出物</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業態度、提出物・レポート、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業態度、提出物</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	和装文化演習	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小林 政子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着物全般について深く理解できるようになる。 ・着物の生地、柄、TPOを踏まえ目的に応じた和の装いができるようになる。 ・着物の構成や縫製方法を理解し自分で簡単な管理や手入れができるようになる。 <p>[授業概要]</p> <p>着物は、日本人の美意識が日本人の技術によって見事に表現された民族衣装である。演習では、四季を通して着物を着用するための知恵を知り日本の文化に触れ、さらに、着物のコーディネート、着付け方、および立ち居振る舞いについて学習し、日常生活に活かす。また、職業としての和服縫製と縫製指導の実務経験をもとに、着装に必要な消耗品の製作等も指導する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>教科書の指定された範囲に目を通し、基礎知識として蓄えておくこと。各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.ペーパークラフトによる女物単長着の製作、長着の各部の名称 2.着物、帯、小物 3.着るときに必要なもの 繰り回しの実践として腰紐の製作 4.素材と夏物、着物の文様 5.羽織とコート、ペーパークラフトによる女物単羽織の製作、羽織の各部名称 6.着物の主な産地と特徴、紋 7.子供物着物、男物着物、収納と手入れ 8.浴衣の着付け 9.浴衣の着付け、半幅帯で蝶々結び 10.浴衣の着付け、半幅帯で文庫結び 11.浴衣の着付け、半幅帯で貝ノ口、着物の立ち居振る舞い 12.ペーパークラフトによる女物道行コートの製作、道行コートの各部名称 13.まとめ 			

科目名	和装文化演習	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小林 政子		
<p>[成績評価方法] 授業態度(20%)、提出物・レポート(40%)、試験(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは、後日添削して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。 成績評価方法:レポート、試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:提出物・レポート、試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:提出物・レポート、試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業態度、提出物・レポート、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業態度、提出物</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業態度、提出物・レポート、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業態度、提出物</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

家政学部専門科目
管理栄養士養成課程
(授業科目名五十音順)

科目名	衣生活概論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	森 治子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>1.衣生活に関する基本的な知識を習得し、快適な衣生活をおくるための設計を立案・計画することができるようになる。</p> <p>2.家庭科教育における衣生活・被服の分野を担当するために必要となる科学的な知識と文化的な知識を学ぶことにより、教育や生活の場で実践できるようになる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>私たちは社会生活を営むために、なんらかの衣服を身につけて生活している。この授業では、生活環境の変化や科学技術の進展とともに変わりゆく衣生活について、被服材料、被服構成、被服管理、着装などの基本的な知識を学ぶ。また服装の歴史を学ぶことによって、社会と衣生活とのかかわりや服飾表現の可能性について検討する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>授業の際に必要な予習や復習については、授業時に指示・説明する。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.衣生活と生活文化ー人はなぜ服を着るのかー 2.装いと衣服の選択 3.装いと健康 4.体型と衣服 5.衣服の素材(1)繊維の種類と性質 6.衣服の素材(2)染織の種類と技法 7.衣服の管理(1)汚れと洗濯 8.衣服の管理(2)手入れと管理 9.アパレル産業と衣生活 10.ユニバーサルデザインと衣生活 11.装いの歴史(1)西洋の衣生活 12.装いの歴史(2)日本の衣生活 13.現代の衣生活と環境 			

科目名	衣生活概論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	森 治子		
<p>[成績評価方法] 毎回授業で提出する小課題やコメントカード: 50% 期末レポート: 50%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時に提出する小課題は、次回の授業でコメントして返却する。 コメントカードについては、次回の授業で紹介し、総評する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] ビジュアル衣生活論 著者名: 岡田宣子編著 出版社: 建帛社 (978-4-7679-1445-9)</p> <p>[参考書(ISBN)] 消費者の視点からの衣生活概論 著者名: 菅井清美・諸岡晴美編著 出版社: 井上書院 衣生活論—持続可能な消費と生産— 著者名: 山口庸子他編著 出版社: アイ・ケイコーポレーション 衣生活学(生活科学テキストシリーズ) 著者名: 佐々井 啓、大塚 美智子 編著 出版社: 朝倉書店</p>			

科目名	運動生理学	後期	2 単位
サブタイトル	健康生活にはなぜ筋肉運動が必要か	講義	
担当者	奥野 直		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

ヒトが健康を維持・増進するために、運動が必要であることを生理学的に理解できるようになること、および運動を行ったときに生じる生理学的な急性の変化と、繰り返しによる適応的な変化について理解できるようになること、そして、運動生理学の基礎的な知識やエビデンスに基づいた運動・スポーツの実践ならびに指導できるようになることを到達目標とする。

[授業概要]

現代人が生活する中で、多くの人は運動量が不足する状態に陥っている。ヒトとして健康を維持するために運動は欠かせないものであることを、生理学的な理解を深めるために、筋骨格系、呼吸系、循環系、体液・体温調節系、代謝系などの基本的な内容と、運動をしている時やトレーニングを継続することによって起こる生体の一時的な変化から適応までのメカニズムを講義する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習を十分にしておくこと(2時間)。

[授業計画]

- 健康・体力づくりの意義と運動の効用 (健康・体力の定義、栄養・運動・休養の概念)
- 運動に関わる骨格と筋肉の構造と機能、オリンピック等で活躍するトップアスリートの肉体の神秘①
- 運動・トレーニングによる身体諸機能の変化① (筋繊維タイプ、筋収縮のメカニズム)
- 運動・トレーニングによる身体諸機能の変化② (筋の収縮様式と筋力、神経系・反射系)
- まとめ①、オリンピック等で活躍するトップアスリートの肉体の神秘②
- 運動・トレーニングによる身体諸機能の変化③ (呼吸器系、酸素負債、呼吸交換比)
- 運動・トレーニングによる身体諸機能の変化④ (循環器系、心拍出量)
- 運動・トレーニングによる身体諸機能の変化⑤ (血液・体液調節、熱中症)
- まとめ②、オリンピック等で活躍するトップアスリートの肉体の神秘③
- 運動・トレーニングによる身体諸機能の変化⑥ (血液・体液調節、体温調節、水分補給)
- 運動・トレーニングによる身体諸機能の変化⑦ (内分泌系)
- 運動とエネルギー代謝
- まとめ③、オリンピック等で活躍するトップアスリートの肉体の神秘④

科目名	運動生理学	後期	2 単位
サブタイトル	健康生活にはなぜ筋肉運動が必要か	講義	
担当者	奥野 直		
<p>[成績評価方法] 3回の試験(30%×3)と課題(10%)により評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験については、後日学内システムmanabaを用いて解答を解説します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験と課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験と課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:試験と課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験と課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験と課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験と課題</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	運動生理学	後期	2 単位
サブタイトル	健康生活にはなぜ筋肉運動が必要か	講義	
担当者	奥野 直		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>ヒトが健康を維持・増進するために、運動が必要であることを生理学的に理解できるようになること、および運動を行ったときに生じる生理学的な急性の変化と、繰り返しによる適応的な変化について理解できるようになること、そして、運動生理学の基礎的な知識やエビデンスに基づいた運動・スポーツの実践ならびに指導できるようになることを到達目標とする。</p> <p>[授業概要]</p> <p>現代人が生活する中で、多くの人は運動量が不足する状態に陥っている。ヒトとして健康を維持するために運動は欠かせないものであることを、生理学的な理解を深めるために、筋骨格系、呼吸系、循環系、体液・体温調節系、代謝系などの基本的な内容と、運動をしている時やトレーニングを継続することによって起こる生体の一時的な変化から適応までのメカニズムを講義する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習を十分にしておくこと(2時間)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 健康・体力づくりの意義と運動の効用 (健康・体力の定義、栄養・運動・休養の概念) 運動に関わる骨格と筋肉の構造と機能、オリンピック等で活躍するトップアスリートの肉体の神秘① 運動・トレーニングによる身体諸機能の変化① (筋繊維タイプ、筋収縮のメカニズム) 運動・トレーニングによる身体諸機能の変化② (筋の収縮様式と筋力、神経系・反射系) まとめ①、オリンピック等で活躍するトップアスリートの肉体の神秘② 運動・トレーニングによる身体諸機能の変化③ (呼吸器系、酸素負債、呼吸交換比) 運動・トレーニングによる身体諸機能の変化④ (循環器系、心拍出量) 運動・トレーニングによる身体諸機能の変化⑤ (血液・体液調節、熱中症) まとめ②、オリンピック等で活躍するトップアスリートの肉体の神秘③ 運動・トレーニングによる身体諸機能の変化⑥ (血液・体液調節、体温調節、水分補給) 運動・トレーニングによる身体諸機能の変化⑦ (内分泌系) 運動とエネルギー代謝 まとめ③、オリンピック等で活躍するトップアスリートの肉体の神秘④ 			

科目名	運動生理学	後期	2 単位
サブタイトル	健康生活にはなぜ筋肉運動が必要か	講義	
担当者	奥野 直		
<p>[成績評価方法] 3回の試験(30%×3)と課題(10%)により評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験については、後日学内システムmanabaを用いて解答を解説します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験と課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験と課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:試験と課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験と課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験と課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験と課題</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	栄養疫学		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	竹市 仁美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
<p>[到達目標] 地域や職場で収集する情報やデータ、既に発信されている資料からの情報について、科学的根拠を基に読み解き、課題を発見する。 また、栄養教育後の対象者の変化について評価を行い、次の計画を提案できる。</p> <p>[授業概要] 生活情報処理 I・II で学んだ内容を基礎とし、管理栄養士として現場に必要な調査・研究計画スキルを身に付ける。また、その結果について適切な方法で分析を行い批判的思考を持ち評価できる疫学手法について学ぶ。授業では社会で実際に得られた健康課題データや論文を参考に検討し、対象者にわかりやすく発信するための報告書を発信する準備までを目標とする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 課題について予習を行う。(30分) 授業の復習を兼ね、必要なレポートを提出する。(60分)</p> <p>[授業計画] 1.健康課題と栄養疫学(歴史と生命倫理) 2.国民健康・栄養調査結果と日本人の食事摂取基準(2020年版) 3.食事調査法と分析1(質問紙法) 4.食事調査法と分析2(食物摂取頻度調査法・24時間思い出し法・食事歴法) 5.食事調査法と分析3(秤量法) 6.検査データの活用(生化学的指標・身体計測値と体組成) 7.適切な食事調査法の選択/小テスト 8.記述疫学・分析疫学1(生態学的研究・横断研究) 9.分析疫学2(症例対照研究とコホート研究) 10.介入研究(ランダム化比較対照試験) 11.システマティックレビュー 12.栄養疫学の視点を組み入れた健康増進計画・健康教育 13.資料からの疫学研究計画考案</p>				

科目名	栄養疫学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	竹市 仁美		
<p>[成績評価方法] 試験 (50%)、レポート (30%)、授業中の発表 (20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・各回の内容について、その都度質問に答える。 ・レポートに対し、個別にコメントをする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法: 試験とレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法: 授業態度とレポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 授業参加度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 試験とレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 試験とレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 試験とレポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] 食事調査マニュアル 著者名: 日本栄養改善学会(監修) 出版社: 南山堂 (978-4-525-63333-2)</p> <p>[参考書 (ISBN)] やさしい疫学 著者名: 日本疫学会(監修) 出版社: 南江堂 (9784524243990) 栄養データはこう読む! 著者名: 佐々木敏 出版社: 女子栄養大学出版 (978-4-7895-5459-6)</p>			

科目名	栄養疫学		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	竹市 仁美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
<p>[到達目標] 地域や職場で収集する情報やデータ、既に発信されている資料からの情報について、科学的根拠を基に読み解き、課題を発見する。 また、栄養教育後の対象者の変化について評価を行い、次の計画を提案できる。</p> <p>[授業概要] 生活情報処理 I・II で学んだ内容を基礎とし、管理栄養士として現場に必要な調査・研究計画スキルを身に付ける。また、その結果について適切な方法で分析を行い批判的思考を持ち評価できる疫学手法について学ぶ。授業では社会で実際に得られた健康課題データや論文を参考に検討し、対象者にわかりやすく発信するための報告書を発信する準備までを目標とする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 課題について予習を行う。(30分) 授業の復習を兼ね、必要なレポートを提出する。(60分)</p> <p>[授業計画] 1.健康課題と栄養疫学(歴史と生命倫理) 2.国民健康・栄養調査結果と日本人の食事摂取基準(2020年版) 3.食事調査法と分析1(質問紙法) 4.食事調査法と分析2(食物摂取頻度調査法・24時間思い出し法・食事歴法) 5.食事調査法と分析3(秤量法) 6.検査データの活用(生化学的指標・身体計測値と体組成) 7.適切な食事調査法の選択/小テスト 8.記述疫学・分析疫学1(生態学的研究・横断研究) 9.分析疫学2(症例対照研究とコホート研究) 10.介入研究(ランダム化比較対照試験) 11.システマティックレビュー 12.栄養疫学の視点を組み入れた健康増進計画・健康教育 13.資料からの疫学研究計画考案</p>				

科目名	栄養疫学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	竹市 仁美		
<p>[成績評価方法] 試験 (50%)、レポート (30%)、授業中の発表 (20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・各回の内容について、その都度質問に答える。 ・レポートに対し、個別にコメントをする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法: 試験とレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法: 授業態度とレポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 授業参加度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 試験とレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 試験とレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 試験とレポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] 食事調査マニュアル 著者名: 日本栄養改善学会(監修) 出版社: 南山堂 (978-4-525-63333-2)</p> <p>[参考書 (ISBN)] やさしい疫学 著者名: 日本疫学会(監修) 出版社: 南江堂 (9784524243990) 栄養データはこう読む! 著者名: 佐々木敏 出版社: 女子栄養大学出版 (978-4-7895-5459-6)</p>			

科目名	栄養カウンセリング論		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	平田 庸子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>①健康管理を行うために必要なカウンセリング理論を学び理解することができる。 ②栄養教育・指導に必要なカウンセリング技術を学び、他者に適切に伝達する技術を身につけることができる。 ③栄養カウンセリングを通して、管理栄養士として課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身につけることができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>管理栄養士として栄養指導の経験を有する教員が、栄養カウンセリングの理論や技法などについて指導します。栄養士は対象者の考え・気持ち・状況を受容、共感、理解し、心身の状態を的確に把握したうえで、個々のニーズに合った栄養指導を行うことが大切です。栄養カウンセリング論では、栄養指導に必要な心理学などの基礎的知識とカウンセリング理論を学習します。さらに事例を通して、実践的なカウンセリング技法を理解していきます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>次の授業の準備としてテキストの指定個所を読み、質問事項を考えておいてください。各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション: 栄養教育におけるカウンセリングの位置づけ 2. 栄養カウンセリングに必要なカウンセリング理論 3. 栄養カウンセリングに必要なカウンセリング技法(受容・傾聴・共感) 4. 栄養カウンセリングに必要なカウンセリング技法(要約・沈黙その他) 5. 栄養教育に関連のある心理アセスメント 6. 栄養教育に関連のある行動療法・家族療法他 7. パーソナリティー理論とパーソナリティーの発達 8. 栄養教育に必要な心理アセスメント 9. 食行動理論 10. ストレスと食行動 11. ライフステージと食行動の特徴 12. 栄養指導事例(肥満症 生活習慣病) 13. 栄養指導事例の検討 14. 栄養カウンセリングの理論と技術に関する理解度の確認テスト <p>授業の進行状況によって順番が変わることがあります。</p>				

科目名	栄養カウンセリング論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	平田 庸子		
<p>[成績評価方法] 理解度確認テスト(60%)、レポート(40%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ・レポートは、回収後に授業中に解説します。 ・理解度確認テストを回収後、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:理解度確認テスト・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:理解度確認テスト・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている 成績評価方法:理解度確認テスト・レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:理解度確認テスト・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:理解度確認テスト・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:理解度確認テスト・レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] 『栄養カウンセリング論 第2版』 著者名:小松啓子・大谷貴美子編 出版社:講談社サイエンティフィク (978-4-06-155358-3)</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養教育論 著者名:土江節子 出版社:学文社 (978-4-7620-2965-3)</p>			

科目名	栄養カウンセリング論		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	平田 庸子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>①健康管理を行うために必要なカウンセリング理論を学び理解することができる。 ②栄養教育・指導に必要なカウンセリング技術を学び、他者に適切に伝達する技術を身につけることができる。 ③栄養カウンセリングを通して、管理栄養士として課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身につけることができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>管理栄養士として栄養指導の経験を有する教員が、栄養カウンセリングの理論や技法などについて指導します。栄養士は対象者の考え・気持ち・状況を受容、共感、理解し、心身の状態を的確に把握したうえで、個々のニーズに合った栄養指導を行うことが大切です。栄養カウンセリング論では、栄養指導に必要な心理学などの基礎的知識とカウンセリング理論を学習します。さらに事例を通して、実践的なカウンセリング技法を理解していきます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>次の授業の準備としてテキストの指定個所を読み、質問事項を考えておいてください。各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション: 栄養教育におけるカウンセリングの位置づけ 2. 栄養カウンセリングに必要なカウンセリング理論 3. 栄養カウンセリングに必要なカウンセリング技法(受容・傾聴・共感) 4. 栄養カウンセリングに必要なカウンセリング技法(要約・沈黙その他) 5. 栄養教育に関連のある心理アセスメント 6. 栄養教育に関連のある行動療法・家族療法他 7. パーソナリティー理論とパーソナリティーの発達 8. 栄養教育に必要な心理アセスメント 9. 食行動理論 10. ストレスと食行動 11. ライフステージと食行動の特徴 12. 栄養指導事例(肥満症 生活習慣病) 13. 栄養指導事例の検討 14. 栄養カウンセリングの理論と技術に関する理解度の確認テスト <p>授業の進行状況によって順番が変わることがあります。</p>				

科目名	栄養カウンセリング論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	平田 庸子		
<p>[成績評価方法] 理解度確認テスト(60%)、レポート(40%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ・レポートは、回収後に授業中に解説します。 ・理解度確認テストを回収後、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:理解度確認テスト・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:理解度確認テスト・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている 成績評価方法:理解度確認テスト・レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:理解度確認テスト・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:理解度確認テスト・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:理解度確認テスト・レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] 『栄養カウンセリング論 第2版』 著者名:小松啓子・大谷貴美子編 出版社:講談社サイエンティフィク (978-4-06-155358-3)</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養教育論 著者名:土江節子 出版社:学文社 (978-4-7620-2965-3)</p>			

科目名	栄養管理学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小倉 嘉夫		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>対象者の栄養状態を客観的に評価・判定し、その状態に対応した栄養介入を実施して健康維持・増進を目指す栄養管理の考え方及び進め方を理解する。栄養管理の食事摂取の基盤として、日本人の食事摂取基準2020年版を基にエネルギーおよび各栄養素の必要量を決定する科学的根拠を理解する。</p> <p>[授業概要]</p> <p>人間の栄養素代謝による栄養環境への適応を概説する。健康維持・増進、疾病の予防のための栄養管理の基本的な考え方および進め方を概説する。エネルギー・栄養素必要量を決定する科学的根拠として日本人の食事摂取基準2020年版を基に概説する。また、代表的な生活習慣病とエネルギー・栄養素との関連について講義する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回の授業について予習・復習4時間程度。 前回の授業内容を復習して、次回の授業の予習をしておくこと。応用栄養学の理解のために履修済みの専門基礎分野および基礎栄養学についても日頃から復習しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 序論 2. 栄養環境 3. 栄養環境 4. 栄養環境 4. 栄養管理の考え方 5. 栄養管理の進め方(栄養管理プロセス) 6. 栄養管理の進め方(栄養管理プロセス) 7. 栄養管理の進め方(栄養管理プロセス) 8. 日本人の食事摂取基準(総論) 9. 日本人の食事摂取基準(各論) 10. 日本人の食事摂取基準(各論) 11. 日本人の食事摂取基準(各論) 12. 日本人の食事摂取基準(各論) 13. 生活習慣病とエネルギー・栄養素との関連、まとめ 			

科目名	栄養管理学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小倉 嘉夫		
<p>[成績評価方法] 本試験(80%)と授業への参加状況および小テスト(20%)により総合評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストの答案を回収後、解答の解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 「応用栄養学(栄養科学シリーズNEXT)第6版」 著者名:木戸康博、小倉嘉夫、眞鍋祐之、青井渉編 出版社:講談社 (978-4-06-518044-0) 「日本人の食事摂取基準[2020年版]」 著者名:伊藤貞嘉、佐々木敏監修 出版社:第一出版 (978-4-8041-1408-8 C1077) その他、必要に応じてプリントを配付する。</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養管理プロセス 著者名:日本栄養士会 監修 木戸康博、中村丁次、 小松龍史 編 出版社:第一出版 (978-4-8041-1385-C1077)</p>			

科目名	栄養管理学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小倉 嘉夫		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 対象者の栄養状態を客観的に評価・判定し、その状態に対応した栄養介入を実施して健康維持・増進を目指す栄養管理の考え方及び進め方を理解する。栄養管理の食事摂取の基盤として、日本人の食事摂取基準2020年版を基にエネルギーおよび各栄養素の必要量を決定する科学的根拠を理解する。</p> <p>[授業概要] 人間の栄養素代謝による栄養環境への適応を概説する。健康維持・増進、疾病の予防のための栄養管理の基本的な考え方および進め方を概説する。エネルギー・栄養素必要量を決定する科学的根拠として日本人の食事摂取基準2020年版を基に概説する。また、代表的な生活習慣病とエネルギー・栄養素との関連について講義する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について予習・復習4時間程度。 前回の授業内容を復習して、次回の授業の予習をしておくこと。応用栄養学の理解のために履修済みの専門基礎分野および基礎栄養学についても日頃から復習しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 序論 2. 栄養環境 3. 栄養環境 4. 栄養環境 4. 栄養管理の考え方 5. 栄養管理の進め方(栄養管理プロセス) 6. 栄養管理の進め方(栄養管理プロセス) 7. 栄養管理の進め方(栄養管理プロセス) 8. 日本人の食事摂取基準(総論) 9. 日本人の食事摂取基準(各論) 10. 日本人の食事摂取基準(各論) 11. 日本人の食事摂取基準(各論) 12. 日本人の食事摂取基準(各論) 13. 生活習慣病とエネルギー・栄養素との関連、まとめ 			

科目名	栄養管理学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小倉 嘉夫		
<p>[成績評価方法] 本試験(80%)と授業への参加状況および小テスト(20%)により総合評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストの答案を回収後、解答の解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 「応用栄養学(栄養科学シリーズNEXT)第6版」 著者名:木戸康博、小倉嘉夫、眞鍋祐之、青井渉編 出版社:講談社 (978-4-06-518044-0) 「日本人の食事摂取基準[2020年版]」 著者名:伊藤貞嘉、佐々木敏監修 出版社:第一出版 (978-4-8041-1408-8C1077) その他、必要に応じてプリントを配付する。</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養管理プロセス 著者名:日本栄養士会 監修 木戸康博、中村丁次、 小松龍史 編 出版社:第一出版 (978-4-8041-1385-C1077)</p>			

科目名	栄養教育実習		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	小倉 嘉夫			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 栄養教育の 計画・実施・評価を総合的にマネジメントできる企画力、指導力、創造力を修得させる。</p> <p>[授業概要] 栄養教育実習は応用栄養学や栄養教育論で学んだ基礎知識を応用して、対象に応じた栄養教育プログラムを作成し、実習する。実習では個人、グループでそれぞれの課題についてアクティブラーニングを多く取り入れ、学生自身が能動的に取り組めるように実施する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 既に履修済みの専門分野である栄養教育関連科目を復習し、実習内容の理解に役立てる。また、日頃から栄養問題に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション、食事調査 2.食事調査結果を使った栄養教育プログラムの作成(グループ) 3.食事調査結果を使った栄養教育・栄養指導発表(グループ) 4.パワーポイントを使った栄養教育プログラムの作成(個人) 5.パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表①(個人) 6.パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表②(個人) 7.パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表③(個人) 8.パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表④(個人) 9.生活時間調査、身体活動レベルの算出 10.外食・中食の実態調査と栄養教育プログラムの作成(グループ) 11.外食・中食を使った栄養教育・栄養指導発表(グループ) 12.SATシステムを使った栄養診断・まとめ 13.個人で作成した栄養指導媒体の作品発表</p>				

科目名	栄養教育実習	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	小倉 嘉夫		

[成績評価方法]

レポート、作品、実技(40%)、発表についてはルーブリック評価(30%)、参加度・態度等(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

プレゼンテーションについては各学生からのルーブリック評価表を返却し、グループ・個人の発表技術向上の参考にする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

プリント

[参考書(ISBN)]

食物と栄養学基礎シリーズ9 栄養教育論 著者名:土江節子 出版社:学文社 (978-4-7620-2608-9)

科目名	栄養教育実習	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	小倉 嘉夫		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 栄養教育の 計画・実施・評価を総合的にマネジメントできる企画力、指導力、創造力を修得させる。</p> <p>[授業概要] 栄養教育実習は応用栄養学や栄養教育論で学んだ基礎知識を応用して、対象に応じた栄養教育プログラムを作成し、実習する。実習では個人、グループでそれぞれの課題についてアクティブラーニングを多く取り入れ、学生自身が能動的に取り組めるように実施する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 既に履修済みの専門分野である栄養教育関連科目を復習し、実習内容の理解に役立てる。また、日頃から栄養問題に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーション、食事調査 2.食事調査結果を使った栄養教育プログラムの作成(グループ) 3.食事調査結果を使った栄養教育・栄養指導発表(グループ) 4.パワーポイントを使った栄養教育プログラムの作成(個人) 5.パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表①(個人) 6.パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表②(個人) 7.パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表③(個人) 8.パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表④(個人) 9.生活時間調査、身体活動レベルの算出 10.外食・中食の実態調査と栄養教育プログラムの作成(グループ) 11.外食・中食を使った栄養教育・栄養指導発表(グループ) 12.SATシステムを使った栄養診断・まとめ 13.個人で作成した栄養指導媒体の作品発表 			

科目名	栄養教育実習	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	小倉 嘉夫		
<p>[成績評価方法] レポート、作品、実技(40%)、発表についてはルーブリック評価(30%)、参加度・態度等(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] プレゼンテーションについては各学生からのルーブリック評価表を返却し、グループ・個人の発表技術向上の参考にする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント</p> <p>[参考書(ISBN)] 食物と栄養学基礎シリーズ9 栄養教育論 著者名:土江節子 出版社:学文社(978-4-7620-2608-9)</p>			

科目名	栄養教育実習		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	安田 敬子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		○
<p>[到達目標] 栄養教育の計画・実施・評価を総合的にマネジメントできる企画力、指導力、創造力を修得させる。</p> <p>[授業概要] 栄養教育実習は応用栄養学や栄養教育論で学んだ基礎知識を応用して、対象に応じた栄養教育プログラムを作成し、実習する。実習では個人、グループでそれぞれの課題についてアクティブラーニングを多く取り入れ、学生自身が能動的に取り組めるように実施する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 既に履修済みの専門分野である栄養教育関連科目を復習し、実習内容の理解に役立てる。また、日頃から栄養問題に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション、食事調査 2.食事調査結果を使った栄養教育プログラムの作成(グループ) 3.食事調査結果を使った栄養教育・栄養指導発表(グループ) 4.パワーポイントを使った栄養教育プログラムの作成(個人) 5.パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表①(個人) 6.パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表②(個人) 7.パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表③(個人) 8.パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表④(個人) 9.生活時間調査、身体活動レベルの算出 10.外食・中食の実態調査と栄養教育プログラムの作成(グループ) 11.外食・中食を使った栄養教育・栄養指導発表(グループ) 12.SATシステムを使った栄養診断・まとめ 13.個人で作成した栄養指導媒体の作品発表</p>				

科目名	栄養教育実習	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	安田 敬子		
<p>[成績評価方法] レポート、作品、実技(40%)、発表についてはルーブリック評価(30%)、参加度・態度等(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] プレゼンテーションについては各学生からのルーブリック評価表を返却し、グループ・個人の発表技術向上の参考にする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント(×)</p> <p>[参考書(ISBN)] 食物と栄養学基礎シリーズ9 栄養教育論(第7版) 著者名:土江節子 出版社:学文社 (978-4-7620-3142-7)</p>			

科目名	栄養教育実習		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	安田 敬子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		○
<p>[到達目標] 栄養教育の計画・実施・評価を総合的にマネジメントできる企画力、指導力、創造力を修得させる。</p> <p>[授業概要] 栄養教育実習は応用栄養学や栄養教育論で学んだ基礎知識を応用して、対象に応じた栄養教育プログラムを作成し、実習する。実習では個人、グループでそれぞれの課題についてアクティブラーニングを多く取り入れ、学生自身が能動的に取り組めるように実施する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 既に履修済みの専門分野である栄養教育関連科目を復習し、実習内容の理解に役立てる。また、日頃から栄養問題に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション、食事調査 2.食事調査結果を使った栄養教育プログラムの作成(グループ) 3.食事調査結果を使った栄養教育・栄養指導発表(グループ) 4.パワーポイントを使った栄養教育プログラムの作成(個人) 5.パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表①(個人) 6.パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表②(個人) 7.パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表③(個人) 8.パワーポイントを使った栄養教育・栄養指導発表④(個人) 9.生活時間調査、身体活動レベルの算出 10.外食・中食の実態調査と栄養教育プログラムの作成(グループ) 11.外食・中食を使った栄養教育・栄養指導発表(グループ) 12.SATシステムを使った栄養診断・まとめ 13.個人で作成した栄養指導媒体の作品発表</p>				

科目名	栄養教育実習	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	安田 敬子		
<p>[成績評価方法] レポート、作品、実技(40%)、発表についてはルーブリック評価(30%)、参加度・態度等(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] プレゼンテーションについては各学生からのルーブリック評価表を返却し、グループ・個人の発表技術向上の参考にする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント(×)</p> <p>[参考書(ISBN)] 食物と栄養学基礎シリーズ9 栄養教育論(第7版) 著者名:土江節子 出版社:学文社 (978-4-7620-3142-7)</p>			

科目名	栄養教育論 I	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	安田 敬子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 総合的な栄養教育マネジメントの習得と管理栄養士の役割の認識の向上を図る。</p> <p>[授業概要] 管理栄養士としての実務経験を活かし、健康・栄養状態、食行動、食環境等に関する情報の収集・分析、それらを総合的に評価・判定する能力を養う。また対象に応じた栄養教育プログラムの作成・実施・評価を総合的にマネジメントできるよう理論と方法を習得する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・授業内容の復習と予習。各回、予習復習合わせて1時間程度。 ・関連時事ニュースや関連法規に関心を持つ。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養教育の目的・目標、対象と機会 2. 行動科学理論やモデルと栄養教育 3. 行動科学の理論とモデル 4. 行動変容技法と概念 5. 栄養カウンセリング 6. 組織づくり・地域づくりへの展開、食環境づくりとの関連 7. レポート 8. 健康・食物摂取に影響を及ぼす要因のアセスメント 9. 栄養教育の目標設定 10. 栄養教育のプランニング 11. 栄養教育の実施 12. 栄養教育の評価 13. 総まとめ 			

科目名	栄養教育論 I	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	安田 敬子		
<p>[成績評価方法] 試験70% 課題(レポート)30%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験直後に合わせをすることで、自身の間違いがどこであったかがわかり、その解答を知って正しい知識の習得に繋げる。課題はチェック後返却。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 食物と栄養学基礎シリーズ9 栄養教育論(第8or9版 最新のもの) 著者名:土江節子 出版社:学文社 (978-4-7620-3226-4)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	栄養教育論 I	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	安田 敬子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 総合的な栄養教育マネジメントの習得と管理栄養士の役割の認識の向上を図る。</p> <p>[授業概要] 管理栄養士としての実務経験を活かし、健康・栄養状態、食行動、食環境等に関する情報の収集・分析、それらを総合的に評価・判定する能力を養う。また対象に応じた栄養教育プログラムの作成・実施・評価を総合的にマネジメントできるよう理論と方法を習得する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・授業内容の復習と予習。各回、予習復習合わせて1時間程度。 ・関連時事ニュースや関連法規に関心を持つ。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養教育の目的・目標、対象と機会 2. 行動科学理論やモデルと栄養教育 3. 行動科学の理論とモデル 4. 行動変容技法と概念 5. 栄養カウンセリング 6. 組織づくり・地域づくりへの展開、食環境づくりとの関連 7. レポート 8. 健康・食物摂取に影響を及ぼす要因のアセスメント 9. 栄養教育の目標設定 10. 栄養教育のプランニング 11. 栄養教育の実施 12. 栄養教育の評価 13. 総まとめ 			

科目名	栄養教育論 I	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	安田 敬子		
<p>[成績評価方法] 試験70% 課題(レポート)30%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験直後に合わせをすることで、自身の間違いがどこであったかがわかり、その解答を知って正しい知識の習得に繋げる。課題はチェック後返却。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 食物と栄養学基礎シリーズ9 栄養教育論(第8or9版 最新のもの) 著者名:土江節子 出版社:学文社 (978-4-7620-3226-4)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	栄養教育論Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	安田 敬子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 総合的な栄養教育マネジメントの習得と管理栄養士の役割の認識の向上を図る。</p> <p>[授業概要] 管理栄養士としての実務経験を活かし、健康・栄養状態、食行動、食環境等に関する情報の収集・分析、それらを総合的に評価・判定する能力を養う。また対象に応じた栄養教育プログラムの作成・実施・評価を総合的にマネジメントできるよう理論と方法を習得する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・授業内容の復習と予習。各回、予習復習合わせて1時間程度。 ・関連時事ニュースや関連法規に関心を持つ。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.ライフステージ別栄養教育プログラム 妊娠・授乳期 2.ライフステージ別栄養教育プログラム 乳児期 3.ライフステージ別栄養教育プログラム 幼児期 4.ライフステージ別栄養教育プログラム 離乳食教室を開催しよう 5.ライフステージ別栄養教育プログラム 学童期 6.ライフステージ別栄養教育プログラム 思春期 7.ライフステージ別栄養教育プログラム 成人期 8.ライフステージ別栄養教育プログラム 高齢期 障害者 9.ライフステージ別栄養教育プログラム 傷病者 10.ライフスタイル、健康状態別栄養教育プログラム アスリート 11.その他の栄養教育と食環境づくり 12.栄養教育と国際的動向 13.災害時の食を考える 			

科目名	栄養教育論Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	安田 敬子		
<p>[成績評価方法] 試験80% 課題(レポート)20%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験直後に合わせをすることで、自身の間違いがどこであったかがわかり、その解答を知って正しい知識の習得に繋げる。課題はチェック後返却。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 食物と栄養学基礎シリーズ9 栄養教育論(第7版) 著者名:土江節子 出版社:学文社(978-4-7620-3142-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	栄養教育論Ⅱ		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	安田 敬子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート			グループワーク	
プレゼンテーション		○	実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] ライフステージ、ライフスタイルに沿った栄養教育プログラムを作成し、評価できる。</p> <p>[授業概要] 栄養教育論Ⅰで学習したことを活かし、各ライフステージ・ライフスタイルの特性を知り、総合的な栄養教育プログラムの企画・実施・評価について学ぶ。プログラムの中心は健康管理に寄与する食生活プランであり、管理栄養士としての実務経験を活かし、保健所における栄養教育の実施方法を取り入れながら行動変容に結びつく栄養教育プログラムの実際を学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・授業内容の復習と予習。各回、予習復習合わせて1時間程度。 ・関連時事ニュースや関連法規に関心を持つ。</p> <p>[授業計画] 1.ライフステージ別栄養教育プログラム 妊娠・授乳期 2.ライフステージ別栄養教育プログラム 乳児期 3.ライフステージ別栄養教育プログラム 幼児期 4.ライフステージ別栄養教育プログラム 離乳食教室を開催しよう 5.ライフステージ別栄養教育プログラム 学童期 6.ライフステージ別栄養教育プログラム 思春期 7.ライフステージ別栄養教育プログラム 成人期 8.ライフステージ別栄養教育プログラム 高齢期 障害者 9.ライフステージ別栄養教育プログラム 傷病者 10.ライフスタイル、健康状態別栄養教育プログラム アスリート 11.その他の栄養教育と食環境づくり 12.栄養教育と国際的動向 13.災害時の食を考える</p>				

科目名	栄養教育論Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	安田 敬子		
<p>[成績評価方法] 試験80% 課題(レポート)20%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験直後に合わせをすることで、自身の間違いがどこであったかがわかり、その解答を知って正しい知識の習得に繋げる。課題はチェック後返却。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 食物と栄養学基礎シリーズ9 栄養教育論(第7版) 著者名:土江節子 出版社:学文社(978-4-7620-3142-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	栄養教育論Ⅱ		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	安田 敬子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
<p>[到達目標] ライフステージ、ライフスタイルに沿った栄養教育プログラムを作成し、評価できる。</p> <p>[授業概要] 栄養教育論Ⅰで学習したことを活かし、各ライフステージ・ライフスタイルの特性を知り、総合的な栄養教育プログラムの企画・実施・評価について学ぶ。プログラムの中心は健康管理に寄与する食生活プランであり、管理栄養士としての実務経験を活かし、保健所における栄養教育の実施方法を取り入れながら行動変容に結びつく栄養教育プログラムの実際を学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・授業内容の復習と予習。各回、予習復習合わせて1時間程度。 ・関連時事ニュースや関連法規に関心を持つ。</p> <p>[授業計画] 1.ライフステージ別栄養教育プログラム 妊娠・授乳期 2.ライフステージ別栄養教育プログラム 乳児期 3.ライフステージ別栄養教育プログラム 幼児期 4.ライフステージ別栄養教育プログラム 離乳食教室を開催しよう 5.ライフステージ別栄養教育プログラム 学童期 6.ライフステージ別栄養教育プログラム 思春期 7.ライフステージ別栄養教育プログラム 成人期 8.ライフステージ別栄養教育プログラム 高齢期 障害者 9.ライフステージ別栄養教育プログラム 傷病者 10.ライフスタイル、健康状態別栄養教育プログラム アスリート 11.その他の栄養教育と食環境づくり 12.栄養教育と国際的動向 13.災害時の食を考える</p>				

科目名	栄養教育論Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	安田 敬子		
<p>[成績評価方法] 試験80% 課題(レポート)20%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験直後に合わせをすることで、自身の間違いがどこであったかがわかり、その解答を知って正しい知識の習得に繋げる。課題はチェック後返却。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 食物と栄養学基礎シリーズ9 栄養教育論(第7版) 著者名:土江節子 出版社:学文社(978-4-7620-3142-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	栄養教育論Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	安田 敬子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] ライフステージ、ライフスタイルに沿った栄養教育プログラムを作成し、評価できる。</p> <p>[授業概要] 栄養教育論Ⅰで学習したことを活かし、各ライフステージ・ライフスタイルの特性を知り、総合的な栄養教育プログラムの企画・実施・評価について学ぶ。プログラムの中心は健康管理に寄与する食生活プランであり、管理栄養士としての実務経験を活かし、保健所における栄養教育の実施方法を取り入れながら行動変容に結びつく栄養教育プログラムの実際を学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・授業内容の復習と予習。各回、予習復習合わせて1時間程度。 ・関連時事ニュースや関連法規に関心を持つ。</p> <p>[授業計画] 1.ライフステージ別栄養教育プログラム 妊娠・授乳期 2.ライフステージ別栄養教育プログラム 乳児期 3.ライフステージ別栄養教育プログラム 幼児期 4.ライフステージ別栄養教育プログラム 離乳食教室を開催しよう 5.ライフステージ別栄養教育プログラム 学童期 6.ライフステージ別栄養教育プログラム 思春期 7.ライフステージ別栄養教育プログラム 成人期 8.ライフステージ別栄養教育プログラム 高齢期 障害者 9.ライフステージ別栄養教育プログラム 傷病者 10.ライフスタイル、健康状態別栄養教育プログラム アスリート 11.その他の栄養教育と食環境づくり 12.栄養教育と国際的動向 13.災害時の食を考える</p>			

科目名	栄養教育論Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	安田 敬子		
<p>[成績評価方法] 試験80% 課題(レポート)20% 試験はその場で答え合わせをし、間違ったところの確認をする。 課題はチェック後返却。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験直後に合わせをすることで、自身の間違いがどこであったかがわかり、その解答を知って正しい知識の習得に繋げる。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 食物と栄養学基礎シリーズ9 栄養教育論(第7版) 著者名:土江節子 出版社:学文社(978-4-7620-3142-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	応用栄養学実習	前期	1 単位
サブタイトル	栄養マネジメントを学ぶ	実習	
担当者	才新 直子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] ライフステージ別の栄養ケアのマネジメントのための考え方を理解し、献立作成をする。</p> <p>[授業概要] ライフステージ別の特徴や問題点を理解し、エネルギー・栄養素必要量を決定するための科学的根拠を基に、栄養マネジメントについて、計画、実施、評価、フィードバックの過程を実習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] すでに習得している関連科目である栄養学、生理学、健康管理、臨床栄養、食品学、調理学、調理科学、応用栄養学に関する講義や実習の内容をしっかり復習し、理解しておく。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション、授業概要及び実習室使用に関する安全衛生管理の説明 成人期の栄養マネジメントと献立作成① 2. 成人期の栄養マネジメントと献立作成② 3. 成人期の栄養マネジメントと実習 4. 成人期の栄養マネジメント まとめ 5. 妊娠期・授乳期の栄養マネジメントと献立作成 6. 妊娠期・授乳期の栄養マネジメントと実習 7. 乳児期の栄養マネジメントと献立作成 8. 乳児期の栄養マネジメントと実習 9. 幼児期、学童期・思春期の栄養マネジメントと献立作成 10. 幼児期、学童期・思春期の栄養マネジメントと実習 11. 高齢期の栄養マネジメントと献立作成 12. 高齢期の栄養マネジメントと実習 13. まとめ 14. 試験</p>			

科目名	応用栄養学実習	前期	1 単位
サブタイトル	栄養マネジメントを学ぶ	実習	
担当者	才新 直子		
<p>[成績評価方法] 試験 (50%)、レポート (50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート返却時にコメントを返す。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法: 試験・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法: 試験・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法: レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 実習レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 実習レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 試験、レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] 応用栄養学 栄養マネジメント演習・実習 第5版 著者名: 竹中優・土江節子編 出版社: 医歯薬出版 (978-4-263-70753-1)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 日本食品成分表2023 八訂 著者名: 医歯薬出版編 出版社: 医歯薬出版社 調理のためのベーシックデータ 第6版 著者名: 女子栄養大出版部 出版社: 女子栄養大学出版部 (978-4-7895-0325-9)</p>			

科目名	応用栄養学実習	前期	1 単位
サブタイトル	栄養マネジメントを学ぶ	実習	
担当者	杉岡 ふみ子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] ライフステージ別の栄養ケアのマネジメントのための考え方を理解し、献立作成をする。			
[授業概要] ライフステージ別の特徴や問題点を理解し、エネルギー・栄養素必要量を決定するための科学的根拠を基に、栄養マネジメントについて、計画、実施、評価、フィードバックの過程を実習する。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] すでに習得している関連科目である栄養学、生理学、健康管理、臨床栄養、食品学、調理学、調理科学、応用栄養学に関する講義や実習の内容をしっかりと復習し、理解をしておいてください。			
[授業計画]			
1. オリエンテーション、授業概要及び実習室使用に関する安全衛生管理の説明			
成人期の栄養マネジメントと献立作成①			
2. 成人期の栄養マネジメントと献立作成②			
3. 成人期の栄養マネジメントと実習			
4. 成人期の栄養マネジメント まとめ			
5. 妊娠期・授乳期の栄養マネジメントと献立作成			
6. 妊娠期・授乳期の栄養マネジメントと実習			
7. 乳児期の栄養マネジメントと献立作成			
8. 乳児期の栄養マネジメントと実習			
9. 幼児期、学童期・思春期の栄養マネジメントと献立作成			
10. 幼児期、学童期・思春期の栄養マネジメントと実習			
11. 高齢期の栄養マネジメントと献立作成			
12. 高齢期の栄養マネジメントと実習			
13. まとめ			
14. 試験			

科目名	応用栄養学実習	前期	1 単位
サブタイトル	栄養マネジメントを学ぶ	実習	
担当者	杉岡 ふみ子		

[成績評価方法]
試験 (50%)、レポート (50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポート返却時にコメントを返す

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。
成績評価方法: 試験・レポート

学科DP番号/DP内容: 管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。
成績評価方法: 試験・レポート

学科DP番号/DP内容: 管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。
成績評価方法: 試験・レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法: 実習レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法: 実習レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法: 試験・レポート

[教科書 (ISBN)]

応用栄養学 栄養マネジメント演習・実習 第5版 著者名: 竹中優・土江節子編 出版社: 医歯薬出版株式会社 (978-4-263-70753-1)

[参考書 (ISBN)]

医歯薬出版第6版八訂「調理のためのベーシックデータ」 著者名: 女子栄養大学出版部 出版社: 女子栄養大学出版部 (978-4-7895-0317-4 c2077)
日本食品成分表2023八訂 著者名: 医歯薬出版編 出版社: 医歯薬出版社 (978-4-263-70808-8)

科目名	応用栄養学実習	前期	1 単位
サブタイトル	栄養マネジメントを学ぶ	実習	
担当者	才新 直子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] ライフステージ別の栄養ケアのマネジメントのための考え方を理解し、献立作成をする。</p> <p>[授業概要] ライフステージ別の特徴や問題点を理解し、エネルギー・栄養素必要量を決定するための科学的根拠を基に、栄養マネジメントについて、計画、実施、評価、フィードバックの過程を実習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] すでに習得している関連科目である栄養学、生理学、健康管理、臨床栄養、食品学、調理学、調理科学、応用栄養学に関する講義や実習の内容をしっかりと復習し、理解しておく。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、授業概要及び実習室使用に関する安全衛生管理の説明 成人期の栄養マネジメントと献立作成① 2. 成人期の栄養マネジメントと献立作成② 3. 成人期の栄養マネジメントと実習 4. 成人期の栄養マネジメント まとめ 5. 妊娠期・授乳期の栄養マネジメントと献立作成 6. 妊娠期・授乳期の栄養マネジメントと実習 7. 乳児期の栄養マネジメントと献立作成 8. 乳児期の栄養マネジメントと実習 9. 幼児期、学童期・思春期の栄養マネジメントと献立作成 10. 幼児期、学童期・思春期の栄養マネジメントと実習 11. 高齢期の栄養マネジメントと献立作成 12. 高齢期の栄養マネジメントと実習 13. まとめ 14. 試験 			

科目名	応用栄養学実習	前期	1 単位
サブタイトル	栄養マネジメントを学ぶ	実習	
担当者	才新 直子		
<p>[成績評価方法] 試験 (50%)、レポート (50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート返却時にコメントを返す。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:試験・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験、レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] 応用栄養学 栄養マネジメント演習・実習 第5版 著者名:竹中優・土江節子編 出版社:医歯薬出版 (978-4-263-70753-1)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 日本食品成分表2023 八訂 著者名:医歯薬出版編 出版社:医歯薬出版社 調理のためのベーシックデータ 第6版 著者名:女子栄養大出版部 出版社:女子栄養大学出版部 (978-4-7895-0325-9)</p>			

科目名	応用栄養学実習	前期	1 単位
サブタイトル	栄養マネジメントを学ぶ	実習	
担当者	杉岡 ふみ子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] ライフステージ別の栄養ケアのマネジメントのための考え方を理解し、献立作成をする。			
[授業概要] ライフステージ別の特徴や問題点を理解し、エネルギー・栄養素必要量を決定するための科学的根拠を基に、栄養マネジメントについて、計画、実施、評価、フィードバックの過程を実習する。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] すでに習得している関連科目である栄養学、生理学、健康管理、臨床栄養、食品学、調理学、調理科学、応用栄養学に関する講義や実習の内容をしっかりと復習し、理解をしておいてください。			
[授業計画]			
1. オリエンテーション、授業概要及び実習室使用に関する安全衛生管理の説明			
成人期の栄養マネジメントと献立作成①			
2. 成人期の栄養マネジメントと献立作成②			
3. 成人期の栄養マネジメントと実習			
4. 成人期の栄養マネジメント まとめ			
5. 妊娠期・授乳期の栄養マネジメントと献立作成			
6. 妊娠期・授乳期の栄養マネジメントと実習			
7. 乳児期の栄養マネジメントと献立作成			
8. 乳児期の栄養マネジメントと実習			
9. 幼児期、学童期・思春期の栄養マネジメントと献立作成			
10. 幼児期、学童期・思春期の栄養マネジメントと実習			
11. 高齢期の栄養マネジメントと献立作成			
12. 高齢期の栄養マネジメントと実習			
13. まとめ			
14. 試験			

科目名	応用栄養学実習	前期	1 単位
サブタイトル	栄養マネジメントを学ぶ	実習	
担当者	杉岡 ふみ子		
<p>[成績評価方法] 試験 (50%)、レポート (50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート返却時にコメントを返す</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:試験・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:試験・レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験・レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] 応用栄養学 栄養マネジメント演習・実習 第5版 著者名:竹中優・土江節子編 出版社:医歯薬出版株式会社 (978-4-263-70753-1)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 医歯薬出版第6版八訂「調理のためのベーシックデータ」 著者名:女子栄養大学出版部 出版社:女子栄養大学出版部 (978-4-7895-0317-4 c2077) 日本食品成分表2023八訂 著者名:医歯薬出版編 出版社:医歯薬出版社 (978-4-263-70808-8)</p>			

科目名	解剖生理学 I	前期	2 単位
サブタイトル	人体の構造と機能を知る	講義	
担当者	清水 扶美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 人体の構造と機能の習得を目標とする。</p> <p>[授業概要] 人体を構成する最小単位は細胞であり、同じ働きをする細胞の集団が組織を形成し、さらに器官を形作る。人体は、9つの器官系から成り立っている。解剖生理学の講義では、各器官系の構造と機能を解説し、さらに9つの器官系が有機的に関連しながら恒常性を保ちつつ生命を維持する機序を習得できるように講義を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度。授業内容のワークシートを、授業前にManabaにてPDF形式で公開しています。授業前に、必ず予習して完成させておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 解剖生理学のはじめに、細胞と組織(清水・置村) 2. 血液・造血器・リンパ系(清水・置村) 3. 循環器Ⅰ(心臓の位置と構造、循環系、刺激伝導系、心電図と心臓周期)(清水・置村) 4. 循環器Ⅱ(血管の構造とはたらき、血圧・循環の調節)(清水・置村) 呼吸器(呼吸器系の構造とはたらき、ガス交換の仕組み)(清水・置村) 5. 腎(泌尿器系の構造と機能、尿生成、体液の維持・調節)(清水・置村) 6. 消化器Ⅰ(消化器系の構成、咀嚼・嚥下、消化運動、食道と胃)(清水・置村) 7. 消化器Ⅱ(小腸、胆のうと膵臓、大腸、排便の仕組み)(清水・置村) 8. 消化器Ⅲ(化学的消化と膜消化、肝臓のはたらき)(清水・置村) 9. 内分泌Ⅰ(主な内分泌腺ホルモンの概要、ホルモン産生臓器①視床下部・下垂体、②副腎皮質・副腎髄質、血圧の調整)(清水・置村) 10. 内分泌Ⅱ(ホルモン産生臓器③甲状腺・副甲状腺、④膵島、⑤性腺(性周期などを含む))(清水・置村) 11. 運動器(骨の構造とはたらき・骨代謝、筋の特徴・骨格筋の構造とエネルギー源)(清水・置村) 12. 神経(神経細胞の構造、神経の興奮、神経系の刺激伝達、神経伝達物質、神経系の概略)(清水・置村) 13. 生殖器、感覚器、皮膚組織、体温調節(清水・置村) 			

科目名	解剖生理学 I	前期	2 単位
サブタイトル	人体の構造と機能を知る	講義	
担当者	清水 扶美		
<p>[成績評価方法] 筆記試験(100%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験終了後に試験の解説を行う</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『栄養科学イラストレイテッド解剖生理学』 著者名:志村二三夫ら編 出版社:羊土社 (ISBN: 9784758113625) Manabaにて公開するPDF形式のワークシート</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	解剖生理学 I	前期	2 単位
サブタイトル	人体の構造と機能を知る	講義	
担当者	清水 扶美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 人体の構造と機能の習得を目標とする。</p> <p>[授業概要] 人体を構成する最小単位は細胞であり、同じ働きをする細胞の集団が組織を形成し、さらに器官を形作る。人体は、9つの器官系から成り立っている。解剖生理学の講義では、各器官系の構造と機能を解説し、さらに9つの器官系が有機的に関連しながら恒常性を保ちつつ生命を維持する機序を習得できるように講義を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度。授業内容のワークシートを、授業前にManabaにてPDF形式で公開しています。授業前に、必ず予習して完成させておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 解剖生理学のはじめに、細胞と組織(清水・置村) 2. 血液・造血器・リンパ系(清水・置村) 3. 循環器Ⅰ(心臓の位置と構造、循環系、刺激伝導系、心電図と心臓周期)(清水・置村) 4. 循環器Ⅱ(血管の構造とはたらき、血圧・循環の調節)(清水・置村) 呼吸器(呼吸器系の構造とはたらき、ガス交換の仕組み)(清水・置村) 5. 腎(泌尿器系の構造と機能、尿生成、体液の維持・調節)(清水・置村) 6. 消化器Ⅰ(消化器系の構成、咀嚼・嚥下、消化運動、食道と胃)(清水・置村) 7. 消化器Ⅱ(小腸、胆のうと膵臓、大腸、排便の仕組み)(清水・置村) 8. 消化器Ⅲ(化学的消化と膜消化、肝臓のはたらき)(清水・置村) 9. 内分泌Ⅰ(主な内分泌腺ホルモンの概要、ホルモン産生臓器①視床下部・下垂体、②副腎皮質・副腎髄質、血圧の調整)(清水・置村) 10. 内分泌Ⅱ(ホルモン産生臓器③甲状腺・副甲状腺、④膵島、⑤性腺(性周期などを含む))(清水・置村) 11. 運動器(骨の構造とはたらき・骨代謝、筋の特徴・骨格筋の構造とエネルギー源)(清水・置村) 12. 神経(神経細胞の構造、神経の興奮、神経系の刺激伝達、神経伝達物質、神経系の概略)(清水・置村) 13. 生殖器、感覚器、皮膚組織、体温調節(清水・置村) 			

科目名	解剖生理学 I	前期	2 単位
サブタイトル	人体の構造と機能を知る	講義	
担当者	清水 扶美		
<p>[成績評価方法] 筆記試験(100%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験終了後に試験の解説を行う</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『栄養科学イラストレイテッド解剖生理学』 著者名:志村二三夫ら編 出版社:羊土社 (ISBN: 9784758113625) Manabaにて公開するPDF形式のワークシート</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	解剖生理学Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 臨床栄養学など専門分野をよりよく学ぶため、人体の構造と機能について理解し、得た知識を応用できるようになる。</p> <p>[授業概要] 消化器、循環器といった人体の各系統ごとに、解剖学、生理学を併せて解説します。解剖生理学Iの理解を前提に、臨床との結びつきを意識し、専門分野への橋渡しとなるような講義を行う予定です。 解剖生理学Iの理解を前提とするため、事前に参考書(解剖生理学Iで教科書として使用したもの)の該当分野を読んできて下さい(授業計画に記載)。予習のようにみえますが、復習でもあります。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 生物学、生化学、解剖生理学Iの内容を理解していることが必要です。理解が不十分な人は復習しておきましょう。それが、この授業の予習となります。また、授業の後には、これまでに習得した事項との関連性の確認を中心に復習することが必要です。各回、予習復習あわせて4時間程度の学修が必要になるかと思えます。</p> <p>[授業計画] 授業内容に関連して、事前に参考書(解剖生理学Iで教科書として使用したもの)を読んできて下さい。予習のようにみえますが、復習でもあります。そのうち重要な事項について重点をおいて講義します。さらにその内容についてクイズ(小テスト)を適宜行い、終了後さらに解説します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞と組織(参考書P29~43まで読んでくること) 2. 血液(参考書P67~81まで読んでくること) 3. 循環器(参考書P85~104まで読んでくること) 4. 呼吸器(参考書P107~131まで読んでくること) 5. まとめ1/腎(参考書P121~131まで読んでくること) 6. 腎/消化管(参考書P45~63まで読んでくること) 7. 消化器 8. 内分泌(参考書P134-139, 167~183まで読んでくること) 9. 内分泌/代謝 10. 骨/筋(参考書P142~152,154-165まで読んでくること) 11. 中枢神経系(参考書P186~205まで読んでくること) 12. 末梢神経系 13. 感覚器/皮膚(参考書P208-215, 225~230まで読んでくること) 14. 試験 			

科目名	解剖生理学Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
<p>[成績評価方法] 授業中のクイズ(小テスト)20%、試験成績80%で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中のクイズ(小テスト)後、解説を行いフィードバックします。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。講義資料は電子媒体の形で入手可能。参考書1を再読すること</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 人体の構造と機能 (解剖生理Iでは教科書に指定されています) 著者名:志村二三夫ら編 出版社:羊土社 (978-4-7581-0876-8)</p>			

科目名	解剖生理学Ⅱ	前期	2単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 臨床栄養学など専門分野をよりよく学ぶため、人体の構造と機能について理解し、得た知識を応用できるようになる。</p> <p>[授業概要] 消化器、循環器といった人体の各系統ごとに、解剖学、生理学を併せて解説します。解剖生理学Iの理解を前提に、臨床との結びつきを意識し、専門分野への橋渡しとなるような講義を行う予定です。 解剖生理学Iの理解を前提とするため、事前に参考書(解剖生理学Iで教科書として使用したもの)の該当分野を読んできて下さい(授業計画に記載)。予習のようにみえますが、復習でもあります。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 生物学、生化学、解剖生理学Iの内容を理解していることが必要です。理解が不十分な人は復習しておきましょう。それが、この授業の予習となります。また、授業の後には、これまでに習得した事項との関連性の確認を中心に復習することが必要です。各回、予習復習あわせて4時間程度の学修が必要になるかと思います。</p> <p>[授業計画] 授業内容に関連して、事前に参考書(解剖生理学Iで教科書として使用したもの)を読んできて下さい。予習のようにみえますが、復習でもあります。そのうち重要な事項について重点をおいて講義します。さらにその内容についてクイズ(小テスト)を適宜行い、終了後さらに解説します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞と組織(参考書P29~43まで読んでくること) 2. 血液(参考書P67~81まで読んでくること) 3. 循環器(参考書P85~104まで読んでくること) 4. 呼吸器(参考書P107~131まで読んでくること) 5. まとめ1/腎(参考書P121~131まで読んでくること) 6. 腎/消化管(参考書P45~63まで読んでくること) 7. 消化器 8. 内分泌(参考書P134-139, 167~183まで読んでくること) 9. 内分泌/代謝 10. 骨/筋(参考書P142~152, 154-165まで読んでくること) 11. 中枢神経系(参考書P186~205まで読んでくること) 12. 末梢神経系 13. 感覚器/皮膚(参考書P208-215, 225~230まで読んでくること) 14. 試験 			

科目名	解剖生理学Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
<p>[成績評価方法] 授業中のクイズ(小テスト)20%、試験成績80%で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中のクイズ(小テスト)後、解説を行いフィードバックします。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。講義資料は電子媒体の形で入手可能。参考書1を再読すること</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 人体の構造と機能 (解剖生理Iでは教科書に指定されています) 著者名:志村二三夫ら編 出版社:羊土社 (978-4-7581-0876-8)</p>			

科目名	解剖生理学実験	後期	1 単位
サブタイトル	人体の構造と機能を体験する	実験	
担当者	清水 扶美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 人体を形成する細胞・組織の構造・機能を、実験を通して解剖生理学の講義で学んだ知識と結び付け、より深く理解する。</p> <p>[授業概要] 人体の構造を理解するために、人体模型を用いて臓器の形態と位置を把握し、組織標本を用いて臓器の細胞学的特徴を観察する。また、各器官系に関連する血圧測定、肺気量測定、デンプン消化実験などを行い、臓器の構造と生理学的な機能について系統的な理解を深める。 ※実験動物の解剖は、基礎栄養学実験の授業で行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度。前回の実験内容のレポートおよび課題を完成させておくこと。また、事前に配布する次回の実験内容や課題を必ず予習しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞・組織: 細胞・組織の構成、スケッチの手法(清水・置村) 2. 血液: 血液の構成、顕微鏡の扱い方、赤血球のカウント方法、浸透圧と溶血(実験実習)(清水・置村) 3. 循環器1: 心臓の構造と刺激伝達系、脈拍と血圧の測定(実験実習)(清水・置村) 4. 循環器2: 血管の構造と心臓周期、心電図と心音の聴取(実験実習)(清水・置村) 5. 呼吸器: 呼吸器系の構造、呼吸数の観察と肺活量測定(実験実習)(清水・置村) 6. 内分泌(演習)、腎臓1: 腎臓の構造(演習・顕微鏡を用いた組織観察)(清水・置村) 7. 腎臓2: クレアチニンの定量とクレアチニンクリアランス(実験実習)(清水・置村) 8. 消化器系1: 消化器の構造と機能(演習・組織観察)(清水・置村) 9. 消化器系2: 唾液アミラーゼの消化実験(実験実習)(清水・置村) 10. 消化器系3: ペプシンの消化実験(実験実習)(清水・置村) 11. 骨格・骨組織: 骨の構造、骨密度測定(実験実習)(清水・置村) 筋: 筋組織の観察、高齢者体験装置による高齢者の運動機能の考察(実験実習)(清水・置村) 12. 脳・神経: 中枢神経の構成・脳の区分、膝蓋腱反射と棒反応時間測定(実験実習)(清水・置村) 13. 皮膚・感覚器: 皮膚・感覚器の仕組み、味覚の実験(実験実習)(清水・置村) まとめ(清水・置村) 			

科目名	解剖生理学実験	後期	1 単位
サブタイトル	人体の構造と機能を体験する	実験	
担当者	清水 扶美		
<p>[成績評価方法] レポート・課題(60%)、筆記試験(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート・課題の内容は、基本的には翌週に返却する時に解説を行う。試験は、試験終了後に解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 栄養科学シリーズNEXT 解剖生理学実習 著者名:森田規之ら編 出版社:講談社 (ISBN:978-4-06-155377-4 Cコード:C3077) 配布プリント</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 著者名:志村二三夫ら編 出版社:羊土社 (ISBN: 9784758113625) 解剖生理学で使用したワークシート</p>			

科目名	解剖生理学実験	後期	1 単位
サブタイトル	人体の構造と機能を体験する	実験	
担当者	清水 扶美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 人体を形成する細胞・組織の構造・機能を、実験を通して解剖生理学の講義で学んだ知識と結び付け、より深く理解する。</p> <p>[授業概要] 人体の構造を理解するために、人体模型を用いて臓器の形態と位置を把握し、組織標本を用いて臓器の細胞学的特徴を観察する。また、各器官系に関連する血圧測定、肺気量測定、デンプン消化実験などを行い、臓器の構造と生理学的な機能について系統的な理解を深める。 ※実験動物の解剖は、基礎栄養学実験の授業で行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度。前回の実験内容のレポートおよび課題を完成させておくこと。また、事前に配布する次回の実験内容や課題を必ず予習しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞・組織:細胞・組織の構成、スケッチの手法(清水・置村) 2. 血液:血液の構成、顕微鏡の扱い方、赤血球のカウント方法、浸透圧と溶血(実験実習)(清水・置村) 3. 循環器1:心臓の構造と刺激伝達系、脈拍と血圧の測定(実験実習)(清水・置村) 4. 循環器2:血管の構造と心臓周期、心電図と心音の聴取(実験実習)(清水・置村) 5. 呼吸器:呼吸器系の構造、呼吸数の観察と肺活量測定(実験実習)(清水・置村) 6. 内分泌(演習)、腎臓1:腎臓の構造(演習・顕微鏡を用いた組織観察)(清水・置村) 7. 腎臓2:クレアチニンの定量とクレアチニンクリアランス(実験実習)(清水・置村) 8. 消化器系1:消化器の構造と機能(演習・組織観察)(清水・置村) 9. 消化器系2:唾液アミラーゼの消化実験(実験実習)(清水・置村) 10. 消化器系3:ペプシンの消化実験(実験実習)(清水・置村) 11. 骨格・骨組織:骨の構造、骨密度測定(実験実習)(清水・置村) 筋:筋組織の観察、高齢者体験装置による高齢者の運動機能の考察(実験実習)(清水・置村) 12. 脳・神経:中枢神経の構成・脳の区分、膝蓋腱反射と棒反応時間測定(実験実習)(清水・置村) 13. 皮膚・感覚器:皮膚・感覚器の仕組み、味覚の実験(実験実習)(清水・置村) まとめ(清水・置村) 			

科目名	解剖生理学実験	後期	1 単位
サブタイトル	人体の構造と機能を体験する	実験	
担当者	清水 扶美		
<p>[成績評価方法] レポート・課題(60%)、筆記試験(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート・課題の内容は、基本的には翌週に返却する時に解説を行う。試験は、試験終了後に解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 栄養科学シリーズNEXT 解剖生理学実習 著者名:森田規之ら編 出版社:講談社 (ISBN:978-4-06-155377-4 Cコード:C3077) 配布プリント</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 著者名:志村二三夫ら編 出版社:羊土社 (ISBN: 9784758113625) 解剖生理学で使用したワークシート</p>			

科目名	解剖生理学実験	後期	1 単位
サブタイトル	人体の構造と機能を体験する	実験	
担当者	清水 扶美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 人体を形成する細胞・組織の構造・機能を、実験を通して解剖生理学の講義で学んだ知識と結び付け、より深く理解する。</p> <p>[授業概要] 人体の構造を理解するために、人体模型を用いて臓器の形態と位置を把握し、組織標本を用いて臓器の細胞学的特徴を観察する。また、各器官系に関連する血圧測定、肺気量測定、デンプン消化実験などを行い、臓器の構造と生理学的な機能について系統的な理解を深める。 ※実験動物の解剖は、基礎栄養学実験の授業で行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度。前回の実験内容のレポートおよび課題を完成させておくこと。また、事前に配布する次回の実験内容や課題を必ず予習しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞・組織: 細胞・組織の構成、スケッチの手法(清水・置村) 2. 血液: 血液の構成、顕微鏡の扱い方、赤血球のカウント方法、浸透圧と溶血(実験実習)(清水・置村) 3. 循環器1: 心臓の構造と刺激伝達系、脈拍と血圧の測定(実験実習)(清水・置村) 4. 循環器2: 血管の構造と心臓周期、心電図と心音の聴取(実験実習)(清水・置村) 5. 呼吸器: 呼吸器系の構造、呼吸数の観察と肺活量測定(実験実習)(清水・置村) 6. 内分泌(演習)、腎臓1: 腎臓の構造(演習・顕微鏡を用いた組織観察)(清水・置村) 7. 腎臓2: クレアチニンの定量とクレアチニンクリアランス(実験実習)(清水・置村) 8. 消化器系1: 消化器の構造と機能(演習・組織観察)(清水・置村) 9. 消化器系2: 唾液アミラーゼの消化実験(実験実習)(清水・置村) 10. 消化器系3: ペプシンの消化実験(実験実習)(清水・置村) 11. 骨格・骨組織: 骨の構造、骨密度測定(実験実習)(清水・置村) 筋: 筋組織の観察、高齢者体験装置による高齢者の運動機能の考察(実験実習)(清水・置村) 12. 脳・神経: 中枢神経の構成・脳の区分、膝蓋腱反射と棒反応時間測定(実験実習)(清水・置村) 13. 皮膚・感覚器: 皮膚・感覚器の仕組み、味覚の実験(実験実習)(清水・置村) まとめ(清水・置村) 			

科目名	解剖生理学実験	後期	1 単位
サブタイトル	人体の構造と機能を体験する	実験	
担当者	清水 扶美		
<p>[成績評価方法] レポート・課題(60%)、筆記試験(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート・課題の内容は、基本的には翌週に返却する時に解説を行う。試験は、試験終了後に解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 栄養科学シリーズNEXT 解剖生理学実習 著者名:森田規之ら編 出版社:講談社 (ISBN:978-4-06-155377-4 Cコード:C3077) 配布プリント</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 著者名:志村二三夫ら編 出版社:羊土社 (ISBN: 9784758113625) 解剖生理学で使用したワークシート</p>			

科目名	解剖生理学実験	前期	1 単位
サブタイトル	人体の構造と機能を体験する	実験	
担当者	清水 扶美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 人体を形成する細胞・組織の構造・機能を、実験を通して解剖生理学の講義で学んだ知識と結び付け、より深く理解する。</p> <p>[授業概要] 人体の構造を理解するために、人体模型を用いて臓器の形態と位置を把握し、組織標本を用いて臓器の細胞学的特徴を観察する。また、各器官系に関連する血圧測定、肺気量測定、デンプン消化実験などを行い、臓器の構造と生理学的な機能について系統的な理解を深める。 ※実験動物の解剖は、基礎栄養学実験の授業で行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度。前回の実験内容のレポートおよび課題を完成させておくこと。また、事前に配布する次回の実験内容や課題を必ず予習しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞・組織: 細胞・組織の構成、スケッチの手法(清水・置村) 2. 血液: 血液の構成、顕微鏡の扱い方、赤血球のカウント方法、浸透圧と溶血(実験実習)(清水・置村) 3. 循環器1: 心臓の構造と刺激伝達系、脈拍と血圧の測定(実験実習)(清水・置村) 4. 循環器2: 血管の構造と心臓周期、心電図と心音の聴取(実験実習)(清水・置村) 5. 呼吸器: 呼吸器系の構造、呼吸数の観察と肺活量測定(実験実習)(清水・置村) 6. 内分泌(演習)、腎臓1: 腎臓の構造(演習・顕微鏡を用いた組織観察)(清水・置村) 7. 腎臓2: クレアチニンの定量とクレアチニンクリアランス(実験実習)(清水・置村) 8. 消化器系1: 消化器の構造と機能(演習・組織観察)(清水・置村) 9. 消化器系2: 唾液アミラーゼの消化実験(実験実習)(清水・置村) 10. 消化器系3: ペプシンの消化実験(実験実習)(清水・置村) 11. 骨格・骨組織: 骨の構造、骨密度測定(実験実習)(清水・置村) 筋: 筋組織の観察、高齢者体験装置による高齢者の運動機能の考察(実験実習)(清水・置村) 12. 脳・神経: 中枢神経の構成・脳の区分、膝蓋腱反射と棒反応時間測定(実験実習)(清水・置村) 13. 皮膚・感覚器: 皮膚・感覚器の仕組み、味覚の実験(実験実習)(清水・置村) まとめ(清水・置村) 			

科目名	解剖生理学実験	前期	1 単位
サブタイトル	人体の構造と機能を体験する	実験	
担当者	清水 扶美		
<p>[成績評価方法] レポート・課題(60%)、筆記試験(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート・課題の内容は、基本的には翌週に返却する時に解説を行う。試験は、試験終了後に解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 栄養科学シリーズNEXT 解剖生理学実習 著者名:森田規之ら編 出版社:講談社 (ISBN:978-4-06-155377-4 Cコード:C3077) 配布プリント</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 著者名:志村二三夫ら編 出版社:羊土社 (ISBN: 9784758113625) 解剖生理学で使用したワークシート</p>			

科目名	家族関係学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大淵 裕美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 家族とは何かについて考えることができる。また、家族に関する基礎的な諸概念や理論を理解し、現実に行っている家族の諸問題について考察することができる。</p> <p>[授業概要] 社会の変化に伴い、家族の形態や機能も大きく変化している。出生率の低下、晩婚化・非婚化の進行、離婚の増大、家族をつくらない人々の増加など、家族の多様化が進んでいる。本授業では、このような家族に関する基本理論を、家族社会学の立場から体系的に解説する。 家族は誰にとっても身近な存在であるが、それだけに、いざ家族を定義づけようすると難しい。家族の定義からはじめ、次に、結婚、出産、高齢期といったライフサイクル的視点で家族をとらえていく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・日ごろから、新聞やニュースで話題になる現代家族がかかえている諸問題に関心をもつようにする。その上で、毎回の授業のテーマと関連づけて考えてみる。 ・予習・復習合わせて4時間程度行うこと。</p> <p>[授業計画] 1. イントロダクション:家族とは? 家族をどうとらえるか。 2. 「近代家族」の成立:家族は歴史的に変化するか 3. 家族・貧困・福祉:家族と貧困 4. 家族・貧困・福祉:日本の生活保障システムと家族 5. 結婚:結婚とは何か。未婚化という変化。 6. 結婚:離婚における変化。パートナーシップの多様化。 7. 就業と家族:ワークライフバランスの実現に向けて。 8. 妊娠・出産・子育て:少子化 9. 妊娠・出産・子育て:医療技術と子どもをもつこと 10.妊娠・出産・子育て:家事と育児の分担 11. 親-成人子関係のゆくえ:親-成人子関係についての理論的枠組み、親-成人子関係の変化 12. 個人・家族・親密性のゆくえ:多様化する家族 13. 家族関係に関する理解度確認テスト・解説</p>			

科目名	家族関係学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大淵 裕美		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で実施する小テスト、課題 60% ・定期試験 40% <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントシートについては、確認して次回授業時に返却します。 ・manabaで実施する小テストは、提出後に解答・解説が閲覧できるように自動採点設定をします。 ・試験後、問題の解説を行います。 <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、小テスト、定期試験</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>なし 出版社:</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>『新しい家族関係学』 著者名:森岡清美・望月嵩 出版社:培風館 (978-4-5630-5034-4)</p> <p>『よくわかる現代家族』 著者名:神原文子・杉井淳子・竹田美知編著 出版社:ミネルヴァ書房 (978-4-623-07683-3)</p> <p>『入門 家族社会学』 著者名:永田夏来・松本洋人 出版社:新泉社 (978-4-7877-1704-7)</p>			

科目名	学校栄養教育論 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	安田 敬子、林 浩子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 児童生徒の健康と食生活の課題を認識し、望ましい食習慣の形成に役立つ栄養教育の技法を修得する。</p> <p>[授業概要] 児童生徒の食生活には、朝食の欠食・夜食の増加、間食や外食による不規則な食行動の増加傾向がみられる。さらに生活リズムの乱れ、運動不足やストレスによる肥満児の増加、その反面、やせ志向の増加なども目立ちはじめ、これらの影響として小児生活習慣病の発生も顕著になりつつあり、児童生徒を取り巻く生活環境は、健全な心身の発達に対し多様な課題を擁しながら大きく様変わりしている。こうしたなか、保護者・学校・地域社会が連携して栄養教育を実施し、児童生徒自らが生きる糧としての食生活を認識し、健康で心豊かな人間形成を図ることは社会的にも急務とされている。児童生徒の望ましい食習慣の形成に役立つ栄養教諭としての栄養教育のありかたについて学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業内容の予習復習。各回予習復習合わせて4時間程度。 関連時事ニュースや関連法規に関心を持つ。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション これからの学習のすすめ方(安田) 2.栄養教諭の職務の制度と役割(安田) 3.学校給食の教育的意義と役割、学校組織と栄養教諭の位置づけ(安田) 4.学校栄養教育に係わる法令と諸制度(安田) 5.子どもの発達と食生活(安田) 6.学齢期の疾病と栄養教育(安田) 7.まとめ(安田) 8.栄養教諭に採用されるまで 学校給食の沿革、戦後からの学校給食年表(林) 9.学校給食献立の推移と献立作成を中心とした給食経営管理(林) 10.学校給食の衛生管理と食育だより活用の食育活動(林) 11.学校給食における食環境の推移 給食指導時における実践的指導(林) 12.教育実習のための課題実施 食に関する指導の全体計画(林) 13.まとめ 栄養教諭の実践と模擬授業について(林)</p> <p>※林担当分は集中講義</p>			

科目名	学校栄養教育論 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	安田 敬子、林 浩子		
<p>[成績評価方法] 試験70%、レポート等提出物30%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験直後に合わせをすることで、自身の間違いがどこであったかがわかり、その解答を知って正しい知識の習得に繋げる。課題は提出後解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 四訂 栄養教諭論 理論と実際d(第2版) 著者名:金田雅代 編著 出版社:建帛社 (978-4-7679-2119-8)</p> <p>[参考書(ISBN)] 食物と栄養学基礎シリーズ9 栄養教育論(第6版) 著者名:土江節子 出版社:学文社 (9784760000000)</p>			

科目名	学校栄養教育論Ⅱ		後期	2単位
サブタイトル			講義	
担当者	安田 敬子、林 浩子、西川 和孝			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 学校栄養教諭としての具体的な栄養教育プログラムの作成と実習により、指導力を習得する。</p> <p>[授業概要] 「学校栄養教育論Ⅰ」では、児童生徒における望ましい食習慣の形成につなぐための健康・栄養・食生活・学校給食管理等、栄養教育を実践するための基礎的な知識の導入と理論を修得し、そのうえで活力のある授業を展開するために調査、資料収集の技術を修得した。「学校栄養教育論Ⅱ」では児童生徒の望ましい食習慣形成への目標達成のための、社会資源の活用、栄養教育プログラムの作成の技法等、栄養教育のマネジメントについて具体的実践論の展開方法について学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・授業内容の復習と予習。各回、予習復習合わせて4時間程度。 ・関連時事ニュースや関連法規に関心を持つ。</p> <p>[授業計画] 1.個別栄養相談指導(安田) －個別栄養相談指導の意義、特徴等－ 2.個別栄養相談指導(安田) －対象別 食物アレルギー、肥満、やせ、貧血－ 3.家庭・地域との連携(安田) －家庭・地域や関係団体との連携、地産地消を進めるための連携－ 4.まとめ(安田) 5.栄養教諭に関する法律等の復習(西川) 6.小学校・中学校「家庭科」における食に関する指導(西川) 7.「体育科・保健体育科」「道徳・特別活動」における食に関する指導(西川) 8.「生活科」「総合的な時間」における食に関する指導(西川) 9.まとめ(西川) 10.発達に応じた食に関する指導と食育教材(文部科学省、兵庫県教育委員会)(林) 11.模擬授業と授業・教材研究1(林) 12.模擬授業と授業・教材研究2(林) 13.模擬授業と授業・教材研究3 まとめ(林)</p> <p>※林担当分は集中講義</p>				

科目名	学校栄養教育論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	安田 敬子、林 浩子、西川 和孝		
<p>[成績評価方法] 試験70%、提出物30%、</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験直後に答合せをすることで、自身の間違いがどこであったかがわかり、その解答を知って正しい知識の習得に繋げる。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 四訂栄養教諭論—理論と実際—(第2版) 著者名:金田雅代編著 出版社:建帛社 (978-4-7679-2119-8)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

S82250 [HDI3-020]

科目名	家庭科指導法 I		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	佐藤 佐織			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された中学校技術・家庭科(家庭分野)及び高等学校家庭科の目標・内容が説明できる。 ・家庭科の学習指導計画・方法の基礎・基本を理解している。 ・家庭科におけるICTの効果的な利用法を理解している。 <p>[授業概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭科の性格や学習指導要領に示された中学校技術・家庭科(家庭分野)及び高等学校家庭科の目標及び内容、学習評価について概説する。 ・家庭科の授業をするための基礎的・基本的事項について概説する。 <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>毎回の授業の復習に2時間程度あてることが必要である。 家庭科指導法Ⅱにむけて、この授業の内容を理解し、記録化、まとめておく必要がある。</p> <p>[授業計画]</p> <p>第1回:ガイダンス・家庭科の授業とは 第2回:家庭科教育の意義 第3回:中学校家庭分野「A家族・家庭生活」と高等学校家庭科「A家族・家庭及び福祉」の目標及び内容 第4回:中学校家庭分野「B衣食住の生活」と高等学校家庭科「B衣食住」の目標及び内容① 第5回:中学校家庭分野「B衣食住の生活」と高等学校家庭科「B衣食住」の目標及び内容② 第6回:中学校家庭分野「B衣食住の生活」と高等学校家庭科「B衣食住」の目標及び内容③ 第7回:中学校家庭分野「C消費生活・環境」と高等学校家庭科「C消費生活・環境」の目標及び内容 第8回:指導計画の作成と内容の取扱い 第9回:「指導と評価の一体化」のための学習評価 第10回:家庭科の学習形態とICTの活用 第11回:板書方法とワークシートの作成 第12回:家庭科教育の実習環境と施設設備 第13回:まとめ</p>				

科目名	家庭科指導法 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤 佐織		
<p>[成績評価方法] 授業態度(30%)、課題(40%)、試験(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題へのコメント、最終授業での解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 高等学校学習指導要領(平成30年告示) 解説 家庭編 文部科学省 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂 (978-4-304-04166-2) 家庭総合 明日の生活を築く(高等学校検定済教科書 家総704) 著者名:大竹美登利他 出版社:開隆堂 (978-4-304-08105-7) 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 技術・家庭編 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂 (978-4-304-02154-1) 技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生(中学校検定済教科書 家庭703) 著者名:大竹美登利他 出版社:開隆堂 (978-4-304-08074-6)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	家庭科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤 佐織		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校技術・家庭科(家庭分野)の学習で育成を目指す資質・能力を教育内容に結び付けて理解している。 ・高等学校家庭科の学習で育成を目指す資質・能力を教育内容に結び付けて理解している。 ・学習指導案を書き、模擬授業をすることができる。 ・模擬授業を通して、生徒と授業者の両方の立場から実践上の課題をつかむことができる。 <p>[授業概要]</p> <p>授業概要[授業の計画、教材研究、実施、評価の流れを理解した上で学習指導案を作成し、模擬授業を行う。模擬授業では、目標に向かって学習過程を展開するための課題、および発問・説明・指示、板書、机間指導等の課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業に参加することにより、他の受講生の授業について評価をしながら、授業を改善し、視点と方法について探究する。 <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭科指導法Ⅰ」の講義内容は、本授業のベースになるので必ず復習しておく。 ・指導計画や模擬授業の準備等、授業の課題に積極的に取り組む。 ・授業内容を理解したり、模擬授業のための学習指導案の作成・教材研究のために4時間程度の時間を充てることが求められる。 <p>[授業計画]</p> <p>第1回:ガイダンス・家庭科の教材研究と授業づくり① 第2回:家庭科の教材研究と授業づくり② 第3回:家庭科の教材研究と授業づくり③ 第4回:家庭科の教材研究と授業づくり④ 第5回:家庭科の教材研究と授業づくり⑤ 第6回:模擬授業用学習指導案作成・板書計画 第7回:実習教材のねらいと意義① 第8回:実習教材のねらいと意義② 第9回:実習教材のねらいと意義③ 第10回:模擬授業① 第11回:模擬授業② 第12回:模擬授業③ 第13回:模擬授業④</p>			

科目名	家庭科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤 佐織		
<p>[成績評価方法] 授業態度(20%)、課題(40%)、模擬授業(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題へのコメント、模擬授業への指導講評を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 高等学校学習指導要領(平成30年告示) 解説 家庭編 文部科学省 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂 (978-4-304-04166-2) 家庭総合 明日の生活を築く(高等学校検定済教科書 家総704) 著者名:大竹美登利他 出版社:開隆堂 (978-4-304-08105-7) 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 技術・家庭編 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂 (978-4-304-02154-1) 技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生(中学校検定済教科書 家庭703) 著者名:大竹美登利他 出版社:開隆堂 (978-4-304-08074-6)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	家庭電気・機械		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	西崎 敏			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 機械、電気、情報の基礎と家庭機器の利用について理解できるようになる。家庭機器の動作原理、機能、活用および管理等について理解できるようになる。</p> <p>[授業概要] 私たちは、さまざまな電気機器や家庭用機械を利用しながら生活している。これらの機器は、家事の合理化など、私たちの快適な生活を支えている。また年々機器の性能も向上し、高機能化している。これらの機器についての仕組みや構造等を理解することが望まれる。本講義では、機械、電気、情報についての基礎知識及び、エネルギー消費や機械、電気機器の仕組みなどを学習する。これらの基礎知識をベースに、関連する最新情報を紹介し、紹介した最新情報をレポートにまとめ、お互いにディスカッションし、毎回の講義を整理することにより学習内容の定着を図る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 中学理科(電気、磁気)や技術・家庭科の内容が基礎となります。日常生活において電気製品や機器を利用するとき、その機能や環境問題についても意識して講義での質問事項を考えておいてください。各回の講義についての予習復習を、4時間程度行ってください。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス(科学技術の進歩と現代の生活)(ライフラインについて) 2. 機械要素とその働き1 家庭用マシン、自転車の構造としくみ(ねじ、歯車、ベルトなど) 3. 機械要素とその働き2 自動車(エンジン、モーター、バッテリー、燃料電池など) 4. 生活と材料(金属材料, 非金属材料, 機能性材料など) 5. 機械とエネルギー変換(力学とエネルギー変換技術) 6. 電気の基礎1 発電(水力、火力、原子力、太陽光など) 7. 電気の基礎2(電子、電流と電圧、磁気、磁界、電気の単位など) 8. 電気の基礎3(直流と交流、周波数、直列と並列、電力と電力量、ジュールの法則など) 9. 家庭用機器(電熱機器、照明機器、動力機器) 10. 家庭用音声映像機器(テレビ、スマートスピーカー)の基礎知識(構造、しくみなど)・家庭の屋内配線(電気、LANケーブル) 11. エネルギー事情と対策(日本のエネルギーの現状と課題) 12. 家庭生活と情報機器(機器操作と情報リテラシー) 13. 教育の情報化と全体のまとめ</p>				

科目名	家庭電気・機械	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	西崎 敏		
<p>[成績評価方法] 授業中の課題(30%) 試験(記述式)(70%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 講義途中の試験・レポートについては、次の講義でコメントしフィードバックする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:授業中のレポート(30%)、試験(記述式)(70%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:授業中のレポート(30%)、試験(記述式)(70%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:授業中のレポート(30%)、試験(記述式)(70%)</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業中のレポート(30%)、試験(記述式)(70%)</p> <p>[教科書(ISBN)] なし(該当なし)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし(該当なし)</p>			

科目名	感染防御学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 病原微生物の性状、感染症の成立要因を理解し、主な感染症の原因、症状、予防について説明できる。</p> <p>[授業概要] 宿主(ヒト)において、外から入ってきた病原体に対して防御するために発達したシステムが免疫です。病原体の種は細菌、ウイルス、寄生虫など多様であり、その侵入・寄生の仕方も多様です。これらの病原体による種々の感染症とこれらに対する生体防御機構を学び、理解することを目標とします。また、最近話題の感染症についても講義します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に次回の予定を示しますので、教科書の該当する箇所を目をとおしておいてください。また、授業の後には復習として、これまでに習得した事項との関連性を再確認しましょう。各回、予習復習あわせて4時間程度の学修が必要になるかと思えます。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 微生物と微生物学 2. 細菌の性質 3. ウイルスの性質、真菌の性質、原虫・寄生虫の性質 4. 感染と感染症、滅菌と消毒 5. 生体防御機構 免疫の仕組み 6. 生体防御機構の変調とそれに基づく疾患 7. 感染症の現状 8. 細菌感染症-1 9. 細菌感染症-2 10. 真菌感染症、原虫・寄生虫感染症 11. ウイルス感染症-1 12. ウイルス感染症-2 13. まとめ 			

科目名	感染防御学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
<p>[成績評価方法] 小テスト20%、試験80%で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に小テストを行い、その後それについて解説しフィードバックを行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学 疾病のなりたちと回復の促進(4)、14版 著者名:南嶋洋一・吉田真一・永淵正法 他 著 出版社:医学書院 (9784260000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	管理栄養士のための化学		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	木村 万里子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

1. 物質の構成、化学結合の種類と性質を説明できるようになる。
2. 物質の化学変化を理解し、説明できるようになる。
3. 有機化合物の構造と反応性を理解し、説明できるようになる。
4. 有機化合物の命名法(IUPAC)の基本を理解し、基本的な物質を命名、表記できるようになる。

[授業概要]

管理栄養士養成課程の専門科目を正しく理解するためには、基礎的な化学の知識が不可欠である。本講義では、栄養や食品といった応用的な内容に関連づけ、専門分野の学修容を理解するために最低限必要とされる化学の基礎(無機化学、有機化学)を系統的に学習する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

毎回の授業内容を必ず復習し理解する。不明な点は積極的に教員に質問すること。日頃から「自然現象」に関心を持つこと。各回、予習復習合わせて4時間程度です。

[授業計画]

1. 物質とその構成要素
2. 化学結合
3. 物質の変化①(物質量、化学反応式)
4. 物質の変化②(酸・塩基とその反応、酸化還元反応)
5. 理解確認のための試験形式の演習(1-4回の内容)
6. 有機化合物の特徴と分類、官能基の反応性
7. 有機化合物の基本骨格とIUPAC命名法
8. 糖質
9. 脂質
10. タンパク質
11. 核酸
12. 理解確認のための試験形式の演習(6-11回の内容)
13. まとめと試験

科目名	管理栄養士のための化学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	木村 万里子		
<p>[成績評価方法] 授業中の小テスト(15%)、試験(85%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験(小テスト)の解答をmanaバに提示する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:小テスト、定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:小テスト、定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:小テスト、定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:小テスト、定期試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、宿題の提出状況</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小テスト、定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:小テスト、定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:小テスト、定期試験</p> <p>[教科書(ISBN)] 生理学・生化学につながる ていねいな化学 著者名:白戸亮吉、小川由香里、鈴木研太 出版社:羊土社 (978-4-7581-2100-2)</p> <p>[参考書(ISBN)] 改訂 Let's Try Note(レッツトライノート)化学基礎 Vol.1 物質の構成 著者名:東京書籍編集部 出版社:東京書籍 改訂 Let's Try Note(レッツトライノート)化学基礎 Vol.2 物質と化学反応式 著者名:東京書籍編集部 出版社:東京書籍 改訂 Let's Try Note(レッツトライノート)化学基礎 Vol.3 物質の変化 著者名:東京書籍編集部 出版社:東京書籍</p>			

科目名	管理栄養士のための化学		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	木村 万里子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

1. 物質の構成、化学結合の種類と性質を説明できるようになる。
2. 物質の化学変化を理解し、説明できるようになる。
3. 有機化合物の構造と反応性を理解し、説明できるようになる。
4. 有機化合物の命名法(IUPAC)の基本を理解し、基本的な物質を命名、表記できるようになる。

[授業概要]

管理栄養士養成課程の専門科目を正しく理解するためには、基礎的な化学の知識が不可欠である。本講義では、栄養や食品といった応用的な内容に関連づけ、専門分野の学修容を理解するために最低限必要とされる化学の基礎(無機化学、有機化学)を系統的に学習する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

毎回の授業内容を必ず復習し理解する。不明な点は積極的に教員に質問すること。日頃から「自然現象」に関心を持つこと。各回、予習復習合わせて4時間程度です。

[授業計画]

1. 物質とその構成要素
2. 化学結合
3. 物質の変化①(物質量、化学反応式)
4. 物質の変化②(酸・塩基とその反応、酸化還元反応)
5. 理解確認のための試験形式の演習(1-4回の内容)
6. 有機化合物の特徴と分類、官能基の反応性
7. 有機化合物の基本骨格とIUPAC命名法
8. 糖質
9. 脂質
10. タンパク質
11. 核酸
12. 理解確認のための試験形式の演習(6-11回の内容)
13. まとめと試験

科目名	管理栄養士のための化学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	木村 万里子		
<p>[成績評価方法] 授業中の小テスト(15%)、試験(85%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験(小テスト)の解答をmanaバに提示する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:小テスト、定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:小テスト、定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:小テスト、定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:小テスト、定期試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、宿題の提出状況</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小テスト、定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:小テスト、定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:小テスト、定期試験</p> <p>[教科書(ISBN)] 生理学・生化学につながる ていねいな化学 著者名:白戸亮吉、小川由香里、鈴木研太 出版社:羊土社 (978-4-7581-2100-2)</p> <p>[参考書(ISBN)] 改訂Let's Try Note(レッツトライノート)化学基礎 Vol.1 物質の構成 著者名:東京書籍編集部 出版社:東京書籍 改訂 Let's Try Note(レッツトライノート)化学基礎 Vol.2 物質と化学反応式 著者名:東京書籍編集部 出版社:東京書籍 改訂 Let's Try Note(レッツトライノート)化学基礎 Vol.3 物質の変化 著者名:東京書籍編集部 出版社:東京書籍</p>			

科目名	管理栄養士のための生物	前期	2 単位
サブタイトル	ヒトと食材の生物学	講義	
担当者	薄井 芳奈		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 「食べる側＝ヒト」も「食べられる側＝食材」も「生物」であることを踏まえ、生きるしくみの基本である細胞、遺伝子、代謝、さらに、ヒトが生命を維持するしくみについて基礎事項を正しく説明できるようになる。「食べること」の意味を生物学の視点で科学的に理解し、身近な例を用いて説明できるようになる。</p> <p>[授業概要] 中学校・高等学校で学習した内容も含め、生物学の基礎を断片的な暗記事項ではなく、論理的に「しくみ」としてストーリーを持って理解することを重視する。「生化学」「解剖生理学」「病理学」など管理栄養士として必須の科目の理解の土台となるよう、細胞・遺伝子・代謝の基礎、ヒトの身体のしくみとその維持、進化・環境との関わりなどについて扱う。本科目は講義中心で扱う内容が多く進むスピードも速いため、高等学校で「生物基礎」だけで「生物」を履修しなかった学生や「生物」の受験勉強をしていない学生は「特別生物」を選択し併修することを強く勧める。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の内容について授業の最初に小テストを行う。復習と小テストの準備に40分程度、講義メモとコメントシートをmanabaから入手し、コメントの精読、次回の内容と教科書の確認に40分程度を要する。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生きているとはどういうことか／細胞～生命の基本単位 2. 細胞の分化と個体～ヒトの組織、器官 3. DNAの構造と遺伝子 4. 遺伝子の発現～セントラルドグマ 5. タンパク質の働き、代謝と酵素 6. 食べたものはどこへ行くのか～同化と異化、消化管と肝臓 7. エネルギーとATPの生産 8. 体液の循環と心臓、体液の濃度と腎臓 9. 恒常性の維持～内分泌系とホルモン／自律神経による調節 10. 刺激の受容と感覚 11. からだを守る～免疫 12. 免疫と私たちの生活 13. 生物としてのヒトと食 14. 試験 <p>※manabaを必ずチェックすること。毎回の教材配布や重要な連絡はmanabaで行います。 ※授業ではスマホでresponを使います。responアプリを入れたスマホを持参すること。 ※教科書は紙の本、参考書はPCで閲覧するWebテキストです。 ※場合によってはzoomでの遠隔授業を実施することがあります。</p>			

科目名	管理栄養士のための生物	前期	2 単位
サブタイトル	ヒトと食材の生物学	講義	
担当者	薄井 芳奈		

[成績評価方法]

各回授業はじめの小テスト20%
 授業中のrespon課題とコメントシート利用状況10%
 各回授業後のrespon課題(振り返りシート)20%
 試験50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

毎回の授業の振り返りカード(responで提出)で質問を受け、回答はコメントシートをmanabaで返すと共に必要に応じて授業で共有する。コメントシートの精読も含めて学習事項となることを十分に自覚すること。前回授業の重要事項について授業のはじめに小テストを行い、答案は次回授業で返却する。小テストの採点結果と正解はmanabaに掲載する。小テストは満点が要求されるレベルで行う。授業内容に関しては授業時間内にresponのルーム機能を使って随時質問を受け回答する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。
 成績評価方法:上記の成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。
 成績評価方法:上記の成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。
 成績評価方法:上記の成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。
 成績評価方法:上記の成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
 成績評価方法:respon課題 コメントシート利用状況

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
 成績評価方法:respon課題 小テスト 試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
 成績評価方法:respon課題 小テスト 試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
 成績評価方法:小テスト 試験

[教科書(ISBN)]

食と栄養を学ぶための生物学 著者名:堀田 久子・池 晶子
 塚元 葉子著 出版社:化学同人 (978-4-7598-2053-9)

[参考書(ISBN)]

なし 著者名:なし

科目名	管理栄養士のための生物	前期	2 単位
サブタイトル	ヒトと食材の生物学	講義	
担当者	薄井 芳奈		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 「食べる側＝ヒト」も「食べられる側＝食材」も「生物」であることを踏まえ、生きるしくみの基本である細胞、遺伝子、代謝、さらに、ヒトが生命を維持するしくみについて基礎事項を正しく説明できるようになる。「食べること」の意味を生物学の視点で科学的に理解し、身近な例を用いて説明できるようになる。</p> <p>[授業概要] 中学校・高等学校で学習した内容も含め、生物学の基礎を断片的な暗記事項ではなく、論理的に「しくみ」としてストーリーを持って理解することを重視する。「生化学」「解剖生理学」「病理学」など管理栄養士として必須の科目の理解の土台となるよう、細胞・遺伝子・代謝の基礎、ヒトの身体のしくみとその維持、進化・環境との関わりなどについて扱う。本科目は講義中心で扱う内容が多く進むスピードも速いため、高等学校で「生物基礎」だけで「生物」を履修しなかった学生や「生物」の受験勉強をしていない学生は「特別生物」を選択し併修することを強く勧める。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の内容について授業の最初に小テストを行う。復習と小テストの準備に40分程度、講義メモとコメントシートをmanabaから入手し、コメントの精読、次回の内容と教科書の確認に40分程度を要する。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生きているとはどういうことか／細胞～生命の基本単位 2. 細胞の分化と個体～ヒトの組織、器官 3. DNAの構造と遺伝子 4. 遺伝子の発現～セントラルドグマ 5. タンパク質の働き、代謝と酵素 6. 食べたものはどこへ行くのか～同化と異化、消化管と肝臓 7. エネルギーとATPの生産 8. 体液の循環と心臓、体液の濃度と腎臓 9. 恒常性の維持～内分泌系とホルモン／自律神経による調節 10. 刺激の受容と感覚 11. からだを守る～免疫 12. 免疫と私たちの生活 13. 生物としてのヒトと食 14. 試験 <p>※manabaを必ずチェックすること。毎回の教材配布や重要な連絡はmanabaで行います。 ※授業ではスマホでresponを使います。responアプリを入れたスマホを持参すること。 ※教科書は紙の本、参考書はPCで閲覧するWebテキストです。 ※場合によってはzoomでの遠隔授業を実施することがあります。</p>			

科目名	管理栄養士のための生物	前期	2 単位
サブタイトル	ヒトと食材の生物学	講義	
担当者	薄井 芳奈		

[成績評価方法]

各回授業はじめの小テスト20%
 授業中のrespon課題とコメントシート利用状況10%
 各回授業後のrespon課題(振り返りシート)20%
 試験50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

毎回の授業の振り返りカード(responで提出)で質問を受け、回答はコメントシートをmanabaで返すと共に必要に応じて授業で共有する。コメントシートの精読も含めて学習事項となることを十分に自覚すること。前回授業の重要事項について授業のはじめに小テストを行い、答案は次回授業で返却する。小テストの採点結果と正解はmanabaに掲載する。小テストは満点が要求されるレベルで行う。授業内容に関しては授業時間内にresponのルーム機能を使って随時質問を受け回答する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。
 成績評価方法:上記の成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。
 成績評価方法:上記の成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。
 成績評価方法:上記の成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。
 成績評価方法:上記の成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
 成績評価方法:respon課題 コメントシート利用状況

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
 成績評価方法:respon課題 小テスト 試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
 成績評価方法:respon課題 小テスト 試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
 成績評価方法:小テスト 試験

[教科書(ISBN)]

食と栄養を学ぶための生物学 著者名:堀田 久子・池 晶子
 塚元 葉子著 出版社:化学同人 (978-4-7598-2053-9)

[参考書(ISBN)]

なし 著者名:なし

科目名	管理栄養士論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	橋本 多美子、狩野 百合子、才新 直子、小倉 嘉夫、安田 敬子、榎原 美津枝、竹市 仁美、杉岡 ふみ子、西井 穂		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 栄養学の歴史を学び、社会における管理栄養士の役割や使命、職業人としての倫理、活動分野の理解を通して管理栄養士を目指す気持や意志を育む。さらに、管理栄養士の様々な職業や仕事の内容について具体的に学ぶことにより、将来の進路を考える機会とする。</p> <p>[授業概要] 管理栄養士は、広く「食を通じて人々の健康をサポートする専門職」と位置づけることができる。将来、管理栄養士として職務に従事するために、大学ではどのような「学び」をする必要があるかを認識する。健康の維持・増進、疾病の予防・治療における栄養管理の意義や管理栄養士の役割について、医療、福祉、行政、企業、学校等の職域分野別に、オムニバス形式で講義する。また、病院、福祉施設、企業などで活躍されている卒業生の方々を講師に迎え、現場に即したお話をしていただくことで管理栄養士の仕事内容について学ぶ。 なお、毎回の講義内容の理解度を判定するため、講義内容を要約したレポート提出を課す。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 導入教育「信頼される専門職となるために」(医歯薬出版)の関連箇所を、予習復習合わせて4時間程度熟読しておく。また、日頃より栄養や食生活に関する情報の収集に努める。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス(狩野) 2. 栄養士法等に規定されている管理栄養士・栄養士の役割、職域別管理栄養士の仕事—行政(竹市) 3. 管理栄養士の使命と管理栄養士の仕事 (榎原) 4. 管理栄養士としての健康管理・自己管理 (西井) 5. 病院の歴史、病院における管理栄養士の役割(杉岡) 6. 職域別管理栄養士の仕事—病院(杉岡、学外特別講師) 7. 職域別管理栄養士の仕事—福祉関係(西井、学外特別講師) 8. 職域別管理栄養士の仕事—委託会社(西井、学外特別講師) 9. 職域別管理栄養士の仕事—栄養教諭(安田) 10. 職域別管理栄養士の仕事—企業(橋本、学外特別講師) 11. 自分の食生活と栄養評価(才新) 12. 管理栄養士の社会的地位向上につながる「管理栄養士の研究者」をめざすには(小倉) 13. まとめ(橋本)</p> <p>授業内容の順番は、外部講師の都合により変更することがあります。</p>			

科目名	管理栄養士論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	橋本 多美子、狩野 百合子、才新 直子、小倉 嘉夫、安田 敬子、榎原 美津枝、竹市 仁美、杉岡 ふみ子、西井 穂		
<p>[成績評価方法] レポート・課題(100%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 各教員がレポートの解説を授業内もしくは学内システムなどを活用して行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>[教科書(ISBN)] 導入教育 信頼される専門職となるために 著者名:伊達ちぐさ 出版社:医歯薬出版 (978-4-263-70680-0) 日本食品成分表2024 八訂(最新) 著者名:医歯薬出版編集 出版社:医歯薬出版 (未定)</p>			

S82000 [HDI1-006]

科目名	基礎アパレル造形演習	前期	2 単位
サブタイトル	製図、パターン、立体構成	演習	
担当者	十一 玲子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 被服のパターンに関するパーツなどを総合的に理解し、被服に必要な基本的な知識および技術を身につける。創造力と感性の養成を目指し、パターンの作成、展開などの理論について学ぶ。基礎縫いを実施し、基本的なスカートを製作できるようになる。</p> <p>[授業概要] 衣服がどのようなパーツからできているのかを理解し、製図に必要な知識を身につける。デザイン画、写真、雑誌などを見て製図ができることが理想である。 縫製の基本的な部分を学び、自分のサイズの作品(スカート)を製作する。自分で最初から最後まで完成するまでの力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 市場には多くの既製服が販売されている。常に関心、好奇心を持って、見るようにする。授業中に行った課題に遅れた場合、次回までに各自で計画を立てて、学習しておくこと2時間程度。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション、採寸、型紙作成、布丈の見積り 2.製図(1/5)(原型・タイトスカート)、展開(スカート) 3.基礎縫い(手縫い) 4.基礎縫い(手縫い) 5.基礎縫い(ミシン縫い) 6.裁断、標付け、ミシン使用方法の説明 7.本縫い、ギャザーミシン、脇縫い、脇・裾オーバーロックミシン 8.ベルト作り、ベルト付け 9.ベルト付け、ゴム通し、渡しまつり 10.裾始末 11.製図(1/5)(ブラウス)、展開(袖) 12.仕上げ、完成 13.まとめ、発表(プレゼンテーション)</p>			

科目名	基礎アパレル造形演習	前期	2 単位
サブタイトル	製図、パターン、立体構成	演習	
担当者	十一 玲子		
<p>[成績評価方法] 作品・製図(70%),プレゼンテーション(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 作品・課題などを提出後、確認を行い、コメントをつけて返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 洋裁研究(基礎編) 著者名:共著 出版社:学校法人 行吉学園</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	基礎アパレル造形演習	後期	2 単位
サブタイトル	製図、パターン、立体構成	演習	
担当者	十一 玲子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 被服のパターンに関するパーツなどを総合的に理解し、被服に必要な基本的な知識および技術を身につける。創造力と感性の養成を目指し、パターンの作成、展開などの理論について学ぶ。基礎縫いを実施し、基本的なスカートを製作できるようになる。</p> <p>[授業概要] 衣服がどのようなパーツからできているのかを理解し、製図に必要な知識を身につける。デザイン画、写真、雑誌などを見て製図ができることが理想である。 縫製の基本的な部分を学び、自分のサイズの作品(スカート)を製作する。自分で最初から最後まで完成するまでの力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 市場には多くの既製服が販売されている。常に関心、好奇心を持って、見るようにする。授業中に行った課題に遅れた場合、次回までに各自で計画を立てて、学習しておくこと2時間程度。</p> <p>[授業計画] 1.オエンテーション、採寸、型紙作成、布丈の見積り 2.製図(1/5)(原型・タイトスカート)、展開(スカート) 3.基礎縫い(手縫い) 4.基礎縫い(手縫い) 5.基礎縫い(ミシン縫い) 6.裁断、標付け、ミシン使用方法の説明 7.本縫い、ギャザーミシン、脇縫い、脇・裾オーバーロックミシン 8.ベルト作り、ベルト付け 9.ベルト付け、ゴム通し、渡しまつり 10.裾始末 11.製図(1/5)(ブラウス)、展開(袖) 12.仕上げ、完成 13.まとめ、発表(プレゼンテーション)</p>			

科目名	基礎アパレル造形演習	後期	2 単位
サブタイトル	製図、パターン、立体構成	演習	
担当者	十一 玲子		
<p>[成績評価方法] 作品・製図(70%),プレゼンテーション(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 作品・課題などを提出後、確認を行い、コメントをつけて返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 洋裁研究(基礎編) 著者名:共著 出版社:学校法人 行吉学園</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	基礎栄養学	後期	2 単位
サブタイトル	糖質・脂質・たんぱく質、ビタミン、ミネラルの栄養、消化・吸収と代謝	講義	
担当者	狩野 百合子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 管理栄養士として持つべき栄養学の基礎から、研究へ展開させることができる応用力を持つレベルへの到達を目標とする。</p> <p>[授業概要] 栄養の基本的概念を理解し、健康の保持増進、疾病予防における栄養の役割を理解して応用専門科目の基盤となる力を育む。そのためにはエネルギー代謝および栄養素の代謝と生理的意義を理解することが求められ、ヒトの個体レベルでの栄養現象を体構成成分への変換、臓器間の連携を通して栄養代謝の全体像として捉えることができるようにする。摂食行動から消化・吸収および栄養素の体内運搬までを体系づけて、エネルギー代謝および栄養素の代謝とその生理学的意義を理解する。特に糖質、脂質、タンパク質のエネルギー産生栄養素については、食後と食間期の代謝の違いと臓器別の差異、および代謝調節の全体を把握する必要がある。高度に洗練された専門知識と技術を有する管理栄養士として持つべき栄養学の基礎としてだけでなく、研究へ展開させることができる応用力をもつレベルへの到達を目標とする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 生物の知識は必須です。解剖生理学、生化学、食品学とも関連する基礎専門科目であるので、関連づけながら栄養学を体系的に学ぶための基礎学力が必要です。</p> <p>[授業計画] 1. 栄養の概念、栄養素の構造と機能 ①糖質の栄養 2. 栄養素の構造と機能 ②タンパク質の栄養 ③脂質の栄養 3. 栄養素の構造と機能 ④ビタミン・無機質 4. 栄養素の消化と吸収① 概念 5. 栄養素の消化と吸収② 6. 栄養素の消化と吸収③ 7. 栄養素の代謝 ①糖質の代謝 8. 栄養素の代謝 ②脂質の代謝 9. 栄養素の代謝 ③アミノ酸・タンパク質の代謝 10. 水・電解質の代謝 11. エネルギー代謝 12. 遺伝子発現と栄養 13. まとめと試験</p>			

科目名	基礎栄養学	後期	2 単位
サブタイトル	糖質・脂質・たんぱく質、ビタミン、ミネラルの栄養、消化・吸収と代謝	講義	
担当者	狩野 百合子		
<p>[成績評価方法] 試験90%、小テスト10%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験回収後、試験の概要について解説する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 基礎栄養学 著者名:坂井堅太郎編 出版社:化学同人 (978-4-7598-1232-9)</p> <p>[参考書(ISBN)] ハーパー生化学 著者名:ハーパー 出版社:丸善 医科生理学展望 出版社:丸善 基礎栄養学 出版社:講談社 基礎栄養学 出版社:南江堂</p>			

科目名	基礎栄養学	後期	2 単位
サブタイトル	糖質・脂質・たんぱく質、ビタミン、ミネラルの栄養、消化・吸収と代謝	講義	
担当者	狩野 百合子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 管理栄養士として持つべき栄養学の基礎から、研究へ展開させることができる応用力を持つレベルへの到達を目標とする。</p> <p>[授業概要] 栄養の基本的概念を理解し、健康の保持増進、疾病予防における栄養の役割を理解して応用専門科目の基盤となる力を育む。そのためにはエネルギー代謝および栄養素の代謝と生理的意義を理解することが求められ、ヒトの個体レベルでの栄養現象を体構成成分への変換、臓器間の連携を通して栄養代謝の全体像として捉えることができるようにする。摂食行動から消化・吸収および栄養素の体内運搬までを体系づけて、エネルギー代謝および栄養素の代謝とその生理学的意義を理解する。特に糖質、脂質、タンパク質のエネルギー産生栄養素については、食後と食間期の代謝の違いと臓器別の差異、および代謝調節の全体を把握する必要がある。高度に洗練された専門知識と技術を有する管理栄養士として持つべき栄養学の基礎としてだけでなく、研究へ展開させることができる応用力をもつレベルへの到達を目標とする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 生物の知識は必須です。解剖生理学、生化学、食品学とも関連する基礎専門科目であるので、関連づけながら栄養学を体系的に学ぶための基礎学力が必要です。</p> <p>[授業計画] 1. 栄養の概念、栄養素の構造と機能 ①糖質の栄養 2. 栄養素の構造と機能 ②タンパク質の栄養 ③脂質の栄養 3. 栄養素の構造と機能 ④ビタミン・無機質 4. 栄養素の消化と吸収① 概念 5. 栄養素の消化と吸収② 6. 栄養素の消化と吸収③ 7. 栄養素の代謝 ①糖質の代謝 8. 栄養素の代謝 ②脂質の代謝 9. 栄養素の代謝 ③アミノ酸・タンパク質の代謝 10. 水・電解質の代謝 11. エネルギー代謝 12. 遺伝子発現と栄養 13. まとめと試験</p>			

科目名	基礎栄養学	後期	2 単位
サブタイトル	糖質・脂質・たんぱく質、ビタミン、ミネラルの栄養、消化・吸収と代謝	講義	
担当者	狩野 百合子		
<p>[成績評価方法] 試験90%、小テスト10%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験回収後、試験の概要について解説する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 基礎栄養学 著者名:坂井堅太郎編 出版社:化学同人 (978-4-7598-1232-9)</p> <p>[参考書(ISBN)] ハーパー生化学 著者名:ハーパー 出版社:丸善 医科生理学展望 出版社:丸善 基礎栄養学 出版社:講談社 基礎栄養学 出版社:南江堂</p>			

科目名	基礎栄養学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	狩野 百合子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>1回生で習った基礎栄養学において特に重要な5大栄養素について定性・定量実験を行い、栄養という生理現象について理解を深める。</p> <p>[授業概要]</p> <p>ヒトの個体レベルでの栄養現象は、摂取した食品の栄養成分の生体構成成分としての栄養素への代謝変換、さらに臓器間連携による体内での栄養素相互変換という一連の代謝の全体として把握することが必要である。そこで、本実験では、わたしたちの体はどのような構造と機能を持ち、食物をとった場合にどのように対処して生命活動は営まれているのかを知るため、基礎栄養学における特に重要な5大栄養素について、定性・定量実験をすることにより、理解を深める。さらには食生活が生体成分に及ぼす影響について調べ、健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割を理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>1回生で習った基礎栄養学の内容について実験を行う。特に5大栄養素について考えてみる実験を行う。糖質、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラルについて、定性実験及び定量実験を中心に行う。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実験についてのオリエンテーション 実験項目の内容や注意点について概説する。 2. 糖質の定性反応 3. たんぱく質の定性反応 4. アミノ酸の定性反応・脂質の定性反応 5. ビタミンの定性反応. 6. 脂質の定量 7. タンパク質の定量Ⅰ 8. タンパク質の定量Ⅱ 9. 栄養素の消化吸收(座学) 10. 栄養素の代謝(座学) 11. 動物実験と飼育の基礎(ビデオ) 実験動物の正しい扱い方、飼育の方法および動物実験施設の使用法、動物実験の研究倫理について説明する。 12. ラット解剖のデモンストレーション(ビデオ) ラットは哺乳動物であり、大きさの違いはあるが内臓の仕組みは人体とよく似ている。各臓器の配置構造について、ビデオを見ながら説明する。 13. まとめ・試験 			

科目名	基礎栄養学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	狩野 百合子		
<p>[成績評価方法] 授業終了後、翌週に提出するレポート提出10回分、面接授業中に実施するペーパーテスト1回分(30点満点)、出席点の合計点を100点満点に換算して、成績評価とする。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート提出翌週の授業時間の最初に、「レポート講評」の時間を設けて、良かった点、悪かった点を伝えている。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 授業中テキストを配布する。 エキスパートシリーズ基礎栄養学</p>			

科目名	基礎栄養学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	狩野 百合子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>1回生で習った基礎栄養学において特に重要な5大栄養素について定性・定量実験を行い、栄養という生理現象について理解を深める。</p> <p>[授業概要]</p> <p>ヒトの個体レベルでの栄養現象は、摂取した食品の栄養成分の生体構成成分としての栄養素への代謝変換、さらに臓器間連携による体内での栄養素相互変換という一連の代謝の全体として把握することが必要である。そこで、本実験では、わたしたちの体はどのような構造と機能を持ち、食物をとった場合にどのように対処して生命活動は営まれているのかを知るため、基礎栄養学における特に重要な5大栄養素について、定性・定量実験をすることにより、理解を深める。さらには食生活が生体成分に及ぼす影響について調べ、健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割を理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>1回生で習った基礎栄養学の内容について実験を行う。特に5大栄養素について考えてみる実験を行う。糖質、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラルについて、定性実験及び定量実験を中心に行う。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実験についてのオリエンテーション 実験項目の内容や注意点について概説する。 2. 糖質の定性反応 3. たんぱく質の定性反応 4. アミノ酸の定性反応・脂質の定性反応 5. ビタミンの定性反応. 6. 脂質の定量 7. タンパク質の定量Ⅰ(ビューレット法) 8. タンパク質の定量Ⅱ(ローリー法) 9. タンパク質の定量Ⅲ(ローリー法・応用) 10. 栄養素の消化吸収(座学) 11. 栄養素の代謝(座学) 12. 動物実験・肝臓中脂質定量 栄養学を研究するために、動物実験の必要性和意義、研究倫理について説明する。ラットの肝臓中の脂質含量をFolch法で定量する。 13. まとめ・試験 			

科目名	基礎栄養学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	狩野 百合子		
<p>[成績評価方法] 授業終了後、翌週に提出するレポート提出10回分、面接授業中に実施するペーパーテスト1回分(30点満点)、出席点の合計点を100点満点に換算して、成績評価とする。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート提出翌週の授業時間の最初に、「レポート講評」の時間を設けて、良かった点、悪かった点を伝えている。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 授業中テキストを配布する。 エキスパートシリーズ基礎栄養学</p>			

科目名	基礎栄養学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	狩野 百合子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>1回生で習った基礎栄養学において特に重要な5大栄養素について定性・定量実験を行い、栄養という生理現象について理解を深める。</p> <p>[授業概要]</p> <p>ヒトの個体レベルでの栄養現象は、摂取した食品の栄養成分の生体構成成分としての栄養素への代謝変換、さらに臓器間連携による体内での栄養素相互変換という一連の代謝の全体として把握することが必要である。そこで、本実験では、わたしたちの体はどのような構造と機能を持ち、食物をとった場合にどのように対処して生命活動は営まれているのかを知るため、基礎栄養学における特に重要な5大栄養素について、定性・定量実験をすることにより、理解を深める。さらには食生活が生体成分に及ぼす影響について調べ、健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割を理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>1回生で習った基礎栄養学の内容について実験を行う。特に5大栄養素について考えてみる実験を行う。糖質、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラルについて、定性実験及び定量実験を中心に行う。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実験についてのオリエンテーション 実験項目の内容や注意点について概説する。 2. 糖質の定性反応 3. たんぱく質の定性反応 4. アミノ酸の定性反応・脂質の定性反応 5. ビタミンの定性反応. 6. 脂質の定量 7. タンパク質の定量Ⅰ(ビューレット法) 8. タンパク質の定量Ⅱ(ローリー法) 9. タンパク質の定量Ⅲ(ローリー法・応用) 10. 栄養素の消化吸収(座学) 11. 栄養素の代謝(座学) 12. 動物実験・肝臓中脂質定量 栄養学を研究するために、動物実験の必要性和意義、研究倫理について説明する。ラットの肝臓中の脂質含量をFolch法で定量する。 13. まとめ・試験 			

科目名	基礎栄養学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	狩野 百合子		
<p>[成績評価方法] 授業終了後、翌週に提出するレポート提出10回分、面接授業中に実施するペーパーテスト1回分(30点満点)、出席点の合計点を100点満点に換算して、成績評価とする。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート提出翌週の授業時間の最初に、「レポート講評」の時間を設けて、良かった点、悪かった点を伝えている。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 授業中テキストを配布する。</p>			

科目名	基礎栄養学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	狩野 百合子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

1回生で習った基礎栄養学において特に重要な5大栄養素について定性・定量実験を行い、栄養という生理現象について理解を深める。

[授業概要]

ヒトの個体レベルでの栄養現象は、摂取した食品の栄養成分の生体構成成分としての栄養素への代謝変換、さらに臓器間連携による体内での栄養素相互変換という一連の代謝の全体として把握することが必要である。そこで、本実験では、わたしたちの体はどのような構造と機能を持ち、食物をとった場合にどのように対処して生命活動は営まれているのかを知るため、基礎栄養学における特に重要な5大栄養素について、定性・定量実験をすることにより、理解を深める。さらには食生活が生体成分に及ぼす影響について調べ、健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割を理解する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

1回生で習った基礎栄養学の内容について実験を行う。特に5大栄養素について考えてみる実験を行う。糖質、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラルについて、定性実験及び定量実験を中心に行う。

[授業計画]

1. 実験についてのオリエンテーション
実験項目の内容や注意点について概説する。
2. 糖質の定性反応
3. たんぱく質の定性反応
4. アミノ酸の定性反応・脂質の定性反応
5. ビタミンの定性反応.
6. 脂質の定量
7. タンパク質の定量Ⅰ(ビューレット法)
8. タンパク質の定量Ⅱ(ローリー法)
9. タンパク質の定量Ⅲ(ローリー法・応用)
10. 栄養素の消化吸収(座学)
11. 栄養素の代謝(座学)
12. 動物実験・肝臓中脂質定量
栄養学を研究するために、動物実験の必要性和意義、研究倫理について説明する。ラットの肝臓中の脂質含量をFolch法で定量する。
13. まとめ・試験

科目名	基礎栄養学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	狩野 百合子		
<p>[成績評価方法] 授業終了後、翌週に提出するレポート提出10回分、面接授業中に実施するペーパーテスト1回分(30点満点)、出席点の合計点を100点満点に換算して、成績評価とする。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート提出翌週の授業時間の最初に、「レポート講評」の時間を設けて、良かった点、悪かった点を伝えている。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 授業中テキストを配布する。 エキスパートシリーズ基礎栄養学</p>			

科目名	基礎化学実験	後期	1 単位
サブタイトル	化学実験の基礎を学ぶ	実験	
担当者	安藤 清一		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

化学実験の基礎(安全に実験を行うための注意事項を含む)を学び、身に付ける。

[授業概要]

基礎化学実験は、他の化学及び関連科目を理解し易くするために化学の基礎知識についての講義と実験を行う。

実験項目:

1. 実験器具の使い方
2. 結晶をつくる
3. 中和滴定 I
4. 中和滴定 II (応用実験)
5. 酸化還元滴定
6. 緩衝作用を調べる
7. 蒸留操作
8. 分光光度計の原理・操作法
9. タンパク質の定量 I (ビュレット法:分光光度計を用いた吸光度測定の実験操作)
10. タンパク質の定量 II (ビュレット法:分光光度計を用いた吸光度測定の実験操作と計算)
11. タンパク質の定量 III (ビュレット法:応用実験)
12. 脂質の定性反応
13. まとめの実験

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

前回の授業を復習し、理解を深めて、次回の授業の準備をすること。

[授業計画]

1. オリエンテーション: 化学実験の基礎、実験の注意点及び安全管理について説明する。
2. バーナーの構造をしらべる。ガラス細工。実験器具の使い方、容量器具の使い方
3. 硫酸銅を使って実験(硫酸銅を使って、ろ過、傾斜、遠心分離、乾燥の操作を行う)。
4. 結晶をつくる: 結晶をとることの意義について説明。フタル酸を用いて、再結晶をとる。ホウ砂より、ホウ酸をつくる。
5. 酸化還元滴定: 過マンガン酸カリウムとシュウ酸ナトリウムの溶液をつくり、酸化還元滴定を行う。
6. 中和滴定 I: 塩酸と水酸化ナトリウムの一定濃度の溶液をつくり、これを用いて中和滴定を行う。
7. 中和滴定 II: 応用実験で、食酢(酢酸)と水酸化ナトリウムによる中和滴定により食酢中に含まれる 酢酸量の定量を行う。
8. 緩衝作用: 酢酸と酢酸ナトリウムを用いて、緩衝液をつくり、pHメーターを用いて、緩衝作用を調べる。
9. 蒸留・蒸発・抽出: 蒸留・蒸発・抽出の説明。蒸留操作の注意点について説明。常圧蒸留: 常圧蒸留装置を用いて、エタノールを蒸留して精製を行う。
10. タンパク質の定量 I: 分光光度計の原理、使い方を説明。ビュレット法によるタンパク質の定量の吸光度そくていまでを行う。
11. タンパク質の定量 II: Iと同様に実験を行った後、標準物質による検量曲線の書き方及び計算方法により、タンパク質の定量を行う。
12. タンパク質の定量 III: 応用実験により、ビュレット法によるタンパク質の定量を行う。
13. まとめの実験

科目名	基礎化学実験	後期	1 単位
サブタイトル	化学実験の基礎を学ぶ	実験	
担当者	安藤 清一		

[成績評価方法]

毎回提出するレポート(25%)、授業態度(25%)、定期試験(50%)で評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

毎回実施の授業及び実験のレポートの解説は、授業中に行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

プリント使用

[参考書(ISBN)]

栄養士・管理栄養士をめざす人の実験プライマリーガイド 著者名:倉沢新一・中島滋・丸井正樹 著 出版社:化学同人 (9784760000000)

科目名	基礎化学実験	後期	1 単位
サブタイトル	化学実験の基礎を学ぶ	実験	
担当者	木村 万里子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 化学実験の基礎(安全に実験を行うための注意事項を含む)を学び、身に付ける。</p> <p>[授業概要] 基礎化学実験は、他の化学及び関連科目を理解し易くするために化学の基礎知識についての講義と実験を行う。 実験項目: 1. 実験器具の使い方 2. 結晶をつくる 3. 中和滴定Ⅰ 4. 中和滴定Ⅱ(応用実験) 5. 酸化還元滴定 6. 緩衝作用を調べる 7. 蒸留操作 8. 分光光度計の原理・操作法 9. タンパク質の定量Ⅰ(ビュレット法:分光光度計を用いた吸光度測定の実験操作) 10. タンパク質の定量Ⅱ(ビュレット法:分光光度計を用いた吸光度測定の実験操作と計算) 11. タンパク質の定量Ⅲ(ビュレット法:応用実験) 12. 脂質の定性反応 13. まとめの実験</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業を復習し、理解を深めて、次回の授業の準備をすること。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション:化学実験の基礎、実験の注意点及び安全管理について説明する。 2. バーナーの構造をしらべる。ガラス細工。実験器具の使い方、容量器具の使い方 3. 硫酸銅を使って実験(硫酸銅を使って、ろ過、傾斜、遠心分離、乾燥の操作を行う)。 4. 結晶をつくる:結晶をとることの意義について説明。フタル酸を用いて、再結晶をとる。 ホウ砂より、ホウ酸をつくる。 5. 酸化還元滴定:過マンガン酸カリウムとシュウ酸ナトリウムの溶液をつくり、酸化還元滴定を行う。 6. 中和滴定Ⅰ:塩酸と水酸化ナトリウムの一定濃度の溶液をつくり、これを用いて中和滴定を行う。 7. 中和滴定Ⅱ:応用実験で、食酢(酢酸)と水酸化ナトリウムによる中和滴定により食酢中に含まれる酢酸量の定量を行う。 8. 緩衝作用:酢酸と酢酸ナトリウムを用いて、緩衝液をつくり、pHメーターを用いて、緩衝作用を調べる。 9. 蒸留・蒸発・抽出:蒸留・蒸発・抽出の説明。蒸留操作の注意点について説明。 常圧蒸留:常圧蒸留装置を用いて、エタノールを蒸留して精製を行う。 10. タンパク質の定量Ⅰ:分光光度計の原理、使い方を説明。ビュレット法によるタンパク質の定量的吸光度測定までを行う。 11. タンパク質の定量Ⅱ:Ⅰと同様に実験を行った後、標準物質による検量曲線の書き方及び計算方法により、タンパク質の定量を行う。 12. タンパク質の定量Ⅲ:応用実験により、ビュレット法によるタンパク質の定量を行う。 13. まとめの実験</p> <p>※授業内容の理解・習熟状況、実験設備上の都合等によって実験項目の変更や順番の入れ替えがある。</p>			

科目名	基礎化学実験	後期	1 単位
サブタイトル	化学実験の基礎を学ぶ	実験	
担当者	木村 万里子		
<p>[成績評価方法] 毎回提出する実験レポートおよび課題(75%)、授業態度(25%)で評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート評価やコメントはmanaに提示する。また、適宜、授業の中で指導を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント使用</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養士・管理栄養士をめざす人の実験プライマリーガイド 著者名:倉沢新一・中島滋・丸井正樹 著 出版社:化学同人 (9784760000000)</p>			

科目名	基礎化学実験	前期	1 単位
サブタイトル	化学実験の基礎を学ぶ	実験	
担当者	狩野 百合子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

化学実験の基礎(安全に実験を行うための注意事項を含む)を学び、身に付ける。

[授業概要]

基礎化学実験は、他の化学及び関連科目を理解し易くするために化学の基礎知識についての講義と実験を行う。

実験項目:

1. 実験器具の使い方
2. 結晶をつくる
3. 中和滴定 I
4. 中和滴定 II (応用実験)
5. 酸化還元滴定
6. 緩衝作用を調べる
7. 蒸留操作
8. 分光光度計の原理・操作法
9. タンパク質の定量 I (ビュレット法:分光光度計を用いた吸光度測定の実験操作)
10. タンパク質の定量 II (ビュレット法:分光光度計を用いた吸光度測定の実験操作と計算)
11. タンパク質の定量 III (ビュレット法:応用実験)
12. 脂質の定性反応
13. まとめの実験

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

前回の授業を復習し、理解を深めて、次回の授業の準備をすること。

[授業計画]

1. オリエンテーション: 化学実験の基礎、実験の注意点及び安全管理について説明する。
2. バーナーの構造をしらべる。ガラス細工。実験器具の使い方、容量器具の使い方
3. 硫酸銅を使って実験(硫酸銅を使って、ろ過、傾斜、遠心分離、乾燥の操作を行う)。
4. 結晶をつくる: 結晶をとることの意義について説明。フタル酸を用いて、再結晶をとる。ホウ砂より、ホウ酸をつくる。
5. 酸化還元滴定: 過マンガン酸カリウムとシュウ酸ナトリウムの溶液をつくり、酸化還元滴定を行う。
6. 中和滴定 I: 塩酸と水酸化ナトリウムの一定濃度の溶液をつくり、これを用いて中和滴定を行う。
7. 中和滴定 II: 応用実験で、食酢(酢酸)と水酸化ナトリウムによる中和滴定により食酢中に含まれる 酢酸量の定量を行う。
8. 緩衝作用: 酢酸と酢酸ナトリウムを用いて、緩衝液をつくり、pHメーターを用いて、緩衝作用を調べる。
9. 蒸留・蒸発・抽出: 蒸留・蒸発・抽出の説明。蒸留操作の注意点について説明。常圧蒸留: 常圧蒸留装置を用いて、エタノールを蒸留して精製を行う。
10. タンパク質の定量 I: 分光光度計の原理、使い方を説明。ビュレット法によるタンパク質の定量の吸光度そくていまでを行う。
11. タンパク質の定量 II: Iと同様に実験を行った後、標準物質による検量曲線の書き方及び計算方法により、タンパク質の定量を行う。
12. タンパク質の定量 III: 応用実験により、ビュレット法によるタンパク質の定量を行う。
13. まとめの実験

科目名	基礎化学実験	前期	1 単位
サブタイトル	化学実験の基礎を学ぶ	実験	
担当者	狩野 百合子		
<p>[成績評価方法] 毎回提出するレポート(25%)、授業態度(25%)、定期試験(50%)で評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回実施の授業及び実験のレポートは、評価を付して返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント使用</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養士・管理栄養士をめざす人の実験プライマリーガイド 著者名:倉沢新一・中島滋・丸井正樹 著 出版社:化学同人 (9784760000000)</p>			

科目名	基礎化学実験	後期	1 単位
サブタイトル	化学実験の基礎を学ぶ	実験	
担当者	甲斐 達男		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

基礎化学実験の基礎(安全に実験を行うための注意事項を含む)を学び、身に付ける。

[授業概要]

基礎化学実験は、他の化学及び関連科目を理解し易くするために化学の基礎知識についての講義と実験を行う。

実験項目:

1. 実験器具の使い方
2. 結晶をつくる
3. 中和滴定 I
4. 中和滴定 II (応用実験)
5. 酸化還元滴定
6. 緩衝作用を調べる
7. 蒸留操作
8. 分光光度計の原理・操作法
9. タンパク質の定量 I (ビュレット法:分光光度計を用いた吸光度測定の実験操作)
10. タンパク質の定量 II (ビュレット法:分光光度計を用いた吸光度測定の実験操作と計算)
11. タンパク質の定量 III (ビュレット法:応用実験)
12. 脂質の定性反応
13. まとめの実験

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

前回の授業を復習し、理解を深めて、次回の授業の準備をすること。

[授業計画]

1. オリエンテーション: 化学実験の基礎、実験の注意点及び安全管理について説明する。
2. バーナーの構造をしらべる。ガラス細工。実験器具の使い方、容量器具の使い方
3. 硫酸銅を使って実験(硫酸銅を使って、ろ過、傾斜、遠心分離、乾燥の操作を行う)。
4. 結晶をつくる: 結晶をとることの意義について説明。フタル酸を用いて、再結晶をとる。ホウ砂より、ホウ酸をつくる。
5. 酸化還元滴定: 過マンガン酸カリウムとシュウ酸ナトリウムの溶液をつくり、酸化還元滴定を行う。
6. 中和滴定 I: 塩酸と水酸化ナトリウムの一定濃度の溶液をつくり、これを用いて中和滴定を行う。
7. 中和滴定 II: 応用実験で、食酢(酢酸)と水酸化ナトリウムによる中和滴定により食酢中に含まれる 酢酸量の定量を行う。
8. 緩衝作用: 酢酸と酢酸ナトリウムを用いて、緩衝液をつくり、pHメーターを用いて、緩衝作用を調べる。
9. 蒸留・蒸発・抽出: 蒸留・蒸発・抽出の説明。蒸留操作の注意点について説明。常圧蒸留: 常圧蒸留装置を用いて、エタノールを蒸留して精製を行う。
10. タンパク質の定量 I: 分光光度計の原理、使い方を説明。ビュレット法によるタンパク質の定量の吸光度そくていまでを行う。
11. タンパク質の定量 II: Iと同様に実験を行った後、標準物質による検量曲線の書き方及び計算方法により、タンパク質の定量を行う。
12. タンパク質の定量 III: 応用実験により、ビュレット法によるタンパク質の定量を行う。
13. まとめの実験

科目名	基礎化学実験	後期	1 単位
サブタイトル	化学実験の基礎を学ぶ	実験	
担当者	甲斐 達男		
<p>[成績評価方法] 毎回提出するレポート(25%)、授業態度(25%)、定期試験(50%)で評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回実施の授業及び実験のレポートは、評価を付して返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:実験態度、意欲、および、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:実験態度、意欲、および、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実験態度、意欲、および、レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実験態度、意欲、および、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実験態度、意欲、および、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実験態度、意欲、および、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実験態度、意欲、および、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実験態度、意欲、および、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実験態度、意欲、および、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実験態度、意欲、および、レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント使用</p> <p>[参考書(ISBN)] なし 出版社:化学なし</p>			

科目名	給食経営管理実習	後期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理のマネジメントを行う	実習	
担当者	才新 直子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 特定給食施設における栄養管理を目的とした給食経営管理を行うために、管理栄養士としてのマネジメント能力を身につけることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 給食施設の種類に応じた目的、経営方針、組織を明らかにし、食事サービスのマネジメントを実習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 給食経営管理論、フードシステム論をはじめ給食管理業務に関する科目についての復習をしておく。特に大量調理施設衛生管理マニュアルを理解しておく。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、厨房見学、給食経営計画の立案:栄養・食事管理、献立管理 2. 給食経営計画の立案:献立管理、品質管理(予定献立表の作成、試作) 3. 給食経営計画の立案:品質管理(予定献立の修正、試作)、食材管理、生産管理 4. 試作、予定献立の修正① 5. 試作、予定献立の修正② 6. 給食経営計画の立案:食材管理、生産管理、衛生・安全管理、顧客管理 <p>※1</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ① 8. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ② 9. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ③ 10. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ④ 11. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ⑤ 12. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ⑥ 13. 実習の評価・改善、まとめ、実習レポート課題提出 <p>※1 7～12.のうち、実習は管理栄養士としての実習を1回、調理員としての実習を2回行う。 実習後、課題、実習データの評価を行う。</p>			

科目名	給食経営管理実習	後期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理のマネジメントを行う	実習	
担当者	才新 直子		

[成績評価方法]

実習のための事前準備と実習態度※2(50%)、実習後の学習態度とまとめ(10%)、実習レポート課題(30%)、試験(10%)により評価する。
 ※2 指定期日までの検便提出(3回)、給食経営管理実習室における試作1回と管理栄養士役1回、調理員役2回の出席が必須である。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

実習レポート返却時にコメントを返します。
 試験終了後に解説を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。
 成績評価方法:実習態度、実習レポート課題、試験

学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。
 成績評価方法:実習態度、レポート課題

学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。
 成績評価方法:実習態度

学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。
 成績評価方法:実習態度

学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。
 成績評価方法:実習態度、レポート課題

学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。
 成績評価方法:実習態度、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
 成績評価方法:実習態度

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
 成績評価方法:実習態度

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
 成績評価方法:実習態度、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
 成績評価方法:実習態度、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
 成績評価方法:実習態度、レポート課題、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
 成績評価方法:実習態度、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
 成績評価方法:実習態度、レポート課題

[教科書(ISBN)]

S81520 [HDI3-005]

科目名	給食経営管理実習		前期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理のマネジメントを行う		実習	
担当者	才新 直子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 特定給食施設における栄養管理を目的とした給食経営管理を行うために、管理栄養士としてのマネジメント能力を身につけることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 給食施設の種類に応じた目的、経営方針、組織を明らかにし、食事サービスのマネジメントを実習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 給食経営管理論、フードシステム論をはじめ給食管理業務に関する科目についての復習をしておく。特に大量調理施設衛生管理マニュアルを理解しておく。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、厨房見学、給食経営計画の立案:栄養・食事管理、献立管理 2. 給食経営計画の立案:献立管理、品質管理(予定献立表の作成、試作) 3. 給食経営計画の立案:品質管理(予定献立の修正、試作)、食材管理、生産管理 4. 試作、予定献立の修正① 5. 試作、予定献立の修正② 6. 給食経営計画の立案:食材管理、生産管理、衛生・安全管理、顧客管理 <p>※1</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ① 8. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ② 9. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ③ 10. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ④ 11. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ⑤ 12. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ⑥ 13. 実習の評価・改善、まとめ、実習レポート課題提出 <p>※1 7～12. のうち、実習は管理栄養士としての実習を1回、調理員としての実習を2回行う。 実習後、課題、実習データの評価を行う。</p>				

科目名	給食経営管理実習	前期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理のマネジメントを行う	実習	
担当者	才新 直子		

[成績評価方法]

実習のための事前準備と実習態度※2(50%)、実習後の学習態度とまとめ(10%)、実習レポート課題(30%)、試験(10%)により評価する。
 ※2 指定期日までの検便提出(3回)、給食経営管理実習室における試作1回と管理栄養士役1回、調理員役2回の出席が必須である。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

実習レポート返却時にコメントを返します。
 試験終了後に解説を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。
 成績評価方法:実習態度、実習レポート課題、試験

学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。
 成績評価方法:実習態度、レポート課題

学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。
 成績評価方法:実習態度

学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。
 成績評価方法:実習態度

学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。
 成績評価方法:実習態度、レポート課題

学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。
 成績評価方法:実習態度、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
 成績評価方法:実習態度

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
 成績評価方法:実習態度

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
 成績評価方法:実習態度、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
 成績評価方法:実習態度、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
 成績評価方法:実習態度、レポート課題、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
 成績評価方法:実習態度、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
 成績評価方法:実習態度、レポート課題

[教科書(ISBN)]

S81521 [HDI3-005]

科目名	給食経営管理実習		後期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理のマネジメントを行う		実習	
担当者	才新 直子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 特定給食施設における栄養管理を目的とした給食経営管理を行うために、管理栄養士としてのマネジメント能力を身につけることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 給食施設の種類に応じた目的、経営方針、組織を明らかにし、食事サービスのマネジメントを実習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 給食経営管理論、フードシステム論をはじめ給食管理業務に関する科目についての復習をしておく。特に大量調理施設衛生管理マニュアルを理解しておく。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、厨房見学、給食経営計画の立案:栄養・食事管理、献立管理 2. 給食経営計画の立案:献立管理、品質管理(予定献立表の作成、試作) 3. 給食経営計画の立案:品質管理(予定献立の修正、試作)、食材管理、生産管理 4. 試作、予定献立の修正① 5. 試作、予定献立の修正② 6. 給食経営計画の立案:食材管理、生産管理、衛生・安全管理、顧客管理 <p>※1</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ① 8. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ② 9. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ③ 10. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ④ 11. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ⑤ 12. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ⑥ 13. 実習の評価・改善、まとめ、実習レポート課題提出 <p>※1 7～12. のうち、実習は管理栄養士としての実習を1回、調理員としての実習を2回行う。 実習後、課題、実習データの評価を行う。</p>				

科目名	給食経営管理実習	後期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理のマネジメントを行う	実習	
担当者	才新 直子		

[成績評価方法]

実習のための事前準備と実習態度※2(50%)、実習後の学習態度とまとめ(10%)、実習レポート課題(30%)、試験(10%)により評価する。
 ※2 指定期日に検便提出(3回)、給食経営管理実習室における試作1回と管理栄養士役1回、調理員役2回の出席が必須である。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

実習レポート返却時にコメントを返します。
 試験終了後に解説を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。
 成績評価方法:実習態度、実習レポート課題、試験

学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。
 成績評価方法:実習態度、レポート課題

学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。
 成績評価方法:実習態度

学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。
 成績評価方法:実習態度

学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。
 成績評価方法:実習態度、レポート課題

学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。
 成績評価方法:実習態度、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
 成績評価方法:実習態度

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
 成績評価方法:実習態度

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
 成績評価方法:実習態度、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
 成績評価方法:実習態度、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
 成績評価方法:実習態度、レポート課題、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
 成績評価方法:実習態度、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
 成績評価方法:実習態度、レポート課題

[教科書(ISBN)]

S81522 [HDI3-005]

科目名	給食経営管理実習		前期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理のマネジメントを行う		実習	
担当者	才新 直子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 特定給食施設における栄養管理を目的とした給食経営管理を行うために、管理栄養士としてのマネジメント能力を身につけることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 給食施設の種類に応じた目的、経営方針、組織を明らかにし、食事サービスのマネジメントを実習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 給食経営管理論、フードシステム論をはじめ給食管理業務に関する科目についての復習をしておく。特に大量調理施設衛生管理マニュアルを理解しておく。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、厨房見学、給食経営計画の立案:栄養・食事管理、献立管理 2. 給食経営計画の立案:献立管理、品質管理(予定献立表の作成、試作) 3. 給食経営計画の立案:品質管理(予定献立の修正、試作)、食材管理、生産管理 4. 試作、予定献立の修正① 5. 試作、予定献立の修正② 6. 給食経営計画の立案:食材管理、生産管理、衛生・安全管理、顧客管理 <p>※1</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ① 8. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ② 9. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ③ 10. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ④ 11. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ⑤ 12. 実習、各種管理業務の確認、実習データのまとめ ⑥ 13. 実習の評価・改善、まとめ、実習レポート課題提出 <p>※1 7～12. のうち、実習は管理栄養士としての実習を1回、調理員としての実習を2回行う。 実習後、課題、実習データの評価を行う。</p>				

科目名	給食経営管理実習	前期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理のマネジメントを行う	実習	
担当者	才新 直子		
<p>[成績評価方法] 実習のための事前準備と実習態度※2(50%)、実習後の学習態度とまとめ(10%)、実習レポート課題(30%)、試験(10%)により評価する。 ※2 指定期日までの検便提出(3回)、給食経営管理実習室における試作1回と管理栄養士役1回、調理員役2回の出席が必須である。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 実習レポート返却時にコメントを返します。 試験終了後に解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実習態度、実習レポート課題、試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:実習態度、レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:実習態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実習態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実習態度、レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:実習態度、レポート課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習態度、レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実習態度、レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実習態度、レポート課題、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習態度、レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実習態度、レポート課題</p> <p>[教科書(ISBN)] Plan-Do-Check-Actにそった 給食運営・経営管理実習のてびき 第5版 (2020年1月10日第5版6刷(増補)発行) 著者名:西川貴子、深津智恵美、清水典子、富永しのぶ著 出版社:医歯薬出版</p>			

S81523 [HDI3-005]

科目名	給食経営管理実習 I (校外)	前期～後期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理を学ぶ	実習	
担当者	西井 穂		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	反転授業	
ディスカッション・ディベート	グループワーク	
プレゼンテーション	実習、フィールドワーク	○
その他	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

各給食施設の特徴を知り、それらに適した給食の運営及び経営管理のあり方を理解する。
また、経営資源の適切な配分を実践的に修得する。

[授業概要]

実習概要(到達目標)事業所・学校給食センター・福祉施設・病院などの特定給食施設において、各施設の組織の概要を理解し、それぞれの施設での給食に係る、組織と運営・業務内容の実態を把握し、給食経営管理のあり方を修得することを目的とする。給食経営の資源となる「人」「物」「金」「情報」について、それぞれの施設での運営状況を学ぶ。単なる見学ではなく、実践活動の場での課題発見、解決を通して、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図る。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

給食経営管理論Ⅰ、給食経営管理論Ⅱ、給食経営管理実習、大量調理施設衛生管理マニュアル、学校給食衛生管理基準について復習しておくこと。また実習施設の概要についても調べておくこと。また、実習中に何を学びたいか、目的を明確にしておくこと。

[授業計画]

1. 実習準備

事前に提示された課題について深く理解し、関連の資料収集をする。事前教育や提示された課題を理解した上で、実習施設でどのようなことを学びたいのか、疑問点などについて予め考えておく。

2. 実習内容

(1)学校給食

成長期にある児童を対象として、栄養の改善及び健康の増進だけでなく、日常における食事について正しい理解と望ましい食習慣、明るい社交性を養うこと、さらに食糧の生産・配分・消費などについて正しく理解できるよう学校給食法に基づいた栄養教育を学ぶ。

(2)事業所給食

年齢や食習慣の多様な喫食者を対象として、その食事を栄養的・衛生的かつ能率的に提供する方法を体得する。栄養管理だけでなく、フードサービスマネジメントについての知識を特に必要とされる現場の一つで、経営管理・人事作業管理など多くの課題発見を期待される施設である。

(3)福祉施設給食

対象者のリハビリテーション・看護・介護・保育の状況を把握し、給食を通じてその健康維持・家庭復帰の促進などを学ぶ。
臨床の場に近い施設と考えられ、画一的な栄養管理ではなく、個々に対する栄養アセスメントについても専門知識を要する。

(4)病院給食

治療食としての給食の意義を学ぶ。

学内での実習に関する事前及び事後指導

1. 事前課題を通して実習の目的・目標を明確にする。

2. 実習後は、実習によって体得した事項を整理する。

3. 実習報告会を実施し、グループごとにその成果と反省点を検討、情報共有するとともに、特定給食施設における管理栄養士の役割について理解する。

科目名	給食経営管理実習 I (校外)	前期～後期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理を学ぶ	実習	
担当者	西井 穂		
<p>[成績評価方法] 実習期間中の態度 (40%)、実習ノート (40%)、 実習課題 (20%)</p> <p>[課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法] 授業時間内で講評・課題に関するフィードバックの時間を設ける。</p> <p>[オフィスアワー (質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法: 実習ノート・実習課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法: 実習ノート・実習課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法: 実習ノート・実習課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法: 実習ノート・実習課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法: 実習ノート・実習課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法: 実習ノート・実習課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法: 実習ノート・実習課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 実習ノート・実習課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 実習ノート・実習課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 実習ノート・実習課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 実習ノート・実習課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 実習ノート・実習課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 実習ノート・実習課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 実習ノート・実習課題</p> <p>[教科書 (ISBN)] 臨地実習・校外実習ハンドブック より深い学びのために、著者名: 赤尾正、井上範之、植田福裕、岡村佳代子、岡村吉隆、黒川通典、田中俊治、多門隆子、中野忠雄、西村智子、畑田澄夫、藤原正嘉 出版社: みらい (978-4-86015-330-4)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 「給食経営管理論」著者名: 三好、山部、平澤編著 出版社: 第一出版 (978-4-8041-1407-1) 「給食経営管理論改訂第3版」著者名: 石田裕美、登坂三紀夫、高橋孝子編著 出版社: 南江堂 (978-4-524-25289-3) 「調理のためのベーシックデータ」著者名: 松本伸子 出版社: 女子栄養大学出版部 (978-4-7895-0325-9) 「栄養・食事管理のための対象者別給食献立」著者名: 鈴木久乃 出版社: 建帛社 (978-4-7679-0730-7) 「八訂 食品成分表 2023」出版社: 女子栄養大学出版部 (978-4-7895-1023-3)</p>			

S81730 [HDI3-013]

科目名	給食経営管理実習Ⅱ(校外)	前期～後期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理と経営管理を学ぶ	実習	
担当者	西井 穂		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 給食経営管理実習Ⅰ(校外)で習得した内容を基礎として、経営管理の諸問題を総合的に判断し、解決する能力を習得する。</p> <p>[授業概要] 給食経営管理論で学んだ知識と給食経営管理技術の統合を図るため、給食経営管理実習Ⅰ(校外)で学んだことに引き続き、事業所・学校(給食センター)・福祉施設・病院などの特定給食施設で、臨地実習を行う。給食現場では、栄養管理・経営管理・衛生管理・品質管理などに係る諸問題を総合的に判断し、解決する能力が求められる。これらに対して実践的に対応可能な知識を習得することが本実習の目的である。また与えられた課題のみを解決するのではなく、自らが課題を発展的に展開する能力を養うことも重要であり、このような観点からの学習も行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 給食経営管理論Ⅰ、給食経営管理論Ⅱ、給食経営管理実習、大量調理施設衛生管理マニュアル、学校給食衛生管理基準について復習しておくこと。また実習施設の概要についても調べておくこと。</p> <p>[授業計画] 事業所・学校(給食センター)・福祉施設・病院などにおいて管理栄養士の指導のもと1週間の実習の中で以下の内容について体得する。 給食運営・関連資源を総合的に判断し、栄養面、安全面、経済面のマネジメントを行う。 1. 栄養・給食業務の総合的マネジメント業務の運営方針と業務目標の設定 2. 各種業務の企画・立案、業務の運営に関わる会議の企画と運営 3. 人事及び労務管理や人材育成、職場教育 4. 栄養部門における運営経費の把握と経営管理他部門及び他職種との連絡調整 5. アウトソーシング、リスクマネジメントの実際、調査・研究など</p> <p>学内での実習に関する事前及び事後指導 1. 事前課題を通して実習の目的・目標を明確にする。 2. 実習後は、実習によって体得した事項を整理する。 3. 実習報告会を実施し、グループごとにその成果と反省点を検討、情報共有するとともに、特定給食施設における栄養管理を目的とした給食経営管理を行うために管理栄養士としてのマネジメント能力を身につける。</p>			

科目名	給食経営管理実習Ⅱ(校外)	前期～後期	1 単位
サブタイトル	特定給食施設における栄養管理と経営管理を学ぶ	実習	
担当者	西井 穂		
<p>[成績評価方法] 実習期間中の態度(40%)、実習ノート(40%)、 実習課題(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時間内で講評・課題に関するフィードバックの時間を設ける。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実習ノート・実習課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:実習ノート・実習課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:実習ノート・実習課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:実習ノート・実習課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実習ノート・実習課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実習ノート・実習課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:実習ノート・実習課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習ノート・実習課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習ノート・実習課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習ノート・実習課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実習ノート・実習課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実習ノート・実習課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習ノート・実習課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実習ノート・実習課題</p> <p>[教科書(ISBN)] 臨地実習・校外実習ハンドブック より深い学びのために 著者名:赤尾正、井上範之、植田福裕、岡村佳代子、岡村吉隆、黒川通典、田中俊治、多門隆子、中野忠雄、西村智子、畑田澄夫。藤原正嘉 出版社:みらい (4978-4-86015-330-4)</p> <p>[参考書(ISBN)] 「給食経営管理論」著者名:三好・山部・平澤編著 出版社:第一出版 (978-4-8041-1407-1) 「給食経営管理論改訂第3版」著者名:石田裕美、登坂三紀夫、高橋孝子編著 出版社:南江堂 (978-4-524-25289-3) 「調理のためのベーシックデータ」著者名:松本伸子 出版社:女子栄養大学出版部 (978-4-7895-0325-9) 「栄養・食事管理のための対象者別給食献立」著者名:鈴木久乃 出版社:建帛社 (978-4-7679-0730-7) 「八訂 食品成分表 2023」出版社:女子栄養大学出版部 (978-4-7895-1023-3)</p>			

科目名	給食経営管理論 I		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	西井 穂			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 特定給食施設の定義、目的、特徴を理解することができる。また、給食運営に必要な各管理業務についての内容と方法について説明できる。</p> <p>[授業概要] 特定給食施設の定義、目的、法的根拠について学習する。給食を運営する上で必要な各管理業務の目的、方法、評価方法、および、給食施設における献立の立案から評価までの手法について学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前学習として、当該箇所の教科書を熟読しておく。意味の分からない専門用語をチェックしておく。事後学習として、予習として指定された教科書の該当ページを読み直し、授業ノートを整理する。各回事前・事後学習には4時間程度行うこと。</p> <p>[授業計画] 1. 給食の概念(1)給食の概要と給食システム 2. 給食の概念(2)給食関連法規 3. 栄養・食事管理(1)栄養・食事のアセスメント 対象者の把握、給与栄養目標量の設定について 4. 栄養・食事管理(2)食事の計画 荷重平均栄養成分表、食品構成 5. 栄養・食事管理(3)食事の計画 献立作成 6. 栄養・食事管理(4)栄養・食事計画の実施、評価、改善 7. 給食の生産管理(1)食材料管理 8. 給食の生産管理(2)生産(調理)と提供 9. 給食の提供管理 提供サービス 10. 給食の安全・衛生の概要 安全・衛生管理の意義と目的 11. 給食の安全・衛生の実際 大量調理施設衛生管理マニュアルについて 12. 給食の施設と設備 13. まとめ</p>				

科目名	給食経営管理論 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	西井 穂		
<p>[成績評価方法] 試験(70%)、小テスト(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストについては、manabaを活用し、実施後は適宜授業の中で解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>[教科書(ISBN)] 給食経営管理論改訂第3版 著者名:石田裕美、登坂三紀夫、高橋孝子編著 出版社:南江堂 (978-4-524-25289-3) 資料配布</p> <p>[参考書(ISBN)] 給食経営管理テキスト第5版 著者名:岡本裕子、加藤由美子、君羅満 編 出版社:学建書院 (978-4-7624-4879-9) 給食経営管理用語辞典(第3版) 著者名:日本給食経営学会監修 出版社:第一出版 (978-4-8041-1420-0)</p>			

S81550 [HDI2-006]

科目名	給食経営管理論 I		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	西井 穂			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 特定給食施設の定義、目的、特徴を理解することができる。また、給食運営に必要な各管理業務についての内容と方法について説明できる。</p> <p>[授業概要] 特定給食施設の定義、目的、法的根拠について学習する。給食を運営する上で必要な各管理業務の目的、方法、評価方法、および、給食施設における献立の立案から評価までの手法について学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前学習として、当該箇所の教科書を熟読しておく。意味の分からない専門用語をチェックしておく。事後学習として、予習として指定された教科書の該当ページを読み直し、授業ノートを整理する。各回事前・事後学習には4時間程度行うこと。</p> <p>[授業計画] 1. 給食の概念(1)給食の概要と給食システム 2. 給食の概念(2)給食関連法規 3. 栄養・食事管理(1)栄養・食事のアセスメント 対象者の把握、給与栄養目標量の設定について 4. 栄養・食事管理(2)食事の計画 荷重平均栄養成分表、食品構成 5. 栄養・食事管理(3)食事の計画 献立作成 6. 栄養・食事管理(4)栄養・食事計画の実施、評価、改善 7. 給食の生産管理(1)食材料管理 8. 給食の生産管理(2)生産(調理)と提供 9. 給食の提供管理 提供サービス 10. 給食の安全・衛生の概要 安全・衛生管理の意義と目的 11. 給食の安全・衛生の実際 大量調理施設衛生管理マニュアルについて 12. 給食の施設と設備 13. まとめ</p>				

科目名	給食経営管理論 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	西井 穂		
<p>[成績評価方法] 試験(70%)、小テスト(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストについては、manabaを活用し、実施後は適宜授業の中で解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>[教科書(ISBN)] 給食経営管理論改訂第3版 著者名:石田裕美、登坂三紀夫、高橋孝子編著 出版社:南江堂 (978-4-524-25289-3) 資料配布</p> <p>[参考書(ISBN)] 給食経営管理テキスト第5版 著者名:岡本裕子、加藤由美子、君羅満 編 出版社:学建書院 (978-4-7624-4879-9) 給食経営管理用語辞典(第3版) 著者名:日本給食経営学会監修 出版社:第一出版 (978-4-8041-1420-0)</p>			

S81551 [HDI2-006]

科目名	給食経営管理論 I		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	西井 穂			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 特定給食施設の定義、目的、特徴を理解することができる。また、給食運営に必要な各管理業務についての内容と方法について説明できる。</p> <p>[授業概要] 特定給食施設の定義、目的、法的根拠について学習する。給食を運営する上で必要な各管理業務の目的、方法、評価方法、および、給食施設における献立の立案から評価までの手法について学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前学習として、当該箇所の教科書を熟読しておく。意味の分からない専門用語をチェックしておく。事後学習として、予習として指定された教科書の該当ページを読み直し、授業ノートを整理する。各回事前・事後学習には4時間程度行うこと。</p> <p>[授業計画] 1. 給食の概念(1)給食の概要と給食システム 2. 給食の概念(2)給食関連法規 3. 栄養・食事管理(1)栄養・食事のアセスメント 対象者の把握、給与栄養目標量の設定について 4. 栄養・食事管理(2)食事の計画 荷重平均栄養成分表、食品構成 5. 栄養・食事管理(3)食事の計画 献立作成 6. 栄養・食事管理(4)栄養・食事計画の実施、評価、改善 7. 給食の生産管理(1)食材料管理 8. 給食の生産管理(2)生産(調理)と提供 9. 給食の提供管理 提供サービス 10. 給食の安全・衛生の概要 安全・衛生管理の意義と目的 11. 給食の安全・衛生の実際 大量調理施設衛生管理マニュアルについて 12. 給食の施設と設備 13. まとめ</p>				

科目名	給食経営管理論 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	西井 穂		
<p>[成績評価方法] 試験(70%)、小テスト(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストについては、manabaを活用し、実施後は適宜授業の中で解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>[教科書(ISBN)] 給食経営管理論改訂第3版 著者名:石田裕美、登坂三紀夫、高橋孝子編著 出版社:南江堂 (978-4-524-25289-3) 資料配布</p> <p>[参考書(ISBN)] 給食経営管理テキスト第5版 著者名:岡本裕子、加藤由美子、君羅満 編 出版社:学建書院 (978-4-7624-4879-9) 給食経営管理用語辞典(第3版) 著者名:日本給食経営学会監修 出版社:第一出版 (978-4-8041-1420-0)</p>			

S81552 [HDI2-006]

科目名	給食経営管理論 I		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	西井 穂			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 特定給食施設の定義、目的、特徴を理解することができる。また、給食運営に必要な各管理業務についての内容と方法について説明できる。</p> <p>[授業概要] 特定給食施設の定義、目的、法的根拠について学習する。給食を運営する上で必要な各管理業務の目的、方法、評価方法、および、給食施設における献立の立案から評価までの手法について学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前学習として、当該箇所の教科書を熟読しておく。意味の分からない専門用語をチェックしておく。事後学習として、予習として指定された教科書の該当ページを読み直し、授業ノートを整理する。各回事前・事後学習には4時間程度行うこと。</p> <p>[授業計画] 1. 給食の概念(1)給食の概要と給食システム 2. 給食の概念(2)給食関連法規 3. 栄養・食事管理(1)栄養・食事のアセスメント 対象者の把握、給与栄養目標量の設定について 4. 栄養・食事管理(2)食事の計画 荷重平均栄養成分表、食品構成 5. 栄養・食事管理(3)食事の計画 献立作成 6. 栄養・食事管理(4)栄養・食事計画の実施、評価、改善 7. 給食の生産管理(1)食材料管理 8. 給食の生産管理(2)生産(調理)と提供 9. 給食の提供管理 提供サービス 10. 給食の安全・衛生の概要 安全・衛生管理の意義と目的 11. 給食の安全・衛生の実際 大量調理施設衛生管理マニュアルについて 12. 給食の施設と設備 13. まとめ</p>				

科目名	給食経営管理論 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	西井 穂		
<p>[成績評価方法] 試験(70%)、小テスト(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストについては、manabaを活用し、実施後は適宜授業の中で解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>[教科書(ISBN)] 給食経営管理論改訂第3版 著者名:石田裕美、登坂三紀夫、高橋孝子編著 出版社:南江堂 (978-4-524-25289-3) 資料配布</p> <p>[参考書(ISBN)] 給食経営管理テキスト第5版 著者名:岡本裕子、加藤由美子、君羅満 編 出版社:学建書院 (978-4-7624-4879-9) 給食経営管理用語辞典(第3版) 著者名:日本給食経営学会監修 出版社:第一出版 (978-4-8041-1420-0)</p>			

S81553 [HDI2-006]

科目名	給食経営管理論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	西井 穂		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 管理栄養士に必要な給食施設における特定多数の人々の栄養管理を目的とした食事サービスの運営管理の資源と組織・システムについて経営管理の理論に基づき説明できる。</p> <p>[授業概要] 栄養管理を目的とした給食の生産(調理)と提供を効率的かつ安全に運営するための、マーケティング、システム構築などの経営手法を取り入れたマネジメントの考え方について教科書に基づいて学ぶ。給食管理実習で生じる課題事例も取り上げて、課題解決の方法について考察する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前学習として、教科書の指定されたページを読み、意味の分からない専門用語をチェックしておく。事後学習として、予習として指定された教科書の該当ページを読み直し、授業ノートを整理する。各回の事前・事後学習は、4時間程度行うこと。</p> <p>[授業計画] 1. 給食経営管理の概念 経営管理の概要、資源と管理 2. 給食とマーケティング 3. 給食の品質管理 品質と標準化 4. 給食の原価と収支構造(1) 5. 給食の原価と収支構造(2) 6. 給食経営と組織・人事管理 7. 事故・災害時対策 8. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(1)医療施設 9. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(2)高齢者・介護福祉施設 10. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(3)児童・障害者福祉施設 11. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(4)学校 12. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(5)事業所・その他 13. まとめ</p>			

科目名	給食経営管理論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	西井 穂		
<p>[成績評価方法] 試験(70%)小テスト(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストについては、manabaを活用し、実施後は適宜授業の中で解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>[教科書(ISBN)] 「給食経営管理論改訂第3版」 著者名:石田裕美、登坂三紀夫、高橋孝子編著 出版社:南江堂 (978-4-524-25289-3) プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] 「給食経営管理テキスト第5版」 著者名:岡本裕子、加藤由美子、君羅満 編 出版社:学建書院 (978-4-7624-4879-9)</p>			

S81510 [HDI2-007]

科目名	給食経営管理論Ⅱ		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	西井 穂			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 管理栄養士に必要な給食施設における特定多数の人々の栄養管理を目的とした食事サービスの運営管理の資源と組織・システムについて経営管理の理論に基づき説明できる。</p> <p>[授業概要] 栄養管理を目的とした給食の生産(調理)と提供を効率かつ安全に運営するための、マーケティング、システム構築などの経営手法を取り入れたマネジメントの考え方について教科書に基づいて学ぶ。給食管理実習で生じる課題事例も取り上げて、課題解決の方法について考察する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前学習として、教科書の指定されたページを読み、意味の分からない専門用語をチェックしておく。事後学習として、予習として指定された教科書の該当ページを読み直し、授業ノートを整理する。各回の事前・事後学習は、4時間程度行うこと。</p> <p>[授業計画] 1. 給食経営管理の概念 経営管理の概要、資源と管理 2. 給食とマーケティング 3. 給食の品質管理 品質と標準化 4. 給食の原価と収支構造(1) 5. 給食の原価と収支構造(2) 6. 給食経営と組織・人事管理 7. 事故・災害時対策 8. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(1)医療施設 9. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(2)高齢者・介護福祉施設 10. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(3)児童・障害者福祉施設 11. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(4)学校 12. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(5)事業所・その他 13. まとめ</p>				

科目名	給食経営管理論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	西井 穂		
<p>[成績評価方法] 試験(70%)小テスト(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストについては、manabaを活用し、実施後は適宜授業の中で解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>[教科書(ISBN)] 「給食経営管理論改訂第3版」 著者名:石田裕美、登坂三紀夫、高橋孝子編著 出版社:南江堂 (978-4-524-25289-3) プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] 「給食経営管理テキスト第5版」 著者名:岡本裕子、加藤由美子、君羅満 編 出版社:学建書院 (978-4-7624-4879-9)</p>			

科目名	給食経営管理論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	西井 穂		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 管理栄養士に必要な給食施設における特定多数の人々の栄養管理を目的とした食事サービスの運営管理の資源と組織・システムについて経営管理の理論に基づき説明できる。</p> <p>[授業概要] 栄養管理を目的とした給食の生産(調理)と提供を効率かつ安全に運営するための、マーケティング、システム構築などの経営手法を取り入れたマネジメントの考え方について教科書に基づいて学ぶ。給食管理実習で生じる課題事例も取り上げて、課題解決の方法について考察する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前学習として、教科書の指定されたページを読み、意味の分からない専門用語をチェックしておく。事後学習として、予習として指定された教科書の該当ページを読み直し、授業ノートを整理する。各回の事前・事後学習は、4時間程度行うこと。</p> <p>[授業計画] 1. 給食経営管理の概念 経営管理の概要、資源と管理 2. 給食とマーケティング 3. 給食の品質管理 品質と標準化 4. 給食の原価と収支構造(1) 5. 給食の原価と収支構造(2) 6. 給食経営と組織・人事管理 7. 事故・災害時対策 8. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(1)医療施設 9. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(2)高齢者・介護福祉施設 10. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(3)児童・障害者福祉施設 11. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(4)学校 12. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(5)事業所・その他 13. まとめ</p>			

科目名	給食経営管理論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	西井 穂		
<p>[成績評価方法] 試験(70%)小テスト(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストについては、manabaを活用し、実施後は適宜授業の中で解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>[教科書(ISBN)] 「給食経営管理論改訂第3版」 著者名:石田裕美、登坂三紀夫、高橋孝子編著 出版社:南江堂 (978-4-524-25289-3) プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] 「給食経営管理テキスト第5版」 著者名:岡本裕子、加藤由美子、君羅満 編 出版社:学建書院 (978-4-7624-4879-9)</p>			

S81512 [HDI2-007]

科目名	給食経営管理論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	西井 穂		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 管理栄養士に必要な給食施設における特定多数の人々の栄養管理を目的とした食事サービスの運営管理の資源と組織・システムについて経営管理の理論に基づき説明できる。</p> <p>[授業概要] 栄養管理を目的とした給食の生産(調理)と提供を効率的かつ安全に運営するための、マーケティング、システム構築などの経営手法を取り入れたマネジメントの考え方について教科書に基づいて学ぶ。給食管理実習で生じる課題事例も取り上げて、課題解決の方法について考察する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前学習として、教科書の指定されたページを読み、意味の分からない専門用語をチェックしておく。事後学習として、予習として指定された教科書の該当ページを読み直し、授業ノートを整理する。各回の事前・事後学習は、4時間程度行うこと。</p> <p>[授業計画] 1. 給食経営管理の概念 経営管理の概要、資源と管理 2. 給食とマーケティング 3. 給食の品質管理 品質と標準化 4. 給食の原価と収支構造(1) 5. 給食の原価と収支構造(2) 6. 給食経営と組織・人事管理 7. 事故・災害時対策 8. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(1)医療施設 9. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(2)高齢者・介護福祉施設 10. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(3)児童・障害者福祉施設 11. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(4)学校 12. 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規(5)事業所・その他 13. まとめ</p>			

科目名	給食経営管理論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	西井 穂		
<p>[成績評価方法] 試験(70%)小テスト(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストについては、manabaを活用し、実施後は適宜授業の中で解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:試験・小テスト</p> <p>[教科書(ISBN)] 「給食経営管理論改訂第3版」 著者名:石田裕美、登坂三紀夫、高橋孝子編著 出版社:南江堂 (978-4-524-25289-3) プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] 「給食経営管理テキスト第5版」 著者名:岡本裕子、加藤由美子、君羅満 編 出版社:学建書院 (978-4-7624-4879-9)</p>			

S81513 [HDI2-007]

科目名	公衆衛生学 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	栗原 伸公		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 社会人として健康を通して社会を見つめることができる視点を養う。 管理栄養士として最低限必要な公衆衛生学的知識を得る。</p> <p>[授業概要] 社会や環境がヒトの健康をどう規定し左右するか、あるいはヒトの健康を保持増進するための社会や環境はどうあるべきかなど、社会や環境と健康との関わりについて理解する。 公衆衛生学 I では、管理栄養士にとって最低限必要な基礎的な内容を教授する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] あらかじめ公衆衛生学の教科書に一通り目を通しておく。とくに、目次をしっかりと見ておくこと。 また、講義の中で予習問題を出題することがあるので、第1回の講義前には1章をしっかりと予習しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 第1章 社会と健康(健康の概念・健康の現状) 第2章 環境と健康 第3章 保健統計 第4章1～3 疫学 第4章4～6 スクリーニングとEBM(健康管理の進め方・EBMに基づく健康管理、健康情報) 第5章 生活習慣と疾病(健康に影響する生活要因) 第6章1～4 疾患の疫学と予防(健康を阻害する疾病の予防)(1) 第6章5～8 疾患の疫学と予防(健康を阻害する疾病の予防)(2) 第7章1～5 社会保障、保健医療制度、地域保健(健康づくりの施策) 第7章6～8 母子保健、成人保健、高齢者保健・介護 第7章9 産業保健 第7章10～11 学校保健、国際保健 まとめ 			

科目名	公衆衛生学 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	栗原 伸公		
<p>[成績評価方法] 毎講義時の演習問題解答状況(10%)、ディスカッションや演習の取り組み状況(10%)、試験(80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・問題演習は、授業時間内に解説します。 ・レポート等については、次の回の授業など、授業の中で模範解答例を含めてコメントしますが、皆さんのレポート等に根本的な考え違いや重大な問題点が見られた場合は、manabaで個別に連絡し、指摘します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 新公衆衛生学 著者名:栗原伸公編 出版社:学文社(未定)</p>			

S80000 [HDB2-001]

科目名	公衆衛生学 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	栗原 伸公		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 社会人として健康を通して社会を見つめることができる視点を養う。 管理栄養士として最低限必要な公衆衛生学的知識を得る。</p> <p>[授業概要] 社会や環境がヒトの健康をどう規定し左右するか、あるいはヒトの健康を保持増進するための社会や環境はどうあるべきかなど、社会や環境と健康との関わりについて理解する。 公衆衛生学 I では、管理栄養士にとって最低限必要な基礎的な内容を教授する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] あらかじめ公衆衛生学の教科書に一通り目を通しておく。とくに、目次をしっかりと見ておくこと。 また、講義の中で予習問題を出題することがあるので、第1回の講義前には1章をしっかりと予習しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 第1章 社会と健康(健康の概念・健康の現状) 第2章 環境と健康 第3章 保健統計 第4章1～3 疫学 第4章4～6 スクリーニングとEBM(健康管理の進め方・EBMに基づく健康管理、健康情報) 第5章 生活習慣と疾病(健康に影響する生活要因) 第6章1～4 疾患の疫学と予防(健康を阻害する疾病の予防)(1) 第6章5～8 疾患の疫学と予防(健康を阻害する疾病の予防)(2) 第7章1～5 社会保障、保健医療制度、地域保健(健康づくりの施策) 第7章6～8 母子保健、成人保健、高齢者保健・介護 第7章9 産業保健 第7章10～11 学校保健、国際保健 まとめ 			

科目名	公衆衛生学 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	栗原 伸公		
<p>[成績評価方法] 毎講義時の演習問題解答状況(10%)、ディスカッションや演習の取り組み状況(10%)、試験(80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・問題演習は、授業時間内に解説します。 ・レポート等については、次の回の授業など、授業の中で模範解答例を含めてコメントしますが、皆さんのレポート等に根本的な考え違いや重大な問題点が見られた場合は、manabaで個別に連絡し、指摘します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 新公衆衛生学 著者名:栗原伸公編 出版社:学文社(未定)</p>			

S80003 [HDB2-001]

科目名	公衆衛生学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	栗原 伸公		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	ZOOMを通じた職場見学	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

社会人として健康を通して社会を見つめることができる視点を養う。
管理栄養士として最低限必要な公衆衛生学的知識を得る。

[授業概要]

社会や環境がヒトの健康をどう規定し左右するか、あるいはヒトの健康を保持増進するための社会や環境はどうあるべきかなど、社会や環境と健康との関わりについて理解する。
公衆衛生学Ⅰでは、管理栄養士にとって最低限必要な基礎的な内容を教授する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

あらかじめ公衆衛生学の教科書に一通り目を通しておく。とくに、目次をしっかりと見ておくこと。
また、講義の中で予習問題を出題することがあるので、第1回の講義前には1章をしっかりと予習しておくこと。

[授業計画]

- 1 Ⅱイダンス、生命倫理
- 2* 計算演習(オッズ比、スクリーニング検査、年齢調整死亡率)
- 3 Ⅱクティブラーニング1(人口問題と解決のカギ) Ⅱ
- 4* 計算演習(人年法、生命表)
- 5* 物理・化学的環境による健康障害についての症例検討
- 6 Ⅱクティブラーニング2(たばこ対策——現状と未来)
- 7* Zoomで現場とつなぐ1(介護現場の実相)
- 8* 中毒学基礎
- 9* Ⅱクティブラーニング3(地球環境問題)
- 10* 特別講義: 感染症予防(パンデミックを経験して)
- 11 Zoomで現場とつなぐ2(学校保健の実相)
- 12* 特別講義: 高血圧・循環器疾患予防研究の最前線
- 13 Ⅱとめ

*の回は講義冒頭、小テストを行います(出題範囲は初回授業で示します)。

**「アクティブラーニング」、「ZOOMで現場とつなぐ」のテーマについては変更の可能性があります。

科目名	公衆衛生学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	栗原 伸公		
<p>[成績評価方法] 毎講義時の演習問題解答状況(10%)、ディスカッションや問題演習の取り組み状況(10%)、試験(80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・問題演習は、授業時間内に解説します。 ・レポート等については、次の回の授業など、授業の中で模範解答例を含めてコメントしますが、皆さんのレポート等に根本的な考え違いや重大な問題点が見られた場合は、manabaで個別に連絡し、指摘します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし(スライド、プリント等で講義する。参考のために、下記参考書を持参のこと)</p>			

S80010 [HDB2-002]

科目名	公衆衛生学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	栗原 伸公		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 社会人として健康を通して社会を見つめることができる視点を養う。 管理栄養士として最低限必要な公衆衛生学的知識を得る。</p> <p>[授業概要] 社会や環境がヒトの健康をどう規定し左右するか、あるいはヒトの健康を保持増進するための社会や環境はどうあるべきかなど、社会や環境と健康との関わりについて理解する。 公衆衛生学Ⅰでは、管理栄養士にとって最低限必要な基礎的な内容を教授する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] あらかじめ公衆衛生学の教科書に一通り目を通しておく。とくに、目次をしっかりと見ておくこと。 また、講義の中で予習問題を出題することがあるので、第1回の講義前には1章をしっかりと予習しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 第1章 社会と健康(健康の概念・健康の現状) 第2章 環境と健康 第3章 保健統計 第4章1～3 疫学 第4章4～6 スクリーニングとEBM(健康管理の進め方・EBMに基づく健康管理、健康情報) 第5章 生活習慣と疾病(健康に影響する生活要因) 第6章1～4 疾患の疫学と予防(健康を阻害する疾病の予防)(1) 第6章5～8 疾患の疫学と予防(健康を阻害する疾病の予防)(2) 第7章1～5 社会保障、保健医療制度、地域保健(健康づくりの施策) 第7章6～8 母子保健、成人保健、高齢者保健・介護 第7章9 産業保健 第7章10～11 学校保健、国際保健 まとめ 			

科目名	公衆衛生学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	栗原 伸公		
<p>[成績評価方法] 毎講義時の演習問題解答状況(10%)、PBL、ディスカッション、グループワークの取り組み状況やレポート(10%)、試験(80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・問題演習は、授業時間内に解説します。 ・レポート等については、次の回の授業など、授業の中で模範解答例を含めてコメントしますが、皆さんのレポート等に根本的な考え違いや重大な問題点が見られた場合は、manabaで個別に連絡し、指摘します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)]</p>			

S80013 [HDB2-002]

科目名	公衆栄養学 I	前期	2 単位
サブタイトル	健康増進と疾病の予防のための栄養学	講義	
担当者	竹市 仁美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人を取りまく生態系や食料問題などの課題を知り、改善するための視点を養う。 ・地域や職域等の健康・栄養問題とそれを取り巻く社会・経済などの要因について知る。 ・身の回りの健康・栄養情報を収集・分析し、それらを総合的に評価・判定する能力を養う。 ・保健・医療・福祉・介護システムを学び、包括的なシステムが実現する社会について考える力を養う。 ・健康な住民、半健康者を含めた栄養上のハイリスク集団などさまざまな人々に対する、適切な栄養関連サービスについて知る。 <p>[授業概要]</p> <p>個人のみならず地域社会をふくむ集団の適切な栄養管理を目的とする公衆栄養学では、すべての国民が健やかで心豊かに生活できる社会をつくるためにいかに活動すべきかを具体的に学ぶ。 前期では、公衆栄養学の基本的な用語や考え方を理解し、社会で実践されている活動について広く学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人や地域の健康・栄養問題について関心を持ち、文献やマスコミ等の情報に常に目を向けるよう心がけること。 ・毎回、予習復習合わせて4時間程度取り組むこと。 <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆栄養学の意義と目的 2. 公衆栄養活動と管理栄養士 3. 公衆栄養関連法規、わが国の管理栄養士・栄養士制度と職業倫理 4. 栄養疫学(曝露要因としての食事摂取量) 5. 公衆栄養マネジメント①(公衆栄養アセスメント) 6. 公衆栄養マネジメント②(公衆栄養プログラムの目標設定) 7. 公衆栄養マネジメント③(公衆栄養プログラムの計画・実施・評価) 8. 健康づくり政策①(健康増進基本方針と地方計画) 9. 健康づくり政策②(食育の推進と食育推進基本計画) 10. 健康づくり政策③(健康づくりのための指針・ツール) 11. 健康・栄養問題の現状と課題①(疾病構造の推移、少子高齢化) 12. 健康・栄養問題の現状と課題②(食を取り巻く環境の変化) 13. 公衆栄養活動と組織・人材育成 14. 試験 			

科目名	公衆栄養学 I	前期	2 単位
サブタイトル	健康増進と疾病の予防のための栄養学	講義	
担当者	竹市 仁美		

[成績評価方法]
 授業態度(10%)課題提出(20%)、小テスト(20%)、定期試験(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
 授業中のフィードバック及び、提出物へのコメント記入を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

管理栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラム準拠

第10巻 公衆栄養学 2024年版

公衆栄養活動の実践のための理論と展開

著者名:日本栄養改善学会監修酒井徹・由田克士編著 出版社:医歯薬出版株式会社 (978-4-263-70845-3

)

[参考書(ISBN)]

わかりやすいEBNと栄養疫学 著者名:佐々木敏 出版社:同文書院 (978-4-8103-1316-1)

科目名	公衆栄養学 I	前期	2 単位
サブタイトル	健康増進と疾病の予防のための栄養学	講義	
担当者	竹市 仁美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人を取りまく生態系や食料問題などの課題を知り、改善するための視点を養う。 ・地域や職域等の健康・栄養問題とそれを取り巻く社会・経済などの要因について知る。 ・身の回りの健康・栄養情報を収集・分析し、それらを総合的に評価・判定する能力を養う。 ・保健・医療・福祉・介護システムを学び、包括的なシステムが実現する社会について考える力を養う。 ・健康な住民、半健康者を含めた栄養上のハイリスク集団などさまざまな人々に対する、適切な栄養関連サービスについて知る。 <p>[授業概要]</p> <p>個人のみならず地域社会をふくむ集団の適切な栄養管理を目的とする公衆栄養学では、すべての国民が健やかで心豊かに生活できる社会をつくるためにいかに活動すべきかを具体的に学ぶ。 前期では、公衆栄養学の基本的な用語や考え方を理解し、社会で実践されている活動について広く学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人や地域の健康・栄養問題について関心を持ち、文献やマスコミ等の情報に常に目を向けるよう心がけること。 ・毎回、予習復習合わせて4時間程度取り組むこと。 <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆栄養学の意義と目的 2. 公衆栄養活動と管理栄養士 3. 公衆栄養関連法規、わが国の管理栄養士・栄養士制度と職業倫理 4. 栄養疫学(曝露要因としての食事摂取量) 5. 公衆栄養マネジメント①(公衆栄養アセスメント) 6. 公衆栄養マネジメント②(公衆栄養プログラムの目標設定) 7. 公衆栄養マネジメント③(公衆栄養プログラムの計画・実施・評価) 8. 健康づくり政策①(健康増進基本方針と地方計画) 9. 健康づくり政策②(食育の推進と食育推進基本計画) 10. 健康づくり政策③(健康づくりのための指針・ツール) 11. 健康・栄養問題の現状と課題①(疾病構造の推移、少子高齢化) 12. 健康・栄養問題の現状と課題②(食を取り巻く環境の変化) 13. 公衆栄養活動と組織・人材育成 14. 試験 			

科目名	公衆栄養学 I	前期	2 単位
サブタイトル	健康増進と疾病の予防のための栄養学	講義	
担当者	竹市 仁美		

[成績評価方法]

授業態度(10%)課題提出(20%)、小テスト(20%)、定期試験(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

授業中のフィードバック及び、提出物へのコメント記入を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

管理栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラム準拠

第10巻 公衆栄養学 2024年版

公衆栄養活動の実践のための理論と展開

著者名:日本栄養改善学会監修酒井徹・由田克士編著 出版社:医歯薬出版株式会社 (978-4-263-70845-3

)

[参考書(ISBN)]

わかりやすいEBNと栄養疫学 著者名:佐々木敏 出版社:同文書院 (978-4-8103-1316-1)

科目名	公衆栄養学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	竹市 仁美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公衆栄養学Ⅰで修得した基礎知識を基に、実際の地域活動について学習し、公衆栄養マネジメントを行える能力を養う。 ・社会の各種サービスやプログラムについて、調整、栄養情報の管理、人的資源などの活用やネットワークづくりなどの仕組みについて理解する。 ・地域診断結果について、疫学的手法を用いて課題抽出し、計画を立案できる。 ・国際栄養の視点からのわが国現状、他国の実情を理解し、その課題解決を提案できる。 <p>[授業概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公衆栄養マネジメントサイクルに添って具体的な公衆栄養プログラムについて学び、地域の課題に則した活用方法について学ぶ。 ・地域のネットワークづくりの方法とその活用についても修得する。 ・食料問題、それに伴う食料安全保障に関する課題について学ぶ。 <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>公衆栄養学Ⅰについて復習するとともに、公衆衛生学、応用栄養学、給食経営管理学等関連科目についても同様に復習しておくこと。 毎回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域特性に対応したプログラムの展開 2. 食環境整備のためのプログラムの展開 3. 地域集団の特性別プログラムの展開 4. 公衆栄養マネジメントの実際①(コミュニティーオーガニゼーションとエンパワメント) 5. 公衆栄養マネジメントの実際②(評価の実際と評価結果のフィードバック) 6. 栄養疫学①(疫学的手法) 7. 栄養疫学②(健康・栄養活動への栄養疫学の活用) 8. 栄養疫学研究事例と研究計画 9. 国民健康・栄養調査 10. わが国の食料需給と食料安全保障 11. 諸外国の健康・栄養問題の現状と課題① 12. 災害時の栄養対策 13. 持続可能性を踏まえた公衆栄養活動 14. 試験 			

科目名	公衆栄養学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	竹市 仁美		
<p>[成績評価方法] 授業中の課題(40%)、試験(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題については授業中にフィードバックする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 管理栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラム準拠 公衆栄養学 2024年版 公衆栄養活動の実践のための理論と展開 著者名:日本栄養改善学会監修酒井徹・由田克士 編 出版社:医歯薬出版株式会社 (974-4-263-70845-3)</p> <p>[参考書(ISBN)] 授業で紹介します</p>			

S81410 [HDB2-012]

科目名	公衆栄養学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	竹市 仁美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公衆栄養学Ⅰで修得した基礎知識を基に、実際の地域活動について学習し、公衆栄養マネジメントを行える能力を養う。 ・社会の各種サービスやプログラムについて、調整、栄養情報の管理、人的資源などの活用やネットワークづくりなどの仕組みについて理解する。 ・地域診断結果について、疫学的手法を用いて課題抽出し、計画を立案できる。 ・国際栄養の視点からのわが国現状、他国の実情を理解し、その課題解決を提案できる。 <p>[授業概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公衆栄養マネジメントサイクルに添って具体的な公衆栄養プログラムについて学び、地域の課題に則した活用方法について学ぶ。 ・地域のネットワークづくりの方法とその活用についても修得する。 ・食料問題、それに伴う食料安全保障に関する課題について学ぶ。 <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>公衆栄養学Ⅰについて復習するとともに、公衆衛生学、応用栄養学、給食経営管理学等関連科目についても同様に復習しておくこと。</p> <p>毎回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域特性に対応したプログラムの展開 2. 食環境整備のためのプログラムの展開 3. 地域集団の特性別プログラムの展開 4. 公衆栄養マネジメントの実際①(コミュニティーオーガニゼーションとエンパワメント) 5. 公衆栄養マネジメントの実際②(評価の実際と評価結果のフィードバック) 6. 栄養疫学①(疫学的手法) 7. 栄養疫学②(健康・栄養活動への栄養疫学の活用) 8. 栄養疫学研究事例と研究計画 9. 国民健康・栄養調査 10. わが国の食料需給と食料安全保障 11. 諸外国の健康・栄養問題の現状と課題① 12. 災害時の栄養対策 13. 持続可能性を踏まえた公衆栄養活動 14. 試験 			

科目名	公衆栄養学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	竹市 仁美		
<p>[成績評価方法] 授業中の課題(40%)、試験(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題については授業中にフィードバックする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 管理栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラム準拠 公衆栄養学 2024年版 公衆栄養活動の実践のための理論と展開 著者名:日本栄養改善学会監修酒井徹・由田克士 編 出版社:医歯薬出版株式会社 (974-4-263-70845-3)</p> <p>[参考書(ISBN)] 授業で紹介します</p>			

S81411 [HDB2-012]

科目名	公衆栄養学実習		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	橋本 加代			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
<p>[到達目標] 公衆栄養学で学んだ知識をもとに、地域や職域等の健康栄養問題と、それを取り巻くさまざまな要因に関する情報を収集・分析し、公衆栄養プログラム計画の作成、管理栄養士が実施する保健指導の実施、それらを総合的に評価する能力を養う。</p> <p>[授業概要] 保健衛生行政の中での管理栄養士の役割を学ぶ。また、地域住民の健康・栄養・食生活に関する情報を収集・分析することで、対象のニーズや地域特性を把握し、具体的な公衆栄養プログラム計画し、住民に発信する一連の公衆栄養マネジメントサイクルを学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・公衆栄養学の復習をしておくこと。 ・生活情報処理実習Ⅰを復習し、パソコン操作に慣れておくこと。 ・実習内容の予習(30分以上)と、実習中の記録、実習後のレポート作成(120分以上)は自らの学びのために教科書や文献などを参考に行うこと。</p> <p>[授業計画] 1.保健衛生行政のしくみと公衆栄養活動の役割・地域における公衆栄養プログラムの展開 2.地域診断1 (疫学アセスメント) 3.地域診断2-1(秤量法による栄養調査) 4.地域診断2-2(栄養調査結果の集計) 5.地域診断3 (健康・栄養・生活面アセスメント) 6.地域診断3 (PPモデルを活用した課題抽出と対策の検討) 7.地域診断結果報告(プレゼンテーション①) 8.公衆栄養プログラム1 (追加質問紙調査) 9.公衆栄養プログラム2 (目標設定と政策面の調整) 10.公衆栄養プログラム企画立案1(短期プログラム計画書作成) 11.公衆栄養プログラム企画立案2(事業計画書の作成) 12.公衆栄養プログラム企画立案3(住民勧奨)とプレゼン準備 13.企画プログラム発表(プレゼンテーション②)</p>				

科目名	公衆栄養学実習	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	橋本 加代		
<p>[成績評価方法] レポート(50%)、取り組み姿勢、発表及び発言等(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 数回のファイル提出時、また発表時にその都度フィードバックする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:グループワーク姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:総合的に判断する</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:グループワーク姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:グループワークとレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:グループワークとレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>[教科書(ISBN)] 「現場で役立つ公衆栄養学実習」第二版 著者名:橋本加代ほか 著 出版社:同文書院 (978-4-8103-1522-6)</p> <p>[参考書(ISBN)] 「調理のためのベーシックデータ」(第6版) 著者名:松本仲子(監修) 出版社:女子栄養大学出版部 (978-4789503259)</p>			

S81420 [HDB2-013]

科目名	公衆栄養学実習	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	橋本 加代		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 公衆栄養学で学んだ知識をもとに、地域や職域等の健康栄養問題と、それを取り巻くさまざまな要因に関する情報を収集・分析し、公衆栄養プログラム計画の作成、管理栄養士が実施する保健指導の実施、それらを総合的に評価する能力を養う。</p> <p>[授業概要] 保健衛生行政の中での管理栄養士の役割を学ぶ。また、地域住民の健康・栄養・食生活に関する情報を収集・分析することで、対象のニーズや地域特性を把握し、具体的な公衆栄養プログラム計画し、住民に発信する一連の公衆栄養マネジメントサイクルを学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・公衆栄養学の復習をしておくこと。 ・生活情報処理実習Ⅰを復習し、パソコン操作に慣れておくこと。 ・実習内容の予習(30分以上)と、実習中の記録、実習後のレポート作成(120分以上)は自らの学びのために教科書や文献などを参考に行うこと。</p> <p>[授業計画] 1.保健衛生行政のしくみと公衆栄養活動の役割・地域における公衆栄養プログラムの展開 2.地域診断1 (疫学アセスメント) 3.地域診断2-1(秤量法による栄養調査) 4.地域診断2-2(栄養調査結果の集計) 5.地域診断3 (健康・栄養・生活面アセスメント) 6.地域診断3 (PPモデルを活用した課題抽出と対策の検討) 7.地域診断結果報告(プレゼンテーション①) 8.公衆栄養プログラム1 (追加質問紙調査) 9.公衆栄養プログラム2 (目標設定と政策面の調整) 10.公衆栄養プログラム企画立案1(短期プログラム計画書作成) 11.公衆栄養プログラム企画立案2(事業計画書の作成) 12.公衆栄養プログラム企画立案3(住民勧奨)とプレゼン準備 13.企画プログラム発表(プレゼンテーション②)</p>			

科目名	公衆栄養学実習	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	橋本 加代		
<p>[成績評価方法] レポート(50%)、取り組み姿勢、発表及び発言等(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 数回のファイル提出時、また発表時にその都度フィードバックする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:グループワーク姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:総合的に判断する</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:グループワーク姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:グループワークとレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:グループワークとレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>[教科書(ISBN)] 「現場で役立つ公衆栄養学実習」第二版 著者名:橋本加代ほか 著 出版社:同文書院 (978-4-8103-1522-6)</p> <p>[参考書(ISBN)] 「調理のためのベーシックデータ」(第6版) 著者名:松本仲子(監修) 出版社:女子栄養大学出版部 (978-4789503259)</p>			

S81421 [HDB2-013]

科目名	公衆栄養学実習	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	竹市 仁美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 公衆栄養学で学んだ知識をもとに、地域や職域等の健康栄養問題と、それを取り巻くさまざまな要因に関する情報を収集・分析し、公衆栄養プログラム計画の作成、管理栄養士が実施する保健指導の実施、それらを総合的に評価する能力を養う。</p> <p>[授業概要] 保健衛生行政の中での管理栄養士の役割を学ぶ。また、地域住民の健康・栄養・食生活に関する情報を収集・分析することで、対象のニーズや地域特性を把握し、具体的な公衆栄養プログラム計画し、住民に発信する一連の公衆栄養マネジメントサイクルを学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・公衆栄養学の復習をしておくこと。 ・生活情報処理実習Ⅰを復習し、パソコン操作に慣れておくこと。 ・実習内容の予習(30分以上)と、実習中の記録、実習後のレポート作成(120分以上)は自らの学びのために教科書や文献などを参考に行うこと。</p> <p>[授業計画] 1.保健衛生行政のしくみと公衆栄養活動の役割・地域における公衆栄養プログラムの展開□ 2.地域診断1 (疫学アセスメント)□ 3.地域診断2-1(秤量法による栄養調査)□ 4.地域診断2-2(栄養調査結果の集計)□ 5.地域診断3 (健康・栄養・生活面アセスメント)□ 6.地域診断3 (PPモデルを活用した課題抽出と対策の検討)□ 7.地域診断結果報告(プレゼンテーション①)□ 8.公衆栄養プログラム1 (追加質問紙調査)□ 9.公衆栄養プログラム2 (目標設定と政策面の調整)□ 10.公衆栄養プログラム企画立案1(短期プログラム計画書作成)□ 11.公衆栄養プログラム企画立案2(事業計画書の作成)□ 12.公衆栄養プログラム企画立案3(住民勧奨)とプレゼン準備□ 13.企画プログラム発表(プレゼンテーション②)□</p>			

科目名	公衆栄養学実習	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	竹市 仁美		
<p>[成績評価方法] レポート(50%)、取り組み姿勢、発表及び発言等(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 数回のファイル提出時、また発表時にその都度フィードバックする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:グループワーク姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:総合的に判断する</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:グループワーク姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:グループワークとレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポートとグループワーク</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>[教科書(ISBN)] 現場で役立つ公衆栄養学実習(第2版) 著者名:橋本加代・他 出版社:同文書院(978-4-8103-1522-6)</p> <p>[参考書(ISBN)] 調理のためのベーシックデータ(第6版) 著者名:女子栄養大学調理学研究室(監修) 出版社:女子栄養大学出版部(978-4789503259) 日本人の食事摂取基準(2020年版) 著者名:伊藤 貞嘉(監修) 出版社:第一出版(978-4804114088)</p>			

S81422 [HDB2-013]

科目名	公衆栄養学実習		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	竹市 仁美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
<p>[到達目標] 公衆栄養学で学んだ知識をもとに、地域や職域等の健康栄養問題と、それを取り巻くさまざまな要因に関する情報を収集・分析し、公衆栄養プログラム計画の作成、管理栄養士が実施する保健指導の実施、それらを総合的に評価する能力を養う。</p> <p>[授業概要] 保健衛生行政の中での管理栄養士の役割を学ぶ。また、地域住民の健康・栄養・食生活に関する情報を収集・分析することで、対象のニーズや地域特性を把握し、具体的な公衆栄養プログラムを計画し、住民に発信する一連の公衆栄養マネジメントサイクルを学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・公衆栄養学の復習をしておくこと。 ・生活情報処理実習Ⅰを復習し、パソコン操作に慣れておくこと。 ・実習内容の予習(30分以上)と、実習中の記録、実習後のレポート作成(120分以上)は自らの学びのために教科書や文献などを参考に行うこと。</p> <p>[授業計画] 1.保健衛生行政のしくみと公衆栄養活動の役割・地域における公衆栄養プログラムの展開 <input checked="" type="checkbox"/> 地域診断1 (疫学アセスメント) <input type="checkbox"/> 3.地域診断2-1(秤量法による栄養調査) <input type="checkbox"/> 4.地域診断2-2(栄養調査結果の集計) <input type="checkbox"/> 5.地域診断3 (健康・栄養・生活面アセスメント) <input type="checkbox"/> 6.地域診断3 (PPモデルを活用した課題抽出と対策の検討) <input type="checkbox"/> 7.地域診断結果報告(プレゼンテーション①) <input type="checkbox"/> 8.公衆栄養プログラム1 (追加質問紙調査) <input type="checkbox"/> 9.公衆栄養プログラム2 (目標設定と政策面の調整) <input type="checkbox"/> 10.公衆栄養プログラム企画立案1(短期プログラム計画書作成) <input type="checkbox"/> 11.公衆栄養プログラム企画立案2(事業計画書の作成) <input type="checkbox"/> 12.公衆栄養プログラム企画立案3(住民勧奨)とプレゼン準備 <input type="checkbox"/> 13.企画プログラム発表(プレゼンテーション②) <input type="checkbox"/></p>				

科目名	公衆栄養学実習	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	竹市 仁美		
<p>[成績評価方法] レポート(50%)、取り組み姿勢、発表及び発言等(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート提出時にフィードバックする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:グループワーク姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:総合的に判断する</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:グループワーク姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:グループワークとレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポートとグループワーク</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:発表とレポート</p> <p>[教科書(ISBN)] 現場で役立つ公衆栄養学実習(第2版) 著者名:橋本加代・他 出版社:同文書院(978-4-8103-1522-6)</p> <p>[参考書(ISBN)] 調理のためのベーシックデータ(第6版) 著者名:女子栄養大学調理学研究室(監修) 出版社:女子栄養大学出版部(978-4789503259) 日本人の食事摂取基準(2020年版) 著者名:伊藤 貞嘉(監修) 出版社:第一出版(978-4804114088)</p>			

S81423 [HDB2-013]

科目名	公衆栄養学実習(校外)	前期～後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	竹市 仁美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 公衆栄養分野である保健所や保健センターの役割や業務を理解し、公衆栄養活動の実際と栄養行政の概要を修得する。</p> <p>[授業概要] 保健所や保健センターで臨地実習を行う。地域の健康や栄養問題を取り巻く情報を収集、分析し総合評価とマネジメントについて学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 公衆栄養学Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ、応用栄養学、ライフステージ栄養学、栄養教育論Ⅰ、公衆栄養学実習について復習しておくこと。 実習先地域の健康・食生活状況等を把握しておくこと。</p> <p>[授業計画] 保健所や保健センターにおいて管理栄養士の指導のもと、1週間の実習の中で以下の内容について体得する。 1. 管内地域の健康や栄養状態についての現状把握 2. 保健所、保健センターの機能と役割について 3. 保健所、保健センターにおける管理栄養士の役割と業務について 4. 衛生行政の概要 5. 地域保健における栄養体制の整備 1) 地域の実態把握、分析 2) 施策化と評価 3) 専門的栄養指導、食生活支援 4) 住民に対する健康教育、栄養相談等 5) 健康なまちづくりと地区組織等の育成 6) 食品保健部門との連携による健康危機管理体制の整備について 7) 関係機関や団体との連携 8) 食環境整備 6. 特定給食施設への栄養管理指導 7. 市町村に対する栄養改善事業支援と連絡調整 8. 人材育成と活用</p> <p>学内での実習に関する事前及び事後指導 1. 実習地域の健康増進計画等を検索しまとめることで、地域の状況を把握する。 2. 事前課題を通して実習の目的・目標を明確にする。 3. 実習後は、実習によって体得した事項を整理する。 4. 実習報告会を実施し、幅広い行政栄養士業務について情報共有するとともに、公衆栄養活動について理解する。 事前・事後指導に出席しない場合、また、実習施設別に実施するオリエンテーションに出席しない場合は、履修を認めない場合がある。</p>			

科目名	公衆栄養学実習(校外)	前期～後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	竹市 仁美		
<p>[成績評価方法] 臨地実習先の評価(50%)、事前課題及び実習報告と記録等(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 事前課題及び実習記録提出時に内容確認し、指導助言します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] レジメ・資料を配布する</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	住居計画学(製図を含む)		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	梶木 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 住生活に関する基礎的な知識を習得するとともに、住宅の計画設計(単位空間)ができるようになることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 豊かな生活は、人々が住む建物の周辺ばかりでなく、その地域(都市、農山村)が健康的で、安全性が確保され、より快適に暮らせるように計画された居住環境が整えられてはじめて実現できるといえる。本講義では、人間と自然環境の関係、より快適な住まい環境を実現するための設備機器、快適な人工環境による居住空間から生まれた新たな問題の発生、高齢化社会に対応するための環境要因、人工環境から環境共生に視点が向けられている現状など、住環境に関わる事柄を包括的に論じる。そして、これらの講義にもとづき、住宅計画および設計演習を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 住まいに関する文献を読んだり講演会を聞きに行ったり、国内外の住まいの事例を見に各地へ出かけ、住まい・暮らしへの関心を深めるようにする。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 住居計画学について、住まいとは 2. 住まいの歴史・間取りの変遷 3. 現代のライフスタイルと住まい 4. 人間工学・人体寸法 5. 人間工学・人間の行動特性 6. 西洋のインテリアの歴史 7. 西洋のインテリアの歴史:近代以降 8. 気候と暮らし、災害と暮らし 9. 住教育と自然災害 10. 住まいの管理 11. 住まいと環境:温熱環境・空気環境・視環境・音環境 12. 住まいの材料と構造 13. 設計演習:住まいの計画、住宅計画の考え方、寝室・LDKの設計1 14. 設計演習:寝室・LDKの設計2 				

科目名	住居計画学(製図を含む)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	梶木 典子		
<p>[成績評価方法] 授業中の小課題および小試験 (90%)、設計演習の作品 (10%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験終了後に、適宜解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 住まいのデザイン 著者名:北村 薫子(著),梶木 典子(著),中村 久美(著),光田 恵(著),齋藤 功子(著),& 4 その他 出版社:朝倉書店 (9784250000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	消費生活科学(食品商品学を含む)	後期	2 単位
サブタイトル		メディア(講義)	
担当者	山野 薫		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

- ①現代社会における「食品」をとりまく状況について深く理解することができる
- ②消費者と食品に関する課題を理解し、安全で安心な消費生活を確保するための知識を習得する。
- ③私たちにとって有効で安定したフードシステムを形成するための諸条件について考えることができる
- ④フードスペシャリスト資格試験に必要な食品の流通と消費についての知識を身につける

[授業概要]

[メディア授業]

現代社会は様々な商品やサービスが充実し、大変豊かになっています。しかし、その商品やサービスをうまく利用していくには、それらがどのような仕組みで成り立っているのかについて正しい知識を持つことが求められます。本科目では、生きていくために欠かすことのできない「食」に焦点を当て、商品やサービスがどのように提供されているのか、また、消費者の周辺にはどのような問題が存在するのかについて、知識や考え方を解説します。ひとりの大人として自覚ある生活を送るとともに、社会の主役のひとりとして消費にまつわる問題を考え、行動することができるよう、「自立した消費者」についても理解を深めます。

食品・農業に関するシンクタンクの勤務経験を活かし、食品生産・流通や消費、食品をめぐる制度などの最新情報と実態を盛り込んだ講義を行います。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

消費者や生活、食と農に関連する出来事に関心を持ち、新聞やニュースなどを通じて日常的に情報を収集してください。

事前にテキストの指定部分を読んで内容を確認しておいてください。

授業後はその回の内容について復習を行うこと。

(各回、予習・復習合わせて4 時間程度。)

[授業計画]

1. イントロダクションー「食」と「消費」について学ぶ理由
2. 食品小売業の種類と役割①ー小売業の類型
3. 食品小売業の種類と役割②ー小売業の発展方向
4. 需要と供給
5. 生鮮食品の流通
6. 加工食品の流通
7. チェーンオペレーションによる食の供給(外食産業編)
8. チェーンオペレーションによる食の供給(コンビニ編)
9. 食品とマーケティング
10. PB商品とは何か？
11. 食品安全のための取り組み①ー食品の表示から読み解く
12. 食品安全のための取り組み②ー食品の関する法制度から読み解く
13. まとめ

科目名	消費生活科学(食品商品学を含む)	後期	2 単位
サブタイトル		メディア(講義)	
担当者	山野 薫		
<p>[成績評価方法] レポート課題(70%)、授業への参加態度および授業中に出题する確認課題など(30%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートや授業内で提出された課題等は、次回の講義内で紹介・解説します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート課題</p> <p>[教科書(ISBN)] 『四訂 食品の消費と流通』 著者名:(公社)日本フードスペシャリスト協会編 出版社:建帛社 (978-4-7679-0687-4) 適宜、資料を配布する。</p> <p>[参考書(ISBN)] 18歳から考える消費者と法 著者名:坂東俊矢・細川幸一 出版社:法律文化社 (978-4-589-03612-4) フードシステム入門ー基礎からの食料経済学ー 著者名:薬師寺哲郎・中川隆 編著 出版社:建帛社 (978-4-7679-0636-2)</p>			

科目名	食生活論	前期	2 単位
サブタイトル	食生活と健康を考える	講義	
担当者	西井 穂		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 食生活をめぐる環境は変化し、さまざまな情報があふれ、健康問題も多く生じている。このような状況のなか、食の重要性を理解し、望ましい食生活のあり方を学び、実践に結びつける。</p> <p>[授業概要] 現代の食生活の現状を、経済的、文化的、社会的要因との関連を理解しながら、その特徴を把握する。その上で、これからの望ましい食生活のあり方、基本となる考え方などを学び習得する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前学習として、教科書の指定された箇所を熟読する。事後学習として予習で指定された教科書の該当ページを読み直し、授業ノートを整理する。各回事前事後学習は4時間程度行う。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.食生活の概念 2.食環境－食卓とこしよく 3.食生活と健康 子どもの朝食時の食欲に見る食生活 4.食生活と健康 ボディーイメージの変遷とダイエット志向 5.食生活と健康 食生活と生活習慣病 6.世界の食生活史 ヒトは何をどのように食べてきたか 7.世界の食生活史 食文化と食習慣 8.日本の食生活史 9.食生活と安全 食の安全と食環境、食糧供給体制と汚染 10.食生活と安全 食生活と安全情報、食糧供給と不祥事件 11.健全な食生活の展望 栄養問題 栄養の二重苦 12.食育の推進 健康栄養教育と小学校における食育の推進 13.食育の推進 大学生の味覚教育と成人への食育、まとめ 			

科目名	食生活論	前期	2 単位
サブタイトル	食生活と健康を考える	講義	
担当者	西井 穂		
<p>[成績評価方法] レポート(70%)、授業中の課題(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題に対するフィードバックは、授業内、manabaで適宜行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>[教科書(ISBN)] 「食育・食生活論」 社会・環境と健康 著者名:山本茂・奥田豊子・濱口郁枝編 出版社:講談社サイエンティフィック (978-4-06-155368-2) プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	食生活論	前期	2 単位
サブタイトル	食生活と健康を考える	講義	
担当者	西井 穂		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 食生活をめぐる環境は変化し、さまざまな情報があふれ、健康問題も多く生じている。このような状況のなか、食の重要性を理解し、望ましい食生活のあり方を学び、実践に結びつける。</p> <p>[授業概要] 現代の食生活の現状を、経済的、文化的、社会的要因との関連を理解しながら、その特徴を把握する。その上で、これからの望ましい食生活のあり方、基本となる考え方などを学び習得する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前学習として、教科書の指定された箇所を熟読する。事後学習として予習で指定された教科書の該当ページを読み直し、授業ノートを整理する。各回事前事後学習は4時間程度行う。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.食生活の概念 2.食環境－食卓とこしよく 3.食生活と健康 子どもの朝食時の食欲に見る食生活 4.食生活と健康 ボディーイメージの変遷とダイエット志向 5.食生活と健康 食生活と生活習慣病 6.世界の食生活史 ヒトは何をどのように食べてきたか 7.世界の食生活史 食文化と食習慣 8.日本の食生活史 9.食生活と安全 食の安全と食環境、食糧供給体制と汚染 10.食生活と安全 食生活と安全情報、食糧供給と不祥事件 11.健全な食生活の展望 栄養問題 栄養の二重苦 12.食育の推進 健康栄養教育と小学校における食育の推進 13.食育の推進 大学生の味覚教育と成人への食育、まとめ 			

科目名	食生活論	前期	2 単位
サブタイトル	食生活と健康を考える	講義	
担当者	西井 穂		
<p>[成績評価方法] レポート(70%)、授業中の課題(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題に対するフィードバックは、授業内、manabaで適宜行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>[教科書(ISBN)] 「食育・食生活論」 社会・環境と健康 著者名:山本茂・奥田豊子・濱口郁枝編 出版社:講談社サイエンティフィック (978-4-06-155368-2) プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	食品衛生学	前期	2 単位
サブタイトル	食の安全と衛生管理	講義	
担当者	甲斐 達男		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 食品衛生行政、食品衛生関連法規について学ぶ。 食品の生産、流通、消費のすべての過程において、食の安全性に関する基本的な考え方を学ぶ。 食の安全を確保するために必要な知識を修得する。 <p>[授業概要]</p> <p>近年、食品が病原微生物や有害化学物質などによって汚染され、健康被害を生じる事件が頻発している。本講義では、食を提供する立場および消費者の立場の両面から、「食の安全」を確保するための多くの情報を系統的に修得し、食による健康被害の防止法を学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回の授業についての予習・復習2時間程度。 「管理栄養士のための化学ⅠおよびⅡ」、「食品学総論」を十分に理解しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 食品衛生法規と行政機構 食品衛生対策:行政における対策、HACCP、FSSC22000、その他 微生物と食品の変質防止:微生物の分類と特性、衛生指標細菌、変質防止 細菌性食中毒(1):分類、経口感染症、発生状況、食品内毒素型食中毒 細菌性食中毒(2):感染型食中毒 ウイルス性食中毒、人獣共通感染症 自然毒食中毒 マイコトキシン中毒、食品の器具・容器包装 寄生虫と衛生動物 有害物質による食品汚染(1):有害金属、動物用医薬品・飼料添加物・農薬 有害物質による食品汚染(2):PCB、ダイオキシン、環境ホルモン、放射性物質、調理時生成毒性化合物、その他 食品添加物(1):分類、指定、表示、安全性評価、その他 食品添加物(2):各論 <p>※授業の進行状況によって内容が一部変更／入れ替わりになることがある。</p>			

科目名	食品衛生学	前期	2 単位
サブタイトル	食の安全と衛生管理	講義	
担当者	甲斐 達男		

[成績評価方法]

期末試験(100%)

※授業内容の理解・習熟状況によっては、小テストもしくは中間試験を実施する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

manabaを活用する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。

成績評価方法:筆記試験

学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。

成績評価方法:筆記試験

学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。

成績評価方法:筆記試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法:筆記試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:筆記試験

[教科書(ISBN)]

食品衛生学[第4版] 著者名:甲斐達男・小林秀光 編著 出版社:化学同人 (978-4759821512)

[参考書(ISBN)]

なし

科目名	食品衛生学	前期	2 単位
サブタイトル	食の安全と衛生管理	講義	
担当者	甲斐 達男		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 食品衛生行政、食品衛生関連法規について学ぶ。 2. 食品の生産、流通、消費のすべての過程において、食の安全性に関する基本的な考え方を学ぶ。 3. 食の安全を確保するために必要な知識を修得する。 <p>[授業概要]</p> <p>近年、食品が病原微生物や有害化学物質などによって汚染され、健康被害を生じる事件が頻発している。本講義では、食を提供する立場および消費者の立場の両面から、「食の安全」を確保するための多くの情報を系統的に修得し、食による健康被害の防止法を学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回の授業についての予習・復習2時間程度。 「管理栄養士のための化学ⅠおよびⅡ」、「食品学総論」を十分に理解しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 食品衛生法規と行政機構 2. 食品衛生対策:行政における対策、HACCP、FSSC22000、その他 3. 微生物と食品の変質防止:微生物の分類と特性、衛生指標細菌、変質防止 4. 細菌性食中毒(1):分類、経口感染症、発生状況、食品内毒素型食中毒 5. 細菌性食中毒(2):感染型食中毒 6. ウイルス性食中毒、人獣共通感染症 7. 自然毒食中毒 8. マイコトキシン中毒、食品の器具・容器包装 9. 寄生虫と衛生動物 10. 有害物質による食品汚染(1):有害金属、動物用医薬品・飼料添加物・農薬 11. 有害物質による食品汚染(2):PCB、ダイオキシン、環境ホルモン、放射性物質、調理時生成毒性化合物、その他 12. 食品添加物(1):分類、指定、表示、安全性評価、その他 13. 食品添加物(2):各論 <p>※授業の進行状況によって内容が一部変更／入れ替わりになることがある。</p>			

科目名	食品衛生学	前期	2 単位
サブタイトル	食の安全と衛生管理	講義	
担当者	甲斐 達男		

[成績評価方法]

期末試験(100%)

※授業内容の理解・習熟状況によっては、小テストもしくは中間試験を実施する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

manabaを活用する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。

成績評価方法:筆記試験

学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。

成績評価方法:筆記試験

学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。

成績評価方法:筆記試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法:筆記試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:筆記試験

[教科書(ISBN)]

食品衛生学[第4版] 著者名:甲斐達男・小林秀光 編著 出版社:化学同人 (978-4759821512)

[参考書(ISBN)]

なし

科目名	食品衛生学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	甲斐 達男		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

- 食品衛生学分野の中で、化学物質に関係する基礎的な検査・分析技術を修得する。
- 厨房における微生物衛生管理について実験を通して包括的に理解することを目標として、厨房や食品の微生物検査技術を修得する。

[授業概要]

本実験では、一般的実験操作及び微生物の取り扱い方を身につけた上で、食中毒や食品添加物等、食品衛生上必要性の高い課題を選択し、正確かつ平易な操作方法を修得する。また将来、管理栄養士として食品提供施設や集団給食施設の衛生上の問題にも対処できるよう現場でのサンプル採取、簡単な検査法について学んで、検査結果を製造、加工などの行程や調理工程にフィードバックして改善に結びつける力を養う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

本実験では微生物検査を行うための微生物に関する基礎知識を必要とし、さらに「食品衛生学」を十分に理解しておくことが求められる。

[授業計画]

- 【イントロダクション】授業目的、概要、評価方法、留意点等について説明
【器具の使用法の復習】用いる実験機器・ガラス器具の使用法の復習
- 【実験Ⅰ：食器の洗浄度検査】食器に付着した食べ物および洗剤の残渣の残存状態を発色試験によって検査し、実験結果と考察をレポートにまとめる。
- 【実験Ⅱ：食品の鮮度検査(1)】円形ペーパークロマトグラフィーにより、魚類に生成したアレルギー物質の定性分析を行う。
- 【実験Ⅱ：食品の鮮度検査(2)】得られたクロマトグラムを解析・検討し、結果を考察しレポートにまとめる。
- 【実験Ⅲ：亜硝酸根の定量分析(1)】食品試料に残存している亜硝酸根の抽出を行う。
- 【実験Ⅲ：亜硝酸根の定量分析(2)】比色分析によって亜硝酸根の定量分析を行い、結果を考察しレポートにまとめる。
- 【実験Ⅳ：微生物の培養と形態観察(1)】細菌・酵母・カビ用の寒天培地を調製し、植菌・培養を行う。
- 【実験Ⅳ：微生物の培養と形態観察(2)】生育した微生物の肉眼観察と顕微鏡観察を行い、形態的な特徴を記録し、結果を考察しレポートにまとめる。
- 【実験Ⅴ：身体・環境微生物の検査(1)】検査に必要な寒天培地の調製と滅菌および滅菌水の準備、検査に使用する器具の滅菌を行う。
- 【実験Ⅴ：身体・環境微生物の検査(2)】手指の微生物汚染検査、厨房機器の拭き取り検査、身体付着菌の検査、空中落下菌の検査を行う。
- 【実験Ⅴ：身体・環境微生物の検査(3)】培養後の微生物を観察し、結果を解析・考察しレポートにまとめる。
- 【実験Ⅵ：食品の細菌検査(1)】食品の菌数検査(一般生菌数、大腸菌群、大腸菌)を公定法および簡易法の双方で実施する。
- 【実験Ⅵ：食品の細菌検査(2)】培養後のコロニーを計測し、食品試料1gあたりの生菌数を算出する。得られた結果を考察しレポートにまとめる。

※授業の進行状況によって内容が一部変更／入れ替わりになることがある。

科目名	食品衛生学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	甲斐 達男		
<p>[成績評価方法] レポート(100点)、無断欠席については減点の対象とする。 ※授業内容の理解・習熟状況によっては、小テストまたは試験を実施する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを活用する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容: 管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法: レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	食品衛生学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	甲斐 達男		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

1. 食品衛生学分野の中で、化学物質に関係する基礎的な検査・分析技術を修得する。
2. 厨房における微生物衛生管理について実験を通して包括的に理解することを目標として、厨房や食品の微生物検査技術を修得する。

[授業概要]

本実験では、一般的実験操作及び微生物の取り扱い方を身につけた上で、食中毒や食品添加物等、食品衛生上必要性の高い課題を選択し、正確でかつ平易な操作方法を修得する。また将来、管理栄養士として食品提供施設や集団給食施設の衛生上の問題にも対処できるよう現場でのサンプル採取、簡単な検査法について学んで、検査結果を製造、加工などの行程や調理工程にフィードバックして改善に結びつける力を養う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

本実験では微生物検査を行うための微生物に関する基礎知識を必要とし、さらに「食品衛生学」を十分に理解しておくことが求められる。

[授業計画]

1. 【イントロダクション】授業目的、概要、評価方法、留意点等について説明
【器具の使用法の復習】用いる実験機器・ガラス器具の使用法の復習
2. 【実験Ⅰ：食器の洗浄度検査】食器に付着した食べ物および洗剤の残渣の残存状態を発色試験によって検査し、実験結果と考察をレポートにまとめる。
3. 【実験Ⅱ：食品の鮮度検査(1)】円形ペーパークロマトグラフィーにより、魚類に生成したアレルギー物質の定性分析を行う。
4. 【実験Ⅱ：食品の鮮度検査(2)】得られたクロマトグラムを解析・検討し、結果を考察しレポートにまとめる。
5. 【実験Ⅲ：亜硝酸根の定量分析(1)】食品試料に残存している亜硝酸根の抽出を行う。
6. 【実験Ⅲ：亜硝酸根の定量分析(2)】比色分析によって亜硝酸根の定量分析を行い、結果を考察しレポートにまとめる。
7. 【実験Ⅳ：微生物の培養と形態観察(1)】細菌・酵母・カビ用の寒天培地を調製し、植菌・培養を行う。
8. 【実験Ⅳ：微生物の培養と形態観察(2)】生育した微生物の肉眼観察と顕微鏡観察を行い、形態的な特徴を記録し、結果を考察しレポートにまとめる。
9. 【実験Ⅴ：身体・環境微生物の検査(1)】検査に必要な寒天培地の調製と滅菌および滅菌水の準備、検査に使用する器具の滅菌を行う。
10. 【実験Ⅴ：身体・環境微生物の検査(2)】手指の微生物汚染検査、厨房機器の拭き取り検査、身体付着菌の検査、空中落下菌の検査を行う。
11. 【実験Ⅴ：身体・環境微生物の検査(3)】培養後の微生物を観察し、結果を解析・考察しレポートにまとめる。
12. 【実験Ⅵ：食品の細菌検査(1)】食品の菌数検査(一般生菌数、大腸菌群、大腸菌)を公定法および簡易法の双方で実施する。
13. 【実験Ⅵ：食品の細菌検査(2)】培養後のコロニーを計測し、食品試料1gあたりの生菌数を算出する。得られた結果を考察しレポートにまとめる。

※授業の進行状況によって内容が一部変更／入れ替わりになることがある。

科目名	食品衛生学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	甲斐 達男		
<p>[成績評価方法] レポート(100点)、無断欠席については減点の対象とする。 ※授業内容の理解・習熟状況によっては、小テストまたは試験を実施する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを活用する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容: 管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法: レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	食品衛生学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	甲斐 達男		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 食品衛生学分野の中で、化学物質に関係する基礎的な検査・分析技術を修得する。 厨房における微生物衛生管理について実験を通して包括的に理解することを目標として、厨房や食品の微生物検査技術を修得する。 <p>[授業概要]</p> <p>本実験では、一般的実験操作及び微生物の取り扱い方を身につけた上で、食中毒や食品添加物等、食品衛生上必要性の高い課題を選択し、正確でかつ平易な操作方法を修得する。また将来、管理栄養士として食品提供施設や集団給食施設の衛生上の問題にも対処できるよう現場でのサンプル採取、簡単な検査法について学んで、検査結果を製造、加工などの行程や調理工程にフィードバックして改善に結びつける力を養う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>本実験では微生物検査を行うための微生物に関する基礎知識を必要とし、さらに「食品衛生学」を十分に理解しておくことが求められる。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 【イントロダクション】授業目的、概要、評価方法、留意点等について説明 【器具の使用法の復習】用いる実験機器・ガラス器具の使用法の復習 【実験Ⅰ：食器の洗浄度検査】食器に付着した食べ物および洗剤の残渣の残存状態を発色試験によって検査し、実験結果と考察をレポートにまとめる。 【実験Ⅱ：食品の鮮度検査(1)】円形ペーパークロマトグラフィーにより、魚類に生成したアレルギー物質の定性分析を行う。 【実験Ⅱ：食品の鮮度検査(2)】得られたクロマトグラムを解析・検討し、結果を考察しレポートにまとめる。 【実験Ⅲ：亜硝酸根の定量分析(1)】食品試料に残存している亜硝酸根の抽出を行う。 【実験Ⅲ：亜硝酸根の定量分析(2)】比色分析によって亜硝酸根の定量分析を行い、結果を考察しレポートにまとめる。 【実験Ⅳ：微生物の培養と形態観察(1)】細菌・酵母・カビ用の寒天培地を調製し、植菌・培養を行う。 【実験Ⅳ：微生物の培養と形態観察(2)】生育した微生物の肉眼観察と顕微鏡観察を行い、形態的な特徴を記録し、結果を考察しレポートにまとめる。 【実験Ⅴ：身体・環境微生物の検査(1)】検査に必要な寒天培地の調製と滅菌および滅菌水の準備、検査に使用する器具の滅菌を行う。 【実験Ⅴ：身体・環境微生物の検査(2)】手指の微生物汚染検査、厨房機器の拭き取り検査、身体付着菌の検査、空中落下菌の検査を行う。 【実験Ⅴ：身体・環境微生物の検査(3)】培養後の微生物を観察し、結果を解析・考察しレポートにまとめる。 【実験Ⅵ：食品の細菌検査(1)】食品の菌数検査(一般生菌数、大腸菌群、大腸菌)を公定法および簡易法の双方で実施する。 【実験Ⅵ：食品の細菌検査(2)】培養後のコロニーを計測し、食品試料1gあたりの生菌数を算出する。得られた結果を考察しレポートにまとめる。 <p>※授業の進行状況によって内容が一部変更／入れ替わりになることがある。</p>			

科目名	食品衛生学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	甲斐 達男		
<p>[成績評価方法] レポート(100点)、無断欠席については減点の対象とする。 ※授業内容の理解・習熟状況によっては、小テストまたは試験を実施する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを活用する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容: 管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法: レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	食品衛生学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	甲斐 達男		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 食品衛生学分野の中で、化学物質に関する基礎的な検査・分析技術を修得する。 厨房における微生物衛生管理について実験を通して包括的に理解することを目標として、厨房や食品の微生物検査技術を修得する。 <p>[授業概要]</p> <p>本実験では、一般的実験操作及び微生物の取り扱い方を身につけた上で、食中毒や食品添加物等、食品衛生上必要性の高い課題を選択し、正確でかつ平易な操作方法を修得する。また将来、管理栄養士として食品提供施設や集団給食施設の衛生上の問題にも対処できるよう現場でのサンプル採取、簡単な検査法について学んで、検査結果を製造、加工などの行程や調理工程にフィードバックして改善に結びつける力を養う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>本実験では微生物検査を行うための微生物に関する基礎知識を必要とし、さらに「食品衛生学」を十分に理解しておくことが求められる。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 【イントロダクション】授業目的、概要、評価方法、留意点等について説明 【器具の使用法の復習】用いる実験機器・ガラス器具の使用法の復習 【実験Ⅰ：食器の洗浄度検査】食器に付着した食べ物および洗剤の残渣の残存状態を発色試験によって検査し、実験結果と考察をレポートにまとめる。 【実験Ⅱ：食品の鮮度検査(1)】円形ペーパークロマトグラフィーにより、魚類に生成したアレルギー物質の定性分析を行う。 【実験Ⅱ：食品の鮮度検査(2)】得られたクロマトグラムを解析・検討し、結果を考察しレポートにまとめる。 【実験Ⅲ：亜硝酸根の定量分析(1)】食品試料に残存している亜硝酸根の抽出を行う。 【実験Ⅲ：亜硝酸根の定量分析(2)】比色分析によって亜硝酸根の定量分析を行い、結果を考察しレポートにまとめる。 【実験Ⅳ：微生物の培養と形態観察(1)】細菌・酵母・カビ用の寒天培地を調製し、植菌・培養を行う。 【実験Ⅳ：微生物の培養と形態観察(2)】生育した微生物の肉眼観察と顕微鏡観察を行い、形態的な特徴を記録し、結果を考察しレポートにまとめる。 【実験Ⅴ：身体・環境微生物の検査(1)】検査に必要な寒天培地の調製と滅菌および滅菌水の準備、検査に使用する器具の滅菌を行う。 【実験Ⅴ：身体・環境微生物の検査(2)】手指の微生物汚染検査、厨房機器の拭き取り検査、身体付着菌の検査、空中落下菌の検査を行う。 【実験Ⅴ：身体・環境微生物の検査(3)】培養後の微生物を観察し、結果を解析・考察しレポートにまとめる。 【実験Ⅵ：食品の細菌検査(1)】食品の菌数検査(一般生菌数、大腸菌群、大腸菌)を公定法および簡易法の双方で実施する。 【実験Ⅵ：食品の細菌検査(2)】培養後のコロニーを計測し、食品試料1gあたりの生菌数を算出する。得られた結果を考察しレポートにまとめる。 <p>※授業の進行状況によって内容が一部変更／入れ替わりになることがある。</p>			

科目名	食品衛生学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	甲斐 達男		
<p>[成績評価方法] レポート(100点)、無断欠席については減点の対象とする。 ※授業内容の理解・習熟状況によっては、小テストまたは試験を実施する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを活用する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法: レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	食品学各論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	木村 万里子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多様な食品の分類、種類、含有成分、栄養・加工・機能特性について深く理解する。 2. 各食品のもつ特性を正しく理解することにより、食品の判別・利用能力を養う。 <p>[授業概要]</p> <p>日本食品標準成分表には約2,500種類の食品が記載されており、私たちは日常的に多くの食品を入手できる環境にある。だからこそ、各食品のもつ特性を正しく理解し、判別・利用する能力を身につけることが必要である。本講義では、植物性食品、動物性食品および加工食品などの多様な食品の分類、種類、含有成分、栄養特性などについて、食品群別に解説を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>毎回の授業内容を必ず復習し理解する。不明な点は積極的に教員に質問すること。身近な食品に実際に触れ、関心を持つこと。各回、予習復習合わせて4時間程度です。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 食品の分類と食品成分表 2. 植物性食品①(穀類、いも類) 3. 植物性食品②(豆類、種実類、野菜類) 4. 植物性食品③(果実類、きのこ類、藻類) 5. まとめ(1-4回の内容)と小テスト 6. 動物性食品①(肉類、魚介類) 7. 動物性食品②(乳類、卵類) 8. 油脂 9. 調味料、香辛料 10. 嗜好飲料、微生物利用食品 11. その他の食品 12. まとめ(6-11回の内容)と小テスト 13. まとめと試験 			

科目名	食品学各論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	木村 万里子		
<p>[成績評価方法] 授業中の小テスト(15%)、試験(85%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストの解答をマナバに提示する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 別途指示(9月頃)</p> <p>[参考書(ISBN)] 日本食品標準成分表 出版社:指定なし</p>			

科目名	食品学各論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	木村 万里子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多様な食品の分類、種類、含有成分、栄養・加工・機能特性について深く理解する。 2. 各食品のもつ特性を正しく理解することにより、食品の判別・利用能力を養う。 <p>[授業概要]</p> <p>日本食品標準成分表には約2,500種類の食品が記載されており、私たちは日常的に多くの食品を入手できる環境にある。だからこそ、各食品のもつ特性を正しく理解し、判別・利用する能力を身につけることが必要である。本講義では、植物性食品、動物性食品および加工食品などの多様な食品の分類、種類、含有成分、栄養特性などについて、食品群別に解説を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>毎回の授業内容を必ず復習し理解する。不明な点は積極的に教員に質問すること。身近な食品に実際に触れ、関心を持つこと。各回、予習復習合わせて4時間程度です。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 食品の分類と食品成分表 2. 植物性食品①(穀類、いも類) 3. 植物性食品②(豆類、種実類、野菜類) 4. 植物性食品③(果実類、きのこ類、藻類) 5. まとめ(1-4回の内容)と小テスト 6. 動物性食品①(肉類、魚介類) 7. 動物性食品②(乳類、卵類) 8. 油脂 9. 調味料、香辛料 10. 嗜好飲料、微生物利用食品 11. その他の食品 12. まとめ(6-11回の内容)と小テスト 13. まとめと試験 			

科目名	食品学各論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	木村 万里子		
<p>[成績評価方法] 授業中の小テスト(15%)、試験(85%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストの解答をマナバに提示する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 別途指示(9月頃)()</p> <p>[参考書(ISBN)] 日本食品標準成分表 出版社:指定なし</p>			

科目名	食品学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	木村 万里子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 食品成分の分析に必要な基礎的操作技術を習得する。 2. 食品に関わる基本的な定量実験の原理と手法を理解し、説明できるようになる。 3. 食品に含まれる各種成分の定量実験により、食品成分の化学的性質や栄養特性について理解を深める。 <p>[授業概要]</p> <p>食品に含まれる一般成分や機能性成分の定量をおこない、分析技術・原理を学ぶとともに、食品成分の化学的性質や栄養特性について理解を深める。実験結果は、グループ・ディスカッションによりまとめ、指定された日にグループごとに発表する。また、各実験項目ごとに、各自レポートにまとめて提出する。質問・疑問に関しては、授業内にフィードバックする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>3回生までに履修が修了している食品学総論、食品学各論の学習内容を十分に復習し理解しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一般的注意、レポートの書き方、試薬の調製 2. 中和滴定:食酢の定量 3. 沈殿滴定:食塩の定量 4. キレート滴定:カルシウムの定量 5. 小テスト、実験結果(2-4回の授業内容)の発表 6. ビタミンCの定量 7. 還元糖・非還元糖の定量 8. 油脂の変敗(酸価の測定) 9. 水分・灰分の定量 10. リンの定量 11. 鉄の定量 12. たんぱく質の定量 13. 実験結果の発表(6-12回の授業内容)、まとめのテスト 			

科目名	食品学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	木村 万里子		
<p>[成績評価方法] 受講・発表態度(20%)、試験(30%)、レポート課題(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート評価をmanaに提示する。試験の解答については、授業の中で提示する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 「食品学実験・実習―食品分析・食品加工・食品鑑別・食の安全」 著者名:長澤治子 編著 出版社:青山社 (978-4-88359-361-3)</p> <p>[参考書(ISBN)] 日本食品標準成分表 出版社:指定なし</p>			

S80620 [HDB3-005]

科目名	食品学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	木村 万里子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 食品成分の分析に必要な基礎的操作技術を習得する。 2. 食品に関わる基本的な定量実験の原理と手法を理解し、説明できるようになる。 3. 食品に含まれる各種成分の定量実験により、食品成分の化学的性質や栄養特性について理解を深める。 <p>[授業概要]</p> <p>食品に含まれる一般成分や機能性成分の定量をおこない、分析技術・原理を学ぶとともに、食品成分の化学的性質や栄養特性について理解を深める。実験結果は、グループ・ディスカッションによりまとめ、指定された日にグループごとに発表する。また、各実験項目ごとに、各自レポートにまとめて提出する。質問・疑問に関しては、授業内にフィードバックする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>3回生までに履修が修了している食品学総論、食品学各論の学習内容を十分に復習し理解しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一般的注意、レポートの書き方、試薬の調製 2. 中和滴定:食酢の定量 3. 沈殿滴定:食塩の定量 4. キレート滴定:カルシウムの定量 5. 小テスト、実験結果(2-4回の授業内容)の発表 6. ビタミンCの定量 7. 還元糖・非還元糖の定量 8. 油脂の変敗(酸価の測定) 9. 水分・灰分の定量 10. リンの定量 11. 鉄の定量 12. たんぱく質の定量 13. 実験結果の発表(6-12回の授業内容)、まとめのテスト 			

科目名	食品学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	木村 万里子		
<p>[成績評価方法] 受講・発表態度(20%)、試験(30%)、レポート課題(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート評価をmanaに提示する。試験の解答については、授業の中で提示する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 「食品学実験・実習―食品分析・食品加工・食品鑑別・食の安全」 著者名:長澤治子 編著 出版社:青山社 (978-4-88359-361-3)</p> <p>[参考書(ISBN)] 日本食品標準成分表 出版社:指定なし</p>			

科目名	食品学実験	前期	1 単位
サブタイトル	食品成分の定性、定量	実験	
担当者	安藤 清一		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 自ら実験することにより、食品学の講義で学んだ内容を確実に理解することを目指す。また、食品に関わる基礎的な実験操作方法、実験技術を修得することも目指す。</p> <p>[授業概要] 食品素材中の栄養成分や機能性成分の定性・定量を行い、食品成分の化学的性質、食品成分の変化、食品成分間の相互作用について理解を深める。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 3回生までに履修の終わっている食品学総論、食品学各論の学習内容を十分に復習し、理解しておくこと。毎回実施する実験の操作方法について、1時間程の予習をした上で、授業に臨むこと。</p> <p>[授業計画] 1. 実験室での一般的注意、レポートの書き方、試薬の調製 2. 中和滴定－食酢、果実、乳酸飲料中の酸の定量 3. 沈殿滴定－食塩の定量 4. キレート滴定－カルシウムの定量、水分・灰分の定量(1) 5. 水分・灰分の定量(2) 6. リンの定量 7. 鉄の定量 8. ビタミンCの定量 9. 還元糖の定量 10. 非還元糖の定量 11. 卵白たんぱく質の定量 12. 油脂の変敗－酸価の測定 13. タンニンの定量、まとめ</p>			

科目名	食品学実験	前期	1 単位
サブタイトル	食品成分の定性、定量	実験	
担当者	安藤 清一		

[成績評価方法]
 確認試験(2回実施、30%)、レポート(70%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
 レポートは、後日添削して返却する。確認試験の解答を授業中に解説する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
 資料を配付する。

[参考書(ISBN)]
 なし

科目名	食品学実験	後期	1 単位
サブタイトル	食品成分の定性、定量	実験	
担当者	安藤 清一		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 自ら実験することにより、食品学の講義で学んだ内容を確実に理解することを目指す。また、食品に関わる基礎的な実験操作方法、実験技術を修得することも目指す。</p> <p>[授業概要] 食品素材中の栄養成分や機能性成分の定性・定量を行い、食品成分の化学的性質、食品成分の変化、食品成分間の相互作用について理解を深める。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 3回生までに履修の終わっている食品学総論、食品学各論の学習内容を十分に復習し、理解しておくこと。毎回実施する実験の操作方法について、1時間程の予習をした上で、授業に臨むこと。</p> <p>[授業計画] 1. 実験室での一般的注意、レポートの書き方、試薬の調製 2. 中和滴定－食酢、果実、乳酸飲料中の酸の定量 3. 沈殿滴定－食塩の定量 4. キレート滴定－カルシウムの定量、水分・灰分の定量(1) 5. 水分・灰分の定量(2) 6. リンの定量 7. 鉄の定量 8. ビタミンCの定量 9. 還元糖の定量 10. 非還元糖の定量 11. 卵白たんぱく質の定量 12. 油脂の変敗－酸価の測定 13. タンニンの定量、まとめ</p>			

科目名	食品学実験	後期	1 単位
サブタイトル	食品成分の定性、定量	実験	
担当者	安藤 清一		

[成績評価方法]
 確認試験(2回実施、30%)、レポート(70%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
 レポートは、後日添削して返却する。確認試験の解答を授業中に解説する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
 資料を配付する。

[参考書(ISBN)]
 なし

科目名	食品学総論	後期	2 単位
サブタイトル	食べ物と健康:食品学・食品機能学	講義	
担当者	安藤 清一		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 食品に含まれる化学成分の調理・加工による変化を予測したり、栄養性や嗜好性の高い食品を調製するために必要となる化学成分(栄養成分、嗜好成分、機能性成分等)の構造・性質、物性等に関する基礎知識を習得することを目指す。</p> <p>[授業概要] 食品学総論では、食品の歴史的変遷や食物連鎖・食環境問題、食品の分類、食品成分表の使用上の注意点や食品成分の分析法、食品中の水、栄養成分(炭水化物・脂質・たんぱく質・ビタミン・ミネラル)、嗜好成分(味・色・香り)、生体調節成分等に関する基礎知識を学習する。また、食品を総合的に理解するために、食品成分の化学変化、食品物性、食品表示制度等についても学習する。なお、中学校教諭一種免許状(家庭)、高等学校教諭一種免許状(家庭)、養護教諭一種免許状に関わる科目であるため、将来教員として指導する際に必要な知識、考え方の内容も含む。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 本科目履修前に、選択科目「特別化学」、必修科目「管理栄養士のための化学」の学習内容を十分に理解しておくこと。食品の化学成分の構造と機能については、「生化学Ⅰ」、「基礎栄養学」の学習と関連させて理解すること。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間と食品の関わり、食品の分類 2. 食品成分表 3. 水分活性、炭水化物(1) 4. 炭水化物(2)、たんぱく質(1) 5. たんぱく質(2)、脂質(1) 6. 脂質(2)、ミネラル 7. ビタミン 8. 嗜好成分(1) 9. 嗜好成分(2) 10. 食品成分の変化(1) 11. 食品成分の変化(2) 12. 食品表示制度 13. 食品の機能成分 			

科目名	食品学総論	後期	2 単位
サブタイトル	食べ物と健康:食品学・食品機能学	講義	
担当者	安藤 清一		
<p>[成績評価方法] 確認試験(3回、30%)、期末試験(70%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 確認試験の解答をmanabaに提示する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 食べ物と健康 三訂マスター食品学 I 著者名:小関正道・鍋谷浩志 編著 出版社:建帛社(978-4-7679-0697-3)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	食品学総論	後期	2 単位
サブタイトル	食べ物と健康:食品学・食品機能学	講義	
担当者	安藤 清一		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 食品に含まれる化学成分の調理・加工による変化を予測したり、栄養性や嗜好性の高い食品を調製するために必要となる化学成分(栄養成分、嗜好成分、機能性成分等)の構造・性質、物性等に関する基礎知識を習得することを目指す。</p> <p>[授業概要] 食品学総論では、食品の歴史的変遷や食物連鎖・食環境問題、食品の分類、食品成分表の使用上の注意点や食品成分の分析法、食品中の水、栄養成分(炭水化物・脂質・たんぱく質・ビタミン・ミネラル)、嗜好成分(味・色・香り)、生体調節成分等に関する基礎知識を学習する。また、食品を総合的に理解するために、食品成分の化学変化、食品物性、食品表示制度等についても学習する。なお、中学校教諭一種免許状(家庭)、高等学校教諭一種免許状(家庭)、養護教諭一種免許状に関わる科目であるため、将来教員として指導する際に必要な知識、考え方の内容も含む。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 本科目履修前に、選択科目「特別化学」、必修科目「管理栄養士のための化学」の学習内容を十分に理解しておくこと。食品の化学成分の構造と機能については、「生化学Ⅰ」、「基礎栄養学」の学習と関連させて理解すること。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間と食品の関わり、食品の分類 2. 食品成分表 3. 水分活性、炭水化物(1) 4. 炭水化物(2)、たんぱく質(1) 5. たんぱく質(2)、脂質(1) 6. 脂質(2)、ミネラル 7. ビタミン 8. 嗜好成分(1) 9. 嗜好成分(2) 10. 食品成分の変化(1) 11. 食品成分の変化(2) 12. 食品表示制度 13. 食品の機能成分 			

科目名	食品学総論	後期	2 単位
サブタイトル	食べ物と健康:食品学・食品機能学	講義	
担当者	安藤 清一		
<p>[成績評価方法] 確認試験(3回、30%)、期末試験(70%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 確認試験の解答をmanabaに提示する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 食べ物と健康 三訂マスター食品学 I 著者名:小関正道・鍋谷浩志 編著 出版社:建帛社(978-4-7679-0697-3)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	食品加工学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宮本 有香		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 様々な食品素材について、加工方法や各種貯蔵法の原理と微生物との関わり、特定保健用食品、遺伝子組み換え食品等について理解する。</p> <p>[授業概要] 現代の多様なライフスタイルの変化に伴い、加工食品は食生活に幅広く利用されており、その目的は、栄養面から経済面まで多岐にわたっている。すなわち、食品の素材や加工、保存方法などをしっかり理解する事が、健全な食生活、安全性にもつながっている。食品加工学では、食品素材の特性、食品加工の原理、食品貯蔵法の原理と微生物との関わりについて講義する。また、健康増進を目的とした加工食品や遺伝子組み換え食品についても講義する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業計画に従い講義を進めるため、教科書および配布資料(manaba)に目を通し予習しておく事。 身近な加工食品についてのトピックスに関心を持っておく。 各回、予習復習を合わせ4時間程度。 各回、授業終了後に配布する「まとめ」内容を中心にしっかりと復習を行い、小テスト(manaba)を受験しておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. 食生活と食品加工学、食品の加工方法(物理的、化学的、生物的加工方法) 2. 食品の保存法(食品中の水分、pH、温度による保存、燻煙) 3. 食品の保存法(滅菌、除菌、殺菌、食品照射、空気組成、添加物による保存、包装素材について) 4. 農産食品の加工(1) 5. 農産食品の加工(2) 6. 畜産食品の加工(1) 7. 畜産食品の加工(2) 8. 水産食品の加工(1) 9. 水産食品の加工(2) 10. 食用油脂および調味食品 11. 嗜好食品およびインスタント食品 12. 加工食品の規格と表示制度(1) 13. 加工食品の企画と表示制度(2)(遺伝子組み換え食品を含む) 14. 試験</p>			

科目名	食品加工学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宮本 有香		
<p>[成績評価方法] 各授業終了後実施している小テスト(manaba) 15% 授業終了時に実施する定期試験 85%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストは全クラス終了後、解答を開示します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 新食品・栄養科学シリーズ 食品加工学(第2版) 著者名:西村公雄・松井徳光 編 出版社:化学同人 (9784760000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	食品加工学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宮本 有香		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 様々な食品素材について、加工方法や各種貯蔵法の原理と微生物との関わり、特定保健用食品、遺伝子組み換え食品等について理解する。</p> <p>[授業概要] 現代の多様なライフスタイルの変化に伴い、加工食品は食生活に幅広く利用されており、その目的は、栄養面から経済面まで多岐にわたっている。すなわち、食品の素材や加工、保存方法などをしっかり理解する事が、健全な食生活、安全性にもつながっている。食品加工学では、食品素材の特性、食品加工の原理、食品貯蔵法の原理と微生物との関わりについて講義する。また、健康増進を目的とした加工食品や遺伝子組み換え食品についても講義する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業計画に従い講義を進めるため、教科書および配布資料(manaba)に目を通し予習しておく事。 身近な加工食品についてのトピックスに関心を持っておく。 各回、予習復習を合わせ4時間程度。 各回、授業終了後に配布する「まとめ」内容を中心にしっかりと復習を行い、小テスト(manaba)を受験しておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. 食生活と食品加工学、食品の加工方法(物理的、化学的、生物的加工方法) 2. 食品の保存法(食品中の水分、pH、温度による保存、燻煙) 3. 食品の保存法(滅菌、除菌、殺菌、食品照射、空気組成、添加物による保存、包装素材について) 4. 農産食品の加工(1) 5. 農産食品の加工(2) 6. 畜産食品の加工(1) 7. 畜産食品の加工(2) 8. 水産食品の加工(1) 9. 水産食品の加工(2) 10. 食用油脂および調味食品 11. 嗜好食品およびインスタント食品 12. 加工食品の規格と表示制度(1) 13. 加工食品の企画と表示制度(2)(遺伝子組み換え食品を含む) 14. 試験</p>			

科目名	食品加工学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宮本 有香		
<p>[成績評価方法] 各授業終了後実施している小テスト(manaba) 15% 授業終了時に実施する定期試験 85%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストは全クラス終了後、解答を開示します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 新食品・栄養科学シリーズ 食品加工学(第2版) 著者名:西村公雄・松井徳光 編 出版社:化学同人 (9784760000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	食品加工学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宮本 有香		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 様々な食品素材について、加工方法や各種貯蔵法の原理と微生物との関わり、特定保健用食品、遺伝子組み換え食品等について理解する。</p> <p>[授業概要] 現代の多様なライフスタイルの変化に伴い、加工食品は食生活に幅広く利用されており、その目的は、栄養面から経済面まで多岐にわたっている。すなわち、食品の素材や加工、保存方法などをしっかり理解する事が、健全な食生活、安全性にもつながっている。食品加工学では、食品素材の特性、食品加工の原理、食品貯蔵法の原理と微生物との関わりについて講義する。また、健康増進を目的とした加工食品や遺伝子組み換え食品についても講義する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業計画に従い講義を進めるため、教科書および配布資料(manaba)に目を通し予習しておく事。 身近な加工食品についてのトピックスに関心を持っておく。 各回、予襲復讐を合わせ4時間程度。 各回、授業終了後に配布する「まとめ」内容を中心にしっかりと復習を行い、小テスト(manaba)を受験しておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. 食生活と食品加工学、食品の加工方法(物理的、化学的、生物的加工方法) 2. 食品の保存法(食品中の水分、pH、温度による保存、燻煙) 3. 食品の保存法(滅菌、除菌、殺菌、食品照射、空気組成、添加物による保存、包装素材について) 4. 農産食品の加工(1) 5. 農産食品の加工(2) 6. 畜産食品の加工(1) 7. 畜産食品の加工(2) 8. 水産食品の加工(1) 9. 水産食品の加工(2) 10. 食用油脂および調味食品 11. 嗜好食品およびインスタント食品 12. 加工食品の規格と表示制度(1) 13. 加工食品の企画と表示制度(2)(遺伝子組み換え食品を含む) 14. 試験</p>			

科目名	食品加工学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宮本 有香		
<p>[成績評価方法] 各授業終了後実施している小テスト(manaba) 15% 授業終了時に実施する定期試験 85%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストは全クラス終了後、解答を開示します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 新食品・栄養科学シリーズ 食品加工学(第2版) 著者名:西村公雄・松井徳光 編 出版社:化学同人 (9784760000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	食品加工学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宮本 有香		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 様々な食品素材について、加工方法や各種貯蔵法の原理と微生物との関わり、特定保健用食品、遺伝子組み換え食品等について理解する。</p> <p>[授業概要] 現代の多様なライフスタイルの変化に伴い、加工食品は食生活に幅広く利用されており、その目的は、栄養面から経済面まで多岐にわたっている。すなわち、食品の素材や加工、保存方法などをしっかり理解する事が、健全な食生活、安全性にもつながっている。食品加工学では、食品素材の特性、食品加工の原理、食品貯蔵法の原理と微生物との関わりについて講義する。また、健康増進を目的とした加工食品や遺伝子組み換え食品についても講義する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業計画に従い講義を進めるため、教科書および配布資料(manaba)に目を通し予習しておく事。 身近な加工食品についてのトピックスに関心を持っておく。 各回、予習復習を合わせ4時間程度。 各回、授業終了後に配布する「まとめ」内容を中心にしっかりと復習を行い、小テスト(manaba)を受験しておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. 食生活と食品加工学、食品の加工方法(物理的、化学的、生物的加工方法) 2. 食品の保存法(食品中の水分、pH、温度による保存、燻煙) 3. 食品の保存法(滅菌、除菌、殺菌、食品照射、空気組成、添加物による保存、包装素材について) 4. 農産食品の加工(1) 5. 農産食品の加工(2) 6. 畜産食品の加工(1) 7. 畜産食品の加工(2) 8. 水産食品の加工(1) 9. 水産食品の加工(2) 10. 食用油脂および調味食品 11. 嗜好食品およびインスタント食品 12. 加工食品の規格と表示制度(1) 13. 加工食品の企画と表示制度(2)(遺伝子組み換え食品を含む) 14. 試験</p>			

科目名	食品加工学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宮本 有香		
<p>[成績評価方法] 各授業終了後実施している小テスト(manaba) 15% 授業終了時に実施する定期試験 85%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストは全クラス終了後、解答を開示します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 新食品・栄養科学シリーズ 食品加工学(第2版) 著者名:西村公雄・松井徳光 編 出版社:化学同人 (9784760000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	食品加工学実習		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	宮本 有香			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 様々な加工食品を実際に作ることで、食品素材の性質やその製造原理、貯蔵中に生じる成分変化について深く理解する事を目標とする。 実習中に得られたデータを元にレポートにて考察ができるようになることを目標とする。</p> <p>[授業概要] ライフスタイルの変化により、現代の食生活には加工食品の活用が必要不可欠となっている。本実験では、実際に加工食品を製造する事で、食品加工学で学んだ加工食品に用いられる食品素材の性質や、加工食品の製造原理、貯蔵中に生じる成分変化について科学的に理解することを目的としている。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の実習内容について事前に教科書等で予習を行い、操作手順の確認、評価方法の検討を行っておくこと 配布資料は全てmanabaに掲載します。各自で事前に準備しておくこと(当日のプリント配布は行いません)</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション・水飴製造実験準備(麦芽の調製・観察、じゃがいもでんぷんの観察)・バター製造実験 2. 麦芽調製(乾燥麦芽の粉碎・水飴製造準備)・こんにやく製造実験 3. 水飴製造実験 4. チーズ製造実験 5. 餡製造実験・米麴調製(味噌製造実験準備) 6. 缶詰製造実験(柑橘類のシロップ漬け・缶詰保存方法について) 7. 味噌製造実験 8. ソーセージ製造実験 9. アイスクリーム製造実験 10. 製麺実験(うどん・中華麺) 11. 豆腐製造実験 12. かまぼこ製造実験 13. 製パン実験 14. 試験</p>				

科目名	食品加工学実習	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮本 有香		
<p>[成績評価方法] レポート課題85% 試験15%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回の実習でレポート採点、解説を行い、次回のレポート作成につなげる。 試験の答案を回収後解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 新食品・栄養科学シリーズ 食品加工学(第2版) 著者名:西村公雄・松井徳光 編 出版社:化学同人 (9784760000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

S80640 [HDB2-007]

科目名	食品加工学実習		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	宮本 有香			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 様々な加工食品を実際に作ることで、食品素材の性質やその製造原理、貯蔵中に生じる成分変化について深く理解する事を目標とする。 実習中に得られたデータを元にレポートにて考察ができるようになることを目標とする。</p> <p>[授業概要] ライフスタイルの変化により、現代の食生活には加工食品の活用が必要不可欠となっている。本実験では、実際に加工食品を製造する事で、食品加工学で学んだ加工食品に用いられる食品素材の性質や、加工食品の製造原理、貯蔵中に生じる成分変化について科学的に理解することを目的としている。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の実習内容について事前に教科書等で予習を行い、操作手順の確認、評価方法の検討を行っておくこと 配布資料は全てmanabaに掲載します。各自で事前に準備しておくこと(当日のプリント配布は行いません)</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション・水飴製造実験準備(麦芽の調製・観察、じゃがいもでんぷんの観察)・バター製造実験 2. 麦芽調製(乾燥麦芽の粉碎・水飴製造準備)・こんにやく製造実験 3. 水飴製造実験 4. チーズ製造実験 5. 餡製造実験・米麴調製(味噌製造実験準備) 6. 缶詰製造実験(柑橘類のシロップ漬け・缶詰保存方法について) 7. 味噌製造実験 8. ソーセージ製造実験 9. アイスクリーム製造実験 10. 製麺実験(うどん・中華麺) 11. 豆腐製造実験 12. かまぼこ製造実験 13. 製パン実験 14. 試験</p>				

科目名	食品加工学実習	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮本 有香		
<p>[成績評価方法] レポート課題85% 試験15%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回の実習でレポート採点、解説を行い、次回のレポート作成につなげる。 試験の答案を回収後解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 新食品・栄養科学シリーズ 食品加工学(第2版) 著者名:西村公雄・松井徳光 編 出版社:化学同人 (9784760000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

S80641 [HDB2-007]

科目名	食品加工学実習		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	宮本 有香			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 様々な加工食品を実際に作ることで、食品素材の性質やその製造原理、貯蔵中に生じる成分変化について深く理解する事を目標とする。 実習中に得られたデータを元にレポートにて考察ができるようになることを目標とする。</p> <p>[授業概要] ライフスタイルの変化により、現代の食生活には加工食品の活用が必要不可欠となっている。本実験では、実際に加工食品を製造する事で、食品加工学で学んだ加工食品に用いられる食品素材の性質や、加工食品の製造原理、貯蔵中に生じる成分変化について科学的に理解することを目的としている。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の実習内容について事前に教科書等で予習を行い、操作手順の確認、評価方法の検討を行っておくこと 配布資料は全てmanabaに掲載します。各自で事前に準備しておくこと(当日のプリント配布は行いません)</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション・水飴製造実験準備(麦芽の調製・観察、じゃがいもでんぷんの観察)・バター製造実験 2. 麦芽調製(乾燥麦芽の粉碎・水飴製造準備)・こんにやく製造実験 3. 水飴製造実験 4. チーズ製造実験 5. 餡製造実験・米麴調製(味噌製造実験準備) 6. 缶詰製造実験(柑橘類のシロップ漬け・缶詰保存方法について) 7. 味噌製造実験 8. ソーセージ製造実験 9. アイスクリーム製造実験 10. 製麺実験(うどん・中華麺) 11. 豆腐製造実験 12. かまぼこ製造実験 13. 製パン実験 14. 試験</p>				

科目名	食品加工学実習	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮本 有香		
<p>[成績評価方法] レポート課題85% 試験15%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回の実習でレポート採点、解説を行い、次回のレポート作成につなげる。 試験の答案を回収後解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 新食品・栄養科学シリーズ 食品加工学(第2版) 著者名:西村公雄・松井徳光 編 出版社:化学同人 (9784760000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

S80642 [HDB2-007]

科目名	食品加工学実習		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	宮本 有香			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 様々な加工食品を実際に作ることで、食品素材の性質やその製造原理、貯蔵中に生じる成分変化について深く理解する事を目標とする。 実習中に得られたデータを元にレポートにて考察ができるようになることを目標とする。</p> <p>[授業概要] ライフスタイルの変化により、現代の食生活には加工食品の活用が必要不可欠となっている。本実験では、実際に加工食品を製造する事で、食品加工学で学んだ加工食品に用いられる食品素材の性質や、加工食品の製造原理、貯蔵中に生じる成分変化について科学的に理解することを目的としている。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の実習内容について事前に教科書等で予習を行い、操作手順の確認、評価方法の検討を行っておくこと 配布資料は全てmanabaに掲載します。各自で事前に準備しておくこと(当日のプリント配布は行いません)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・水飴製造実験準備(麦芽の調製・観察、じゃがいもでんぷんの観察)・バター製造実験 2. 麦芽調製(乾燥麦芽の粉碎・水飴製造準備)・こんにやく製造実験 3. 水飴製造実験 4. チーズ製造実験 5. 餡製造実験・米麴調製(味噌製造実験準備) 6. 缶詰製造実験(柑橘類のシロップ漬け・缶詰保存方法について) 7. 味噌製造実験 8. ソーセージ製造実験 9. アイスcream製造実験 10. 製麺実験(うどん・中華麺) 11. 豆腐製造実験 12. かまぼこ製造実験 13. 製パン実験 14. 試験 				

科目名	食品加工学実習	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮本 有香		
<p>[成績評価方法] レポート課題85% 試験15%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回の実習でレポート採点、解説を行い、次回のレポート作成につなげる。 試験の答案を回収後解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 新食品・栄養科学シリーズ 食品加工学(第2版) 著者名:西村公雄・松井徳光 編 出版社:化学同人 (9784760000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

S80643 [HDB2-007]

科目名	食品機器分析	前期	2 単位
サブタイトル	機器分析の理論を学ぶ	講義	
担当者	木村 万里子、狩野 百合子、田村 奈緒子、稲垣 善茂、安藤 清一、甲斐 達男		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 機器分析の理論を理解する。</p> <p>[授業概要] 各種分析法の基礎を理解し、機器分析の理論の概略を学ぶ。講義は6人の教員によってオムニバス形式で行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業の復習し、理解を深めて、次回の授業の準備を行うこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション:分析化学の概念(担当: 狩野) 2. 水素イオン濃度・浸透圧測定(担当: 安藤) 3. 吸光度の原理と測定(担当: 安藤) 4. 放射性同位元素、安定同位元素の利用(担当: 狩野) 5. DNAシーケンサー(担当: 稲垣) 6. プロテインシーケンサー(担当: 稲垣) 7. NMR,X線構造解析(担当: 田村) 8. 顕微鏡、CD他(担当: 田村) 9. 電気泳動、プロットイング(担当: 田村) 10. ガスクロマトグラフィー(理論)(担当: 甲斐) 11. ガスクロマトグラフィー(実験)(担当: 甲斐) 12. 液体クロマトグラフィー(理論)(担当: 木村) 13. 液体クロマトグラフィー(実験)(担当: 木村) 			

科目名	食品機器分析	前期	2 単位
サブタイトル	機器分析の理論を学ぶ	講義	
担当者	木村 万里子、狩野 百合子、田村 奈緒子、稲垣 善茂、安藤 清一、甲斐 達男		
<p>[成績評価方法] 授業態度(50%)、授業中小テスト(10%)、レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に解説する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:小テスト、レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小テスト、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:小テスト、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:小テスト、レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] 適宜指示する。</p>			

科目名	食料経済	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	片上 敏喜		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

- ①「食べる」ということについて深く理解することができる
- ②食品の生産から流通、消費までの仕組みと課題を理解できるようになる
- ③私たちに有効で安定したフードシステムを形成するための諸条件について考えることができる
- ④フードスペシャリスト資格試験に必要な食品の流通と消費についての知識を身につける

[授業概要]

食品は生きるうえで不可欠なものであり、かつ身近なものである一方、その背後にある生産・流通のシステムは複雑化・多様化しており、私たち消費者からは見えにくいという状況があります。本講義では、食生活の変化、食品が農場から食卓に至るまでの仕組み、生産・加工・流通に関わる事業主体の行動や各段階の特徴について解説を行います。また、私たちが直面している食をめぐる問題や課題についてもとりあげて議論し、「食べるということ」の意味について理解を深めます。海外に多くの食料を依存するわが国の実態から、将来に食の不安を招かないためにも、現在抱える「食と農」の問題の所在を明らかにし、これからの食の在り方を問いかけます。また地域との関わりをもつ様々な食品生産・流通や消費、食品をめぐる制度などの最新情報と実態を盛り込んだ講義を行います。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

日々の生活の中から食と農に関連する出来事に関心を持ち、新聞やニュースなどを通じて日常的に情報を収集してください。

[授業計画]

1. 食料経済を学ぶためのプロローグ
食生活や食品生産・流通の仕組みを理解する意義について
2. 食品の種類と分類
様々な食品の特徴について多様な方向から考える
3. 生活形態と食市場、食品産業
現在の私たちの食生活の特徴について理解する。食生活の形態の変化や、変化の要因について
4. 食品消費の変化の様子
様々な食品の消費量の変化の様子について学ぶ
5. 食品加工・流通技術の発展
現在の食生活を支える食品加工・流通技術の役割や特徴等について
6. 流通業の種類と役割
流通業の種類と役割、社会における重要性について
7. 生鮮食品の流通
生鮮品の流通に大きな役割を果たしている卸売市場について、その役割と近年の動向を学ぶ
8. 加工食品の流通
加工食品の流通に欠かせない食品問屋(食品卸)の役割について
9. 食品小売業の種類と役割
食品小売業の様々な業種・業態について、その運営の仕組みや取り扱う商品の特徴を学ぶ
10. チェーンオペレーションによる食の供給(外食産業編)
外食産業の成立過程やチェーンレストランの運営の仕組み、食材供給システムなどについて学ぶ
11. チェーンオペレーションによる食の供給(コンビニ編)
コンビニエンスストアを例に、その運営の仕組みや今後の動向などについて学ぶ
12. 食品の安全確保
食品の安全確保のための考え方や、そのための仕組みを解説する。企業における食品安全管理システムなどを学ぶ
13. 全体の取りまとめ
現在の社会・経済の動きと「食と農」の関係について学ぶ

科目名	食料経済	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	片上 敏喜		
<p>[成績評価方法] レポート課題(60%)、授業への参加態度および授業中に出题する課題など(40%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートや授業内で提出された課題等は、次回の講義内で紹介・解説します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『四訂 食品の消費と流通』 著者名:(公社)日本フードスペシャリスト協会編 出版社:建帛社 (978-4-7679-0687-4) 適宜、資料を配布する</p> <p>[参考書(ISBN)] 『食料経済—フードシステムからみた食料問題』第5版 著者名:高橋正郎・清水みゆき編著 出版社:オーム社 (978-4-274-21922-1) 『フードシステム入門 —基礎からの食料経済学』 著者名:薬師寺哲郎・中川隆編著 出版社:建帛社 (978-4-7679-0636-2)</p>			

科目名	スポーツ栄養学	前期	2 単位
サブタイトル	健康スポーツと競技スポーツの栄養学	講義	
担当者	平田 庸子、平野 直美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 競技スポーツ、健康スポーツの現場でスポーツ栄養の課題に取り組み対応できるような応用力を身につけることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 運動・栄養・休養は健康づくりの三要素である。一般人にとっての運動は適度な運動であり、健康の維持・増進を目的とするが、トップアスリートにとっての運動は競技であり、成績向上を目指す。いずれにしてもそれぞれの運動の有効性を高めるためにはトレーニングだけでなく栄養の重要性が指摘されている。競技に応じた適切な栄養素をいつどのようにとれくらい摂取するか、科学的根拠に基づく栄養の取り方が競技成績を大きく左右するといっても過言ではない。スポーツ栄養学では、運動を行う一般人だけでなく運動選手にも適切な栄養指導を行うことができるよう基礎から応用の実際までを学習する。さらに、高度に洗練された専門知識と技術を有する管理栄養士として、競技スポーツ、健康スポーツのいずれの関わりにおいても、スポーツ栄養学の課題を発見し、対応する能力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 履修にあたり、基礎栄養学および運動生理学・解剖生理学を理解していることが必要であるため、復習を十分に行うこと。また、スポーツ栄養に関わる疑問等を積極的に調べ、質問をすることが大切である。各回の講義についての予習復習を行うこと(各回、予習復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 運動による健康増進(平野) 2. 運動によって変化する生理機能・身体組成(平野) 3. スポーツ・運動のエネルギー供給系(平野) * 様々なスポーツの種目とエネルギー供給 4. 運動時の栄養素の代謝と役割(平野) * 糖質・脂質・たんぱく質 5. 運動とビタミン・ミネラル、女性アスリートの三主徴(平野) 6. 運動と水分・体温調節・熱中症(平野) 7. 試合の前後の食事(平田) 8. 運動と食物摂取・献立計画(平田) 9. コンディショニング・減量と増量(平田) 10. 運動とサプリメント(平田) 11. スポーツ選手への栄養指導(平田) 12. アスリートへの献立発表 グループ1(平田) 13. アスリートへの献立発表 グループ2 まとめ(平田) 			

科目名	スポーツ栄養学	前期	2 単位
サブタイトル	健康スポーツと競技スポーツの栄養学	講義	
担当者	平田 庸子、平野 直美		

[成績評価方法]

試験(50%)、課題・発表・レポート(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

- ・試験後、解答の解説をmanabaに掲載します。
- ・課題・レポートは授業内での解説を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。

成績評価方法:試験

学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。

成績評価方法:課題・発表・レポート

学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。

成績評価方法:課題・発表・レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:課題・発表・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:課題・発表・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:試験

[教科書(ISBN)]

「スポーツ栄養学」ステップアップ・栄養・健康科学シリーズ 著者名:田中紀子・平野直美/編
出版社:化学同人 (978-4-7598-1905-2)

[参考書(ISBN)]

適宜、紹介します。

科目名	スポーツ栄養学	前期	2 単位
サブタイトル	健康スポーツと競技スポーツの栄養学	講義	
担当者	平田 庸子、平野 直美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 競技スポーツ、健康スポーツの現場でスポーツ栄養の課題に取り組み対応できるような応用力を身につけることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 運動・栄養・休養は健康づくりの三要素である。一般人にとっての運動は適度な運動であり、健康の維持・増進を目的とするが、トップアスリートにとっての運動は競技であり、成績向上を目指す。いずれにしてもそれぞれの運動の有効性を高めるためにはトレーニングだけでなく栄養の重要性が指摘されている。競技に応じた適切な栄養素をいつどのようにとれくらい摂取するか、科学的根拠に基づく栄養の取り方が競技成績を大きく左右するといっても過言ではない。スポーツ栄養学では、運動を行う一般人だけでなく運動選手にも適切な栄養指導を行うことができるよう基礎から応用の実際までを学習する。さらに、高度に洗練された専門知識と技術を有する管理栄養士として、競技スポーツ、健康スポーツのいずれの関わりにおいても、スポーツ栄養学の課題を発見し、対応する能力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 履修にあたり、基礎栄養学および運動生理学・解剖生理学を理解していることが必要であるため、復習を十分に行うこと。また、スポーツ栄養に関わる疑問等を積極的に調べ、質問をすることが大切である。各回の講義についての予習復習を行うこと(各回、予習復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 運動による健康増進(平野) 2. 運動によって変化する生理機能・身体組成(平野) 3. スポーツ・運動のエネルギー供給系(平野) * 様々なスポーツの種目とエネルギー供給 4. 運動時の栄養素の代謝と役割(平野) * 糖質・脂質・たんぱく質 5. 運動とビタミン・ミネラル、女性アスリートの三主徴(平野) 6. 運動と水分・体温調節・熱中症(平野) 7. 試合の前後の食事(平田) 8. 運動と食物摂取・献立計画(平田) 9. コンディショニング・減量と増量(平田) 10. 運動とサプリメント(平田) 11. スポーツ選手への栄養指導(平田) 12. アスリートへの献立発表 グループ1(平田) 13. アスリートへの献立発表 グループ2 まとめ(平田) 			

科目名	スポーツ栄養学	前期	2 単位
サブタイトル	健康スポーツと競技スポーツの栄養学	講義	
担当者	平田 庸子、平野 直美		
<p>[成績評価方法] 試験(50%)、課題・発表・レポート(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・試験後、解答の解説をmanabaに掲載します。 ・課題・レポートは授業内での解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:課題・発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:課題・発表・レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題・発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題・発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験</p> <p>[教科書(ISBN)] 「スポーツ栄養学」ステップアップ・栄養・健康科学シリーズ 著者名:田中紀子・平野直美/編 出版社:化学同人 (978-4-7598-1905-2)</p> <p>[参考書(ISBN)] 適宜、紹介します。</p>			

科目名	生化学 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田村 奈緒子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 生化学 I では生体内における基本的な物質、糖、たんぱく質、脂質、核酸の構造、性質を学ぶ。また、生体内の化学反応の触媒である酵素について、補酵素としてのビタミンについてその作用を理解する。</p> <p>[授業概要] 生化学とは生体内で起こる現象を化学の視点で説明する学問分野である。近年生化学は、分子レベルで生体内の化学反応を理解するという分子生物学の方向に飛躍的に進歩を遂げてきた。毎日のように新しい研究の成果が報告されている。それらを理解する基礎として生化学 I では生体を構成する基本的な物質について、その構造と機能を学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 指定した教科書の第1章 細胞と構造と機能 A 細胞の基本構造 に必ず目を通して確認しておくこと。 生物、化学で学んだ事項(細胞の構造と機能、水、炭素と基礎的有機化学)を確認しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 糖質1;糖質とは、糖質の種類、光学異性体 2. 糖質2;単糖の構造と性質、酸化還元による誘導体 3. 糖質3;二糖の構造と性質、多糖の構造と性質 4. 脂質1;脂質とは、脂質の種類 5. 脂質2;脂質の役割、脂肪酸の基本構造と性質、必須脂肪酸 6. 脂質3;脂質各論(脂肪酸、中性脂肪、リン脂質、糖脂質、コレステロール) 7. 脂質4;生体膜、リポタンパク質(キロミクロン、VLDL、LDL、HDL) 8. タンパク質1;タンパク質の分類、ペプチド結合 9. タンパク質2;必須アミノ酸、一次構造から四次構造まで 10. 核酸;構造、ヌクレオシドとヌクレオチド、DNAとRNA 11. 酵素1;活性中心と触媒作用、補酵素 12. 酵素2;最大反応速度とミカエリス定数、阻害剤の影響 13. ビタミン;水溶性ビタミン、脂溶性ビタミン、生理機能と欠乏症、過剰症 			

科目名	生化学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田村 奈緒子		
<p>[成績評価方法] 試験</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験後質問に応ずる。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験によって評価する。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:試験によって評価する</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験によって評価する</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験によって評価する</p> <p>[教科書(ISBN)] 健康・栄養科学シリーズ 生化学 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 著者名:編集 石堂一巳/福渡 努 出版社:南江堂 (978-4-524-24182-8)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	生化学 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田村 奈緒子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 生化学 I では生体内における基本的な物質、糖、たんぱく質、脂質、核酸の構造、性質を学ぶ。また、生体内の化学反応の触媒である酵素について、補酵素としてのビタミンについてその作用を理解する。</p> <p>[授業概要] 生化学とは生体内で起こる現象を化学の視点で説明する学問分野である。近年生化学は、分子レベルで生体内の化学反応を理解するという分子生物学の方向に飛躍的に進歩を遂げてきた。毎日のように新しい研究の成果が報告されている。それらを理解する基礎として生化学 I では生体を構成する基本的な物質について、その構造と機能を学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 指定した教科書の第1章 細胞と構造と機能 A 細胞の基本構造 に必ず目を通して確認しておくこと。 生物、化学で学んだ事項(細胞の構造と機能、水、炭素と基礎的有機化学)を確認しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 糖質1;糖質とは、糖質の種類、光学異性体 2. 糖質2;単糖の構造と性質、酸化還元による誘導体 3. 糖質3;二糖の構造と性質、多糖の構造と性質 4. 脂質1;脂質とは、脂質の種類 5. 脂質2;脂質の役割、脂肪酸の基本構造と性質、必須脂肪酸 6. 脂質3;脂質各論(脂肪酸、中性脂肪、リン脂質、糖脂質、コレステロール) 7. 脂質4;生体膜、リポタンパク質(キロミクロン、VLDL、LDL、HDL) 8. タンパク質1;タンパク質の分類、ペプチド結合 9. タンパク質2;必須アミノ酸、一次構造から四次構造まで 10. 核酸;構造、ヌクレオシドとヌクレオチド、DNAとRNA 11. 酵素1;活性中心と触媒作用、補酵素 12. 酵素2;最大反応速度とミカエリス定数、阻害剤の影響 13. ビタミン;水溶性ビタミン、脂溶性ビタミン、生理機能と欠乏症、過剰症 			

科目名	生化学 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田村 奈緒子		
<p>[成績評価方法] 試験</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験後質問に応ずる。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験によって評価する。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:試験によって評価する</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験によって評価する</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験によって評価する</p> <p>[教科書(ISBN)] 健康・栄養科学シリーズ 生化学 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 著者名:編集 石堂一巳/福渡 努 出版社:南江堂 (978-4-524-24182-8)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	生化学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	代謝について学ぶ	講義	
担当者	田村 奈緒子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

生体内の化学反応である代謝について理解する。食事より取り込まれる物質がどのように分解されて生化学Iで学んだ基礎的な物質となるのか、またそれらより、体にとって必要な高分子化合物がどのように合成されるのか、そして、分解され排泄されるのかを理解する。

[授業概要]

生命現象は細胞に含まれる物質の調和の取れた合成と分解並びにそれに伴うエネルギーの出し入れによって支えられている。細胞を構成する分子には分子量が百から千程度の小さな分子からなるもの(低分子化合物)と1万から百万にも達する巨大分子からなるもの(高分子化合物)とがある。これら低分子並びに高分子化合物がどのような仕組みで合成され、どのように細胞構造を組み立てて行くか、を学ぶ。さらにこのような細胞の営みに対して遺伝子はどのような情報を担い、それをどのように発現していくかを学ぶ。また、この中で健康阻害(病態)と代謝異常との関連を適宜織り込んでいく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

生化学Iで学んだ栄養素の種類、構造、役割を確認し、確実に身につけておくこと。
解剖生理学や基礎栄養学などの他の科目で学んだこととの関連性を考え、総合的に理解すること。

[授業計画]

1. 代謝のあらまし
2. 糖質代謝Ⅰ;糖質代謝のあらまし
3. 糖質代謝Ⅱ;グルコースの分解(解糖系)
4. 糖質代謝Ⅲ;グルコースの分解(クエン酸回路)
5. 糖質代謝Ⅳ;グルコースの分解(電子伝達系、グリセロールリン酸シャトル、リンゴ酸-アスパラギン酸シャトル)
6. 糖質代謝Ⅴ;糖新生、ペントースリン酸回路グリコーゲンの代謝、ガラクトース、フルクトース、マンノースの代謝
7. 脂質代謝Ⅰ;脂質の消化と吸収、脂肪酸の分解
8. 脂質代謝Ⅱ;ケトン体の生成と応用、脂肪酸の生合成
9. 脂質代謝Ⅲ;コレステロールの生合成と利用、エイコサノイドの生合成
10. タンパク質代謝Ⅰ;タンパク質の消化と吸収、 α -ケト酸を経由するアミノ酸の利用
11. タンパク質代謝Ⅱ;アミノ酸からの各種窒素化合物及び他のアミノ酸の合成
12. 核酸代謝;核酸の合成と分解、ヌクレオチドの合成と分解
13. ポルフィリン代謝;ヘムの生合成と分解、ビリルビンの代謝

科目名	生化学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	代謝について学ぶ	講義	
担当者	田村 奈緒子		
<p>[成績評価方法] 試験</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験後質問に応ずる。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験によって評価する。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:試験によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験によって評価する。</p> <p>[教科書(ISBN)] 健康・栄養科学シリーズ 生化学 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 著者名:編集 石堂一巳/福渡 努 出版社:南江堂 (978-4-524-24182-8)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	生化学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	代謝について学ぶ	講義	
担当者	田村 奈緒子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>生体内の化学反応である代謝について理解する。食事より取り込まれる物質がどのように分解されて生化学Iで学んだ基礎的な物質となるのか、またそれらより、体にとって必要な高分子化合物がどのように合成されるのか、そして、分解され排泄されるのかを理解する。</p> <p>[授業概要]</p> <p>生命現象は細胞に含まれる物質の調和の取れた合成と分解並びにそれに伴うエネルギーの出し入れによって支えられている。細胞を構成する分子には分子量が百から千程度の小さな分子からなるもの(低分子化合物)と1万から百万にも達する巨大分子からなるもの(高分子化合物)とがある。これら低分子並びに高分子化合物がどのような仕組みで合成され、どのように細胞構造を組み立てて行くか、を学ぶ。さらにこのような細胞の営みに対して遺伝子はどのような情報を担い、それをどのように発現していくかを学ぶ。また、この中で健康阻害(病態)と代謝異常との関連を適宜織り込んでいく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>生化学Iで学んだ栄養素の種類、構造、役割を確認し、確実に身につけておくこと。 解剖生理学や基礎栄養学などの他の科目で学んだこととの関連性を考え、総合的に理解すること。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 代謝のあらまし 2. 糖質代謝Ⅰ;糖質代謝のあらまし 3. 糖質代謝Ⅱ;グルコースの分解 (解糖系) 4. 糖質代謝Ⅲ;グルコースの分解 (クエン酸回路) 5. 糖質代謝Ⅳ;グルコースの分解 (電子伝達系、グリセロールリン酸シャトル、リンゴ酸-アスパラギン酸シャトル) 6. 糖質代謝Ⅴ;糖新生、ペントースリン酸回路グリコーゲンの代謝、ガラクトース、フルクトース、マンノースの代謝 7. 脂質代謝Ⅰ;脂質の消化と吸収、脂肪酸の分解 8. 脂質代謝Ⅱ;ケトン体の生成と応用、脂肪酸の生合成 9. 脂質代謝Ⅲ;コレステロールの生合成と利用、エイコサノイドの生合成 10. タンパク質代謝Ⅰ;タンパク質の消化と吸収、α-ケト酸を経由するアミノ酸の利用 11. タンパク質代謝Ⅱ;アミノ酸からの各種窒素化合物及び他のアミノ酸の合成 12. 核酸代謝;核酸の合成と分解、ヌクレオチドの合成と分解 13. ポルフィリン代謝;ヘムの生合成と分解、ビリルビンの代謝 			

科目名	生化学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	代謝について学ぶ	講義	
担当者	田村 奈緒子		
<p>[成績評価方法] 試験</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験後質問に応ずる。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験によって評価する。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:試験によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験によって評価する。</p> <p>[教科書(ISBN)] 健康・栄養科学シリーズ 生化学 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 著者名:編集 石堂一巳/福渡 努 出版社:南江堂 (978-4-524-24182-8)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	生化学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	田村 奈緒子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>最近の生化学の進歩により生化学実験には複雑な実験系と高度な技術が必要になったが、この実験では(1)高度な実験を手掛けるのに必要な基礎的実験操作と実験の進め方を習得し、大抵の生化学実験なら実験書を見れば独りで実験ができるようにすること、(2)今日の実験テーマに触れて生化学に対する興味を湧かせること、(3)科学系レポートの書き方の基本を習得すること、を目的としている。</p> <p>[授業概要]</p> <p>「酵素」では、モル濃度液の調製、pHの測定、反応速度の算出、数値の取り扱い方、などを通じて定量実験の進め方を学ぶ。</p> <p>「植物色素」では、有機溶媒による低極性有機物質の抽出、薄層クロマトおよび吸収スペクトルによる物質の分離と同定を通じて定性実験の進め方を学ぶ。また、植物性食品成分の分析への応用を図る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>生化学Iで学んだ「酵素」および「ビタミンと補酵素」について確認しておくこと。</p> <p>他の実験科目で得た実験技術、操作の意味、機械の操作手順、Data解析の仕方、考え方などを確認しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <p>1.「オリエンテーション」ガラス・プラスチック器具の洗い方と使い方、秤量と数値の取り扱い方。実験の方法、操作の意味</p> <p>2.「酵素反応およびその競争阻害の反応速度論的解析」</p> <p>トリプシンによるベンゾイルアルギニン-p-ニトロアニリドの加水分解、トシルリシンクロロメチルケトンによる阻害。</p> <p>①検量線について 次回実験操作の説明 緩衝液の調製</p> <p>②検量線の作成と係数の計算</p> <p>③トリプシンの基質濃度と反応初速度の関係</p> <p>④ミカエリス定数(K_m)と最大反応速度(V_{max})について 次回実験操作の説明</p> <p>⑤トシルリシンクロロメチルケトンによる阻害について</p> <p>⑥阻害剤のK_m、V_{max}への影響とその意味</p> <p>3.「植物はどのような色素を含むか。」</p> <p>薄層クロマトによる分離、R_f値と物質の極性との関係、吸収スペクトルの原理と測定、スペクトルによる色素の同定。プロビタミンAについて考察する。調理時の野菜の変色の解析へ繋ぐ。2回目は自分たちでテーマを決めて実験する。</p> <p>①-1植物間の比較</p> <p>②-1色素の単離</p> <p>③-1吸収スペクトルの測定</p> <p>①-2植物間の比較</p> <p>②-2色素の単離</p> <p>③-2吸収スペクトルの測定</p>			

科目名	生化学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	田村 奈緒子		
<p>[成績評価方法] レポート(40%)、その他(60% 実験中の手技、理解度、挙動 3回の遅刻は1回の欠席に相当する) レポートは添削して返却する。理解、データなどが不十分な場合は再提出を求める。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは添削して返却する。理解、データなどが不十分な場合は再提出を求める。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:レポートによって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポートによって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動により評価する。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポートによって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポートによって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポートによって評価する。</p> <p>[教科書(ISBN)] プリントを配布する。 著者名:田村奈緒子</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	生化学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	田村 奈緒子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>最近の生化学の進歩により生化学実験には複雑な実験系と高度な技術が必要になったが、この実験では(1)高度な実験を手掛けるのに必要な基礎的実験操作と実験の進め方を習得し、大抵の生化学実験なら実験書を見れば独りで実験ができるようにすること、(2)今日の実験テーマに触れて生化学に対する興味を湧かせること、(3)科学系レポートの書き方の基本を習得すること、を目的としている。</p> <p>[授業概要]</p> <p>「酵素」では、モル濃度液の調製、pHの測定、反応速度の算出、数値の取り扱い方、などを通じて定量実験の進め方を学ぶ。</p> <p>「植物色素」では、有機溶媒による低極性有機物質の抽出、薄層クロマトおよび吸収スペクトルによる物質の分離と同定を通じて定性実験の進め方を学ぶ。また、植物性食品成分の分析への応用を図る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>生化学Iで学んだ「酵素」および「ビタミンと補酵素」について確認しておくこと。</p> <p>他の実験科目で得た実験技術、操作の意味、機械の操作手順、Data解析の仕方、考え方などを確認しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <p>1.「オリエンテーション」ガラス・プラスチック器具の洗い方と使い方、秤量と数値の取り扱い方。実験の方法、操作の意味</p> <p>2.「酵素反応およびその競争阻害の反応速度論的解析」</p> <p>トリプシンによるベンゾイルアルギニン-p-ニトロアニリドの加水分解、トシルリシンクロロメチルケトンによる阻害。</p> <p>①検量線について 次回実験操作の説明 緩衝液の調製</p> <p>②検量線の作成と係数の計算</p> <p>③トリプシンの基質濃度と反応初速度の関係</p> <p>④ミカエリス定数(K_m)と最大反応速度(V_{max})について 次回実験操作の説明</p> <p>⑤トシルリシンクロロメチルケトンによる阻害について</p> <p>⑥阻害剤のK_m、V_{max}への影響とその意味</p> <p>3.「植物はどのような色素を含むか。」</p> <p>薄層クロマトによる分離、R_f値と物質の極性との関係、吸収スペクトルの原理と測定、スペクトルによる色素の同定。プロビタミンAについて考察する。調理時の野菜の変色の解析へ繋ぐ。2回目は自分たちでテーマを決めて実験する。</p> <p>①-1植物間の比較</p> <p>②-1色素の単離</p> <p>③-1吸収スペクトルの測定</p> <p>①-2植物間の比較</p> <p>②-2色素の単離</p> <p>③-2吸収スペクトルの測定</p>			

科目名	生化学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	田村 奈緒子		
<p>[成績評価方法] レポート(40%)、その他(60% 実験中の手技、理解度、挙動 3回の遅刻は1回の欠席に相当する) レポートは添削して返却する。理解、データなどが不十分な場合は再提出を求める。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは添削して返却する。理解、データなどが不十分な場合は再提出を求める。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:レポートによって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポートによって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動により評価する。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポートによって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポートによって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポートによって評価する。</p> <p>[教科書(ISBN)] プリントを配布する。 著者名:田村奈緒子</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	生化学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	田村 奈緒子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 最近の生化学の進歩により生化学実験には複雑な実験系と高度な技術が必要になったが、この実験では(1)高度な実験を手掛けるのに必要な基礎的実験操作と実験の進め方を習得し、大抵の生化学実験なら実験書を見れば独りで実験ができるようにすること、(2)今日の実験テーマに触れて生化学に対する興味を湧かせること、(3)科学系レポートの書き方の基本を習得すること、を目的としている。</p> <p>[授業概要] 「酵素」では、モル濃度液の調製、pHの測定、反応速度の算出、数値の取り扱い方、などを通じて定量実験の進め方を学ぶ。 「植物色素」では、有機溶媒による低極性有機物質の抽出、薄層クロマトおよび吸収スペクトルによる物質の分離と同定を通じて定性実験の進め方を学ぶ。また、植物性食品成分の分析への応用を図る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 生化学Iで学んだ「酵素」および「ビタミンと補酵素」について確認しておくこと。 他の実験科目で得た実験技術、操作の意味、機械の操作手順、Data解析の仕方、考え方などを確認しておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. 「オリエンテーション」ガラス・プラスチック器具の洗い方と使い方、秤量と数値の取り扱い方。実験の方法、操作の意味 2. 「酵素反応およびその競争阻害の反応速度論的解析」 トリプシンによるベンゾイルアルギニン-p-ニトロアニリドの加水分解、トシルリシンクロロメチルケトンによる阻害。 ①検量線について 次回実験操作の説明 緩衝液の調製 ②検量線の作成と係数の計算 ③トリプシンの基質濃度と反応初速度の関係 ④ミカエリス定数(Km)と最大反応速度(Vmax)について 次回実験操作の説明 ⑤トシルリシンクロロメチルケトンによる阻害について ⑥阻害剤のKm、Vmaxへの影響とその意味 3. 「植物はどのような色素を含むか。」 薄層クロマトによる分離、Rf値と物質の極性との関係、吸収スペクトルの原理と測定、スペクトルによる色素の同定。プロビタミンAについて考察する。調理時の野菜の変色の解析へ繋ぐ。2回目は自分たちでテーマを決めて実験する。 ①-1植物間の比較 ②-1色素の単離 ③-1吸収スペクトルの測定 ①-2植物間の比較 ②-2色素の単離 ③-2吸収スペクトルの測定</p>			

科目名	生化学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	田村 奈緒子		
<p>[成績評価方法] レポート(40%)、その他(60% 実験中の手技、理解度、挙動 3回の遅刻は1回の欠席に相当する) レポートは添削して返却する。理解、データなどが不十分な場合は再提出を求める。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは添削して返却する。理解、データなどが不十分な場合は再提出を求める。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:レポートによって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポートによって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動により評価する。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポートによって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポートによって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポートによって評価する。</p> <p>[教科書(ISBN)] プリントを配布する。 著者名:田村奈緒子</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	生化学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	田村 奈緒子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>最近の生化学の進歩により生化学実験には複雑な実験系と高度な技術が必要になったが、この実験では(1)高度な実験を手掛けるのに必要な基礎的実験操作と実験の進め方を習得し、大抵の生化学実験なら実験書を見れば独りで実験ができるようにすること、(2)今日の実験テーマに触れて生化学に対する興味を湧かせること、(3)科学系レポートの書き方の基本を習得すること、を目的としている。</p> <p>[授業概要]</p> <p>「酵素」では、モル濃度液の調製、pHの測定、反応速度の算出、数値の取り扱い方、などを通じて定量実験の進め方を学ぶ。</p> <p>「植物色素」では、有機溶媒による低極性有機物質の抽出、薄層クロマトおよび吸収スペクトルによる物質の分離と同定を通じて定性実験の進め方を学ぶ。また、植物性食品成分の分析への応用を図る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>生化学Iで学んだ「酵素」および「ビタミンと補酵素」について確認しておくこと。</p> <p>他の実験科目で得た実験技術、操作の意味、機械の操作手順、Data解析の仕方、考え方などを確認しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <p>1.「オリエンテーション」ガラス・プラスチック器具の洗い方と使い方、秤量と数値の取り扱い方。実験の方法、操作の意味</p> <p>2.「酵素反応およびその競争阻害の反応速度論的解析」</p> <p>トリプシンによるベンゾイルアルギニン-p-ニトロアニリドの加水分解、トシルリシンクロロメチルケトンによる阻害。</p> <p>①検量線について 次回実験操作の説明 緩衝液の調製</p> <p>②検量線の作成と係数の計算</p> <p>③トリプシンの基質濃度と反応初速度の関係</p> <p>④ミカエリス定数(K_m)と最大反応速度(V_{max})について 次回実験操作の説明</p> <p>⑤トシルリシンクロロメチルケトンによる阻害について</p> <p>⑥阻害剤のK_m、V_{max}への影響とその意味</p> <p>3.「植物はどのような色素を含むか。」</p> <p>薄層クロマトによる分離、R_f値と物質の極性との関係、吸収スペクトルの原理と測定、スペクトルによる色素の同定。プロビタミンAについて考察する。調理時の野菜の変色の解析へ繋ぐ。2回目は自分たちでテーマを決めて実験する。</p> <p>①-1植物間の比較</p> <p>②-1色素の単離</p> <p>③-1吸収スペクトルの測定</p> <p>①-2植物間の比較</p> <p>②-2色素の単離</p> <p>③-2吸収スペクトルの測定</p>			

科目名	生化学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	田村 奈緒子		
<p>[成績評価方法] レポート(40%)、その他(60% 実験中の手技、理解度、挙動 3回の遅刻は1回の欠席に相当する) レポートは添削して返却する。理解、データなどが不十分な場合は再提出を求める。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは添削して返却する。理解、データなどが不十分な場合は再提出を求める。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:レポートによって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポートによって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動により評価する。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実験中の手技、理解度、挙動により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポートによって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポートによって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポートによって評価する。</p> <p>[教科書(ISBN)] プリントを配布する。 著者名:田村奈緒子</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	生活経営学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	ガンガ 伸子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 生活を経営(マネジメント)することの意味を理解すること。 家族関係と生活経済に関する基礎的内容を理解すること。</p> <p>[授業概要] 私たちは、ヒト、モノ、ココロ、時間などの生活資源をもっており、それらを活用して幸福な生活を送りたいと願っている。本授業では、社会とのかかわり中で、生活をマネジメントするというのとはどういうことかを考えていく。具体的には、家族・家庭や個人のあり方、生活経済のしくみ、さらにリスクや生活保障に関する内容を学習することから、生活経営の課題について解説する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 生活経営の内容は、家族、家庭、生活経済、生活保障等多岐にわたる。日ごろから、生活経営に関する話題に関心をもつこと。</p> <p>[授業計画] 1. イントロダクション、家族を考える:変容する家族 2. 家族を考える:ゆれる男女の役割と家族、これからの家族を考える 3. 女性の就労 4. 国民経済の中の家計 5. 家計のしくみ 6. ライフステージの各段階での家計 7. 現在と将来の生活バランス 8. 社会の変化と家庭経済の変容 9. 消費社会を生きる(消費者問題の現在、コンシューマリズムの確立と消費者の権利) 10. 消費社会を生きる(消費者の行動と消費者主権:市場経済と消費者主権、購入と消費者行動) 11. 生活におけるリスクと生活保障 12. 子どもと育つ 13. 老いを生きる、まとめ、定期試験 外部講師による生活設計・リスク管理の講座も予定している。</p>			

科目名	生活経営学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	ガンガ 伸子		
<p>[成績評価方法] 30分以上の遅刻は欠席とみなす。 授業時における小テストと課題評価(30%)、定期試験(70%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時に、小テストと課題のポイントを解説する。 定期試験は授業時の解説をもとに、自己採点すること。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)]</p>			

S82340 [HDS3-005]

科目名	生活情報処理Ⅱ(推定と検定)	後期	1単位
サブタイトル		演習	
担当者	山下 義史		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 推測統計の基礎およびエクセルによるデータ分析法の習得</p> <p>[授業概要] Iの続きとして、推測統計学の基礎と表計算ソフトウェアを活用したデータ分析の方法を習得する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] エクセルの基礎的な知識を前提とする。前回の授業内容を復習しておくこと。</p> <p>[授業計画] 1.前期の復習, 推測統計の考え方 2.エクセルの基本操作, 関数の活用 3.標本抽出, 平均, 標準誤差, 不偏分散 4.母平均の区間推定 5.統計的仮説検定の考え方 6. χ^2検定 7.t検定(対応なし) 8.t検定(対応あり) 9.実験計画と1要因分散分析 10.2要因分散分析 11.相関係数 12.回帰分析 13.演習, まとめ</p>			

科目名	生活情報処理Ⅱ(推定と検定)	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山下 義史		
<p>[成績評価方法] 課題(80%)、授業における貢献度(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内またはmanabaにてフィードバックを行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	生活情報処理Ⅱ(推定と検定)	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山下 義史		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 推測統計の基礎およびエクセルによるデータ分析法の習得</p> <p>[授業概要] I の続きとして、推測統計学の基礎と表計算ソフトウェアを活用したデータ分析の方法を習得する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] エクセルの基礎的な知識を前提とする。前回の授業内容を復習しておくこと。</p> <p>[授業計画] 1.前期の復習, 推測統計の考え方 2.エクセルの基本操作, 関数の活用 3.標本抽出, 平均, 標準誤差, 不偏分散 4.母平均の区間推定 5.統計的仮説検定の考え方 6. χ^2検定 7.t検定(対応なし) 8.t検定(対応あり) 9.実験計画と1要因分散分析 10.2要因分散分析 11.相関係数 12.回帰分析 13.演習, まとめ</p>			

科目名	生活情報処理Ⅱ(推定と検定)	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山下 義史		
<p>[成績評価方法] 課題(80%)、授業における貢献度(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内またはmanabaにてフィードバックを行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	生活情報処理Ⅱ(推定と検定)	後期	1単位
サブタイトル		演習	
担当者	森山 潤		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

推測統計の基礎およびエクセルによるデータ分析法の習得

[授業概要]

Iの続きとして、推測統計学の基礎と表計算ソフトウェアを活用したデータ分析の方法を習得する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

エクセルの基礎的な知識を前提とする。前回の授業内容を復習しておくこと。

[授業計画]

- 1.前期の復習, 推測統計の考え方
- 2.エクセルの基本操作, 関数の活用
- 3.標本抽出, 平均, 標準誤差, 不偏分散
- 4.母平均の区間推定
- 5.統計的仮説検定の考え方
6. χ^2 検定
- 7.t検定(対応なし)
- 8.t検定(対応あり)
- 9.実験計画と1要因分散分析
- 10.2要因分散分析
- 11.相関係数
- 12.回帰分析
- 13.演習, まとめ

科目名	生活情報処理Ⅱ(推定と検定)	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	森山 潤		
<p>[成績評価方法] 課題(80%)、授業における貢献度(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内またはmanabaにてフィードバックを行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	生活情報処理Ⅱ(推定と検定)	後期	1単位
サブタイトル		演習	
担当者	中尾 尊洋		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 推測統計の基礎およびエクセルによるデータ分析法の習得</p> <p>[授業概要] Iの続きとして、推測統計学の基礎と表計算ソフトウェアを活用したデータ分析の方法を習得する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] エクセルの基礎的な知識を前提とする。前回の授業内容を復習しておくこと。</p> <p>[授業計画] 1.前期の復習, 推測統計の考え方 2.エクセルの基本操作, 関数の活用 3.標本抽出, 平均, 標準誤差, 不偏分散 4.母平均の区間推定 5.統計的仮説検定の考え方 6. χ^2検定 7.t検定(対応なし) 8.t検定(対応あり) 9.実験計画と1要因分散分析 10.2要因分散分析 11.相関係数 12.回帰分析 13.演習, まとめ</p>			

科目名	生活情報処理Ⅱ(推定と検定)	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中尾 尊洋		
<p>[成績評価方法] 課題(80%)、授業における貢献度(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内またはmanabaにてフィードバックを行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 資料配布</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	生活情報処理実習 I (基礎統計学を含む)	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	野坂 咲耶		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] Excelの基本的な利用法および統計的処理の方法を修得する。</p> <p>[授業概要] 近年はあらゆる分野においてデジタルへの移行が進み、管理栄養士の業務においてもIT化を進めることが急務である。また、データの分析結果について研究発表を行えることは、今後管理栄養士にとって重要なスキルと成り得る。本実習では、基礎的なコンピュータ活用方法や表計算ソフト(Excel)を用いての初歩統計学を含むデータ処理・分析方法およびその意義を学び、調査結果を発表することを目標とする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業時に指示する。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、Excel操作の概要 2. Excelの基本操作① 3. Excelの基本操作② 4. 管理栄養士と情報、EBN① 5. 管理栄養士と情報、EBN② 6. 管理栄養士と情報、EBN③ 7. 管理栄養士と情報、EBN④ 8. 基礎統計① 9. 基礎統計② 10. 基礎統計③ 11. 演習-発表資料作成①データ分析 12. 演習-発表資料作成②PowerPointスライド作成 13. 発表、まとめ 			

科目名	生活情報処理実習 I (基礎統計学を含む)	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	野坂 咲耶		
<p>[成績評価方法] 課題提出(70%)、発表(30%)で評価</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを通じて、課題の評価およびフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	生活情報処理実習 I (基礎統計学を含む)	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	平田 真弓		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] Excelの基本的な利用法および統計処理の方法を修得する。</p> <p>[授業概要] 私たちの身の回りには、無数のデータが存在している。ある程度以上のデータにはバラツキが伴うが、そのバラツキのあるデータの性質を調べたり、大きなデータ(母集団)から一部を抽出し、そのデータ(標本)の性質を調べることで、元の大きなデータの性質を推測したりするための方法論を体系化したものが統計学である。本講義では、広く普及している表計算ソフト(Excel)を用いてデータを分析するスキルと知識を身に付ける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 復習課題と予習課題を授業時に指示する。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. Excelの基本操作① 3. Excelの基本操作② 4. グラフの作成① 5. グラフの作成② 6. データの処理・集計① 7. データの処理・集計② 8. アンケート集計① 9. アンケート集計② 10. 統計解析① 11. 統計解析② 12. 統計解析③ 13. まとめ 			

科目名	生活情報処理実習 I (基礎統計学を含む)	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	平田 真弓		
<p>[成績評価方法] 課題(100%)にて評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 次回授業の初めに全体的な傾向についてのコメントをする。 また、必要である場合にはmanabaにて個別に対応する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:課題 レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:課題 レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題 レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題 レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題 レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし(資料配布)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	生活情報処理実習 I (基礎統計学を含む)	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	竹田 和恵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] Excelの基本的な利用法および統計的処理の方法を修得する。</p> <p>[授業概要] 情報化が急速に進む現代では、栄養管理・指導を含めた管理栄養士の業務においても統計学の知識を用いて、データの活用や分析を行うことが今後さらに不可欠になると予測される。そのためには、基礎のコンピュータ活用方法から基本的な統計処理法までを系統立てて学ぶ必要がある。本講義では、広く普及している表計算ソフト(Excel)を用いて統計的手法でデータを分析するスキルと知識を身に付ける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業時に指示する。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. Excelの基本操作① 3. Excelの基本操作② 4. グラフの作成① 5. グラフの作成② 6. データの処理・集計① 7. データの処理・集計② 8. アンケート集計① 9. アンケート集計② 10. 統計解析① 11. 統計解析② 12. 統計解析③ 13. まとめ 			

科目名	生活情報処理実習 I (基礎統計学を含む)	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	竹田 和恵		
<p>[成績評価方法] 課題提出(100%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で必要に応じて適宜行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	生活情報処理実習 I (基礎統計学を含む)	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	平田 真弓		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] Excelの基本的な利用法および統計処理の方法を修得する。</p> <p>[授業概要] 私たちの身の回りには、無数のデータが存在している。ある程度以上のデータにはバラツキが伴うが、そのバラツキのあるデータの性質を調べたり、大きなデータ(母集団)から一部を抽出し、そのデータ(標本)の性質を調べることで、元の大きなデータの性質を推測したりするための方法論を体系化したものが統計学である。本講義では、広く普及している表計算ソフト(Excel)を用いてデータを分析するスキルと知識を身に付ける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 復習課題と予習課題を授業時に指示する。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. Excelの基本操作① 3. Excelの基本操作② 4. グラフの作成① 5. グラフの作成② 6. データの処理・集計① 7. データの処理・集計② 8. アンケート集計① 9. アンケート集計② 10. 統計解析① 11. 統計解析② 12. 統計解析③ 13. まとめ 			

科目名	生活情報処理実習 I (基礎統計学を含む)	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	平田 真弓		
<p>[成績評価方法] 課題(100%)にて評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 次回授業の初めに全体的な傾向についてのコメントをする。 また、必要である場合にはmanabaにて個別に対応する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:課題 レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:課題 レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題 レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題 レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題 レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし(資料配布)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	総合演習 I	前期～後期	1 単位
サブタイトル	公衆栄養と給食経営管理の総合的な能力を身につける	演習	
担当者	西井 穂、才新 直子、竹市 仁美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>演習を通して栄養評価・判定に基づいた適正な栄養管理を行うため、専門分野の教育内容ごとに修得した知識、技能を統合する総合的な能力を養うことを目標とする。また、管理栄養士になるための臨地実習の位置づけを理解するとともに各自の実習目標を明らかにし、課題を設定して、必要な準備をして実習の効果を高める。</p> <p>[授業概要]</p> <p>栄養評価・判定に基づいた適正な栄養管理を行い、専門分野の教育内容ごとに修得した知識、技能を養い、臨地実習においてよりよい効果を上げるため、「公衆栄養学」「給食経営管理論」の教育内容のほか「調理学」「食品衛生学」「応用栄養学」「栄養教育」「公衆衛生学」等を包含する演習を行う。</p> <p>授業では公衆栄養、給食経営管理の臨地・校外実習において必要とされる専門知識、技術と、適切なマネジメントを行う総合的な能力の修得に向けて、実践課題研究を行う。実践課題研究では、PDCAサイクルに基づく課題の発見から、解決に至るまでのプロセスを習得し、臨地実習の事前学習の充実に繋げる。実習終了後は、実習内容や研究課題への取り組みの反省会、報告会なども行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>「公衆栄養学」、「給食経営管理論」などの実習関連科目の単位を取得し、専門分野の各教育内容ごとに修得した知識、技能の復習を行う。また、実習生として正しいマナーを身につけると共に、規則正しい生活を心がけ、しっかりと体調管理を行う。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨地実習の概要、目的と準備(才新) 2. 臨地実習における心構えと衛生・安全管理について(才新) 3. 実践栄養課題研究(グループ)①(才新) 4. 実践栄養課題研究(グループ)②(才新・西井) 5. 実習計画書と報告書の書き方(竹市) 6. 公衆栄養学の臨地実習の意義と目的の確認(竹市)/給食経営管理の実際(西井) 7. 給食経営管理 課題研究発表と討議(グループ)①(西井) 8. 公衆栄養学 課題研究発表と討議(グループ)②(竹市) 9. 給食経営管理の臨地実習の意義と目的および実習課題設定(西井) 10. 臨地実習報告会(公衆栄養学)①(竹市) 11. 臨地実習報告会(公衆栄養学)②(竹市) 12. 臨地実習報告会(給食経営管理)①(西井) 13. 臨地実習報告会(給食経営管理)②・まとめ(西井・才新・竹市) 			

科目名	総合演習 I	前期～後期	1 単位
サブタイトル	公衆栄養と給食経営管理の総合的な能力を身につける	演習	
担当者	西井 穂、才新 直子、竹市 仁美		
<p>[成績評価方法] レポート(30%)、課題研究発表など(60%)、小テスト(10%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート返却時にコメントを返します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート課題・課題研究発表・小テスト</p> <p>[教科書(ISBN)] 臨地実習・校外実習ハンドブック ～より深い学びのために～ 著者名:藤原政嘉・田中俊治・赤尾 正編 出版社:株式会社みらい (9784860000000) 現場で役立つ公衆栄養学実習 著者名:橋本加代 他 出版社:同文書院 (9784810000000) 2024年版 管理栄養士・栄養士必携-データ・資料集- 著者名:日本栄養士会編 出版社:第一出版 (9784804114712) プリント配布</p>			

科目名	総合演習Ⅱ	前期～後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	榑原 美津枝、狩野 百合子、田村 奈緒子、置村 康彦、杉岡 ふみ子、西井 穂、甲斐 達男		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 病院管理栄養士業務をはじめ広い分野における管理栄養士としての業務を理解し、管理栄養士に必要な専門知識・技能の統合能力を養う。</p> <p>[授業概要] 管理栄養士として必要な基礎的な知識から臨床栄養管理のために必要な知識を得るため、①病院の栄養管理部門の現状を理解する。②職業倫理を高め、チーム医療・臨床栄養管理・栄養相談に必要な知識・技能の統合を図る。③臨床栄養学臨地実習において、課題の発見(気づき)・問題解決方法を学ぶ。④臨床栄養学臨地実習終了後は、実習内容や課題への取り組みの報告・反省会などを行い、臨床での管理栄養士業務への理解を深めるとともに、管理栄養士としての総合的知識の統合をはかる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床栄養に関する知識・病院管理栄養士の業務を復習し、実習先病院の情報・管理栄養士業務の特徴(先輩の記録など)を把握しておく。また、生活習慣を整え、体調管理を行い、社会人としてのマナーを身につけておく。</p> <p>[授業計画] 1. 臨床栄養学臨地実習の概要と目的・準備・心構え(榑原) 2. 医療・福祉とチーム医療について(杉岡) 3. 栄養ケアマネジメントの概要と栄養障害について(杉岡) 4. 食品衛生と給食経営管理について(甲斐・西井) 5. 高齢者の栄養アセスメントと栄養ケアについて(杉岡) 6. 母子栄養、薬と栄養・食事の相互作用について(榑原) 7. 管理栄養士として必要な医学の知識について(置村) 8. 管理栄養士として必要な生化学について(田村) 9. 管理栄養士として必要な基礎栄養について(狩野) 10. 臨床栄養学臨地実習のまとめ(榑原) 11. 臨床栄養学臨地実習の報告会①(榑原・杉岡) 12. 臨床栄養学臨地実習の報告②(榑原・杉岡) 13. 臨床栄養学臨地実習の報告③(榑原・杉岡)</p>			

科目名	総合演習Ⅱ	前期～後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	榑原 美津枝、狩野 百合子、田村 奈緒子、置村 康彦、杉岡 ふみ子、西井 穂、甲斐 達男		
<p>[成績評価方法] レポート・小テスト・発表(100%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストの解答やレポート等の解説をmanaba等の学内システムを活用して行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:レポート・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:レポート・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:レポート・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:レポート・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:レポート・小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート・発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート・小テスト・発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート・小テスト・発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート・小テスト・発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート・発表</p> <p>[教科書 (ISBN)] 臨地実習・校外実習ハンドブック ～より深い学びのために～ 著者名:藤原政嘉・田中俊治・赤尾 正 出版社:みらい (978-4-86015-330-4) 栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学 基礎編・疾患別編 著者名:本田佳子 出版社:羊土社 (978-4-7581-0882-9 978-4-7581-0883-6)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 「臨地実習及び校外実習の実際」 著者名:(公社)日本栄養士会・(一般)全国栄養士養成施設協会編 出版社:日本栄養士会、全国栄養士養成施設協会</p>			

S81610 [HDI3-007]

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	置村 康彦		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究がどのように行なわれていくか実際に体験し、1つの結果を得るまでにどのようなことがなされているか理解できる。</p> <p>[授業概要] 研究に参加することを通して、研究の方法、結果の評価・解釈、発表のしかたなどを指導します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] これまで学習した知識を整理しておいてください。どのような物事に対しても「なぜか？」と問うように意識しましょう。再履修科目をなくし、卒業論文に集中できるようにしましょう。各回、予習復習合わせて2時間程度の学修が必要です(抄読会で論文発表を担当するときは、これをはるかに超える準備が必要です)。</p> <p>[授業計画] 卒業論文Iにおいては、下記事項について指導します。 1. 知識の習得法/データベース利用法1 2. 知識の習得法/データベース利用法2 3. 文献の読み方(抄読会を定期的に行う)1 4. 文献の読み方(抄読会を定期的に行う)2 5. 文献の読み方(抄読会を定期的に行う)3 6. 文献の読み方(抄読会を定期的に行う)4 7. 文献の読み方(抄読会を定期的に行う)5 8. 既知事項のまとめ/プレゼンテーション 1 9. 既知事項のまとめ/プレゼンテーション 2 10. 実験室の維持管理 11. 廃棄物処理 12. 生物統計学 13. 統計学的検定の実際</p>			

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	置村 康彦		
<p>[成績評価方法] 研究背景を理解しているかを評価します。これを確認するため、抄読会における先行研究論文の概要発表、それに対する質疑応答を主な評価対象とします。発表内容に関して指導し、フィードバックを行います。また、実験室維持のための基本的方法が習得できているかをも評価対象とします。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 質問の都度、個人対応</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし 出版社:なし</p>			

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小倉 嘉夫		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究計画の基本的考え方を学び、実施によって実験技術を習得する。</p> <p>[授業概要] A) コレステロール・胆汁酸の代謝および体内動態 コレステロールの体内動態はメタリックシンドロームの指標として重要なものである。環境的要因の変化に対するコレステロールおよびその異化産物である胆汁酸代謝についてラットを用いて研究する。 B) 腸内細菌による胆汁酸変換 二次胆汁酸であるデオキシコール酸は大腸癌の促進因子、またリコール酸は肝毒性に働く。このような有害な胆汁酸組成比を少なくすると同時に肝細胞保護作用や体内での発癌予防など多様な有効作用をもつウルソデオキシコール酸の合成を増加させる方法を、プロバイオティクスとして腸内細菌を利用して探索する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各演習について予習・復習4時間程度。 日頃からコレステロールおよび胆汁酸代謝に関連する、論文や総説に関心を持つこと。基本的な有機化学についても復習しておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション 2. 基礎知識の習得方法 3. 文献の検索方法 4. 文献の読み方1 5. 文献の読み方2 6. 卒論に関わる生化学的知識のレクチャー1 7. 卒論に関わる生化学的知識のレクチャー2 8. 卒論に関わる生化学的知識のレクチャー3 9. 実験を安全に行うための管理 10. 基礎的機器分析のレクチャー1 11. 基礎的機器分析のレクチャー2 12. 基礎的機器分析の実際1 13. 基礎的機器分析の実際2</p>			

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小倉 嘉夫		
<p>[成績評価方法] 卒業研究に対する基礎的知識の習得状況を評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 各実験内容についてディスカッションを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル	栄養学の実験研究を学ぶ	演習	
担当者	狩野 百合子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

ラットを用いる栄養実験を通して、食品中の非栄養素(エキストラバージンオリーブ油に含まれるポリフェノール)の機能について考え、考察する。

[授業概要]

「エキストラバージンオリーブ油によるラットの脂質代謝への影響」

オリーブ油の健康への有効な効果について調べるために、特にエキストラバージンオリーブ油と他の油脂(動物性油脂のラードあるいは植物性油脂の大豆油)を同時に摂取したときの脂質代謝(体熱産生)への影響について、カテコラミン分泌量、血液中脂質成分(トリグリセリド濃度、コレステロール濃度)及び、体脂肪量、褐色脂肪細胞(BAT)の脱共役蛋白質(UCP1)を測定し調べることで検討する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

前回の授業を復習し理解を深めて、次回の授業の準備をすること。

[授業計画]

1. 実験計画(1)
2. 実験計画(2)
3. 実験計画(3)
4. 実験準備(1):動物、試薬、使用器具類等について
5. 実験準備(2):動物、試薬、使用器具類等について
6. 実験準備(3):動物、試薬、使用器具類等について
7. 実験実施(1)
8. 実験(2)
9. 実験(3)
10. 実験(4)
11. 実験(5)
12. 実験結果のまとめ(1)データをまとめる。
13. 実験結果のまとめ(2)データをまとめた後、プレゼンテーションを行う

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル	栄養学の実験研究を学ぶ	演習	
担当者	狩野 百合子		
<p>[成績評価方法] 研究計画の立て方(40%)、研究の実施内容(40%)、研究結果のまとめ方(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 提出したレポートについては、評価や指示を付して返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] プリント</p> <p>[参考書 (ISBN)] ハーバー生化学(原書30版) 著者名:上代淑人 出版社:丸善出版 (9784620000000)</p>			

S89122 [HDB4-001]

科目名	卒業論文 I		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	木村 万里子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>1. ディプロマ・ポリシーに基づき、調査・研究を行うことができるようになる。 2. ディプロマ・ポリシーに基づき、卒業論文を完成させることができるようになる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>大学における学修の集大成として研究を行い、卒業論文を作成する。 卒業論文 I では、研究課題遂行のために必要な研究の背景や関連文献などの下調べを行い、その課題遂行に必要な実験操作や調査手法を検討する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>日頃から研究テーマに関係するニュース等に関心を持つ。関連する新聞記事、雑誌等の切り抜きやコピーを積極的に収集すること。各回、予習復習合わせて2時間です。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究倫理・行動規範、学術論文の種類と検索方法 2. 研究論文の検索・収集① 3. 研究論文の検索・収集② 4. 研究論文の検索・収集③ 5. 研究論文の検索・収集④ 6. 研究論文の検索・収集⑤ 7. 研究論文の検索・収集⑥ 8. 学内・学外セミナー参加 9. 論文発表および質疑応答① 10. 論文発表および質疑応答② 11. 実験・調査などの研究実施スケジュール検討① 12. 実験・調査などの研究実施スケジュール検討② 13. まとめ 				

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	木村 万里子		
<p>[成績評価方法] 受講態度 (20%)、レポート課題 (80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートや論文の評価をmanaに提示する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし(プリント配布)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 適宜指示する。</p>			

科目名	卒業論文 I		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	栗原 伸公			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標]</p> <p>学生の自由な発想に基づく学生独自の研究を、教員とともに有意義で実現可能なものに磨き上げたうえで、それに個々の学生が主体的に取り組むことによって、研究の考え方の基礎を学ぶ。</p> <p>[授業概要]</p> <p>食と健康に関する小規模の調査を通じて、疫学調査と分析の方法を学びます。やる気がある人は、学会発表可能なものに仕上げましょう。調査テーマは自由ですが、研究として相応しいものにアレンジする場合があります。調査方法も自由で、現場に出向いての聞き取り調査から、郵送法、インターネットによる調査まで、それぞれの長所・短所を理解したうえで選んでください。</p> <p>調査には、簡単な実験を加えることもできます。たとえば、食品の塩分量やカロリーなどを測定し、アンケート結果をはじめとする他のデータと組み合わせることが可能です。</p> <p>さらに、これらとは別に、大学院生等とともに私が研究室で行っている実験的研究(高血圧・循環器疾患の食事による予防)に参加することも可能です。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>食と健康に関して、普段から自分が興味があること、知りたいこと、確かめたいことなどを、ノートに出来るだけ多く書き出しておいてください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究の進め方1 2. 研究の進め方2 3. テーマの背景探究1 4. テーマの背景探究2 5. テーマの背景探究3 6. テーマ発表会1 7. テーマ発表会2 8. 調査・実験1 9. 調査・実験2 10. 調査・実験3 11. 調査・実験4 12. 調査・実験5 13. 学期のまとめ 				

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	栗原 伸公		
<p>[成績評価方法] 試験(70%)、レポート(30%) 研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 面談により、直接指導を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] 授業の際に指定する。</p>			

S89130 [HDB4-001]

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	後藤 昌弘		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各種の調理器具、実験機器の使用法、分析等の理論を理解する。 2. 自主的に課題について探求する考えかたを見つけ出す。 <p>[授業概要]</p> <p>以下の研究テーマを基本に実験をおこなう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ジャガイモの品種と調理特性-おいしいジャガイモの条件とは何かー 2. 過熱水蒸気オーブンの調理特性について 3. 真空調理法やクックチルシステムの利用とそれに伴って生じる諸問題の原因解明ならびに防止法の検討 4. 野菜・果物のもつおいしさの要因解析とおいしさの具体的な表現方法の検討 5. 食品の物性と調理性 <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>事前に渡す学術論文や参考図書の記載事項を十分読み込んでおくこと。また、1、2年時に行った各実験科目の手法とくに検量線の作成や滴定法、統計処理などを復習しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <p>卒業論文1では論文の読み方やの書き方などをゼミで指導した後に、学生個々が興味あるテーマを選択・決定していく。テーマを決定するに当たって学生相互が話し合いを重ねお互いに学びあいながらテーマを絞っていく。テーマが決定すればテーマに添って学生各自が論文を作成するが、必要に応じて個別指導を行いながら期限内に作成出来るように指導する。また、参考文献として示した論文を読み、論文の書き方や実験手法などについて理解を深めることと並行して実験や調査を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 論文の読み方、書き方 3. 文献の調べ方 4. 実験器具や機器の扱い 5. テーマの選択 6. テーマに応じた研究計画の作成 7. 実験または調査1 8. 実験または調査2 9. 実験または調査3 10. 実験または調査4 11. 実験または調査5 12. 実験または調査6 13. 中間まとめ 			

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	後藤 昌弘		
<p>[成績評価方法] 先行研究論文の報告内容及び質疑応答の内容（研究背景の理解）について取り組みの姿勢、積極性、実験や調査の成果および内容等を総合する。</p> <p>[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法] manabaを利用。</p> <p>[オフィスアワー（質問等の受付方法）] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]</p> <p>学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠（エビデンス）に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] 基礎化学実験安全オリエンテーション 著者名:山口和也・山本仁著 出版社:東京化学同人 (9784810000000)</p>			

S89134 [HDB4-001]

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	才新 直子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 卒業研究に主体的に取り組むことにより、課題解決に対して科学的根拠に基づいた結論を導き出す能力を修得する。</p> <p>[授業概要] 次の項目に関連した自身の研究テーマを見つけるために論文検索を行い、研究背景を探る。研究計画を立てて主体的に取り組む。得られた研究結果を多角的に解釈が出来るように、考察の妥当性について討議を行い、報告会で発表する。</p> <p>1. 給食経営管理実習室の加熱調理機器、及び保温機器を用いた食品成分の変化に関する研究 2. 給食経営管理実習の酸性電解水を用いた衛生管理に関する研究 3. 食と健康に関する調査研究</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 栄養・食品に関する事象の重要点について日常的に記録、考察する。</p> <p>[授業計画] 1. 卒業論文の書き方、卒業研究の進め方 2. 文献の検索方法、読み方 3. 研究テーマの探索1 4. 研究テーマの探索2 5. 研究テーマの探索3 6. 研究背景の探索、研究計画の立案1 7. 研究背景の探索、研究計画の立案2 8. 研究背景の探索、研究計画の立案3 9. 研究背景の探索、研究計画の立案4 10. 研究背景・計画を報告会にて発表、討議 1 11. 実験または調査1 12. 実験または調査2 13. 実験または調査3 14. 研究の進捗状況を報告会にて発表、討議2 15. まとめ</p>			

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	才新 直子		
<p>[成績評価方法] 研究に取り組む姿勢(30%)、各報告会での発表・討議内容(40%)、提出レポート(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート提出時にコメントを返します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:報告会での発表と質疑応答、報告書</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:報告会での発表と質疑応答、報告書</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:報告会での発表と質疑応答、報告書</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答、報告書</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答、報告書</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

S89138 [HDB4-001]

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル	研究の進め方を知り、自分の中の疑問の種を見出し、卒業研究に当てはめる	演習	
担当者	清水 扶美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 卒業論文を完成させるまでの研究過程を通して、主体的に考える力、知識や考察を整理して表現する力を身につける</p> <p>[授業概要] 研究課題は自由に設定する。研究課題の設定、研究計画立案、実験・調査の実施、結果の考察、論文作成、研究発表などの方法を指導する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] これまで学んだ知識や実験手技を整理し、卒業研究に活かせるように理解を深めておくこと。 日頃から、食品や栄養学、医療、健康などに関連する時事問題に興味を持つこと。 身近な環境の中で、ふと思った疑問について書き留め、それらについて科学的観点から考察する習慣をつけること。</p> <p>[授業計画] 1. 研究の進め方と研究倫理 2. 研究課題に関する論文検索・情報収集・抄読会① 3. 研究課題に関する論文検索・情報収集・抄読会② 4. 研究課題に関する論文検索・情報収集・抄読会③ 5. 研究課題に関する論文検索・情報収集・抄読会④ 6. 研究課題と仮説の検討・ディスカッション① 7. 研究課題と仮説の検討・ディスカッション② 8. 研究計画発表① 9. 研究計画発表② 10. 実験・調査の実施① 11. 実験・調査の実施② 12. 実験・調査の実施③ 13. 実験・調査の実施④ 14. 実験・調査の実施⑤ 15. まとめ</p>			

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル	研究の進め方を知り、自分の中の疑問の種を見出し、卒業研究に当てはめる	演習	
担当者	清水 扶美		
<p>[成績評価方法] 以下の項目を含む研究課題の背景に対する理解、抄読会や研究計画の発表などを主な評価対象とし、総合的に評価する。 ・抄読会に作成した資料や提出物(20%) ・研究に関する質疑応答の内容(60%) ・研究に対する取り組みや態度(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ゼミの中で、ディスカッションや解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 初めての栄養学研究論文—人には聞けない要点とコツ 著者名:日本栄養改善学会、栄養学雑誌編集委員会 出版社:第一出版(4804112650)</p>			

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉岡 ふみ子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 臨床栄養に関する研究をする上で、文献検索や調査方法など論文作成に必要な能力を身につける。</p> <p>[授業概要] 管理栄養士の臨床における役割を知り、調査で得られたデータを分析し、栄養学的な観点から疾患についての臨床研究を行う。 1.臨床における食物アレルギー児の状況 2.栄養障害のスクリーニングについて 3.その他</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 主体的に研究を進めていけるように、食や栄養に関する情報を収集しておく。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション 2. 論文構成と研究方法 3. 資料探索1 4. 資料探索2 5. 資料探索3 6. 資料検討1 7. 資料検討2 8. 資料検討3 9. 論文構成1 10. 論文構成2 11. 研究計画の作成 12. 研究計画の作成 13. 研究データの収集方法の検討</p>			

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉岡 ふみ子		
<p>[成績評価方法] 課題レポート(50%)、課題への取り組み姿勢(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 適時に個別にて指導を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:課題レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:課題レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:課題レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:課題レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:課題レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:課題発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:ミーティングへの参加と取り組み状況</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:ミーティングへの参加と取り組み状況</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:ミーティングへの参加と取り組み状況</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:ミーティング参加の姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:ミーティング参加の姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:ミーティング参加の姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:ミーティング参加と取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:研究計画等レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:研究計画等レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:研究計画等レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:研究計画等レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] 必要に応じて指示</p> <p>[参考書 (ISBN)] 必要に応じて指示</p>			

科目名	卒業論文 I		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	西井 穂			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート		○	グループワーク	
プレゼンテーション		○	実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 文献検索方法を習得する。研究目標、テーマの設定、研究デザイン等を学生自らが考え、計画できるようになる。</p> <p>[授業概要] 研究テーマとその簡単な説明 特定給食施設における適切な栄養管理について(リスクマネジメント、アセスメント、食事調査等に関する研究) 論文の書き方などの概要をゼミで指導した後に、給食経営管理、栄養ケアマネジメントに関する論文について講読し、学生個々が興味あるテーマを選択・決定していく。 テーマを決定するに当たってディスカッションを重ね、学生相互が学びあいながらテーマを絞り、研究計画の立案をする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 特定給食施設における管理栄養士の役割及び給食経営管理論について、復習しておく。 文献講読により、論文の構成について理解する。</p> <p>[授業計画] 1. 研究の進め方と研究倫理、研究の手法について 2. 研究テーマの検討 3. 文献の検索の仕方 4. 文献の読み方 5. 研究課題に関する論文検索・情報収集・抄読会① 6. 研究課題に関する論文検索・情報収集・抄読会② 7. 研究課題に関する論文検索・情報収集・抄読会③ 8. 研究課題に関する論文検索・情報収集・抄読会④ 9. 研究計画書の書き方 10. 研究計画書の作成① 11. 研究計画書の作成② 12. 研究計画発表① 13. 研究計画発表②</p>				

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	西井 穂		
<p>[成績評価方法] 研究態度 (30%)、質疑応答の内容 (30%)、抄読会の内容、および作成した資料や課題提出物等 (40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題やレポートについては、適宜授業の中で解説、講評する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] よくわかる卒論の書き方[第2版] 著者名:白井利明、高橋一郎 出版社:ミネルヴァ書房 (978-4623065721)</p>			

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹中 優		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 管理栄養士として必要とされる科学的かつ論理的思考を行う事ができる。 2. 情報を正確に収集し、種々の角度から分析、解析し科学的に考察する。 3. その結果を簡潔かつ正確にプレゼンテーションを行う。 4. 実験データの取り扱いに関する研究倫理を理解する。 <p>[授業概要]</p> <p>指導的立場の管理栄養士として、あるいは医療職として活躍する際に必要とされる素養を特に以下の項目に重点を置き習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報収集とアセスメント 2. 課題設定能力 3. 管理栄養士として必須の病態に対する臨床医学的な理解 4. 実験調査などの結果の分析と考察 5. 明快で論理的な論文作成 6. 正確かつ印象的なプレゼンテーション <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>実験に関する興味、協調性、コミュニケーション能力が必要とされる。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究倫理 2. 研究課題・実験課題設定の為の情報収集1 3. 研究課題・実験課題設定の為の情報収集2 4. 研究課題・実験課題設定の為の情報収集3 5. 研究課題・実験課題設定の為の情報収集4 6. 収集した情報に対するアセスメント1 7. 収集した情報に対するアセスメント2 8. 収集した情報に対するアセスメント3 9. 研究項目の詳細検討とディスカッション1 10. 研究項目の詳細検討とディスカッション2 11. 研究項目の詳細検討とディスカッション3 12. 研究項目の詳細検討とディスカッション4 13. 予備実験と研究項目の評価、検討 			

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹中 優		
<p>[成績評価方法] 研究論文の内容理解及び質疑応答の内容（研究背景の理解）</p> <p>[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法] 質問には個別対応。</p> <p>[オフィスアワー（質問等の受付方法）] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]</p> <p>学科DP番号／DP内容:管栄1-1／社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号／DP内容:管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号／DP内容:管栄1-3／食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号／DP内容:管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号／DP内容:管栄2-1／健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠（エビデンス）に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号／DP内容:管栄2-2／健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号／DP内容:管栄3-2／管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号／DP内容:管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号／DP内容:管栄3-4／健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田村 奈緒子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 実験によって得られたDataから何が明らかになり、どのような可能性が考えられ、逆に言えないことは何かということを自ら解析できるようになる。論理的思考を身につける。 新しい事象に対し、その危険度、有益度を正確に推し量れるようになること。</p> <p>[授業概要] 「食品に含まれる I 型アレルギー抑制機構の解明」 毎日摂取する食品によって I 型アレルギーを起こすマスト細胞の脱顆粒を抑制することができれば、花粉症、アトピー性皮膚炎の不快感を緩和することができるはずである。当研究室ではいくつか効果をもつ食品を見出した。そこで実験により以下のことを行なう。 ・脱顆粒抑制効果をもつことが明らかになった食品に含有する有効成分を単離同定する。 ・各食品の脱顆粒抑制効果が数段階に及ぶ細胞内シグナル伝達のどの部位を抑制している結果なのかを明らかにする。 ・食物由来新規脱顆粒抑制物質を探索する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] アレルギー反応の分類、発生メカニズムを理解しておく。 活性酸素について人体に及ぼす影響や、起こりうる反応、生成する物質について今まで学んだ内容から総合的に考えてみる。</p> <p>[授業計画] 1.当研究室の研究内容の過去の例などを紹介 2.当研究室の発表論文(英文)を輪読1 3.当研究室の発表論文(英文)を輪読2 4.当研究室の発表論文(英文)を輪読3 5.当研究室の発表論文(英文)を輪読4 6.各自卒論テーマに沿った論文の紹介1 7.各自卒論テーマに沿った論文の紹介2 8.各自卒論テーマに沿った論文の紹介3 9.誤差と分析データの処理について 10.実験手技見学 11.滅菌操作実演 12.卒論テーマおよび実験経過発表1 13.卒論テーマおよび実験経過発表2</p>			

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田村 奈緒子		
<p>[成績評価方法] 先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解）</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中にフィードバックの時間を設けるとともに個別の質問に応ずる。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解）</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解）</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解）</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解）</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解）</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解）</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解）</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解）</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学が意欲を持っている。 成績評価方法:先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解）</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解）</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解）</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解）</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解）</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解）</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解）</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解）</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:先行研究論文の報告内容、及び、質疑応答の内容（研究背景の理解）</p> <p>[教科書 (ISBN)] プリントを渡す 著者名:田村奈緒子</p> <p>[参考書 (ISBN)] 「抗体医薬」と「自然免疫」の驚異 著者名:岸本 忠三、中嶋 彰 出版社:講談社 (:9784062576338) 病気がみえる(vol.6) 著者名:医療情報科学研究所 出版社:メディックメディア (:9784896323092)</p>			

S89170 [HDB4-001]

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル	卒業研究に向けて準備をする	演習	
担当者	竹市 仁美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 研究目標、研究デザイン等学生自ら考え、研究成果をまとめられること。</p> <p>[授業概要] 研究テーマとその簡単な説明 食育基本法が公布され、食育推進基本計画を基に多方面で食育活動が展開されている。中でも地域の子育て支援センターを拠点とした食育活動に期待するところが大きい。 当研究室では、主に子育て支援センターや幼稚園等地域での食育活動の実践を通して、食育活動のプログラム開発や評価方法について検討する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 研究テーマに関連する文献検索を行うこと。 各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション、文献検索の方法・データベースの利用について 2. 抄読会① 3. 抄読会② 4. 抄読会③ 5. 抄読会④ 6. 抄読会⑤ 7. 抄読会⑥ 8. 抄読会⑦ 9. 抄読会⑧ 10. 抄読会⑨ 11. 抄読会⑩ 12. 研究テーマ検討 13. 研究テーマと先行研究発表</p>			

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル	卒業研究に向けて準備をする	演習	
担当者	竹市 仁美		

[成績評価方法]
 先行研究論文の報告内容(60%)、及び質疑応答の内容(研究背景の理解)等(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
 授業中にフィードバックをゼミ生で共有する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
 成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書 (ISBN)]
 レジメ・参考文献の配布

[参考書 (ISBN)]
 初めての栄養学研究論文 著者名:赤松利恵ほか 出版社:第1出版 (978-4-8041-1265-7)

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	橋本 多美子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究の基本的な考え方を学び、文献検索方法やデータのまとめ方を身につける。</p> <p>[授業概要] 以下の項目に関する研究・調査を行う予定である。 1. 野菜の新規機能性の検索と調理法に関する研究 2. 発酵調味料の調理特性に関する研究 3. 長命草の機能性と調理に関する研究</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] これまでに学習した食品や調理に関連する知識や実験手法を整理しておく。 日頃から研究テーマに関する論文の検索を行い、情報を収集し、ノートに記録しておく。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション(卒業研究の進め方) 2. 学術論文の基本構成について 3. 文献の検索方法 4. 研究テーマについて 5. 研究計画について 6. 論文の検索・情報収集1 7. 論文の検索・情報収集2 8. 論文の検索・情報収集3 9. 論文の検索・情報収集4 10. 論文発表1 11. 論文発表2 12. 論文発表3 13. 論文発表4</p>			

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	橋本 多美子		
<p>[成績評価方法] 先行研究論文の報告内容および質疑応答の内容、取り組み態度などにより総合的に評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 発表内容等については、毎回口頭で解説する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	甲斐 達男		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究がどのように実施されているかを、体験的に理解すること。</p> <p>[授業概要] 研究テーマの立案、関係文献の収集・調査、研究計画(実験計画または調査計画)の策定、研究計画を確認・見直すための予備実験や予備調査の実施、という一連の流れを体験し、次のステップ(卒業論文Ⅱ)で研究を行う準備をします。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] これまで学んできたことのなかで興味を惹かれたこと、調べてみたいと思ったことを、整理しておいてください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> 研究テーマの検討・立案(1) 2. 研究テーマの検討・立案(2) 3. 研究テーマの背景となる文献調査(1) 4. 研究テーマの背景となる文献調査(2) 5. 研究テーマの背景となる文献調査(3) 6. 研究テーマの背景となる文献調査(4) 7. 研究テーマの背景となる文献調査(5) 8. 実験計画または調査計画の策定(1) 9. 実験計画または調査計画の策定(2) 10. 実験計画または調査計画の策定(3) 11. 予備実験または予備調査の実施、研究計画の確認・見直し(1) 12. 予備実験または予備調査の実施、研究計画の確認・見直し(2) 13. 予備実験または予備調査の実施、研究計画の確認・見直し(3) 			

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	甲斐 達男		
<p>[成績評価方法] レポート、発表・報告、質疑応答の内容を総合的に評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 面談により、質疑応答で対応します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] 適宜、紹介する。</p>			

S89182 [HDB4-001]

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	宮本 有香		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 卒業論文研究に必要な研究の進め方、論文検索方法、問題点の解決方法、プレゼンテーション方法などを身につける。</p> <p>[授業概要] 研究テーマは以下の項目を予定している 1. パン品質改良効果とその機構に関する研究 2. 昆虫食に対する調理加工性に関する研究 3. 卵白メレンゲに関する研究 4. 加熱殺菌条件が異なる脱脂粉乳のコロイド科学的性質に関する研究 5. しょうゆを用いた加工品に関する研究 6. 加工食品における品質改良剤に関する研究</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・再履修科目をなくし、卒業論文に集中できる体制にしておく。・各自の研究テーマに関する科学論文の検索を行い、日頃から収集、把握しておく。 実験計画をしっかり組み立て、スケジュールを管理し、実験を行う。 実験後のデータは、速やかに整理し整えておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション(心構え、研究の進め方、研究倫理など) 2. 研究テーマと学術論文の基本構成について 3. 文献検索方法および論文紹介などセミナーについて 4. テーマの選択 5. 研究計画について 6. 学術論文の検索および収集1 7. 学術論文の検索および収集2 8. 学術論文の検索および収集3 9. 学術論文の検索および収集4 10. 学術論文の検索および収集5 11. 論文発表1 12. 論文発表2 13. 論文発表3 14. まとめ・中間発表</p>			

科目名	卒業論文 I	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	宮本 有香		
<p>[成績評価方法] マンスリーレポートの作成により、実験実施状況を報告すること。積極的な参加および研究に対する取り組み姿勢、研究に関する論文の探索、セミナー発表、質疑応答などについて総合的に評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ゼミ活動内でディスカッションを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	安藤 清一		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究課題の設定と研究方法、実験技術、実験結果の評価、研究報告の仕方を身につける。</p> <p>[授業概要] 卒業論文Ⅱでは、卒業論文Ⅰで実施した基礎実験等を踏まえ、卒業研究を進める。 また、卒業論文作成に必要なデータの解析手法について学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 研究課題に関連する学術論文を読み、具体的な実施計画の準備に努める。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション 2.卒業研究課題に係わる実験または調査の実施① 3.卒業研究課題に係わる実験または調査の実施② 4.卒業研究課題に係わる実験または調査の実施③ 5.卒業研究課題に係わる実験または調査の実施④ 6.卒業研究課題に係わる実験または調査の実施⑤ 7.卒業研究課題に係わる実験または調査の実施⑥ 8.実験または調査の結果整理① 9.実験または調査の結果整理② 10.実験または調査の結果整理③ 11.実験または調査の結果の解析① 12.実験または調査の結果の解析② 13.実験または調査の中間まとめ</p>			

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	安藤 清一		
<p>[成績評価方法] 各回、予習復習合わせて2時間程度。 卒業研究に対する取り組み姿勢・積極性、研究結果のまとめ方、考察の内容等について、総合的に評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 質疑応答時に、具体的に解説する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	置村 康彦			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究がどのように行なわれているか理解し、自己のテーマに関して、新たな知見を付け加えることができる。</p> <p>[授業概要] 研究に参加することを通して、研究の方法、結果の評価・解釈、発表のしかたなどを指導します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] これまで学習した知識を整理しておいてください。どのような物事に対しても「なぜか？」と問うように意識しましょう。再履修科目をなくし、卒業論文に集中できるようにしましょう。各回、実験等に費やす時間以外に、予習復習合わせて2時間程度の学修が必要です。</p> <p>[授業計画] 実験を中心に行う学生、文献調査を中心に行う学生に分け、卒業論文Ⅲにおいては、下記事項について指導する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究計画の立案 2. 研究ノートの作成保存／文献整理 3. 実験の実際 1(抄読会1) 4. 実験の実際 2(抄読会2) 5. 実験の実際 3(抄読会3) 6. 実験の実際 4(抄読会4) 7. 実験の実際 5(抄読会5) 8. 実験の実際 6(抄読会6) 9. 実験の実際 7(抄読会7) 10. 実験の実際 8(抄読会8) 11. 実験の実際 9(抄読会9) 12. 実験の実際 10(抄読会10) 13. まとめ <p>文献系の学生では、実験でなく抄読会に重点を置く。</p>				

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	置村 康彦		
<p>[成績評価方法] 研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容を主な評価対象とします。毎週、これら进行评估し、直接、口頭でフィードバック指導を行います。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 質問の都度、個人対応</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小倉 嘉夫		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究計画の基本的考え方を学び、実施によって実験技術を習得する。</p> <p>[授業概要] A) コレステロール・胆汁酸の代謝および体内動態 コレステロールの体内動態はメタボリックシンドロームの指標として重要なものである。環境的要因の変化に対するコレステロールおよびその異化産物である胆汁酸代謝についてラットを用いて研究する。 B) 腸内細菌による胆汁酸変換 二次胆汁酸であるデオキシコール酸は大腸癌の促進因子、またリコール酸は肝毒性に働く。このような有害な胆汁酸組成比を少なくすると同時に肝細胞保護作用や体内での発癌予防など多様な有効作用をもつウルソデオキシコール酸の合成を増加させる方法を、プロバイオティクスとして腸内細菌を利用して探索する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の演習について予習・復習6時間程度。 日頃からコレステロールおよび胆汁酸代謝に関連する、論文や総説に関心を持つこと。基本的な有機化学についても復習しておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. 卒業論文のテーマの決定 2. 研究内容に対する総論的レクチャー1 3. 研究内容に対する総論的レクチャー2 4. 研究計画書の作成 5. 卒業論文テーマ関連文献の収集1 6. 卒業論文テーマ関連文献の収集2 7. 実験1 8. 実験2 9. 実験3 10. 実験4 11. 実験5 12. 実験6 13. 実験7</p>			

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小倉 嘉夫		
<p>[成績評価方法] 卒業研究に対する実施状況の評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 各実験結果についてディスカッションを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル	栄養学の実験研究を学ぶ	演習	
担当者	狩野 百合子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

ラットを用いる栄養実験を通して、食品中の非栄養素(エキストラバージンオリーブ油に含まれるポリフェノール)の機能について考え、考察する。

[授業概要]

「エキストラバージンオリーブ油によるラットの脂質代謝への影響」

オリーブ油の健康への有効な効果について調べるために、特にエキストラバージンオリーブ油と他の油脂(動物性油脂のラードあるいは植物性油脂の大豆油)を同時に摂取したときの脂質代謝(体熱産生)への影響について、カテコラミン分泌量、血液中脂質成分(トリグリセリド濃度、コレステロール濃度)及び、体脂肪量、褐色脂肪細胞(BAT)の脱共役蛋白質(UCP1)を測定し調べることで検討する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

前回の授業を復習し理解を深めて、次回の授業の準備をすること。

[授業計画]

1. 実験計画(1)
2. 実験計画(2)
3. 実験計画(3)
4. 実験準備(1):動物、試薬、使用器具類等について
5. 実験準備(2):動物、試薬、使用器具類等について
6. 実験準備(3):動物、試薬、使用器具類等について
7. 実験実施(1)
8. 実験(2)
9. 実験(3)
10. 実験(4)
11. 実験(5)
12. 実験結果のまとめ(1)データをまとめる。
13. 実験結果のまとめ(2)データをまとめた後、プレゼンテーションを行う

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル	栄養学の実験研究を学ぶ	演習	
担当者	狩野 百合子		
<p>[成績評価方法] 研究計画の立て方(40%)、研究の実施内容(40%)、研究結果のまとめ方(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 提出したレポートについては、評価や指示を付して返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] プリント</p> <p>[参考書 (ISBN)] ハーバー生化学(原書30版) 著者名:上代淑人 出版社:丸善出版 (9784620000000)</p>			

S89222 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	木村 万里子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>1. ディプロマ・ポリシーに基づき、調査・研究を行うことができるようになる。 2. ディプロマ・ポリシーに基づき、卒業論文を完成させることができるようになる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>大学における学修の集大成として研究を行い、卒業論文を作成する。 卒業論文Ⅱでは、研究課題を遂行し、研究結果のデータ処理を行い、ゼミ内で開催する中間発表会での資料を作成し、発表・質疑応答を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>日頃から研究テーマに関係するニュース等に関心を持つ。関連する新聞記事、雑誌等の切り抜きやコピーを積極的に収集すること。各回、予習復習合わせて2時間です。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究テーマ・計画の立案① 2. 研究テーマ・計画の立案② 3. 実験・調査の実施① 4. 実験・調査の実施② 5. 実験・調査の実施③ 6. 実験・調査の実施④ 7. 実験・調査の実施⑤ 8. データ解析・研究結果のまとめ① 9. データ解析・研究結果のまとめ② 10. 中間発表会のための資料作成① 11. 中間発表会のための資料作成② 12. 中間発表会、質疑応答 13. まとめ 				

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	木村 万里子		
<p>[成績評価方法] 受講態度(20%)、レポート課題(80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートや論文の評価をmanaに提示する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし(プリント配布)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 適宜指示する。</p>			

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	栗原 伸公			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標]</p> <p>学生の自由な発想に基づく学生独自の研究を、教員とともに有意義で実現可能なものに磨き上げたうえで、それに個々の学生が主体的に取り組むことによって、研究の考え方の基礎を学ぶ。</p> <p>[授業概要]</p> <p>食と健康に関する小規模の調査を通じて、疫学調査と分析の方法を学びます。やる気がある人は、学会発表可能なものに仕上げましょう。調査テーマは自由ですが、研究として相応しいものにアレンジする場合があります。調査方法も自由で、現場に出向いての聞き取り調査から、郵送法、インターネットによる調査まで、それぞれの長所・短所を理解したうえで選んでください。</p> <p>調査には、簡単な実験を加えることもできます。たとえば、食品の塩分量やカロリーなどを測定し、アンケート結果をはじめとする他のデータと組み合わせることが可能です。</p> <p>さらに、これらとは別に、大学院生等とともに私が研究室で行っている実験的研究(高血圧・循環器疾患の食事による予防)に参加することも可能です。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>食と健康に関して、普段から自分が興味があること、知りたいこと、確かめたいことなどを、ノートに出来るだけ多く書き出しておいてください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調査・実験1 2. 調査・実験2 3. 調査・実験3 4. 調査・実験4 5. 調査・実験5 6. 調査・実験6 7. 調査・実験7 8. 調査・実験8 9. 調査・実験9 10. 調査・実験10 11. 中間発表1 12. 中間発表2 13. 学期のまとめ 				

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	栗原 伸公		
<p>[成績評価方法] 試験(50%)、レポート(10%)、発表会(40%) 研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 面談により、直接指導を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] 授業の際に指定する。</p>			

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	後藤 昌弘		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実験の手法や理論、研究の進め方について把握する。 2. 自主的に課題について探求する考え方を見つけ出す。 3. 研究テーマに応じた学術論文を探して読めるようになる。 <p>[授業概要]</p> <p>以下の研究テーマを基本に実験をおこなう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ジャガイモの品種と調理特性—おいしいジャガイモの条件とは何か— 2. 過熱水蒸気オープン調理特性について 3. 真空調理法やクックテルシステムの利用とそれに伴って生じる諸問題の原因説明ならびに防止法の検討 4. 野菜・果物のもつおいしさの要因解析とおいしさの具体的な表現方法の検討 5. 食品の物性と調理性 <p>卒業論文Ⅱでは、卒業論文Ⅰで修得した実験手法や考え方をもとにさらに研究を進める。 また、卒業論文の作成に向けて、データの処理や解析についても学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>研究テーマに関連する学術論文や図書を読んでおくこと。実験手法、検量線の作成方法、統計処理などを復習しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 実験または調査1 3. 実験または調査2 4. 実験または調査3 5. 実験または調査4 6. 実験または調査5 7. 実験または調査6 8. 実験または調査7 9. 実験または調査8 10. 実験または調査9 11. 実験または調査10 12. データの処理 13. 中間まとめ 			

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	後藤 昌弘		
<p>[成績評価方法] 研究計画の立て方, 研究の実施内容, 研究結果のまとめ方, 考察の内容などについて, 取り組みの姿勢, 積極性, 実験や調査の成果や内容を総合的に評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを利用。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は, KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は, KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康, 栄養, 及び食に関する問題点を発見し, 解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康, 栄養, 及び食に関して収集・整理・分析した内容を, 他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防, 治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき, 自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し, それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会, 経済, 文化的要因に興味を持ち, 自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち, その規範やルールに従って行動し, その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて, 他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し, 他者に伝えて, 理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え, 結論を導く能力 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし, その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て, それを実行する能力 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] 基礎化学実験安全オリエンテーション 著者名:山口一也・山本仁著 出版社:東京化学同人 (9784810000000)</p>			

S89234 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	才新 直子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 卒業研究に主体的に取り組むことにより、課題解決に対して科学的根拠に基づいた結論を導き出す能力を修得する。</p> <p>[授業概要] 次の項目に関連した自身の研究テーマを見つけるために論文検索を行い、研究背景を探る。研究計画を立てて主体的に取り組む。得られた研究結果を多角的に解釈が出来るように、考察の妥当性について討議を行い、報告会で発表する。</p> <p>1. 給食経営管理実習室の加熱調理機器、及び保温機器を用いた食品成分の変化に関する研究 2. 給食経営管理実習の酸性電解水を用いた衛生管理に関する研究 3. 食と健康に関する調査研究</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 栄養・食品に関する事象の重要点について日常的に記録、考察する。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション 2. 調査または実験1 3. 調査または実験2 4. 調査または実験3 5. 調査または実験4 6. 調査または実験5 7. 調査または実験6 8. 調査または実験7 9. 調査または実験8 10. 調査または実験9 11. 研究の進捗状況を報告会にて発表、討議1 12. 結果解析1 13. 結果解析2 14. 結果解析3 15. 研究の進捗状況を報告会にて発表、討議2</p>			

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	才新 直子		
<p>[成績評価方法] 研究に取り組む姿勢(30%)、各報告会での発表・討議内容(40%)、提出レポート(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート提出時にコメントを返します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:報告会での発表と質疑応答、報告書</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:報告会での発表と質疑応答、報告書</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:報告会での発表と質疑応答</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答、報告書</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:報告会での発表と質疑応答、報告書</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答、報告書</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答、報告書</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

S89235 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	榊原 美津枝			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
<p>[到達目標] 研究についての基本的な考えを学び、研究課題に主体的に取り組むことによって、研究テーマに関する事項の知識を深め、論文作成を通じて論理的な考え方を身につける。</p> <p>[授業概要] 1.患者さんが食事療法に取組めるようにサポートするために必要な事項をあらゆる角度から研究する。 2.食事療法の取組みが困難な患者さんについて、その原因を探り、どのようなサポートが必要かを研究していく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 研究テーマに関する事項について、資料を収集しておく。 各回の授業の事前準備とまとめに各2時間程度</p> <p>[授業計画] 1. 研究計画の立案① 2. 研究計画の立案② 3. 研究課題の情報収集① 4. 研究課題の情報収集② 5. 収集した情報に対するアセスメント① 6. 収集した情報に対するアセスメント② 7. 調査・研究の実施① 8. 調査・研究の実施② 9. 調査・研究の実施③ 10. 調査・研究の実施④ 11. データ解析① 12. データ解析② 13. まとめ</p>				

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	榊原 美津枝		
<p>[成績評価方法] 研究への取組み態度(40%)、論文内容(60%)により評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] その都度指導を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:論文内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:論文内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:論文内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:取組み態度、論文内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:取組み態度、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:取組み態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:取組み態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:取組み態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:取組み態度、論文内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:取組み態度、論文内容</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:取組み態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:取組み態度、論文内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:取組み態度、論文内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:取組み態度、論文内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:取組み態度、論文内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:取組み態度、論文内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:取組み態度、論文内容</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし 必要に応じて指示</p> <p>[参考書 (ISBN)] 「初めての栄養学研究論文」 著者名:日本栄養改善学会監修 出版社:第一出版 (978-4-8041-1265-7) 「糖尿病医療学入門」 著者名:石井均著 出版社:医学書院 (978-4-260-01332-1)</p>			

S89238 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル	実際に実験や調査を行い、得られた結果をどのように解釈するか、主体的に テーマ	演習	
担当者	清水 扶美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 卒業論文を完成させるまでの研究過程を通して、主体的に考える力、知識や考察を整理して表現する力を身につける</p> <p>[授業概要] 研究課題は自由に設定する。研究課題の設定、研究計画立案、実験・調査の実施、結果の考察、論文作成、研究発表などの方法を指導する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] これまで学んだ知識や実験手技を整理し、卒業研究に活かせるように理解を深めておくこと。 日頃から、食品や栄養学、医療、健康などに関連する時事問題に興味を持つこと。 身近な環境の中で、ふと思った疑問について書き留め、それらについて科学的観点から考察する習慣をつけること。</p> <p>[授業計画] 1. 中間報告会 2. 実験・調査の実施⑥ 3. 実験・調査の実施⑦ 4. 実験・調査の実施⑧ 5. 実験・調査結果の整理① 6. 実験・調査結果の整理② 7. 実験・調査結果の解析① 8. 実験・調査結果の解析② 9. 実験・調査結果の考察① 10. 実験・調査結果の考察② 11. 考察・参考文献のまとめ① 12. 考察・参考文献のまとめ② 13. まとめ</p>			

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル	実際に実験や調査を行い、得られた結果をどのように解釈するか、主体的に マテス	演習	
担当者	清水 扶美		
<p>[成績評価方法] 以下の項目を含む実験・調査への取り組み、結果のまとめと考察などを主な評価対象とする。 ・実験・調査の取り組み(50%) ・結果の報告等に作成した資料や提出物(25%) ・研究に関する質疑応答の内容(25%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ゼミの中で、ディスカッションや解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] 初めての栄養学研究論文—人には聞けない要点とコツ 著者名:日本栄養改善学会、栄養学雑誌編集委員会 出版社:第一出版 (4804112650)</p>			

S89246 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉岡 ふみ子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 臨床栄養に関する研究をする上で、文献検索や調査方法など論文を作成できる能力を身につける。</p> <p>[授業概要] 管理栄養士の臨床における役割を知り、調査で得られたデータを分析し、栄養学的な観点から疾患についての臨床研究を行う。 1.臨床における食物アレルギー児の状況 2.栄養障害のスクリーニングについて 3.その他</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 主体的に研究を進めていけるように、テーマに関連した食や栄養に関する情報を収集しておく。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 論文構成と研究方法 3. 資料探索 資料検討 4. データ収集1 5. データ収集2 6. データ収集3 7. データ収集4 8. データ集約1 9. データ集約2 10. 論文構成1 11. 論文構成2 12. 論文作成まとめ1 13. 論文作成まとめ2 			

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉岡 ふみ子		
<p>[成績評価方法] レポート(50%)、調査への参加状況(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 適時に個別にて指導を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:課題発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:調査への参加と取り組み状況</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:調査への参加と取り組み状況</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:調査への参加と取り組み状況</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:調査への参加と取り組み状況</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:調査への取り組み状況</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:調査への取り組み状況</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:調査への取り組み状況</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:卒業論文への取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:卒業論文への取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:卒業論文への取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:卒業論文への取り組み</p> <p>[教科書 (ISBN)] 必要に応じて指示</p> <p>[参考書 (ISBN)] 必要に応じて指示</p>			

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹中 優		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 管理栄養士として必要とされる科学的かつ論理的思考を行う事ができる。 2. 情報を正確に収集し、種々の角度から分析、解析し科学的に考察する。 3. その結果を簡潔かつ正確にプレゼンテーションを行う。 4. 実験データの取り扱いに関する研究倫理を理解する。 <p>[授業概要]</p> <p>指導的立場の管理栄養士として、あるいは医療職として活躍する際に必要とされる素養を特に以下の項目に重点を置き習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報収集とアセスメント 2. 課題設定能力 3. 管理栄養士として必須の病態に対する臨床医学的な理解 4. 実験調査などの結果の分析と考察 5. 明快で論理的な論文作成 6. 正確かつ印象的なプレゼンテーション <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>実験に関する興味、協調性、コミュニケーション能力を要する。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 設定した課題に対する研究・実験・調査1 2. 設定した課題に対する研究・実験・調査2 3. 設定した課題に対する研究・実験・調査3 4. 設定した課題に対する研究・実験・調査4 5. 設定した課題に対する研究・実験・調査5 6. 設定した課題に対する研究・実験・調査6 7. 設定した課題に対する研究・実験・調査7 8. 設定した課題に対する研究・実験・調査8 9. 設定した課題に対する研究・実験・調査9 10. 設定した課題に対する研究・実験・調査10 11. 結果解析1 12. 結果解析2 13. 結果解析3 			

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹中 優		
<p>[成績評価方法] 研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 質問には個別対応。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田村 奈緒子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

実験によって得られたDataから何が明らかになり、どのような可能性が考えられ、逆に言えないことは何かということを自ら解析できるようになる。論理的思考を身につける。

新しい事象に対し、その危険度、有益度を正確に推し量れるようになること。

[授業概要]

「食品に含まれるI型アレルギー抑制機構の解明」

毎日摂取する食品によってI型アレルギーを起こすマスト細胞の脱顆粒を抑制することができれば、花粉症、アトピー性皮膚炎の不快感を緩和することができるはずである。当研究室ではいくつか効果をもつ食品を見出した。そこで実験により以下のことを行なう。

- ・脱顆粒抑制効果をもつことが明らかになった食品に含有する有効成分を単離同定する。
- ・各食品の脱顆粒抑制効果が数段階に及ぶ細胞内シグナル伝達のどの部位を抑制している結果なのかを明らかにする。
- ・食物由来新規脱顆粒抑制物質を探索する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

アレルギー反応の分類、発生メカニズムを理解しておく。

活性酸素について人体に及ぼす影響や、起こりうる反応、生成する物質について今まで学んだ内容から総合的に考えてみる。

[授業計画]

1. 基本的実験操作の学習1
2. 卒論テーマに関連した論文を紹介
3. 卒論テーマおよび実験経過発表1
4. 卒論テーマおよび実験経過発表2
5. 食品由来成分による抗アレルギー作用
6. 各自卒論テーマに沿って実験および報告1
7. 各自卒論テーマに沿って実験および報告2
8. 各自卒論テーマに沿って実験および報告3
9. 各自卒論テーマに沿って実験および報告4
10. 各自卒論テーマに沿って実験および報告5
11. 各自卒論テーマに沿って実験および報告6
12. 各自卒論テーマに沿って実験および報告7
13. 各自卒論テーマに沿って実験および報告8

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田村 奈緒子		
<p>[成績評価方法] 研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中にフィードバックの時間を設けるとともに個別の質問に応ずる。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:□ 研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:□ 研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:□ 研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:□ 研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:□ 研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:□ 研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容</p> <p>[教科書(ISBN)] プリントを渡す 著者名:田村奈緒子</p> <p>[参考書(ISBN)] 「抗体医薬」と「自然免疫」の驚異 著者名:岸本 忠三、中嶋 彰 出版社:講談社 (9784062576338) 病気がみえる(vol.6) 著者名:医療情報科学研究所 出版社:メディックメディア (9784896323092)</p>			

S89266 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	橋本 多美子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 決定した研究テーマに関して、研究計画の基本的な考え方、実験技術を習得するとともに、研究を通して問題解決能力を身につける。</p> <p>[授業概要] 設定した研究課題について実験計画の立案、実験によるデータ収集を行い、結果の解析を進めてまとめる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] これまでに学習した食品や調理に関連する知識や実験手法を整理しておく。 日頃から研究テーマに関する論文の検索を行い、情報を収集し、ノートに記録しておく。</p> <p>[授業計画] 1. テーマの決定 2. 実験計画の立案① 3. 実験計画の立案② 4. 実験または調査の実施① 5. 実験または調査の実施② 6. 実験または調査の実施③ 7. 実験または調査の実施④ 8. 実験または調査の実施⑤ 9. 実験または調査の実施⑥ 10. 実験または調査の実施⑦ 11. 実験または調査の実施⑧ 12. 実験結果の整理および解析 13. まとめ、中間発表</p>			

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	橋本 多美子		
<p>[成績評価方法] 卒論研究に対する実施状況、データのまとめ方により総合的に判断する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 発表内容等については、毎回口頭で解説する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:課題、セミナー</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題・実験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題・実験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題・実験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題・実験、セミナー</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題・実験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題・実験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題・実験</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	甲斐 達男		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究を遂行し、結果を評価し、研究方針の調整にフィードバックできる。</p> <p>[授業概要] 卒業論文Ⅱでは、卒業論文Ⅰで準備した研究方針を踏まえて研究を進める。併行して、得られたデータの解析手法を学びながら卒業論文に掲載する図表の作成を進める。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 研究テーマに関わる情報に気を配り、得られた情報の内容を十分に把握しましょう。必要があれば研究方針を調整しましょう。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究(実験または調査)の遂行および結果の整理(1) 2. 研究(実験または調査)の遂行および結果の整理(2) 3. 研究(実験または調査)の遂行および結果の整理(3) 4. 研究(実験または調査)の遂行および結果の整理(4) 5. 研究(実験または調査)の遂行および結果の整理(5) 6. 研究(実験または調査)の遂行および結果の整理(6) 7. 研究(実験または調査)の遂行および結果の整理(7) 8. 研究(実験または調査)の遂行および結果の整理(8) 9. 研究(実験または調査)の遂行および結果の整理(9) 10. 中間研究発表会の準備(1) 11. 中間研究発表会の準備(2) 12. 中間研究発表会の準備(3) 13. 中間研究発表会 			

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	甲斐 達男		
<p>[成績評価方法] 日常の質疑応答、研究に取り組む姿勢、中間発表、の内容を総合的に評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 面談により、質疑応答で対応します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実験に対する意欲・実験態度・実験時間</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] 適宜、紹介する。</p>			

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	宮本 有香		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 決定した研究テーマについて、自ら実験計画を立て、研究を進めることができるようになる。</p> <p>[授業概要] 決定した研究テーマに沿って、研究計画を立案する。それをもとに、データ収集、解析を行い、論文作成へと展開する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各自の研究テーマに関する科学論文の検索を行い、日頃から収集、把握しておく。 実験計画をしっかりと組み立て、スケジュールを管理し、実験を行う。 実験後のデータは、速やかに整理し、発表で用いることができる形に整えておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. 研究テーマ決定 2. 実験準備① 3. 実験準備② 4. 実験、データ収集① 5. 実験、データ収集② 6. 実験、データ収集③ 7. 実験、データ収集④ 8. 実験、データ収集⑤ 9. 実験、データ収集⑥ 10. 実験、データ収集⑦ 11. 実験、データ収集⑧ 12. 実験、データ収集⑨ 13. 実験、データ収集⑩ 14. 前期 まとめ 中間発表</p>			

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	宮本 有香		
<p>[成績評価方法] 計画立案、実施内容、データのまとめ方を総合的に評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ゼミ活動内でディスカッションを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル	食育(栄養改善、健康づくり)	演習	
担当者	安田 敬子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

栄養業務を展開するにあたり必要なPDCAサイクルに基づく考え方を身につける。

[授業概要]

決定した研究テーマに沿って、研究計画を立案する。それをもとに、データ収集、解析を行い、論文作成へと展開する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

- ・関連情報の事前収集
- ・再履修科目をなくし、卒業論文に集中できる体制にしておく

[授業計画]

1. 研究テーマ決定
2. 調査計画①
3. 調査計画②
4. 調査の実施①
5. 調査の実施②
6. 調査の実施③
7. 調査の実施④
8. データ解析①
9. データ解析②
10. データ解析③
11. データ解析④
12. データ解析⑤
13. データ解析⑥

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル	食育(栄養改善、健康づくり)	演習	
担当者	安田 敬子		

[成績評価方法]
計画立案、実施内容、データのまとめ方を総合的に評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
質問の都度対応。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書 (ISBN)]
なし

[参考書 (ISBN)]
適宜提示

科目名	卒業論文Ⅱ		前期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	西井 穂			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 研究目標、研究デザイン等、学生が自ら考え、研究成果をまとめられること。</p> <p>[授業概要] 研究課題の設定、研究計画立案、調査等の実施、結果の分析、考察、論文の作成方法について方法を学ぶ。ディスカッションを積極的に行い、結果を吟味し、様々な角度から検討をし考察する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 特定給食施設における管理栄養士の役割及び給食経営管理論について、復習しておく。 文献講読により、論文の構成について理解する。アンケート調査方法、統計手法、パラグラフ・ライティングなどの図書を講読する。</p> <p>[授業計画] 1. 研究デザイン 2. 調査のポイント①(対象の設定、データ収集方法) 3. 調査のポイント②(データの取扱い) 4. 調査のポイント③(調査票の作成) 5. 中間報告会① 6. 調査の実施① 7. 調査の実施② 8. データ解析①(データ整理、入力方法) 9. データ解析②(グラフ、表の作成方法) 10. 調査結果の考察① 11. 調査結果の考察② 12. 中間報告会② 13. 論文の構成の仕方(パラグラフ・ライティング)</p>				

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	西井 穂		
<p>[成績評価方法] 研究計画の立て方、研究の実施内容(50%)、研究結果のまとめ方、考察の内容(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題やレポートについては、適宜授業の中で解説、講評する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] よくわかる卒論の書き方[第2版] 著者名:白井利明、高橋一郎 出版社:ミネルヴァ書房 (978-4623065721) 論理が伝わる世界標準の「書く技術」[パラグラフ・ライティング]入門 著者名:倉島保美 出版社:講談社 (978-4-06-257793-9)</p>			

S89288 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル	卒論のための調査・実験を行う。	演習	
担当者	竹市 仁美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らが興味のある卒業論文のテーマについて、何を明らかにしたいのかという目的を設定し、仮説をたてる。 ・仮説を検証するための調査方法や分析方法について研究計画書を作成する。 ・計画に沿って調査・実験を行う。 <p>[授業概要]</p> <p>卒業研究は、先行研究の論文から学び、その上で自分で考え、他のゼミ生に協力や助言を仰ぐ中で、諦めずに一つの論文を作り上げてください。特に、公衆栄養分野では準備や調査についてチームで協力することで、上手く進むことが多いため、常にコミュニケーションを心掛け、楽しく計画を実行していけるよう準備をしましょう。</p> <p>結果がどうかよりも、熟考して調査や実験を進めていく過程が大切です。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>できるだけ多くの先行研究を検索してください。 また、経過を記録を残していくようにしてください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究計画書を仕上げる 2. 調査・実験① 3. 調査・実験② 4. 調査・実験③ 5. 中間報告会① 6. 調査・実験④ 7. 調査・実験⑤ 8. 結果集計① 9. 結果集計② 10. 分析と考察① 11. 分析と考察② 12. 中間報告会② 13. 課題修正とまとめ 			

科目名	卒業論文Ⅱ	前期	3 単位
サブタイトル	卒論のための調査・実験を行う。	演習	
担当者	竹市 仁美		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究計画の実施状況・分析への取り組み方(50%) ・中間発表会の内容助言や質疑応答(30%) ・ゼミ生との協力態度(20%) <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>定期的な報告会以外に、個別での相談指導を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>適宜レジメ配布</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>なし</p>			

S89289 [HDB4-002]

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	安藤 清一		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究課題の設定と研究方法、実験技術、実験結果の考察を通して、研究論文の作成方法を身につける。</p> <p>[授業概要] 卒業論文Ⅲでは、研究課題の実験を進め、得られた実験結果を卒業論文としてまとめ、卒業論文発表会で報告する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度。 卒業論文の作成に当たり、研究課題に関連する学術論文を読み、その内容の理解に努める。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション 2.実験または調査の考察① 3.実験または調査の考察② 4.実験または調査の考察③ 5.卒業論文の作成① 6.卒業論文の作成② 7.卒業論文の作成③ 8.卒業論文の作成④ 9.卒業論文の作成⑤ 10.卒業論文発表の準備① 11.卒業論文発表の準備② 12.卒業論文発表の準備③ 13.卒業論文発表会</p>			

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	安藤 清一		
<p>[成績評価方法] 卒業研究に対する取り組み姿勢・積極性、卒業論文の内容、卒業論文の発表内容等について、総合的に評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 質疑応答時に、具体的に解説する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	置村 康彦		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究がどのように行なわれていくか実際に体験し、1つの結果を得るまでにどのようなことがなされているか理解し、自己の研究テーマに関して、何らかの知見を付け加えることができる。</p> <p>[授業概要] 研究に参加することを通して、研究の方法、結果の評価・解釈、発表のしかたなどを指導する。特に、Ⅲでは発表に重点を置く。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] これまで学習した知識を整理しておいてください。どのような物事に対しても「なぜか？」と問うように意識しましょう。再履修科目をなくし、卒業論文に集中できるようにしましょう。</p> <p>[授業計画] 卒業論文Ⅲにおいては、下記事項について指導する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発表図譜の作成 1 2. 発表図譜の作成 2 3. 発表図譜の作成 3 4. 論文の書き方 1 5. 論文の書き方 2 6. 論文の書き方 3 7. 論文の書き方 4 8. 学会発表／プレゼンテーションのしかた 1 9. 学会発表／プレゼンテーションのしかた 2 10. 学会発表／プレゼンテーションのしかた 3 11. 卒論発表会予行演習 1 12. 卒論発表会予行演習 2 13. 卒論発表／質疑応答 			

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	置村 康彦		
<p>[成績評価方法] 毎週行う報告会での発表、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度を主な評価対象とする。研究の進展、発表内容に関して指導し、フィードバックを行う。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 質問の都度、個人対応</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし 著者名:なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小倉 嘉夫		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究計画の基本的考え方を学び、実施によって実験技術を習得する。</p> <p>[授業概要] A) コレステロール・胆汁酸の代謝および体内動態 コレステロールの体内動態はメタボリックシンドロームの指標として重要なものである。環境的要因の変化に対するコレステロールおよびその異化産物である胆汁酸代謝についてラットを用いて研究する。 B) 腸内細菌による胆汁酸変換 二次胆汁酸であるデオキシコール酸は大腸癌の促進因子、またリコール酸は肝毒性に働く。このような有害な胆汁酸組成比を少なくすると同時に肝細胞保護作用や体内での発癌予防など多様な有効作用をもつウルソデオキシコール酸の合成を増加させる方法を、プロバイオティクスとして腸内細菌を利用して探索する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各演習について予習・復習6時間程度 日頃からコレステロールおよび胆汁酸代謝に関連する、論文や総説に関心を持つこと。基本的な有機化学についても復習しておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. 実験8 2. 実験9 3. データの検討 4. データの検討 5. 卒業論文テーマ関連文献の追加収集 6. 卒業論文作成 7. 卒業論文作成 8. 卒業論文作成 9. 卒業論文の発表準備 10. 卒業論文の発表準備 11. 卒業論文の質疑応答 12. 卒業論文の発表 13. まとめ</p>			

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小倉 嘉夫		
<p>[成績評価方法] 卒業研究に対する実施結果、論文内容、論文発表などを総合的に評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 卒業論文の添削を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

S89318 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル	栄養学の実験研究を学ぶ	演習	
担当者	狩野 百合子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

ラットを用いる栄養実験を通して、食品中の非栄養素(エキストラバージンオリーブ油に含まれるポリフェノール)の機能について考え、考察する。

[授業概要]

「エキストラバージンオリーブ油によるラットの脂質代謝への影響」

オリーブ油の健康への有効な効果について調べるために、特にエキストラバージンオリーブ油と他の油脂(動物性油脂のラードあるいは植物性油脂の大豆油)を同時に摂取したときの脂質代謝(体熱産生)への影響について、カテコラミン分泌量、血液中脂質成分(トリグリセリド濃度、コレステロール濃度)及び、体脂肪量、褐色脂肪細胞(BAT)の脱共役蛋白質(UCP1)を測定し調べることで検討する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

前回の授業を復習し理解を深めて、次回の授業の準備をすること。

[授業計画]

1. 実験計画(1)
2. 実験計画(2)
3. 実験計画(3)
4. 実験準備(1):動物、試薬、使用器具類等について
5. 実験準備(2):動物、試薬、使用器具類等について
6. 実験準備(3):動物、試薬、使用器具類等について
7. 実験実施(1)
8. 実験(2)
9. 実験(3)
10. 実験(4)
11. 実験(5)
12. 実験結果のまとめ(1)データをまとめ、論文にまとめる。
13. 実験結果のまとめ(2)データをまとめ、論文にまとめたものを発表会でプレゼンテーションを行う。

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル	栄養学の実験研究を学ぶ	演習	
担当者	狩野 百合子		
<p>[成績評価方法] 研究計画の立て方(40%)、研究の実施内容(40%)、研究結果のまとめ方(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 提出したレポートについては、評価や指示を付して返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] プリント</p> <p>[参考書 (ISBN)] ハーバー生化学 (原書30版) 著者名:上代淑人 出版社:丸善出版 (9784620000000)</p>			

S89322 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ		後期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	木村 万里子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート		○	グループワーク	○
プレゼンテーション		○	実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>1. ディプロマ・ポリシーに基づき、調査・研究を行うことができるようになる。 2. ディプロマ・ポリシーに基づき、卒業論文を完成させることができるようになる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>大学における学修の集大成として研究を行い、卒業論文を作成する。 卒業論文Ⅲでは、卒業研究Ⅱで行った研究の追加実験・実習を行い、すべての研究結果をデータ処理してまとめる。また、卒論発表会で発表・質疑応答を行うとともに、卒業論文を作成して提出する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>日頃から研究テーマに関係するニュース等に関心を持つ。関連する新聞記事、雑誌等の切り抜きやコピーを積極的に収集すること。各回、予習復習合わせて2時間です。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 追加実験・実習① 2. 追加実験・実習② 3. 追加実験・実習③ 4. 研究のまとめ・データ処理、論文作成① 5. 研究のまとめ・データ処理、論文作成② 6. 研究のまとめ・データ処理、論文作成③ 7. 研究のまとめ・データ処理、論文作成④ 8. 研究のまとめ・データ処理、論文作成⑤ 9. 研究のまとめ・データ処理、論文作成⑥ 10. 卒論発表会のための資料作成、準備① 11. 卒論発表会のための資料作成、準備② 12. 卒論発表会、卒業論文提出 13. まとめ 				

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	木村 万里子		
<p>[成績評価方法] 受講態度(20%)、レポート課題(80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートや論文の評価をmanaに提示する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし(プリント配布)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 適宜指示する。</p>			

科目名	卒業論文Ⅲ		後期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	栗原 伸公			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 学生の自由な発想に基づく学生独自の研究を、教員とともに有意義で実現可能なものに磨き上げたうえで、それに個々の学生が主体的に取り組むことによって、研究の考え方の基礎を学ぶ。</p> <p>[授業概要] 食と健康に関する小規模の調査を通じて、疫学調査と分析の方法を学びます。やる気がある人は、学会発表可能なものに仕上げましょう。調査テーマは自由ですが、研究として相応しいものにアレンジする場合があります。調査方法も自由で、現場に出向いての聞き取り調査から、郵送法、インターネットによる調査まで、それぞれの長所・短所を理解したうえで選んでください。 調査には、簡単な実験を加えることもできます。たとえば、食品の塩分量やカロリーなどを測定し、アンケート結果をはじめとする他のデータと組み合わせることが可能です。 さらに、これらとは別に、大学院生等とともに私が研究室で行っている実験的研究(高血圧・循環器疾患の食事による予防)に参加することも可能です。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 食と健康に関して、普段から自分が興味があること、知りたいこと、確かめたいことなどを、ノートに出来るだけ多く書き出しておいてください。</p> <p>[授業計画] 1. 内容検討会1 2. 内容検討会2 3. 追加調査・実験1 4. 追加調査・実験2 5. 追加調査・実験3 6. 追加調査・実験4 7. 研究のまとめ1 8. 研究のまとめ2 9. 卒論推敲演習1 10. 卒論推敲演習2(卒論提出) 11. 卒論発表会1(ゼミ内) 12. 卒論発表会2(ゼミ内) 13. まとめ</p>				

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	栗原 伸公		
<p>[成績評価方法] 試験(10%)、レポート(5%)、発表会(15%)、卒業論文(70%) 研究計画の立て方、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 面談により、直接指導を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] 授業の際に指定する。</p>			

S89330 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	後藤 昌弘		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自主的に課題について探求する考えかたを見つけ出す。 2. 研究の手法やまとめ方を理解する。 3. 論文作成を通じて論理的な文書作成能力を身につける。 <p>[授業概要]</p> <p>以下の研究テーマを基本に実験をおこなう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ジャガイモの品種と調理特性—おいしいジャガイモの条件とは何か— 2. 過熱水蒸気オーブンの調理特性について 3. 真空調理法やクックテルシステムの利用とそれに伴って生じる諸問題の原因解明ならびに防止法の検討 4. 野菜・果物のもつおいしさの要因解析とおいしさの具体的な表現方法の検討 5. 食品の物性と調理性 <p>卒業論文Ⅲでは、卒業論文ⅠおよびⅡで修得した実験手法や考え方を生かしつつ、さらに実験・研究を進め、卒業論文の作成およびプレゼンテーションを行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>研究テーマに関する学術論文や図書をよく読むこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テーマに応じた実験または調査1 2. テーマに応じた実験または調査2 3. テーマに応じた実験または調査3 4. テーマに応じた実験または調査4 5. テーマに応じた実験または調査5 6. テーマに応じた実験または調査6 7. テーマに応じた実験または調査7 8. テーマに応じた実験または調査8 9. テーマに応じた実験または調査9 10. テーマに応じた実験または調査10 11. データ処理と考察1 12. 論文作成 13. 論文発表 			

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	後藤 昌弘		
<p>[成績評価方法] 研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度について、取り組みの姿勢、積極性等を総合的に評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを利用。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記評価に準ずる</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] 基礎化学実験安全オリエンテーション 著者名:山口和也・山本仁著 出版社:東京化学同人 (9784810000000)</p>			

S89334 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	才新 直子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 卒業研究に主体的に取り組むことにより、課題解決に対して科学的根拠に基づいた結論を導き出す能力を修得する。</p> <p>[授業概要] 次の項目に関連した自身の研究テーマを見つけるために論文検索を行い、研究背景を探る。研究計画を立てて主体的に取り組む。得られた研究結果を多角的に解釈が出来るように、考察の妥当性について討議を行い、報告会で発表する。</p> <p>1. 給食経営管理実習室の加熱調理機器、及び保温機器を用いた食品成分の変化に関する研究 2. 給食経営管理実習の酸性電解水を用いた衛生管理に関する研究 3. 食と健康に関する調査研究</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 栄養・食品に関する事象の重要点について日常的に記録、考察する。</p> <p>[授業計画] 1. 研究結果について発表、討議 2. 研究のまとめ 3. 論文作成について1 4. 論文作成について2 5. 卒業論文作成1 6. 卒業論文作成2 7. 卒業論文作成3 8. 卒業論文発表・プレゼンテーションについて1 9. 卒業論文発表・プレゼンテーションについて2 10. 卒業論文発表・プレゼンテーションについて3 11. 研究のまとめを報告会にて発表、討議 12. 論文発表会の準備1 13. 論文発表会の準備2 14. 論文発表会の準備3 15. まとめ</p>			

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	才新 直子		
<p>[成績評価方法] 研究に取り組む姿勢(30%)、各報告会での発表・討議内容(30%)、提出レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート提出時にコメントを返します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:報告会での発表と質疑応答、報告書</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:報告会での発表と質疑応答、報告書</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:報告会での発表と質疑応答</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答、報告書</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:報告会での発表と質疑応答、報告書</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答、報告書</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:研究態度、報告会での発表と質疑応答、報告書</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

S89335 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	榊原 美津枝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 研究についての基本的な考えを学び、研究課題に主体的に取り組むことによって、研究テーマに関する事項の知識を深め、論文作成を通じて論理的な考え方を身につける。</p> <p>[授業概要] 1.患者さんが食事療法に取組めるようにサポートするために必要な事項をあらゆる角度から研究する。 2.食事療法の取組みが困難な患者さんについて、その原因を探り、どのようなサポートが必要かを研究していく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 研究テーマに関する事項について、資料を収集しておく。 各回の授業の事前準備とまとめに各2時間程度</p> <p>[授業計画] 1. データ解析① 2. データ解析② 3. データ解析③ 4. 論文作成① 5. 論文作成② 6. 論文作成③ 7. 論文作成④ 8. 論文作成⑤ 9. 論文作成⑥ 10. 考察・まとめ① 11. 考察・まとめ② 12. プレゼンテーション準備 13. プレゼンテーション準備</p>			

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	榊原 美津枝		
<p>[成績評価方法] 研究への取組み態度(40%)、論文内容(50%)、発表内容(10%)により総合的に評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] その都度指導を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:卒論内容、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:卒論内容、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:卒論内容、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:卒論内容、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:卒論内容、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:卒論内容、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:取組み態度、卒論内容、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:取組み態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:取組み態度、卒論内容、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:取組み態度、卒論内容、発表</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:取組み態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:取組み態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:取組み態度、卒論内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:取組み態度、卒論内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:取組み態度、卒論内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:取組み態度、卒論内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:取組み態度、卒論内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:取組み態度、卒論内容、発表</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし 必要に応じて指示</p> <p>[参考書 (ISBN)] 「初めての栄養学研究論文」 著者名:日本栄養改善学会監修 出版社:第一出版 (978-4-8041-1265-7) 「糖尿病医療学入門」 著者名:石井均著 出版社:医学書院 (978-4-260-01332-1)</p>			

S89338 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル	主に卒論の執筆と発表です	演習	
担当者	清水 扶美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 卒業論文を完成させるまでの研究過程を通して、主体的に考える力、知識や考察を整理して表現する力を身につける</p> <p>[授業概要] 研究課題は自由に設定する。研究課題の設定、研究計画立案、実験・調査の実施、結果の考察、論文作成、研究発表などの方法を指導する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] これまで学んだ知識や実験手技を整理し、卒業研究に活かせるように理解を深めておくこと。 日頃から、食品や栄養学、医療、健康などに関連する時事問題に興味を持つこと。 身近な環境の中で、ふと思った疑問について書き留め、それらについて科学的観点から考察する習慣をつけること。</p> <p>[授業計画] 1. 考察の検討・ディスカッション① 2. 考察の検討・ディスカッション② 3. 論文作成① 4. 論文作成② 5. 論文作成③ 6. 論文作成④ 7. 論文作成⑤ 8. 研究発表・プレゼンテーション準備① 9. 研究発表・プレゼンテーション準備② 10. 研究発表・プレゼンテーション準備③ 11. 研究発表と質疑応答① 12. 研究発表と質疑応答② 13. まとめ</p>			

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル	主に卒論の執筆と発表です	演習	
担当者	清水 扶美		
<p>[成績評価方法] 以下の項目を含む研究のまとめ、卒業論文の内容、発表態度などを主な評価対象とする。 ・研究に対する態度や取り組み(40%) ・論文執筆や発表のために作成した資料や提出物(40%) ・研究に関する質疑応答の内容(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ゼミの中で、ディスカッションや解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 初めての栄養学研究論文一人には聞けない要点とコツ 著者名:日本栄養改善学会、栄養学雑誌編集委員会 出版社:第一出版 (4804112650)</p>			

S89346 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉岡 ふみ子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 臨床栄養に関する収集した情報を生かし、論文を作成する。</p> <p>[授業概要] 管理栄養士の臨床における役割を知り、調査で得られたデータを分析し、栄養学的な観点から疾患についての臨床研究を行う。 1.臨床における食物アレルギー児の状況 2.栄養障害のスクリーニングについて 3.その他</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 主体的に研究を進めていけるように、食や栄養に関する情報を収集しておく。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション 2. 資料探索 3. 資料検討 4. データ集約1 5. データ集約2 6. 論文構成1 7. 論文構成2 8. 論文作成まとめ1 9. 論文作成まとめ2 10. 論文作成まとめ3 11. 研究発表要旨作成 12. 論文発表資料作成1 13.論文発表資料作成2</p>			

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉岡 ふみ子		
<p>[成績評価方法] 卒業論文(80%)、取り組み姿勢(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 適時に個別にて指導を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:卒業論文発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:論文作成の取り組み姿勢</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:論文作成の取り組み姿勢</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:卒業論文</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:調査への取り組み姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:調査への取り組み姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:調査への取り組み姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:調査への取り組み姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:卒業論文</p> <p>[教科書 (ISBN)] 必要に応じて指示</p> <p>[参考書 (ISBN)] 必要に応じて指示</p>			

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹中 優		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 管理栄養士として必要とされる科学的かつ論理的思考を行う事ができる。 2. 情報を正確に収集し、種々の角度から分析、解析し科学的に考察する。 3. その結果を簡潔かつ正確にプレゼンテーションを行う。 4. 実験データの取り扱いに関する研究倫理を理解する。 <p>[授業概要]</p> <p>指導的立場の管理栄養士として、あるいは医療職として活躍する際に必要とされる素養を特に以下の項目に重点を置き習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報収集とアセスメント 2. 課題設定能力 3. 管理栄養士として必須の病態に対する臨床医学的な理解 4. 実験調査などの結果の分析と考察 5. 明快で論理的な論文作成 6. 正確かつ印象的なプレゼンテーション <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>実験に関する興味、協調性、コミュニケーション能力を要する。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 解析結果についてのディスカッション1 2. 解析結果についてのディスカッション2 3. 論文作成準備1 4. 論文作成準備2 5. 論文作成準備3 6. 論文作成1 7. 論文作成2 8. 論文作成3 9. 論文作成4 10. 論文作成5 11. プレゼンテーション準備1 12. プレゼンテーション準備2 13. 研究室でのプレゼンテーション発表 			

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹中 優		
<p>[成績評価方法] 研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 質問には個別対応。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	卒業論文Ⅲ		後期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	田村 奈緒子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 実験によって得られたDataから何が明らかになり、どのような可能性が考えられ、逆に言えないことは何かということを自ら解析できるようになる。論理的思考を身につける。 新しい事象に対し、その危険度、有益度を正確に推し量れるようになること。</p> <p>[授業概要] 「食品に含まれるI型アレルギー抑制機構の解明」 毎日摂取する食品によってI型アレルギーを起こすマスト細胞の脱顆粒を抑制することができれば、花粉症、アトピー性皮膚炎の不快感を緩和することができるはずである。当研究室ではいくつか効果をもつ食品を見出した。そこで実験により以下のことを行なう。 ・脱顆粒抑制効果をもつことが明らかになった食品に含有する有効成分を単離同定する。 ・各食品の脱顆粒抑制効果が数段階に及ぶ細胞内シグナル伝達のどの部位を抑制している結果なのかを明らかにする。 ・食物由来新規脱顆粒抑制物質を探索する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] アレルギー反応の分類、発生メカニズムを理解しておく。 活性酸素について人体に及ぼす影響や、起こりうる反応、生成する物質について今まで学んだ内容から総合的に考えてみる。</p> <p>[授業計画] 1. 実験経過発表1 2. 実験経過発表2 3. 実験経過発表3 4. 実験経過発表4 5. 各自卒論テーマに沿って実験および報告1 6. 各自卒論テーマに沿って実験および報告2 7. 各自卒論テーマに沿って実験および報告3 8. 各自卒論テーマに沿って実験および報告4 9. 内部締切10月1日に向けて卒論作成、提出討論 10. 追加実験報告および討論 11. 卒論作成提出 12. 発表会準備討論 13. 発表会リハーサル</p>				

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田村 奈緒子		
<p>[成績評価方法] 研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中にフィードバックの時間を設けるとともに個別の質問に応ずる。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:研究のまとめ、卒業論文の内容、卒論発表の内容と発表態度</p> <p>[教科書 (ISBN)] プリントを渡す 著者名:田村奈緒子</p> <p>[参考書 (ISBN)] 「抗体医薬」と「自然免疫」の驚異 著者名:岸本 忠三、中嶋 彰 出版社:講談社 (:9784062576338) 病気がみえる (vol.6) 著者名:医療情報科学研究所 出版社:メディックメディア (:9784896323092)</p>			

S89366 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	橋本 多美子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究課題に関する研究方法、実施手法、結果をまとめ考察を通して、研究論文作成方法を身につける。</p> <p>[授業概要] 研究課題の実験を進め、得られた結果を整理・解析し、結果を考察し、卒業論文発表会の資料準備および卒業論文を作成する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] これまでに学習した食品や調理に関連する知識や実験手法を整理しておく。 日頃から研究テーマに関する論文の検索を行い、情報を収集し、ノートに記録しておく。</p> <p>[授業計画] 1. 実験または考察① 2. 実験または考察② 3. 研究のまとめ① 4. 研究のまとめ② 5. 卒業論文の作成① 6. 卒業論文の作成② 8. 卒業論文の作成③ 9. 卒業論文の作成④ 10. 卒業論文の作成⑤ 11. 卒業論文発表会の準備① 12. 卒業論文発表会の準備② 13. 卒論発表会</p>			

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	橋本 多美子		
<p>[成績評価方法] 先行研究論文の報告内容および質疑応答の内容、取り組み態度などにより総合的に評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 発表内容等については、毎回口頭で解説する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:実験・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:実験・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実験・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:実験・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:実験・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:実験・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:実験・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:実験・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実験・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:実験・課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実験・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実験・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実験・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:実験・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実験・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実験・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実験・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実験・課題</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

S89370 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	甲斐 達男		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究結果をとりまとめ、考察を通して研究論文の作成方法を身につける。</p> <p>[授業概要] 卒業論文Ⅲでは、研究を推進し、得られた結果を卒業論文としてまとめ、卒業論文研究発表会で報告する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 卒業論文Ⅰ・Ⅱを通じて調査し収集してきた学術論文を体系的に整理し、その内容の理解に努めて卒業論文の作成に活かしましょう。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究(実験または調査)結果の考察(1) 2. 研究(実験または調査)結果の考察(2) 3. 研究(実験または調査)結果の考察(3) 4. 卒業論文の作成(1) 5. 卒業論文の作成(2) 6. 卒業論文の作成(3) 7. 卒業論文の作成(4) 8. 卒業論文の作成(5) 9. 卒業論文の作成(6) 10. 研究発表会の準備(1) 11. 研究発表会の準備(2) 12. 研究発表会の準備(3) 13. 卒業論文研究発表会 			

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	甲斐 達男		
<p>[成績評価方法] 日常の質疑応答、研究に取り組む姿勢、研究発表の質、卒業論文の内容を総合的に評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 面談により、質疑応答で対応します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:卒業論文および卒論発表会の内容</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 適宜、紹介する。</p>			

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	宮本 有香		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 実験によって得られたデータを整理し、発表資料および卒業論文を作成する。</p> <p>[授業概要] 決定した研究テーマに沿って、研究計画を立案する。それをもとに、データ収集、解析、結果の評価、考察を行い、論文作成へと展開する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・実験データの整理 ・関連情報の事前収集 ・卒論発表会プレゼンテーション資料作成・卒業論文作成</p> <p>[授業計画] 1. 追加実験① 2. 追加実験② 3. データ、参考文献の整理、収集 4. 考察・まとめ① 5. 考察・まとめ② 6. 考察・まとめ③ 7. 考察・まとめ④ 8. 考察・まとめ⑤ 9. 考察・まとめ⑥ 10. 考察・まとめ⑦ 11. 総論原稿校閲 12. 卒論発表会プレゼンテーション① 13. 卒論発表会プレゼンテーション② 14. 卒論発表会</p>			

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	宮本 有香		
<p>[成績評価方法] 卒業論文に取り組む姿勢、論文内容、発表時の態度を総合的に評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ゼミ活動内でディスカッションを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル	食育(栄養改善、健康づくり)	演習	
担当者	安田 敬子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

管理栄養士の日常業務の中で研究テーマを見つけて論文にまとめる。また専門職としてのスキル向上に関わる実践活動をまとめ、PDCAサイクルに沿った業務見直しを行い、その成果を多くの仲間に知らしめることが、住民のより効果的な栄養改善に繋がることを知る。

[授業概要]

結果の評価、考察について

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

- ・関連情報の事前収集
- ・卒論発表会プレゼンテーション

[授業計画]

1. 追加資料・情報の収集、情報交換①
2. 追加資料・情報の収集、情報交換②
3. 資料・情報の整理
4. 考察・まとめ①
5. 考察・まとめ②
6. 考察・まとめ③
7. 考察・まとめ④
8. 考察・まとめ⑤
9. 考察・まとめ⑥
10. 考察・まとめ⑦
11. 総論原稿校閲
12. 卒論発表会プレゼンテーション
13. 卒論発表会

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル	食育(栄養改善、健康づくり)	演習	
担当者	安田 敬子		

[成績評価方法]
卒業論文に取り組む姿勢、論文内容、発表時の態度を総合的に評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
質問の都度対応。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書 (ISBN)]
なし

[参考書 (ISBN)]
適宜提示

科目名	卒業論文Ⅲ		後期	3 単位
サブタイトル			演習	
担当者	西井 穂			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 研究目標、研究デザイン等、学生が自ら考え、研究成果をまとめられること。</p> <p>[授業概要] 研究課題の設定、研究計画立案、調査等の実施、結果の分析、考察、論文の作成方法について方法を学ぶ。ディスカッションを積極的に行い、結果を吟味し、様々な角度から検討をし考察する。論文作成をする上で、論理的に伝える力を身につける。また、研究発表の方法、マナーについて指導をする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 特定給食施設における管理栄養士の役割及び給食経営管理論について、復習しておく。 文献講読により、論文の構成について理解する。アンケート調査方法、統計手法、パラグラフ・ライティング、プレゼンテーションに関する図書を講読する。</p> <p>[授業計画] 各自の研究テーマに沿って論文作成し、発表をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 論文作成について 2. 卒業論文作成① 3. 卒業論文作成② 4. 卒業論文作成③ 5. 卒業論文作成④ 6. 中間発表 7. 卒業論文作成⑤ 8. 卒業論文作成⑥ 9. 卒業論文発表・プレゼンテーションについて 10. 論文発表会準備① 11. 論文発表会準備② 12. 論文発表会準備③ 13. 論文発表会・質疑応答、まとめ 				

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル		演習	
担当者	西井 穂		
<p>[成績評価方法] 卒業論文の内容(60%)、卒業論文発表の内容と発表態度(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中にフィードバックする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] よくわかる卒論の書き方[第2版] 著者名:白井利明、高橋一郎 出版社:ミネルヴァ書房 (978-4623065721) 論理が伝わる世界標準の「書く技術」/「パラグラフ・ライティング」入門 著者名:倉島保美 出版社:講談社 (978-4-06-257793-9)</p>			

S89388 [HDB4-003]

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル	卒業論文の作成と発表	演習	
担当者	竹市 仁美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究結果がどのようなものであっても、その結果からわかったこと、わからなかったことを論文作成の手順に沿って文章に表現する。 取り組んだ各自の研究の成果を発表する。 他者から意見をもらい、課題を整理する。 発表によって得られた成果や学びをまとめる。 <p>[授業概要]</p> <p>卒業研究は、先行研究の論文から学び、その上で自分で考え、他のゼミ生に協力や助言を仰ぐ中で、諦めずに一つの論文を作り上げてください。特に、公衆栄養分野では準備や調査についてチームで協力することで、上手く進むことが多いため、常にコミュニケーションを心掛け、楽しく計画を実行していけるよう準備をしましょう。</p> <p>結果がどうかよりも、熟考して調査や実験を進めていく過程が大切です。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> 論文の書き方について、勉強する。 課題を解決のために、文献を検索する。 発表のためのパワーポイントについて学びを深める。 <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 卒業論文作成① 卒業論文作成② 卒業論文作成③ 卒業論文作成④ 卒業論文作成⑤ 発表用パワーポイント作成 卒業中間発表会 追加資料情報収集・論文修正 論文の修正 卒論発表会 まとめ 			

科目名	卒業論文Ⅲ	後期	3 単位
サブタイトル	卒業論文の作成と発表	演習	
担当者	竹市 仁美		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> 論文の進め方と内容(40%) 発表の内容(40%) 試問(20%) <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>定期的な報告会以外に、個別での相談指導を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>なし</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>なし</p>			

S89389 [HDB4-003]

科目名	調理科学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	後藤 昌弘		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 経験や勘に頼りがちな調理プロセスで生じる様々な現象や問題点について科学的、分析的に判断し、研究していくセンスを養うことを目標とする。</p> <p>[授業概要] 調理は、経験をもとに発達してきたもので、調理の技術はかなり精巧な域にまで達しているが、調理を科学的に解明するにはさまざまな要因が錯綜し、簡単には行えない。これは、扱う食品材料の種類が多く、その材質も均一でないことに加え、調理操作上はこれらを組み合わせるなど複雑多岐な要因が存在するためである。調理科学における実験では、一般的科学実験の手法を用いながらもこの点に留意して進めていく必要がある。ここでは調理プロセスで生じる様々な現象や問題点について科学的、分析的に判断し、研究していくセンスを養うことを目標として実験を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業計画に示した表題について1年次で学習した「調理学」の教科書を読み返し、実験の目的を理解しておく。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、データの扱いと参考文献の引用方法 2. 調理における目測と実測の関係、廃棄率 3. 官能検査と統計処理 4. 砂糖の加熱と性状の変化 5. クッキーと油脂 6. クッキーの焼き色 7. ドウとグルテン 8. イカの調理性 9. 野菜の色と調理に伴う変化 10. 卵の鮮度と起泡性 11. マヨネーズとドレッシング 12. 野菜の吸水と放水 13. 揚げ物の吸油量と脱水率 <p>* 材料、器具の都合や感染の状況等により 順番や内容が変わることがあります。</p>			

科目名	調理科学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	後藤 昌弘		
<p>[成績評価方法] レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを利用</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>[教科書(ISBN)] Nブックス実験シリーズ「調理科学実験」 著者名:長尾慶子・香西みどり編著 出版社:建帛社(9784770000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] 調理学(講義)で用いた教科書</p>			

科目名	調理科学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	後藤 昌弘		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 経験や勘に頼りがちな調理プロセスで生じる様々な現象や問題点について科学的、分析的に判断し、研究していくセンスを養うことを目標とする。</p> <p>[授業概要] 調理は、経験をもとに発達してきたもので、調理の技術はかなり精巧な域にまで達しているが、調理を科学的に解明するにはさまざまな要因が錯綜し、簡単には行えない。これは、扱う食品材料の種類が多く、その材質も均一でないことに加え、調理操作上はこれらを組み合わせるなど複雑多岐な要因が存在するためである。調理科学における実験では、一般的科学実験の手法を用いながらもこの点に留意して進めていく必要がある。ここでは調理プロセスで生じる様々な現象や問題点について科学的、分析的に判断し、研究していくセンスを養うことを目標として実験を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業計画に示した表題について1年次で学習した「調理学」の教科書を読み返し、実験の目的を理解しておく。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、データの扱いと参考文献の引用方法 2. 調理における目測と実測の関係、廃棄率 3. 官能検査と統計処理 4. 砂糖の加熱と性状の変化 5. クッキーと油脂 6. クッキーの焼き色 7. ドウとグルテン 8. イカの調理性 9. 野菜の色と調理に伴う変化 10. 卵の鮮度と起泡性 11. マヨネーズとドレッシング 12. 野菜の吸水と放水 13. 揚げ物の吸油量と脱水率 <p>* 材料、器具の都合や感染の状況等により 順番や内容が変わることがあります。</p>			

科目名	調理科学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	後藤 昌弘		
<p>[成績評価方法] レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを利用</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>[教科書(ISBN)] Nブックス実験シリーズ「調理科学実験」 著者名:長尾慶子・香西みどり編著 出版社:建帛社(9784770000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] 調理学(講義)で用いた教科書</p>			

科目名	調理科学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	後藤 昌弘		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 経験や勘に頼りがちな調理プロセスで生じる様々な現象や問題点について科学的、分析的に判断し、研究していくセンスを養うことを目標とする。</p> <p>[授業概要] 調理は、経験をもとに発達してきたもので、調理の技術はかなり精巧な域にまで達しているが、調理を科学的に解明するにはさまざまな要因が錯綜し、簡単には行えない。これは、扱う食品材料の種類が多く、その材質も均一でないことに加え、調理操作上はこれらを組み合わせるなど複雑多岐な要因が存在するためである。調理科学における実験では、一般的科学実験の手法を用いながらもこの点に留意して進めていく必要がある。ここでは調理プロセスで生じる様々な現象や問題点について科学的、分析的に判断し、研究していくセンスを養うことを目標として実験を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業計画に示した表題について1年次で学習した「調理学」の教科書を読み返し、実験の目的を理解しておく。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、データの扱いと参考文献の引用方法 2. 調理における目測と実測の関係、廃棄率 3. 官能検査と統計処理 4. 砂糖の加熱と性状の変化 5. クッキーと油脂 6. クッキーの焼き色 7. ドウとグルテン 8. イカの調理性 9. 野菜の色と調理に伴う変化 10. 卵の鮮度と起泡性 11. マヨネーズとドレッシング 12. 野菜の吸水と放水 13. 揚げ物の吸油量と脱水率 <p>* 材料、器具の都合や感染の状況等により 順番や内容が変わることがあります。</p>			

科目名	調理科学実験	後期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	後藤 昌弘		
<p>[成績評価方法] レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを利用</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>[教科書(ISBN)] Nブックス実験シリーズ「調理科学実験」 著者名:長尾慶子・香西みどり編著 出版社:建帛社(9784770000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] 調理学(講義)で用いた教科書</p>			

科目名	調理科学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	後藤 昌弘		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 経験や勘に頼りがちな調理プロセスで生じる様々な現象や問題点について科学的、分析的に判断し、研究していくセンスを養うことを目標とする。</p> <p>[授業概要] 調理は、経験をもとに発達してきたもので、調理の技術はかなり精巧な域にまで達しているが、調理を科学的に解明するにはさまざまな要因が錯綜し、簡単には行えない。これは、扱う食品材料の種類が多く、その材質も均一でないことに加え、調理操作上はこれらを組み合わせて用いるなど複雑多岐な要因が存在するためである。調理科学における実験では、一般的科学実験の手法を用いながらもこの点に留意して進めていく必要がある。ここでは調理プロセスで生じる様々な現象や問題点について科学的、分析的に判断し、研究していくセンスを養うことを目標として実験を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業計画に示した表題について1年次で学習した「調理学」の教科書を読み返し、実験の目的を理解しておく。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、官能検査と統計処理 2. 調理における目測と実測の関係、廃棄率 3. 官能検査 4. 砂糖の加熱と性状の変化 5. クッキーと油脂 6. クッキーの焼き色 7. ドウとグルテン 8. イカの調理性 9. 野菜の色と調理に伴う変化 10. 卵の鮮度と起泡性 11. マヨネーズとドレッシング 12. 野菜の吸水と放水 13. 揚げ物の吸油量と脱水率 <p>* 材料、器具の都合や感染の状況等により 順番や内容が変わることがあります。</p>			

科目名	調理科学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	後藤 昌弘		
<p>[成績評価方法] レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを利用</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート(70%)、受講態度(30%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Nブックス実験シリーズ「調理科学実験」 著者名:長尾慶子・香西みどり編著 出版社:建帛社(9784770000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] 調理学(講義)で用いた教科書</p>			

科目名	調理学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	後藤 昌弘		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 調理の基礎となる考え方や基礎知識を学習するとともに食文化や食環境についても理解を深めることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 調理を学ぶには、健康・栄養・嗜好・食文化などを考えて時代にあった食事計画ができる一方、食品の調理性を理解し、調理操作における食品の変化を科学的にとらえ、それを生かした調理ができるようになることが重要である。ここでは、その基礎となる考え方や基礎知識を学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業までに細胞構造、化学式、高等学校家庭科で学習した調理の内容や方法などを再確認しておく。授業後はmanabaに掲載した資料を参考にして、キーワードや具体的な事象が説明できるように復習を行うこと。各回、予習復習あわせて4時間程度の学修を行うこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調理の意義, 調理学とは、調理の様式と食文化 2. 嗜好性とおいしさ1 3. 嗜好性とおいしさ2 4. 基本調理操作1ー基本調理操作, 食品の保存ー 5. 基本調理操作2ー非加熱調理 6. 基本調理操作3ー加熱調理 7. 植物性食品の調理特性と調理1 8. 植物性食品の調理特性と調理2 9. 植物性食品の調理特性と調理3 10. 動物性食品の調理特性と調理1 11. 動物性食品の調理特性と調理2 12. その他の食品の調理特性と調理 13. 新しい調理法と考え方 			

科目名	調理学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	後藤 昌弘		
<p>[成績評価方法] 小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを利用</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%)</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%)</p> <p>[教科書(ISBN)] Nブックス 新版 調理学 著者名:鈴野弘子, 真部真里子 編著 出版社:建帛社 (978-4-7679-0645-4)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	調理学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	後藤 昌弘		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 調理の基礎となる考え方や基礎知識を学習するとともに食文化や食環境についても理解を深めることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 調理を学ぶには、健康・栄養・嗜好・食文化などを考えて時代にあった食事計画ができる一方、食品の調理性を理解し、調理操作における食品の変化を科学的にとらえ、それを生かした調理ができるようになることが重要である。ここでは、その基礎となる考え方や基礎知識を学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業までに細胞構造、化学式、高等学校家庭科で学習した調理の内容や方法などを再確認しておく。授業後はmanabaに掲載した資料を参考にして、キーワードや具体的な事象が説明できるように復習を行うこと。各回、予習復習あわせて4時間程度の学修を行うこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調理の意義, 調理学とは、調理の様式と食文化 2. 嗜好性とおいしさ1 3. 嗜好性とおいしさ2 4. 基本調理操作1ー基本調理操作, 食品の保存ー 5. 基本調理操作2ー非加熱調理 6. 基本調理操作3ー加熱調理 7. 植物性食品の調理特性と調理1 8. 植物性食品の調理特性と調理2 9. 植物性食品の調理特性と調理3 10. 動物性食品の調理特性と調理1 11. 動物性食品の調理特性と調理2 12. その他の食品の調理特性と調理 13. 新しい調理法と考え方 			

科目名	調理学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	後藤 昌弘		
<p>[成績評価方法] 小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを利用</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%)</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小テスト結果及びレポート(40%)、試験(50%)、受講態度(10%)</p> <p>[教科書(ISBN)] Nブックス 新版 調理学 著者名:鈴野弘子, 真部真里子 編著 出版社:建帛社 (978-4-7679-0645-4)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	調理学実習 I	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	眞木 優子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 調理学的な理論をふまえ、衛生面に細心の注意を払い、基礎知識や調理技術を修得する。</p> <p>[授業概要] 人間が生活する上での「食」の重要性について理解するとともに、食素材の取り扱いや器具の使い方、調理の理論と技術を習得することを目的とする。 日本料理、西洋料理、中国料理の様式別に実習を行い、その国の食文化について学び、テーブルマナーも身につける。さらに、食品の安全性や衛生管理の重要性を理解し、実践する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前の実習手順について予習しておく。実習後は課題に沿ってレポートを作成し、次回の授業時に提出する。また、前回の実習の復習、可能であれば実際に調理を行ってみる。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 調理の基本① 3. 調理の基本② 4. 調理の基本③ 5. 日本料理① 6. 日本料理② 7. 日本料理③ 8. 西洋料理① 9. 西洋料理② 10. 西洋料理③ 11. 中国料理① 12. 中国料理② 13. まとめ <p>なお、食材の購入状況により順番が変更になる場合がある。</p>			

科目名	調理学実習 I	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	眞木 優子		
<p>[成績評価方法] 試験(40%)、毎週のレポート・課題(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で解説します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験、レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート課題</p> <p>[教科書(ISBN)] 「これからの調理」第2版 著者名:新調理研究会編 出版社:オーム社 (978-4-274-06942-0) 調理のためのベーシックデータ 第6版 著者名:女子栄養大学出版部 出版社:女子栄養大学出版部 (978-4-7895-0325-9) 必要に応じてプリントを配布する</p> <p>[参考書(ISBN)] 映像で学ぶ調理の基礎とサイエンス 著者名:松崎 政三 他著 出版社:学際企画 (978-4-906514-86-1) NEW調理と理論 第二版 著者名:山崎清子 他著 出版社:同文書院 (978-4-8103-1507-3)</p>			

科目名	調理学実習 I	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	橋本 多美子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 調理学的な理論をふまえ、衛生面に細心の注意を払い、基礎知識や調理技術を修得する。</p> <p>[授業概要] 人間が生活する上での「食」の重要性について理解するとともに、食素材の取り扱いや器具の使い方、調理の理論と技術を習得することを目的とする。 日本料理、西洋料理、中国料理の様式別に実習を行い、その国の食文化について学び、テーブルマナーも身につける。さらに、食品の安全性や衛生管理の重要性を理解し、実践する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習手順について予習しておく。実習後は課題に沿ってレポートを作成し、次回の授業時に提出する。また、前回の実習の復習、可能であれば実際に調理を行ってみる。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 調理の基本① 3. 調理の基本② 4. 調理の基本③ 5. 日本料理① 6. 日本料理② 7. 日本料理③ 8. 西洋料理① 9. 西洋料理② 10. 西洋料理③ 11. 中国料理① 12. 中国料理② 13. まとめ <p>なお、食材の購入状況により順番が変更になる場合がある。</p>			

科目名	調理学実習 I	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	橋本 多美子		
<p>[成績評価方法] 試験 (40%)、毎週のレポート・課題 (60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートおよび課題は、翌週以降に返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法: 試験、レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法: レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法: レポート課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: レポート課題</p> <p>[教科書 (ISBN)] 「これからの調理」第2版 著者名: 新調理研究会編 出版社: オーム社 (978-4-274-06942-0) 調理のためのベーシックデータ 第6版 著者名: 女子栄養大学出版部 出版社: 女子栄養大学出版部 (978-4-7895-0325-9) 必要に応じてプリントを配布する</p> <p>[参考書 (ISBN)] 映像で学ぶ調理の基礎とサイエンス 著者名: 松崎 政三 他著 出版社: 学際企画 (978-4-906514-86-1) □ NEW調理と理論 第二版 著者名: 山崎清子 他著 出版社: 同文書院 (978-4-8103-1507-3)</p>			

科目名	調理学実習 I	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	後藤 昌弘		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 調理の理論をふまえて食品素材についての理解を深め、理論を実践に生かすことができる。食品衛生・安全性に注意を払い、基本的な調理技術を身につける。</p> <p>[授業概要] 人間が生活する上での「食」の重要性について理解するとともに、包丁および食素材の扱い方、調味料の割合、分量の把握、調理操作など基本的な調理技術を習得する。また、日本料理、西洋料理、中国料理の様式別献立の実習を通して、その国の食文化について学び、テーブルマナーを身につける。さらに、食品の安全性や衛生管理の重要性を理解し、実践する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習手順について予習しておく。実習後は課題に沿ってレポートを作成し、次回の授業時に提出する。また、前回の実習の復習、可能であれば実際に調理を行ってみる。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション、調理操作の基本 2. 基本調理① 3. 基本調理② 4. 基本調理③ 5. 日本料理① 6. 日本料理② 7. 日本料理③ 8. 西洋料理① 9. 西洋料理② 10. 西洋料理③ 11. 中国料理① 12. 中国料理② 13. まとめ なお、食材の購入状況により順番が変更になる場合がある。</p>			

科目名	調理学実習 I	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	後藤 昌弘		
<p>[成績評価方法] 試験(40%)、毎週のレポート・課題(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート、課題は、翌週以降に返却します。 ・試験の答案を回収後、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験(40%)、毎週のレポート・課題(60%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験(40%)、毎週のレポート・課題(60%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:試験(40%)、毎週のレポート・課題(60%)</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:試験(40%)、毎週のレポート・課題(60%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:試験(40%)、毎週のレポート・課題(60%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:試験(40%)、毎週のレポート・課題(60%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:試験(40%)、毎週のレポート・課題(60%)</p> <p>[教科書(ISBN)] これからの調理(第2版) 著者名:新調理研究会編 出版社:オーム社(9784270000000) 調理のためのベーシックデータ(第6版) 著者名:女子栄養大学出版部 出版社:女子栄養大学出版部(9784790000000) 必要に応じてプリントを配布する</p> <p>[参考書(ISBN)] 映像で学ぶ調理の基礎とサイエンス 著者名:松崎 政三 他著 出版社:学際企画(9784910000000) NEW調理と理論(第2版) 著者名:山崎清子 他著 出版社:同文書院(9784810000000)</p>			

科目名	調理学実習 I	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	眞木 優子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 調理学的な理論をふまえ、衛生面に細心の注意を払い、基礎知識や調理技術を修得する。</p> <p>[授業概要] 人間が生活する上での「食」の重要性について理解するとともに、食素材の取り扱いや器具の使い方、調理の理論と技術を習得することを目的とする。 日本料理、西洋料理、中国料理の様式別に実習を行い、その国の食文化について学び、テーブルマナーも身につける。さらに、食品の安全性や衛生管理の重要性を理解し、実践する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習手順について予習しておく。実習後は課題に沿ってレポートを作成し、次回の授業時に提出する。また、前回の実習の復習、可能であれば実際に調理を行ってみる。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション 2. 調理の基本① 3. 調理の基本② 4. 調理の基本③ 5. 日本料理① 6. 日本料理② 7. 日本料理③ 8. 西洋料理① 9. 西洋料理② 10. 西洋料理③ 11. 中国料理① 12. 中国料理② 13. まとめ なお、食材の購入状況により順番が変更になる場合がある。</p>			

科目名	調理学実習 I	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	眞木 優子		
<p>[成績評価方法] 試験 (40%)、毎週のレポート・課題 (60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で解説します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法: 試験、レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法: レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法: レポート課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: レポート課題</p> <p>[教科書 (ISBN)] 「これからの調理」第2版 著者名: 新調理研究会編 出版社: オーム社 (978-4-274-06942-0) 調理のためのベーシックデータ 第6版 著者名: 女子栄養大学出版部 出版社: 女子栄養大学出版部 (978-4-7895-0325-9) 必要に応じてプリントを配布する</p> <p>[参考書 (ISBN)] 映像で学ぶ調理の基礎とサイエンス 著者名: 松崎 政三 他著 出版社: 学際企画 (978-4-906514-86-1) NEW調理と理論 第二版 著者名: 山崎清子 他著 出版社: 同文書院 (978-4-8103-1507-3)</p>			

科目名	調理学実習 II	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	水野 和代		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 調理における基本的技術を応用することができる。 食品の調理による変化を科学的に理解し、実践できる。 望ましい調理方法や盛り付け方法について判断できる。</p> <p>[授業概要] 調理学実習 I で修得した調理技術を応用し、さらに複雑な調理操作を含む料理を作ることを目的とする。調理操作で生じる様々な食品の変化や調理特性を科学的に理解する、また、実際に作った料理について、味、調理方法、盛り付け方などを含めて相互に理解し、より良い食事を作るためにどのような対処が望ましいか、具体的に判断できるようにする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習手順について予習をしておく。実習後は課題に沿ってレポートを作成し、次回の授業時に提出する。また、前回の実習の復習、可能であれば実際に調理を行ってみる。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション、栄養価計算 2. 日本料理① 3. 西洋料理① 4. 日本料理② 5. 西洋料理② 6. 中国料理① 7. 日本料理③ 8. 日本料理④ 9. 西洋料理③ 10. 西洋料理④ 11. 中国料理② 12. 中国料理③ 13. まとめ</p> <p>実習内容の順番は食材の入手状況により、変更する場合があります。</p>			

科目名	調理学実習Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	水野 和代		
<p>[成績評価方法] 試験(40%)、毎回のレポート・課題(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・レポートおよび課題は、翌週以降に返却します。 ・試験の答案を回収後、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験、レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート課題</p> <p>[教科書(ISBN)] 「これからの調理」第2版 著者名:新調理研究会編 出版社:オーム社 (9784274069420) 日本食品成分表2023 八訂 著者名:医歯薬出版編集 出版社:医歯薬出版 (9784263708408) 調理のためのベーシックデータ(第6版) 著者名:女子栄養大学出版部 出版社:女子栄養大学出版部 (9784789503259) 必要に応じてプリントを配付する</p> <p>[参考書(ISBN)] 映像で学ぶ調理の基礎とサイエンス 著者名:松崎 政三 他著 出版社:学際企画 (9784789503259) NEW調理と理論(第2版) 著者名:山崎 清子 他著 出版社:同文書院 (978810315073)</p>			

S80685 [HDI2-001]

科目名	調理学実習 II	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	岩田 美智子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 調理における基本的技術を応用することができる。 食品の調理による変化を科学的に理解し、実践できる。 望ましい調理方法や盛り付け方法について判断できる。</p> <p>[授業概要] 調理学実習 I で修得した調理技術を応用し、さらに複雑な調理操作を含む料理を作ることを目的とする。調理操作で生じる様々な食品の変化や調理特性を科学的に理解する、また、実際に作った料理について、味、調理方法、盛り付け方などを含めて相互に理解し、より良い食事を作るためにどのような対処が望ましいか、具体的に判断できるようにする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習手順について予習をしておく。実習後は課題に沿ってレポートを作成し、次回の授業時に提出する。また、前回の実習の復習、可能であれば実際に調理を行ってみる。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション、栄養価計算 2. 日本料理① 3. 西洋料理① 4. 日本料理② 5. 西洋料理② 6. 中国料理① 7. 日本料理③ 8. 日本料理④ 9. 西洋料理③ 10. 西洋料理④ 11. 中国料理② 12. 中国料理③ 13. まとめ</p> <p>実習内容の順番は食材の入手状況により、変更する場合があります。</p>			

科目名	調理学実習Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	岩田 美智子		
<p>[成績評価方法] 試験(40%)、毎回のレポート・課題(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートおよび課題は、翌週以降に返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験、レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート課題</p> <p>[教科書(ISBN)] 「これからの調理」第2版 著者名:新調理研究会編 出版社:オーム社 (978-4-274-06942-0) 日本食品成分表2023 八訂 著者名:医歯薬出版編集 出版社:医歯薬出版 (978-4-263-70840-8) 調理のためのベーシックデータ(第6版) 著者名:女子栄養大学出版部 出版社:女子栄養大学出版部 (978-4-7895-0325-9) 必要に応じてプリントを配付する</p> <p>[参考書(ISBN)] 映像で学ぶ調理の基礎とサイエンス 著者名:松崎 政三 他著 出版社:学際企画 (978-4-906514-86-1) NEW調理と理論(第2版) 著者名:山崎 清子 他著 出版社:同文書院 (978-4-8103-1507-3)</p>			

科目名	調理学実習 II	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	橋本 多美子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 調理における基本的技術を応用することができる。 食品の調理による変化を科学的に理解し、実践できる。 望ましい調理方法や盛り付け方法について判断できる。</p> <p>[授業概要] 調理学実習 I で修得した調理技術を応用し、さらに複雑な調理操作を含む料理を作ることを目的とする。調理操作で生じる様々な食品の変化や調理特性を科学的に理解する、また、実際に作った料理について、味、調理方法、盛り付け方などを含めて相互に理解し、より良い食事を作るためにどのような対処が望ましいか、具体的に判断できるようにする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習手順について予習をしておく。実習後は課題に沿ってレポートを作成し、次回の授業時に提出する。また、前回の実習の復習、可能であれば実際に調理を行ってみる。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション、栄養価計算 2. 日本料理① 3. 西洋料理① 4. 日本料理② 5. 西洋料理② 6. 中国料理① 7. 日本料理③ 8. 日本料理④ 9. 西洋料理③ 10. 西洋料理④ 11. 中国料理② 12. 中国料理③ 13. まとめ</p> <p>実習内容の順番は食材の入手状況により、変更する場合があります。</p>			

科目名	調理学実習 II	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	橋本 多美子		
<p>[成績評価方法] 試験(40%)、毎回のレポート・課題(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・レポートおよび課題は、翌週以降に返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験、レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート課題</p> <p>[教科書(ISBN)] 「これからの調理」第2版 著者名:新調理研究会編 出版社:オーム社 (978-4-274-06942-0) 日本食品成分表2023 八訂 著者名:医歯薬出版編集 出版社:医歯薬出版 (978-4-263-70840-8) 調理のためのベーシックデータ(第6版) 著者名:女子栄養大学出版部 出版社:女子栄養大学出版部 (978-4-7895-0325-9) 必要に応じてプリントを配付する</p> <p>[参考書(ISBN)] 映像で学ぶ調理の基礎とサイエンス 著者名:松崎 政三 他著 出版社:学際企画 (978-4-906514-86-1) NEW調理と理論(第2版) 著者名:山崎 清子 他著 出版社:同文書院 (978-4-8103-1507-3)</p>			

科目名	調理学実習 II	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	橋本 多美子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 調理における基本的技術を応用することができる。 食品の調理による変化を科学的に理解し、実践できる。 望ましい調理方法や盛り付け方法について判断できる。</p> <p>[授業概要] 調理学実習 I で修得した調理技術を応用し、さらに複雑な調理操作を含む料理を作ることを目的とする。調理操作で生じる様々な食品の変化や調理特性を科学的に理解する、また、実際に作った料理について、味、調理方法、盛り付け方などを含めて相互に理解し、より良い食事を作るためにどのような対処が望ましいか、具体的に判断できるようにする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習手順について予習をしておく。実習後は課題に沿ってレポートを作成し、次回の授業時に提出する。また、前回の実習の復習、可能であれば実際に調理を行ってみる。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション、栄養価計算 2. 日本料理① 3. 西洋料理① 4. 日本料理② 5. 西洋料理② 6. 中国料理① 7. 日本料理③ 8. 日本料理④ 9. 西洋料理③ 10. 西洋料理④ 11. 中国料理② 12. 中国料理③ 13. まとめ</p> <p>実習内容の順番は食材の入手状況により、変更する場合があります。</p>			

科目名	調理学実習 II	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	橋本 多美子		
<p>[成績評価方法] 試験(40%)、毎回のレポート・課題(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・レポートおよび課題は、翌週以降に返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験、レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート課題</p> <p>[教科書(ISBN)] 「これからの調理」第2版 著者名:新調理研究会編 出版社:オーム社 (978-4-274-06942-0) 日本食品成分表2023 八訂 著者名:医歯薬出版編集 出版社:医歯薬出版 (978-4-263-70840-8) 調理のためのベーシックデータ(第6版) 著者名:女子栄養大学出版部 出版社:女子栄養大学出版部 (978-4-7895-0325-9) 必要に応じてプリントを配付する</p> <p>[参考書(ISBN)] 映像で学ぶ調理の基礎とサイエンス 著者名:松崎 政三 他著 出版社:学際企画 (978-4-906514-86-1) NEW調理と理論(第2版) 著者名:山崎 清子 他著 出版社:同文書院 (978-4-8103-1507-3)</p>			

科目名	調理学実習Ⅲ		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	橋本 多美子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 調理に関する基礎知識や技術を応用できる。 おもてなし料理、行事食を作ることによって食文化を理解できる。 献立作成手法を理解するとともに、献立作成の計画立案ができ、それらが実践できる。</p> <p>[授業概要] 「調理学実習Ⅰ」と「調理学実習Ⅱ」で修得した調理技術や理論をふまえ、季節に応じたおもてなしの料理や行事食を作ることによって食文化についての理解を深める。また、献立作成の基礎を学び、献立計画を立案し、計画に従って調理を行い、評価することで基礎的な献立作成手法を理解する。実習を通し、献立作成の基礎力の修得を目指す。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習手順について予習しておく。実習後は課題に沿ってレポートを作成し、指定された日時に提出する。また、献立作成実習の課題(一式)は、ファイルにまとめる。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション、献立作成① 2. 食材の計量と調理 3. 献立作成② 4. 自主献立実習① 5. 自主献立実習①の評価、お菓子とお茶① 6. 自主献立実習② 7. 自主献立実習②の評価、献立作成③ 8. 日本料理「お弁当仕立て」 9. 西洋料理「クリスマス料理」 10. 日本料理「お正月料理」 11. 自主献立実習③ 12. 自主献立実習③の評価、お菓子とお茶② 13. まとめ</p>				

科目名	調理学実習Ⅲ	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	橋本 多美子		
<p>[成績評価方法] 試験(40%)、レポートおよび課題(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートおよび課題は、翌週以降に返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験・レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>[教科書(ISBN)] 「これからの調理」第2版 著者名:新調理研究会編 出版社:オーム社(978-4-274-06942-0) 日本食品成分表2023 八訂 著者名:医歯薬出版編集 出版社:医歯薬出版(978-4-263-70840-8) 調理のためのベーシックデータ(第6版) 著者名:女子栄養大学出版部 出版社:女子栄養大学出版部(978-4-7895-0325-9) 必要に応じてプリントを配付する</p> <p>[参考書(ISBN)] 調理・献立作成の基礎 著者名:坂本裕子・森美奈子編 出版社:化学同人(978-4-7598-1826-0)</p>			

S80690 [HDI2-002]

科目名	調理学実習Ⅲ		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	橋本 多美子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 調理に関する基礎知識や技術を応用できる。 おもてなし料理、行事食を作ることによって食文化を理解できる。 献立作成手法を理解するとともに、献立作成の計画立案ができ、それらが実践できる。</p> <p>[授業概要] 「調理学実習Ⅰ」と「調理学実習Ⅱ」で修得した調理技術や理論をふまえ、季節に応じたおもてなしの料理や行事食を作ることによって食文化についての理解を深める。また、献立作成の基礎を学び、献立計画を立案し、計画に従って調理を行い、評価することで基礎的な献立作成手法を理解する。実習を通し、献立作成の基礎力の修得を目指す。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習手順について予習しておく。実習後は課題に沿ってレポートを作成し、指定された日時に提出する。また、献立作成実習の課題(一式)は、ファイルにまとめる。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション、献立作成① 2. 食材の計量と調理 3. 献立作成② 4. 自主献立実習① 5. 自主献立実習①の評価、お菓子とお茶① 6. 自主献立実習② 7. 自主献立実習②の評価、献立作成③ 8. 日本料理「お弁当仕立て」 9. 西洋料理「クリスマス料理」 10. 日本料理「お正月料理」 11. 自主献立実習③ 12. 自主献立実習③の評価、お菓子とお茶② 13. まとめ</p>				

科目名	調理学実習Ⅲ	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	橋本 多美子		
<p>[成績評価方法] 試験(40%)、レポートおよび課題(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートおよび課題は、翌週以降に返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験・レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>[教科書(ISBN)] 「これからの調理」第2版 著者名:新調理研究会編 出版社:オーム社 (978-4-274-06942-0) 日本食品成分表2023 八訂 著者名:医歯薬出版編集 出版社:医歯薬出版 (978-4-263-70840-8) 調理のためのベーシックデータ(第6版) 著者名:女子栄養大学出版部 出版社:女子栄養大学出版部 (978-4-7895-0325-9) 必要に応じてプリントを配付する</p> <p>[参考書(ISBN)] 調理・献立作成の基礎 著者名:坂本裕子・森美奈子編 出版社:化学同人 (978-4-7598-1826-0)</p>			

S80691 [HDI2-002]

科目名	調理学実習Ⅲ		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	高橋 孝子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 調理に関する基礎知識や技術を応用できる。 おもてなし料理、行事食を作ることによって食文化を理解できる。 献立作成手法を理解するとともに、献立作成の計画立案ができ、それらが実践できる。</p> <p>[授業概要] 「調理学実習Ⅰ」と「調理学実習Ⅱ」で修得した調理技術や理論をふまえ、季節に応じたおもてなしの料理や行事食を作ることによって食文化についての理解を深める。また、献立作成の基礎を学び、献立計画を立案し、計画に従って調理を行い、評価することで基礎的な献立作成手法を理解する。実習を通し、献立作成の基礎力の修得を目指す。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習手順について予習しておく。実習後は課題に沿ってレポートを作成し、指定された日時に提出する。また、献立作成実習の課題(一式)は、ファイルにまとめる。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション、献立作成① 2. 食材の計量と調理 3. 献立作成② 4. 自主献立実習① 5. 自主献立実習①の評価、お菓子とお茶① 6. 自主献立実習② 7. 自主献立実習②の評価、献立作成③ 8. 日本料理「お弁当仕立て」 9. 西洋料理「クリスマス料理」 10. 日本料理「お正月料理」 11. 自主献立実習③ 12. 自主献立実習③の評価、お菓子とお茶② 13. まとめ</p>				

科目名	調理学実習Ⅲ	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	高橋 孝子		

[成績評価方法]

試験(40%)、レポートおよび課題(60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

- ・レポートおよび課題は、翌週以降に返却します。
- ・試験の答案を回収後、解答の解説を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。

成績評価方法:試験・レポート課題

学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。

成績評価方法:レポート課題

学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。

成績評価方法:レポート課題

学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。

成績評価方法:レポート課題

学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。

成績評価方法:レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法:レポート課題

[教科書(ISBN)]

「これからの調理」第2版 著者名:新調理研究会編 出版社:オーム社(978-4-06942-0)

日本食品成分表2023 八訂 著者名:医歯薬出版編集 出版社:医歯薬出版(978-4-263-70840-8)

調理のためのベーシックデータ(第6版) 著者名:女子栄養大学出版部 出版社:女子栄養大学出版部(978-4-7895-0325-9)

必要に応じてプリントを配付する

[参考書(ISBN)]

調理・献立作成の基礎 著者名:坂本裕子・森美奈子編 出版社:化学同人(978-4-7598-1820-0)

科目名	調理学実習Ⅲ		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	橋本 多美子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 調理に関する基礎知識や技術を応用できる。 おもてなし料理、行事食を作ることによって食文化を理解できる。 献立作成手法を理解するとともに、献立作成の計画立案ができ、それらが実践できる。</p> <p>[授業概要] 「調理学実習Ⅰ」と「調理学実習Ⅱ」で修得した調理技術や理論をふまえ、季節に応じたおもてなしの料理や行事食を作ることによって食文化についての理解を深める。また、献立作成の基礎を学び、献立計画を立案し、計画に従って調理を行い、評価することで基礎的な献立作成手法を理解する。実習を通し、献立作成の基礎力の修得を目指す。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習手順について予習しておく。実習後は課題に沿ってレポートを作成し、指定された日時に提出する。また、献立作成実習の課題(一式)は、ファイルにまとめる。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション、献立作成① 2. 食材の計量と調理 3. 献立作成② 4. 自主献立実習① 5. 自主献立実習①の評価、お菓子とお茶① 6. 自主献立実習② 7. 自主献立実習②の評価、献立作成③ 8. 日本料理「お弁当仕立て」 9. 西洋料理「クリスマス料理」 10. 日本料理「お正月料理」 11. 自主献立実習③ 12. 自主献立実習③の評価、お菓子とお茶② 13. まとめ</p>				

科目名	調理学実習Ⅲ	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	橋本 多美子		
<p>[成績評価方法] 試験(40%)、レポートおよび課題(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートおよび課題は、翌週以降に返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験・レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート・課題</p> <p>[教科書(ISBN)] 「これからの調理」第2版 著者名:新調理研究会編 出版社:オーム社(978-4-274-06942-0) 日本食品成分表2023 八訂 著者名:医歯薬出版編集 出版社:医歯薬出版(978-4-263-70840-8) 調理のためのベーシックデータ(第6版) 著者名:女子栄養大学出版部 出版社:女子栄養大学出版部(978-4-7895-0325-9) 必要に応じてプリントを配付する</p> <p>[参考書(ISBN)] 調理・献立作成の基礎 著者名:坂本裕子・森美奈子編 出版社:化学同人(978-4-7598-1826-0)</p>			

S80693 [HDI2-002]

科目名	特別化学	前期	2 単位
サブタイトル	化学入門	講義	
担当者	安藤 清一		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 化学の基礎知識を習得し、管理栄養士になるための必修科目(管理栄養士のための化学、生化学等)の内容が理解できる力を身につける。 化学の知識を活用し、人体の仕組みが理解できるようになる。</p> <p>[授業概要] 高校で履修した「化学基礎」の理解に自信のない学生、および高校の「化学」を履修しなかった学生を対象とし、今後の科目履修に役立つ学習内容とする。 化学物質の性質や変化を理解するための基本となる原子の構造、イオン・分子などの結合の仕方をまず学習する。 次に、化学物質の量的把握の基本となる物質質量(mol)の概念を理解し、濃度、化学反応の量的関係、酸塩基、中和、pH等について学習する。 最後に、有機化合物の特徴と構造についての基本を学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 予習・復習した上で授業に出席し、授業内容の確認問題を解く習慣を身につける。</p> <p>[授業計画] 1. 物質の構成粒子: 元素と元素記号、原子 2. 物質の構成粒子: 同位体と同素体、元素の周期表 3. 物質の構成粒子: 原子の電子配置、イオンの生成と電解質 4. 物質の構成粒子: 原子量、物質質量 5. 化学結合: イオン結合、共有結合、金属結合 6. 酸化・還元反応 7. 物質の三態、吸熱反応、発熱反応 8. 中和と塩 9. 極性、無極性、析出、水溶性・脂溶性 10. 両親媒性・界面活性剤・乳化 11. 有機化合物: 炭化水素 12. 有機化合物: 酸素、窒素を含む官能基 13. 有機化合物: 芳香族化合物</p>			

科目名	特別化学	前期	2 単位
サブタイトル	化学入門	講義	
担当者	安藤 清一		
<p>[成績評価方法] 確認試験(30%)、期末試験(70%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 確認試験について、授業中に解説する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 基礎からのやさしい化学 —ヒトの健康と栄養を学ぶために— 著者名:田島眞 編著 出版社:建帛社 (978-4-7679-4635-1)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	特別化学	前期	2 単位
サブタイトル	化学入門	講義	
担当者	安藤 清一		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 化学の基礎知識を習得し、管理栄養士になるための必修科目(管理栄養士のための化学、生化学等)の内容が理解できる力を身につける。 化学の知識を活用し、人体の仕組みが理解できるようになる。</p> <p>[授業概要] 高校で履修した「化学基礎」の理解に自信のない学生、および高校の「化学」を履修しなかった学生を対象とし、今後の科目履修に役立つ学習内容とする。 化学物質の性質や変化を理解するための基本となる原子の構造、イオン・分子などの結合の仕方をまず学習する。 次に、化学物質の量的把握の基本となる物質質量(mol)の概念を理解し、濃度、化学反応の量的関係、酸塩基、中和、pH等について学習する。 最後に、有機化合物の特徴と構造についての基本を学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 予習・復習した上で授業に出席し、授業内容の確認問題を解く習慣を身につける。</p> <p>[授業計画] 1. 物質の構成粒子: 元素と元素記号、原子 2. 物質の構成粒子: 同位体と同素体、元素の周期表 3. 物質の構成粒子: 原子の電子配置、イオンの生成と電解質 4. 物質の構成粒子: 原子量、物質質量 5. 化学結合: イオン結合、共有結合、金属結合 6. 酸化・還元反応 7. 物質の三態、吸熱反応、発熱反応 8. 中和と塩 9. 極性、無極性、析出、水溶性・脂溶性 10. 両親媒性・界面活性剤・乳化 11. 有機化合物: 炭化水素 12. 有機化合物: 酸素、窒素を含む官能基 13. 有機化合物: 芳香族化合物</p>			

科目名	特別化学	前期	2 単位
サブタイトル	化学入門	講義	
担当者	安藤 清一		
<p>[成績評価方法] 確認試験(30%)、期末試験(70%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 確認試験について、授業中に解説する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 基礎からのやさしい化学 —ヒトの健康と栄養を学ぶために— 著者名:田島眞 編著 出版社:建帛社 (978-4-7679-4635-1)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	特別生物	前期	2 単位
サブタイトル	共に学ぼう～高校生物の復習と大学の必修科目への差し渡し	講義	
担当者	薄井 芳奈		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中学校高等学校での既習内容について自信を持って説明できるようになる。「管理栄養士のための生物」で学ぶ内容への理解を形成した上で小テストや試験に臨むことができる。「食べること」の意味を生物学の視点で科学的に理解し、身近な例を通して説明できるようになる。</p> <p>[授業概要] 栄養学を学ぶ学生にとって必要な生物学の基礎的事項を概観する。ワークショップやディスカッションを含めた考え表現する活動を毎回取り入れ、仲間と共に学ぶことにより、「管理栄養士のための生物」で学ぶ内容について興味関心を深め、確実な理解を作っていく。また、「管理栄養士のための生物」では扱いきれないが、理解が必要な項目を補足的に取り上げて学習する。高等学校で「生物」を履修していない学生、「生物基礎・生物」の履修はしたが「生物」の受験勉強をしていない学生は、本授業を選択することを強く勧める。また、必修の講義内容への理解をワークショップを通して深めたい学生であれば、高校での「生物」履修や受験勉強の有無は問わない。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] manabaから教材を入手し、「管理栄養士のための生物」前回授業の復習、コメントの精読、webテキスト閲覧、重要用語抽出など準備に40分程度を要する。授業後は、翌日の小テストの勉強に取り組む。</p> <p>[授業計画] 1. 特別生物に取り組むにあたって／細胞を構成する物質 2. 細胞～生命の基本単位 3. 細胞の分化と個体～ヒトの組織、器官 4. DNAの構造と遺伝子 5. 遺伝子の発現～セントラルドグマ 6. タンパク質の働き、代謝と酵素 7. 食べたものはどこへ行くのか～同化と異化、消化管と肝臓 8. エネルギーとATPの生産 9. 体液の循環と心臓、体液の濃度と腎臓 10. 恒常性の維持～内分泌系とホルモン／自律神経による調節 11. 刺激の受容と感覚 12. からだを守る～免疫 13. まとめ～生物としてのヒトと食</p> <p>※manabaのチェックを怠らないように。教材の配布と重要な連絡はmanabaで行います。 ※教科書はPCで閲覧するWebテキストです。教科書を使ったレポート課題があります。 ※スマホでresponを使います。PCとスマホを併用できるように準備しておくこと。 ※各回の表題は必修の「管理栄養士のための生物」と連動していますが、本科目では理解を形成するための活動を軸に展開します。必修の講義にしっかり取り組むこととセットで効果が上がります。</p>			

科目名	特別生物	前期	2 単位
サブタイトル	共に学ぼう～高校生物の復習と大学の必修科目への差し渡し	講義	
担当者	薄井 芳奈		
<p>[成績評価方法] 各回授業中のrespon課題(ワークショップレポートなど)30% 中間レポート20% 第13回講義のrespon課題10% 最終レポート課題40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業で提出するrespon課題については必要に応じてmanabaでコメントを返し、授業中にも共有する。活動中の質問については授業中に適宜対応する。中間レポートについてはmanabaでコメントする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記の成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記の成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記の成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記の成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記の成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記の成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記の成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記の成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記の成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 食と栄養を学ぶための生物学 著者名:堀田久子 池晶子 塚元華子 出版社:化学同人(978-4-7598-2053-9)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし(なし)</p>			

S82110 [HDI1-008]

科目名	特別生物	前期	2 単位
サブタイトル	共に学ぼう～高校生物の復習と大学の必修科目への差し渡し	講義	
担当者	薄井 芳奈		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中学校高等学校での既習内容について自信を持って説明できるようになる。「管理栄養士のための生物」で学ぶ内容への理解を形成した上で小テストや試験に臨むことができる。「食べること」の意味を生物学の視点で科学的に理解し、身近な例を通して説明できるようになる。</p> <p>[授業概要] 栄養学を学ぶ学生にとって必要な生物学の基礎的事項を概観する。ワークショップやディスカッションを含めた考え表現する活動を毎回取り入れ、仲間と共に学ぶことにより、「管理栄養士のための生物」で学ぶ内容について興味関心を深め、確実な理解を作っていく。また、「管理栄養士のための生物」では扱いきれないが、理解が必要な項目を補足的に取り上げて学習する。高等学校で「生物」を履修していない学生、「生物基礎・生物」の履修はしたが「生物」の受験勉強をしていない学生は、本授業を選択することを強く勧める。また、必修の講義内容への理解をワークショップを通して深めたい学生であれば、高校での「生物」履修や受験勉強の有無は問わない。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] manabaから教材を入手し、「管理栄養士のための生物」前回授業の復習、コメントの精読、webテキスト閲覧、重要用語抽出など準備に40分程度を要する。授業後は、翌日の小テストの勉強に取り組む。</p> <p>[授業計画] 1. 特別生物に取り組むにあたって／細胞を構成する物質 2. 細胞～生命の基本単位 3. 細胞の分化と個体～ヒトの組織、器官 4. DNAの構造と遺伝子 5. 遺伝子の発現～セントラルドグマ 6. タンパク質の働き、代謝と酵素 7. 食べたものはどこへ行くのか～同化と異化、消化管と肝臓 8. エネルギーとATPの生産 9. 体液の循環と心臓、体液の濃度と腎臓 10. 恒常性の維持～内分泌系とホルモン／自律神経による調節 11. 刺激の受容と感覚 12. からだを守る～免疫 13. まとめ～生物としてのヒトと食</p> <p>※manabaのチェックを怠らないように。教材の配布と重要な連絡はmanabaで行います。 ※教科書はPCで閲覧するWebテキストです。教科書を使ったレポート課題があります。 ※スマホでresponを使います。PCとスマホを併用できるように準備しておくこと。 ※各回の表題は必修の「管理栄養士のための生物」と連動していますが、本科目では理解を形成するための活動を軸に展開します。必修の講義にしっかり取り組むこととセットで効果が上がります。</p>			

科目名	特別生物	前期	2 単位
サブタイトル	共に学ぼう～高校生物の復習と大学の必修科目への差し渡し	講義	
担当者	薄井 芳奈		
<p>[成績評価方法] 各回授業中のrespon課題(ワークショップレポートなど)30% 中間レポート20% 第13回講義のrespon課題10% 最終レポート課題40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業で提出するrespon課題については必要に応じてmanabaでコメントを返し、授業中にも共有する。活動中の質問については授業中に適宜対応する。中間レポートについてはmanabaでコメントする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記の成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記の成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝えるプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記の成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記の成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記の成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記の成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記の成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記の成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記の成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 食と栄養を学ぶための生物学 著者名:堀田久子 池晶子 塚元華子 出版社:化学同人 (978-4-7598-2053-9)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

S82111 [HDI1-008]

科目名	ハワイクアキニ病院実習		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	田村 奈緒子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標]</p> <p>日本での病院実習の成果をもとに、このクアキニ病院実習により、 ①病院食を提供するシステムにおける日本の病院との違いを学ぶ。 ②職場における価値観の日本との相違を学ぶ。例えば、病院で働くさまざまな職種の人たちが、互いに敬意を持って責任を分担し、透明性のある明るい職場を築こうと努力している現場を体験する。 ③ハワイにおけるCase Studyを通じて、医療現場における管理栄養士の役割についての考えを深める。④学生は、語学の上達ばかりではなく、アメリカの社会を体験することにより、真の国際感覚を身につける。 を到達目標とする</p> <p>[授業概要]</p> <p>実習に参加する前に、日常会話程度の英語力と簡単な医用英語の習得、およびアメリカ社会の国際感覚を習得する。実習の1週目は、Food Departmentにおいて、病院食の献立から配膳まで、クアキニ病院のスタッフの指導を受ける。2週目は、Case Studyに参加し、実際に患者と面談後、実習生の栄養指導の方針をプレゼンテーションして、医師と管理栄養士の評価を受ける。帰国後は、礼状送付を行うとともに、同級生、下級生向けの報告会で発表する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>日常会話程度の語学の習得。アメリカ社会の国際感覚を学んでおくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の概要 2. 臨床医学現場での基礎的な専門英語 3. 実習と現地滞在に対する諸注意／自己紹介及び実習課題英文の作成 4. クアキニ病院で実習 (Food Department) 5. クアキニ病院で実習 (Food Department) 6. クアキニ病院で実習 (Food Department) 7. クアキニ病院で実習 (Food Department) 8. クアキニ病院で実習 (Food Department) 9. クアキニ病院で実習 (Case Study) 10. クアキニ病院で実習 (Case Study) 11. クアキニ病院で実習 (Case Study) 12. 実習の詳細についての報告及び議論／英語による御礼状作成 13. 実習成果報告会とその準備 				

科目名	ハワイクアキニ病院実習	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	田村 奈緒子		
<p>[成績評価方法] クアキニ病院による評価、ならびに到達目標の達成度に応じて評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] クアキニ病院による評価を基にディスカッションを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:現地実習担当者からの評価</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:現地実習担当者からの評価</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:現地実習担当者からの評価</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:現地実習担当者からの評価</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:現地実習担当者からの評価</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:現地実習担当者からの評価</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:現地実習担当者からの評価と実習報告会について評価</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:現地実習担当者からの評価</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:現地実習担当者からの評価</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:現地実習担当者からの評価</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:現地実習担当者からの評価と実習報告会について評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:現地実習担当者からの評価と実習報告会について評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:現地実習担当者からの評価と実習報告会について評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:現地実習担当者からの評価と実習報告会について評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:現地実習担当者からの評価と実習報告会について評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:現地実習担当者からの評価と実習報告会について評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:現地実習担当者からの評価と実習報告会について評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:現地実習担当者からの評価と実習報告会について評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:現地実習担当者からの評価と実習報告会について評価</p> <p>[教科書 (ISBN)] 必要に応じて資料を配布する。 著者名:田村 奈緒子</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	被服衛生学	前期	2 単位
サブタイトル	衣服の快適性と健康	講義	
担当者	深沢 太香子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 環境に応じた被服の選択、着衣方法について、ヒトの衛生・生理的な観点から基礎的な概念を理解・修得する。そして、快適かつ健康・安全な衣服の着方を日常生活に反映・応用する力を修得する。</p> <p>[授業概要] 乳幼児から高齢者など、様々な特徴を示すヒトが、健康・安全で快適な衣生活を送るために、望ましい着衣を正しく理解することは重要である。そこで、本授業では、人体の生理機能を確認し、それらが着衣によって受ける影響について解説する。さらに、被服の持つ多様な機能や様々な生活環境や生活シーンとの相互関係についても解説する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・授業内容を復習しながら理解するために、ミニペーパー課題を提出することがある。 ・次回講義での教科書範囲を指示するので予習を4時間程度行う。 ・講義に関連するニュースや情報を積極的に収集するように日頃から心掛ける。各自で収集した情報をテーマとしたレポートを課題として提出することがある。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション, 衣服の快適性と健康 2. 衣服に関する人体生理I 3. 衣服に関する人体生理II 4. ヒトと温熱環境 5. 衣服による気候調節I 6. 衣服による気候調節II 7. 衣服による圧迫 8. 衣服と身体の動き 9. 衣服の汚れと皮膚障害 10. 乳幼児・子どもと衣服 11. 高齢者と衣服 12. 各種の被服と機能 13. まとめ</p>			

科目名	被服衛生学	前期	2 単位
サブタイトル	衣服の快適性と健康	講義	
担当者	深沢 太香子		
<p>[成績評価方法] 試験(60%)、課題(レポート等)(40%)により総合評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 提出課題にコメントを付して返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 衣環境の科学 著者名:田村 照子 編著 出版社:建帛社(4-7679-1047-1)</p> <p>[参考書(ISBN)] 授業中に配布する資料・プリント類</p>			

科目名	被服管理学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山根 千弘		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	授業内小テストとそのディスカッション	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

- ・汚れを除去するために界面活性剤や漂白剤を使用して洗浄するが、界面活性剤や漂白剤の種類および、汚れを除去するメカニズムが説明できるようになる。
- ・被服の、主に洗濯による、しわや縮の原因や対処方法などを理解する。
- ・染料や染色について理解するとともに色落ち(堅牢度)のメカニズムを理解する。

[授業概要]

私たちの生活には欠かせない衣類は身の回りの製品の中で数少ないリユース(繰り返し使用)するものです。そのいわゆるリユースに欠かせない現象、汚れの付着や除去、しわや縮みの発生メカニズムや対処法、染色や色落ち(染色の堅牢性)などを科学をベースとして学びます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

化学的知見が授業がベースとなるので、管理栄養士のための化学などの授業の復習をしておくことが望ましい。予習復習4時間程度

[授業計画]

1. コースガイダンスと繊維材料
2. 繊維と汚れについて
3. 界面活性剤の種類
4. 界面活性剤のはたらき
5. 繊維製品の加工(1)
6. 繊維製品の加工(2)
7. 染料(1)
8. 染料(2)
9. 顔料(1)
10. 顔料(2)
11. 染色法
12. 捺染法
13. まとめ

科目名	被服管理学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山根 千弘		
<p>[成績評価方法] 試験 (100%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業・試験後に質問に応ずる。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 配布資料</p> <p>[参考書 (ISBN)] 被服管理学 著者名:増子富美、齊藤昌子、牛腸ヒロミ、米山雄二、小林政司、藤居真理子、後藤純子、梅澤典子、生野晴美 出版社:朝倉書店 (9784250000000)</p>			

科目名	病理学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 種々の疾病は、成り立ちからいくつかのカテゴリーに分類することができる。その成り立ちについて理解し、主な疾病の症状、所見、診断について説明することができる。</p> <p>[授業概要] 病理学とは、病気がどうして起こるのか明らかにする学問です。そこには栄養学的事項もかなり関与しており、栄養障害が病気の原因にもなることもあります。その点に注意し、栄養学的な観点からも解説します。 正常の機能の破綻によって病気が起こるのですから、病気の成り立ちを知ることによって、本来、生体もっている仕組みがよりいっそう明確になってきます。みなさんも病理学を勉強することによって、生理学をも、さらに深く理解できるものと考えています。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業で使用するパワーポイント資料を事前にmanabaにアップロードしますので、目をとおしておいてください。さらに、授業の後には復習として、これまでに習得した事項との関連性を再確認しましょう。各回、予習復習あわせて4時間程度の学修が必要になるかと思います。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション/臨床検査/病理組織学の方法/退行性病変 2. 循環障害 3. 進行性病変 4. 炎症 5. 免疫I/免疫のしくみ 6. 免疫II/アレルギー・免疫不全・自己免疫疾患 7. 感染症I/細菌(リケッチア、クラミジアを含む)・ウィルスの性質とそれによる感染症 8. 感染症II/真菌・原虫・寄生虫の特徴とそれによる感染症 9. 腫瘍 10. 代謝異常 11. 先天異常 12. 老化と死 13. まとめ 			

科目名	病理学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
<p>[成績評価方法] 授業中のクイズ(小テスト)20%、試験成績80%で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中にクイズ(小テスト)を行い、その後、それに対して解説しフィードバックを行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし 著者名:なし 出版社:なし</p> <p>[参考書(ISBN)] はじめての一步のイラスト病理学 第2版 著者名:深山正久編 出版社:羊土社 (978-4-7581-2084-5) 「がん」はなぜできるのか 著者名:国立がん研究センター研究所編 出版社:講談社 (978-4-06-512093-4) 免疫の守護者 制御性T細胞とはなにか 著者名:坂口志文、塚崎朝子 出版社:講談社 (978-4-06-517284-1)</p>			

科目名	病理学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 種々の疾病は、成り立ちからいくつかのカテゴリーに分類することができる。その成り立ちについて理解し、主な疾病の症状、所見、診断について説明することができる。</p> <p>[授業概要] 病理学とは、病気がどうして起こるのか明らかにする学問です。そこには栄養学的事項もかなり関与しており、栄養障害が病気の原因にもなることもあります。その点に注意し、栄養学的な観点からも解説します。 正常の機能の破綻によって病気が起こるのですから、病気の成り立ちを知ることによって、本来、生体もっている仕組みがよりいっそう明確になってきます。みなさんも病理学を勉強することによって、生理学をも、さらに深く理解できるものと考えています。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業で使用するパワーポイント資料を事前にmanabaにアップロードしますので、目をとおしておいてください。さらに、授業の後には復習として、これまでに習得した事項との関連性を再確認しましょう。各回、予習復習あわせて4時間程度の学修が必要になるかと思います。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション/臨床検査/病理組織学の方法/退行性病変 2. 循環障害 3. 進行性病変 4. 炎症 5. 免疫I/免疫のしくみ 6. 免疫II/アレルギー・免疫不全・自己免疫疾患 7. 感染症I/細菌(リケッチア、クラミジアを含む)・ウィルスの性質とそれによる感染症 8. 感染症II/真菌・原虫・寄生虫の特徴とそれによる感染症 9. 腫瘍 10. 代謝異常 11. 先天異常 12. 老化と死 13. まとめ 			

科目名	病理学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
<p>[成績評価方法] 授業中のクイズ(小テスト)20%、試験成績80%で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中にクイズ(小テスト)を行い、その後、それに対して解説しフィードバックを行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし 著者名:なし 出版社:なし</p> <p>[参考書(ISBN)] はじめての一步のイラスト病理学 第2版 著者名:深山正久編 出版社:羊土社 (978-4-7581-2084-5) 「がん」はなぜできるのか 著者名:国立がん研究センター研究所編 出版社:講談社 (978-4-06-512093-4) 免疫の守護者 制御性T細胞とはなにか 著者名:坂口志文、塚崎朝子 出版社:講談社 (978-4-06-517284-1)</p>			

科目名	フードコーディネータ論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宮本 有香、西井 穂、橋本 多美子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] T.P.O.に合わせたテーブルコーディネートについて理解を深める</p> <p>[授業概要] フードスペシャリストは、食の流通や消費の場面で、食べ物の官能評価や識別ができるとともに、料理を提供する場面で、快適な食事ができるように料理、メニュー、食卓、食空間を含めた食(フード)のコーディネートを行う。このような食の分野の専門職を養成することを目的として、オムニバス講義により学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 予習は、授業範囲のテキストに目を通し、復習は、「フードスペシャリスト資格認定試験過去問題集」を用いて合わせて4時間程度行うこと。 また、デパートに赴き、食事空間を整えるための食料品売り場、食器、特に特選食器売り場、カトラリー、テーブルウェア、漆器、卓上の生花アレンジメントなどを実際に丁寧に見ておく。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、フードコーディネートの基本理念(宮本) 2. 食事の文化(宮本) 3. 食卓のコーディネート(橋本多美子) 4. 食卓のサービスとマナー①(橋本多美子) 5. 食卓のサービスとマナー②(橋本多美子) 6. テーブルコーディネート①(橋本多美子) 7. メニュープランニング(学外講師) 8. 食空間のコーディネート(西井) 9. フードサービスマネジメント(学外講師) 10. 食企画の実践コーディネート①(西井) 11. 食企画の実践コーディネート②(西井) 12. テーブルコーディネート②(橋本多美子) 13. テーブルマナー講習会(於ホテル)(宮本/橋本多美子) (*テーブルマナー講習会は状況に応じて変更する可能性があります) 14. 試験(宮本) 			

科目名	フードコーディネーター論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宮本 有香、西井 穂、橋本 多美子		
<p>[成績評価方法] 試験(60%) 課題など提出物(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験は終了後、復習できるよう解答を開示します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 三訂フードコーディネーター論 著者名:日本フードスペシャリスト協会編 出版社:建帛社 (978-4-7679-0440-5) フードスペシャリスト資格認定試験 過去問題集2024年度版 著者名:日本フードスペシャリスト協会編 出版社:建帛社 (978-4-7679-0760-4)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	フードスペシャリスト論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宮本 有香、狩野 百合子、才新 直子、後藤 昌弘、木村 万里子、安田 敬子、西井 穂		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	○	実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] フードスペシャリスト資格認定試験に合格する。</p> <p>[授業概要] フードスペシャリストとは、生産・流通・消費されている多種多様な食商品についての知識を身につけ、消費者ニーズと個別製品としての適合性を図り、消費者満足の増大と産業の発展に貢献することを職務とする新しい職業である。そこで、このフードスペシャリストの持つ専門性と食の専門家として現代の食生活に果たすべき役割を概要するとともに、フードスペシャリストとして必要とされる<食>の専門知識をオムニバス講義により学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 調理学、食品学、食品加工学、栄養学、食品衛生学等関連する科目の関係事項を予習しておく。 各回、予習復習合わせて4時間程度。 予習は、授業範囲のテキストに必ず目を通しておくこと。 復習は、教科書である「フードスペシャリスト資格認定試験過去問題集」の授業内容範囲の問題を用いて、復習すること。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション・模擬試験(宮本) 2.フードスペシャリストとは(宮本) 3. 人類と食物(狩野) 4. 世界の食(才新) 5. 日本の食(宮本) 6. 現代日本の食生活①(西井) 7. 現代日本の食生活②(西井) 8. 食品産業の役割(後藤) 9. 食品の品質規格と表示①(安田) 10. 食品の品質規格と表示②(安田) 11. 食品の品質規格と表示③(木村) 12. 食情報と消費者保護(安田) 13. 食品の消費と流通(後藤) 14. 試験(宮本)</p>			

科目名	フードスペシャリスト論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	宮本 有香、狩野 百合子、才新 直子、後藤 昌弘、木村 万里子、安田 敬子、西井 穂		
<p>[成績評価方法] 試験 (100%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験終了後、復習できるよう解答を開示します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-3/食べ物と健康についての知識と理解を基盤とした健康と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 四訂 フードスペシャリスト論 (第7版) 著者名:日本フードスペシャリスト協会編 出版社:建帛社 (978-4-7679-0714-7) 四訂 食品の消費と流通 著者名:日本フードスペシャリスト協会編 出版社:建帛社 (978-4-7679-0687-4) フードスペシャリスト資格認定試験過去問題集 2024年版 著者名:日本フードスペシャリスト協会編 出版社:建帛社 (978-4-7679-0760-4)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

S82220 [HDI3-017]

科目名	保育学(実習及び家庭看護学を含む)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	寺村 ゆかの		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児の心身の発達について理解する 2. 乳幼児とその養育者との関係性の発達について理解する 3. 乳幼児の健康が障害された(病気やケガ)時のケアの方法を理解できる 4. 子育てに課題を抱える養育者に対する支援のあり方を考えることができる <p>[授業概要]</p> <p>助産師・看護師の実務経験のある教員から、保育の対象である胎児期から就学前までの子どもの発達過程を、生涯発達の観点から解説するとともに、「子どもの社会性」などの発達にとって極めて重要な乳幼児期の対人関係のあり方・遊びの意味なども検討する。また、乳幼児の健康や安全(病気と看護の方法、予防接種 屋内の事故防止など)管理の重要性を説明する。さらに、保育をめぐる現状と課題(マルトリートメント、ひとり親家庭や貧困家庭、産後うつや育児不安、待機児童、発達障害など)を家庭での保育(養育)・保育サービス・地域子育て支援という視点から解説する。これらとは別に、乳幼児の観察を通して、現代の子どもを取り巻く社会や環境が、子どもの発達や遊びにどのような影響を与えているのかなどを議論する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>授業前学修: 次回授業のテーマについてキーワードを提示するので、それについて文献で調べたり新聞等の記事を読んだりして自己学習を行う。</p> <p>授業後学修: 自分で調べたキーワードについて、授業を通して補足し、内容を深める。(各回、予習復習合わせて、4時間程度)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭科教育における保育／子どもの成長・発達とは 2. 妊娠期の女性(母親)の心身の変化と胎児の成長・発達 3. 新生児・乳児期の心身の成長・発達 4. 幼児期(1～3歳)の心身の成長・発達 5. 幼児期(4～6歳)の心身の成長・発達 6. 乳幼児期の遊びと生活(実習またはそれにかわる演習) 7. 乳児期の人間関係の発達(愛着 安全基地 分離・個体化理論など) 8. 乳幼児の健康①(子どものかかりやすい病気) 9. 乳幼児の健康②(子どもの体調不良などに対する家庭看護) 10. 乳幼児の健康③(子どもの事故の特徴と事故防止) 11. 乳用児の健康④(応急処置) 12. 家庭保育の現状と課題 ①(産後うつ 育児不安) 13. 家庭保育の現状と課題 ②(マルトリートメント) 14. 地域の子育て支援の現状と課題(保育施設・地域子育て支援拠点事業) 			

科目名	保育学(実習及び家庭看護学を含む)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	寺村 ゆかの		
<p>[成績評価方法] 成績評価方法 ① 毎回提出するミニレポート(小テスト含む) 14回 × 5点 = 70点 ② 最終レポート 30点 ①と②の合計 100点</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回のミニレポート・小テストに関して、次回の授業中に解説・回答を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法: 授業中のミニレポート又は小テスト および最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法: 授業中のミニレポート又は小テスト および最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法: 授業中のミニレポート又は小テスト および最終レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 授業中のミニレポート又は小テスト および最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業中のミニレポート又は小テスト および最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業中のミニレポート又は小テスト および最終レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし 毎回、資料(レジメ)を配布する</p> <p>[参考書(ISBN)] 保育の心理学 (MINERVA はじめて学ぶ子どもの福祉) 著者名: 伊藤篤 編著 寺村ゆかの(第2章) 出版社: ミネルヴァ書房 (9784620000000) 授業で現場で役に立つ! 子どもの保健テキスト 著者名: 小林美由紀 編著 出版社: 診断と治療社 (9784790000000)</p>			

科目名	保健医療福祉論	後期	2 単位
サブタイトル	健康に関する総合的な視点。対人援助と自己。	講義	
担当者	阿江 善春		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	なし
<p>[到達目標] WHOの健康定義を柱に人間の持つ様々な課題をからだ、こころ、くらしの全体にわたり理解すると同時に、具体的な場面における相談援助を理解する。</p> <p>[授業概要] この授業では医学・医療と人の心理、生活や福祉との関わりについて学ぶ。また多くの具体的事例を通して専門機関の連携・協働の重要性について一緒に考え、同時に管理栄養士の役割についての理解を深める。そして何よりも自身の今後の人生との関わりについて考え、理解する視点を重視する。中心的には 1 健康と医療について、からだ、こころ、くらしのすべての視点からその基礎的知識を学習する。 2 その中でも対人援助の業務に就くものとして、その基礎的な知識と技術を学習する。またその中で自身の健康を大切にす知識と方法についても習得する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日ごろから医療領域における社会福祉の問題についての話題・ニュースや、管理栄養士の活躍現場について関心を持っておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション、WHO(世界保健機関)の「健康の定義」 2. 対人援助の基本 3. 管理栄養士と援助業務 4. 暮らしを支える制度－1(医療、年金、介護) 5. 暮らしを支える制度－2(雇用、労災) 6. 高齢者福祉と人権 7. 障害者福祉と人権 8. 児童福祉と人権 9. 国家補償と社会保障(健康被害とその救済)－1 10. 国家補償と社会保障(健康被害とその救済)－2 11. 心理的支援について－1 12. 心理的支援について－2 13. 再度WHOの健康定義について</p>			

科目名	保健医療福祉論	後期	2 単位
サブタイトル	健康に関する総合的な視点。対人援助と自己。	講義	
担当者	阿江 善春		
<p>[成績評価方法] 試験(60%)・毎回の授業終了時に提出のレポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:毎回のレポートを兼ねた授業感想文(40%) 試験(60%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:毎回のレポートを兼ねた授業感想文(40%) 試験(60%)</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:毎回のレポートを兼ねた授業感想文(40%) 試験(60%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:毎回のレポートを兼ねた授業感想文(40%) 試験(60%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:毎回のレポートを兼ねた授業感想文(40%) 試験(60%)</p> <p>[教科書(ISBN)] 教科書の指定はなし、毎回プリントを配布 著者名:阿江善春</p> <p>[参考書(ISBN)] 適宜、紹介する</p>			

科目名	保健医療福祉論	後期	2 単位
サブタイトル	健康に関する総合的な視点。対人援助と自己。	講義	
担当者	阿江 善春		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	なし
<p>[到達目標] WHOの健康定義を柱に人間の持つ様々な課題をからだ、こころ、くらしの全体にわたり理解すると同時に、具体的な場面における相談援助を理解する。</p> <p>[授業概要] この授業では医学・医療と人の心理、生活や福祉との関わりについて学ぶ。また多くの具体的事例を通して専門機関の連携・協働の重要性について一緒に考え、同時に管理栄養士の役割についての理解を深める。そして何よりも自身の今後の人生との関わりについて考え、理解する視点を重視する。中心的には 1 健康と医療について、からだ、こころ、くらしのすべての視点からその基礎的知識を学習する。 2 その中でも対人援助の業務に就くものとして、その基礎的な知識と技術を学習する。またその中で自身の健康を大切にす知識と方法についても習得する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日ごろから医療領域における社会福祉の問題についての話題・ニュースや、管理栄養士の活躍現場について関心を持つておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション、WHO(世界保健機関)の「健康の定義」 2. 対人援助の基本 3. 管理栄養士と援助業務 4. 暮らしを支える制度－1(医療、年金、介護) 5. 暮らしを支える制度－2(雇用、労災) 6. 高齢者福祉と人権 7. 障害者福祉と人権 8. 児童福祉と人権 9. 国家補償と社会保障(健康被害とその救済)－1 10. 国家補償と社会保障(健康被害とその救済)－2 11. 心理的支援について－1 12. 心理的支援について－2 13. 再度WHOの健康定義について</p>			

科目名	保健医療福祉論	後期	2 単位
サブタイトル	健康に関する総合的な視点。対人援助と自己。	講義	
担当者	阿江 善春		

[成績評価方法]

試験(60%)・毎回の授業終了時に提出のレポート(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。

成績評価方法:毎回のレポートを兼ねた授業感想文(40%) 試験(60%)

学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。

成績評価方法:毎回のレポートを兼ねた授業感想文(40%) 試験(60%)

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法:毎回のレポートを兼ねた授業感想文(40%) 試験(60%)

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:毎回のレポートを兼ねた授業感想文(40%) 試験(60%)

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:毎回のレポートを兼ねた授業感想文(40%) 試験(60%)

[教科書(ISBN)]

教科書の指定はなし、毎回プリントを配布 著者名:阿江善春

[参考書(ISBN)]

適宜、紹介する

科目名	保健医療福祉論	後期	2 単位
サブタイトル	健康に関する総合的な視点。対人援助と自己。	講義	
担当者	阿江 善春		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	なし
<p>[到達目標] WHOの健康定義を柱に人間の持つ様々な課題をからだ、こころ、くらしの全体にわたり理解すると同時に、具体的な場面における相談援助を理解する。</p> <p>[授業概要] この授業では医学・医療と人の心理、生活や福祉との関わりについて学ぶ。また多くの具体的事例を通して専門機関の連携・協働の重要性について一緒に考え、同時に管理栄養士の役割についての理解を深める。そして何よりも自身の今後の人生との関わりについて考え、理解する視点を重視する。中心的には 1 健康と医療について、からだ、こころ、くらしのすべての視点からその基礎的知識を学習する。 2 その中でも対人援助の業務に就くものとして、その基礎的な知識と技術を学習する。またその中で自身の健康を大切にす知識と方法についても習得する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日ごろから医療領域における社会福祉の問題についての話題・ニュースや、管理栄養士の活躍現場について関心を持っておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション、WHO(世界保健機関)の「健康の定義」 2. 対人援助の基本 3. 管理栄養士と援助業務 4. 暮らしを支える制度－1(医療、年金、介護) 5. 暮らしを支える制度－2(雇用、労災) 6. 高齢者福祉と人権 7. 障害者福祉と人権 8. 児童福祉と人権 9. 国家補償と社会保障(健康被害とその救済)－1 10. 国家補償と社会保障(健康被害とその救済)－2 11. 心理的支援について－1 12. 心理的支援について－2 13. 再度WHOの健康定義について</p>			

科目名	保健医療福祉論	後期	2 単位
サブタイトル	健康に関する総合的な視点。対人援助と自己。	講義	
担当者	阿江 善春		
<p>[成績評価方法] 試験(60%)・毎回の授業終了時に提出のレポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:毎回の授業終了時に提出のレポート(40%)・試験(60%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:毎回の授業終了時に提出のレポート(40%)・試験(60%)</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:毎回の授業終了時に提出のレポート(40%)・試験(60%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:毎回の授業終了時に提出のレポート(40%)・試験(60%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:毎回の授業終了時に提出のレポート(40%)・試験(60%)</p> <p>[教科書(ISBN)] 教科書の指定はなし、毎回プリントを配布 著者名:阿江善春</p> <p>[参考書(ISBN)] 適宜、紹介する</p>			

科目名	保健医療福祉論	後期	2 単位
サブタイトル	健康に関する総合的な視点。対人援助と自己。	講義	
担当者	阿江 善春		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	なし
<p>[到達目標] WHOの健康定義を柱に人間の持つ様々な課題をからだ、こころ、くらしの全体にわたり理解すると同時に、具体的な場面における相談援助を理解する。</p> <p>[授業概要] この授業では医学・医療と人の心理、生活や福祉との関わりについて学ぶ。また多くの具体的事例を通して専門機関の連携・協働の重要性について一緒に考え、同時に管理栄養士の役割についての理解を深める。そして何よりも自身の今後の人生との関わりについて考え、理解する視点を重視する。中心的には 1 健康と医療について、からだ、こころ、くらしのすべての視点からその基礎的知識を学習する。 2 その中でも対人援助の業務に就くものとして、その基礎的な知識と技術を学習する。またその中で自身の健康を大切にす知識と方法についても習得する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日ごろから医療領域における社会福祉の問題についての話題・ニュースや、管理栄養士の活躍現場について関心を持っておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション、WHO(世界保健機関)の「健康の定義」 2. 対人援助の基本 3. 管理栄養士と援助業務 4. 暮らしを支える制度－1(医療、年金、介護) 5. 暮らしを支える制度－2(雇用、労災) 6. 高齢者福祉と人権 7. 障害者福祉と人権 8. 児童福祉と人権 9. 国家補償と社会保障(健康被害とその救済)－1 10. 国家補償と社会保障(健康被害とその救済)－2 11. 心理的支援について－1 12. 心理的支援について－2 13. 再度WHOの健康定義について</p>			

科目名	保健医療福祉論	後期	2 単位
サブタイトル	健康に関する総合的な視点。対人援助と自己。	講義	
担当者	阿江 善春		
<p>[成績評価方法] 毎回の授業終了時に提出のレポート(40%)・試験(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:毎回の授業終了時に提出のレポート(40%)・試験(60%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:毎回の授業終了時に提出のレポート(40%)・試験(60%)</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:毎回の授業終了時に提出のレポート(40%)・試験(60%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:毎回の授業終了時に提出のレポート(40%)・試験(60%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:毎回の授業終了時に提出のレポート(40%)・試験(60%)</p> <p>[教科書(ISBN)] 教科書の指定はなし、毎回プリントを配布 著者名:阿江善春</p> <p>[参考書(ISBN)] 適宜、紹介する</p>			

科目名	ライフステージ栄養学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小倉 嘉夫		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 発育・発達・加齢における生理的特徴を理解する。各ライフステージにおける身体状況、健康障害、食事摂取基準、栄養補給、栄養管理等の概要を理解する。</p> <p>[授業概要] 妊娠・授乳や発育、加齢など人体の構造や機能の変化に伴う栄養状態等の変化および栄養状態の評価・判定の基本的な考え方を概説する。また、健康増進、疾病予防に寄与する栄養素の機能等を概説し、健康への影響に関するリスク管理の基本的考え方や方法について講義する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 前回の授業内容を復習して、次回の授業の予習をしておくこと。ライフステージ栄養学の理解のために履修済みの専門基礎分野や基礎栄養学と応用栄養学についても日頃から復習しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.発育・発達・加齢変化の概念 2.母性栄養(妊娠期) 3.母性栄養(妊娠期) 4.母性栄養(授乳期) 5.母性栄養(授乳期) 6.乳児期の栄養 7.乳児期の栄養 8.幼児期の栄養 9.学童期、思春期の栄養 10.成人期の栄養 11.更年期の栄養 12.高齢期の栄養 13.高齢期の栄養 			

科目名	ライフステージ栄養学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小倉 嘉夫		
<p>[成績評価方法] 本試験(80%)と授業への参加状況および小テスト(20%)により総合評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストについては答案を回収後、解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 「応用栄養学(栄養科学シリーズNEXT)第6版」 著者名:木戸康博、小倉嘉夫、眞鍋祐之、青井渉編 出版社:講談社 (978-4-06-518044-0) 「日本人の食事摂取基準[2020年版]」 著者名:伊藤貞嘉、佐々木敏監修 出版社:第一出版 (978-4-8041-1408-8 C1077) その他、必要に応じてプリントを配付する。</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養管理プロセス 著者名:日本栄養士会監修 木戸康博、中村丁次、 小松龍史 編 出版社:第一出版 (978-4-8041-1385-2 C1077)</p>			

科目名	ライフステージ栄養学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小倉 嘉夫		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 発育・発達・加齢における生理的特徴を理解する。各ライフステージにおける身体状況、健康障害、食事摂取基準、栄養補給、栄養管理等の概要を理解する。</p> <p>[授業概要] 妊娠・授乳や発育、加齢など人体の構造や機能の変化に伴う栄養状態等の変化および栄養状態の評価・判定の基本的な考え方を概説する。また、健康増進、疾病予防に寄与する栄養素の機能等を概説し、健康への影響に関するリスク管理の基本的考え方や方法について講義する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 前回の授業内容を復習して、次回の授業の予習をしておくこと。ライフステージ栄養学の理解のために履修済みの専門基礎分野や基礎栄養学と応用栄養学についても日頃から復習しておくこと。</p> <p>[授業計画] 1.発育・発達・加齢変化の概念 2.母性栄養(妊娠期) 3.母性栄養(妊娠期) 4.母性栄養(授乳期) 5.母性栄養(授乳期) 6.乳児期の栄養 7.乳児期の栄養 8.幼児期の栄養 9.学童期、思春期の栄養 10.成人期の栄養 11.更年期の栄養 12.高齢期の栄養 13.高齢期の栄養</p>			

科目名	ライフステージ栄養学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小倉 嘉夫		
<p>[成績評価方法] 本試験(80%)と授業への参加状況および小テスト(20%)により総合評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストについては答案を回収後、解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 「応用栄養学(栄養科学シリーズNEXT)第6版」 著者名:木戸康博、小倉嘉夫、眞鍋祐之、青井渉編 出版社:講談社 (978-4-06-5818044-0) 「日本人の食事摂取基準[2020年版]」 著者名:伊藤貞嘉、佐々木敏監修 出版社:第一出版 (978-4-8041-1408-8 C1077) その他、必要に応じてプリントを配付する。</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養管理プロセス 著者名:日本栄養士会監修 木戸康博、中村丁次、 小松龍史 編 出版社:第一出版 (978-4-8041-1385-2 C1077)</p>			

科目名	ライフステージ栄養学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小倉 嘉夫		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 発育・発達・加齢における生理的特徴を理解する。各ライフステージにおける身体状況、健康障害、食事摂取基準、栄養補給、栄養管理等の概要を理解する。</p> <p>[授業概要] 妊娠・授乳や発育、加齢など人体の構造や機能の変化に伴う栄養状態等の変化および栄養状態の評価・判定の基本的な考え方を概説する。また、健康増進、疾病予防に寄与する栄養素の機能等を概説し、健康への影響に関するリスク管理の基本的考え方や方法について講義する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 前回の授業内容を復習して、次回の授業の予習をしておくこと。ライフステージ栄養学の理解のために履修済みの専門基礎分野や基礎栄養学と応用栄養学についても日頃から復習しておくこと。</p> <p>[授業計画] 1.発育・発達・加齢変化の概念 2.母性栄養(妊娠期) 3.母性栄養(妊娠期) 4.母性栄養(授乳期) 5.母性栄養(授乳期) 6.乳児期の栄養 7.乳児期の栄養 8.幼児期の栄養 9.学童期、思春期の栄養 10.成人期の栄養 11.更年期の栄養 12.高齢期の栄養 13.高齢期の栄養</p>			

科目名	ライフステージ栄養学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小倉 嘉夫		
<p>[成績評価方法] 本試験(80%)と授業への参加状況および小テスト(20%)により総合評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストについては答案を回収後、解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 「応用栄養学(栄養科学シリーズNEXT)第6版」 著者名:木戸康博、小倉嘉夫、眞鍋祐之、青井渉編 出版社:講談社 (978-4-06-518044-0) 「日本人の食事摂取基準[2020年版]」 著者名:伊藤貞嘉、佐々木敏監修 出版社:第一出版 (978-4-8041-1408-8 C1077) その他、必要に応じてプリントを配付する。</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養管理プロセス 著者名:日本栄養士会監修 木戸康博、中村丁次、 小松龍史 編 出版社:第一出版 (978-4-8041-1385-2 C1077)</p>			

科目名	ライフステージ栄養学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小倉 嘉夫		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 発育・発達・加齢における生理的特徴を理解する。各ライフステージにおける身体状況、健康障害、食事摂取基準、栄養補給、栄養管理等の概要を理解する。</p> <p>[授業概要] 妊娠・授乳や発育、加齢など人体の構造や機能の変化に伴う栄養状態等の変化および栄養状態の評価・判定の基本的な考え方を概説する。また、健康増進、疾病予防に寄与する栄養素の機能等を概説し、健康への影響に関するリスク管理の基本的考え方や方法について講義する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 前回の授業内容を復習して、次回の授業の予習をしておくこと。ライフステージ栄養学の理解のために履修済みの専門基礎分野や基礎栄養学と応用栄養学についても日頃から復習しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.発育・発達・加齢変化の概念 2.母性栄養(妊娠期) 3.母性栄養(妊娠期) 4.母性栄養(授乳期) 5.母性栄養(授乳期) 6.乳児期の栄養 7.乳児期の栄養 8.幼児期の栄養 9.学童期、思春期の栄養 10.成人期の栄養 11.更年期の栄養 12.高齢期の栄養 13.高齢期の栄養 			

科目名	ライフステージ栄養学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小倉 嘉夫		
<p>[成績評価方法] 本試験(80%)と授業への参加状況および小テスト(20%)により総合評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストについては答案を回収後、解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 「応用栄養学(栄養科学シリーズNEXT)第6版」 著者名:木戸康博、小倉嘉夫、眞鍋祐之、青井渉編 出版社:講談社 (978-4-06-518044-0) 「日本人の食事摂取基準[2020年版]」 著者名:伊藤貞嘉、佐々木敏監修 出版社:第一出版 (978-4-8041-1408-8 C1077) その他、必要に応じてプリントを配付する。</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養管理プロセス 著者名:日本栄養士会監修 木戸康博、中村丁次、 小松龍史 編 出版社:第一出版 (978-4-8041-1385-2 C1077)</p>			

科目名	臨床医学概論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	竹中 優		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 解剖生理学・病理学・生化学などの専門基礎科目で学んだ基礎知識を元に、臨床栄養学に必要な専門用語・疾患概念・病態生理を正確に理解する。</p> <p>[授業概要] 主要な疾病の発症・進行・病態評価や診断、治療の基本的な考え方を解剖学・生理学・生化学・栄養学等の基礎知識に基づき理解する。臨床栄養学に関する専門用語・概念を幅広く学ぶ。解剖生理学・病理学の基礎知識は必須である。受講に際し、あらかじめ専門基礎科目の復習をしておくことが肝要である。 内科臨床医(総合内科専門医)が臨床経験を活かして、臨床栄養学の理解に必要な医学知識と疾病の病態を講ずる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度。 専門基礎科目で学んだ解剖生理学、病理学、生化学などの内容をふまえて講義が行われる。これらの基礎知識を確実に理解していることが、本講の理解に必須である。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 腎臓-体内環境のコントロールと疾患 2. 腎疾患:急性腎炎・慢性腎炎・ネフローゼ症候群 3. 消化器疾患 I 4. 消化器疾患 II 5. 肝臓の働きと肝疾患(肝炎を中心に) 6. 肝硬変の基礎・胆嚢・膵疾患 7. 代謝疾患:糖尿病・脂質異常症・高尿酸血症 8. 循環器疾患 I 9. 循環器疾患 II 10. 脳下垂体ホルモン系と内分泌疾患I 11. 脳下垂体ホルモン系と内分泌疾患II 12. 神経・精神系疾患 13. 呼吸器疾患、管理栄養士が知っておくべき治療薬の基礎知識 14. 試験 			

科目名	臨床医学概論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	竹中 優		
<p>[成績評価方法] 試験により評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] responなどでのプレゼンテーションについてコメントや概説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 疾病の成因・病態・診断・治療 - 人体の構造と機能および疾病の成り立ち 著者名:竹中 優編 出版社:医歯薬出版株式会社 (978-4-263-70586-5)</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 人体の機能と構造/臨床栄養学② 著者名:医療情報科学研究所(編集) 出版社:メディックメディア 栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 人体の機能と構造/臨床栄養学③ 著者名:医療情報科学研究所(編集) 出版社:メディックメディア</p>			

科目名	臨床医学概論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	竹中 優		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 解剖生理学・病理学・生化学などの専門基礎科目で学んだ基礎知識を元に、臨床栄養学に必要な専門用語・疾患概念・病態生理を正確に理解する。</p> <p>[授業概要] 主要な疾病の発症・進行・病態評価や診断、治療の基本的な考え方を解剖学・生理学・生化学・栄養学等の基礎知識に基づき理解する。臨床栄養学に関する専門用語・概念を幅広く学ぶ。解剖生理学・病理学の基礎知識は必須である。受講に際し、あらかじめ専門基礎科目の復習をしておくことが肝要である。 内科臨床医(総合内科専門医)が臨床経験を活かして、臨床栄養学の理解に必要な医学知識と疾病の病態を講ずる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度。 専門基礎科目で学んだ解剖生理学、病理学、生化学などの内容をふまえて講義が行われる。これらの基礎知識を確実に理解していることが、本講の理解に必須である。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 腎臓一体内環境のコントロールと疾患 2. 腎疾患:急性腎炎・慢性腎炎・ネフローゼ症候群 3. 消化器疾患 I 4. 消化器疾患 II 5. 肝臓の働きと肝疾患(肝炎を中心に) 6. 肝硬変の基礎・胆嚢・膵疾患 7. 代謝疾患:糖尿病・脂質異常症・高尿酸血症 8. 循環器疾患 I 9. 循環器疾患 II 10. 脳下垂体ホルモン系と内分泌疾患I 11. 脳下垂体ホルモン系と内分泌疾患II 12. 神経・精神系疾患 13. 呼吸器疾患、管理栄養士が知っておくべき治療薬の基礎知識 14. 試験 			

科目名	臨床医学概論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	竹中 優		
<p>[成績評価方法] 試験により評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] responなどでのプレゼンテーションについてコメントや概説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 疾病の成因・病態・診断・治療 - 人体の構造と機能および疾病の成り立ち 著者名:竹中 優編 出版社:医歯薬出版株式会社 (978-4-263-70586-5)</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 人体の機能と構造/臨床栄養学② 著者名:医療情報科学研究所(編集) 出版社:メディックメディア 栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 人体の機能と構造/臨床栄養学③ 著者名:医療情報科学研究所(編集) 出版社:メディックメディア</p>			

科目名	臨床栄養学 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 臨床栄養学を十分理解するため、臨床栄養学が対象とする主だった疾患の成因、症候、診断、治療について理解し、説明できるようになる。</p> <p>[授業概要] 主だった疾患の成因、症候、診断、治療について解説します。特に、その治療において食事療法、栄養療法が大きな役割を占める代謝関連疾患について重点をおく予定です。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業で使用するパワーポイント資料を事前にmanabaにアップロードしますので、目をとおしておいてください。さらに、授業の後には復習として、これまでに習得した事項との関連性を再確認しましょう。各回、予習復習あわせて4時間程度の学修が必要になるかと思えます。</p> <p>[授業計画] 授業を理解するため、特に解剖生理学の資料を見直しておいて下さい。次の疾患について解説する予定です。教科書は使用しません。授業で使用するパワーポイント資料については、事前にmanabaにアップロードします。参考書の購入は必須ではありません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 代謝疾患(糖尿病) 2. 代謝疾患(糖尿病合併症、肥満、メタボリックシンドローム) 3. 代謝疾患(脂質異常症、高尿酸血症など)/内分泌疾患 4. 内分泌疾患(甲状腺疾患、内分泌性高血圧など) 5. まとめI/循環器疾患(高血圧、動脈硬化症、虚血性心疾患、心不全など) 6. 循環器疾患 7. 呼吸器疾患(肺感染症、喘息、COPD、呼吸不全など) 8. 消化管疾患 9. 肝胆膵疾患(ウイルス性肝炎、肝硬変、肝癌、代謝性肝疾患、膵炎、胆嚢炎など) 10. 血液疾患(貧血、造血器腫瘍など) 11. 神経筋疾患(神経変性疾患、筋ジストロフィ、脳血管障害など) 12. 精神疾患/加齢に関わる疾患(骨粗鬆症、変形性関節症、サルコペニア、フレイルなど) 13. まとめII 			

科目名	臨床栄養学 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
<p>[成績評価方法] 評価の内訳は次のとおりです。授業中のクイズ(小テスト)20%、試験成績 80%。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中にクイズ(小テスト)を行い、その後、それに対して解説しフィードバックを行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。講義資料は電子媒体で入手可能。教科書として指定しませんが、下記の参考書のような読みやすい本を通読することをお勧めします。</p> <p>[参考書(ISBN)] エッセンシャル臨床栄養学 著者名:佐藤和人ら編 出版社:医歯薬出版 (978-4-263-70670-1) 佐々木敏の栄養データはこう読む! 著者名:佐々木敏 出版社:女子栄養大学出版部 (4789554422) 健康・栄養科学シリーズ 臨床医学 著者名:羽生大記/河手久弥編 出版社:南江堂 (978-4-524-24619-9)</p>			

科目名	臨床栄養学 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 臨床栄養学を十分理解するため、臨床栄養学が対象とする主だった疾患の成因、症候、診断、治療について理解し、説明できるようになる。</p> <p>[授業概要] 主だった疾患の成因、症候、診断、治療について解説します。特に、その治療において食事療法、栄養療法が大きな役割を占める代謝関連疾患について重点をおく予定です。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業で使用するパワーポイント資料を事前にmanabaにアップロードしますので、目をとおしておいてください。さらに、授業の後には復習として、これまでに習得した事項との関連性を再確認しましょう。各回、予習復習あわせて4時間程度の学修が必要になるかと思えます。</p> <p>[授業計画] 授業を理解するため、特に解剖生理学の資料を見直しておいて下さい。次の疾患について解説する予定です。教科書は使用しません。授業で使用するパワーポイント資料については、事前にmanabaにアップロードします。参考書の購入は必須ではありません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 代謝疾患(糖尿病) 2. 代謝疾患(糖尿病合併症、肥満、メタボリックシンドローム) 3. 代謝疾患(脂質異常症、高尿酸血症など)/内分泌疾患 4. 内分泌疾患(甲状腺疾患、内分泌性高血圧など) 5. まとめI/循環器疾患(高血圧、動脈硬化症、虚血性心疾患、心不全など) 6. 循環器疾患 7. 呼吸器疾患(肺感染症、喘息、COPD、呼吸不全など) 8. 消化管疾患 9. 肝胆膵疾患(ウイルス性肝炎、肝硬変、肝癌、代謝性肝疾患、膵炎、胆嚢炎など) 10. 血液疾患(貧血、造血器腫瘍など) 11. 神経筋疾患(神経変性疾患、筋ジストロフィ、脳血管障害など) 12. 精神疾患/加齢に関わる疾患(骨粗鬆症、変形性関節症、サルコペニア、フレイルなど) 13. まとめII 			

科目名	臨床栄養学 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	置村 康彦		
<p>[成績評価方法] 評価の内訳は次のとおりです。授業中のクイズ(小テスト)20%、試験成績 80%。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中にクイズ(小テスト)を行い、その後、それに対して解説しフィードバックを行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。講義資料は電子媒体で入手可能。教科書として指定しませんが、下記の参考書のような読みやすい本を通読することをお勧めします。</p> <p>[参考書(ISBN)] エッセンシャル臨床栄養学 著者名:佐藤和人ら編 出版社:医歯薬出版 (978-4-263-70670-1) 佐々木敏の栄養データはこう読む! 著者名:佐々木敏 出版社:女子栄養大学出版部 (4789554422) 健康・栄養科学シリーズ 臨床医学 著者名:羽生大記/河手久弥編 出版社:南江堂 (978-4-524-24619-9)</p>			

科目名	臨床栄養学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	竹中 優		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 疾患についての理解を深める。各疾患の病態・栄養状態を評価し、適切な栄養療法を考える事ができる。</p> <p>[授業概要] 臨床医学概論・臨床栄養学概論・臨床栄養学Iで学んだ疾患への理解を元に、臨床症状、病態生理、治療、予後等を学ぶ。内科臨床医(総合内科専門医)が臨床経験を活かして、臨床栄養学の考え方の理解をサポートする。主要な疾患に関して、疾病者の病態・栄養状態を評価し、それぞれの病態に応じた治療法としての栄養療法を理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度。臨床医学概論、臨床栄養学概論、臨床栄養学Iで学んだ内容を応用する。これらの科目で学んだ事柄を本講受講前に整理し確認しておく必要がある。</p> <p>[授業計画] 1. メタボリックシンドローム、肥満 2. 糖尿病I 3. 糖尿病II 4. 内分泌代謝疾患: 脂質異常症・痛風・高尿酸血症 5. 高血圧 6. 循環器疾患 7. 肝疾患I 8. 肝疾患II・膵臓疾患 9. 腎疾患 I : a. 慢性腎臓病(慢性腎不全) 10. 腎疾患 II : b. 糖尿病腎症 c. 急性腎障害(急性腎不全) 11. 腎代替療法: 血液浄化療法(血液透析、腹膜透析)、腎移植 12. 筋肉骨疾患・老年症候群 13. 消化器疾患: 炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病) 14. 試験</p>			

科目名	臨床栄養学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	竹中 優		
<p>[成績評価方法] 試験</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] プレゼンテーションについてコメントや概説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] エッセンシャル臨床栄養学 著者名:佐藤 和人他 出版社:医歯薬出版株式会社 疾病の成因・病態・診断・治療 人体の構造と機能および疾病の成り立ち 著者名:竹中 優編 出版社:医歯薬出版株式会社 (978-4-263-70586-5)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	臨床栄養学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	竹中 優		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

疾患についての理解を深める。各疾患の病態・栄養状態を評価し、適切な栄養療法を考える事ができる。

[授業概要]

臨床医学概論・臨床栄養学概論・臨床栄養学Iで学んだ疾患への理解を元に、臨床症状、病態生理、治療、予後等を学ぶ。内科臨床医(総合内科専門医)が臨床経験を活かして、臨床栄養学の考え方の理解をサポートする。主要な疾患に関して、疾病者の病態・栄養状態を評価し、それぞれの病態に応じた治療法としての栄養療法を理解する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習合わせて4時間程度。臨床医学概論、臨床栄養学概論、臨床栄養学Iで学んだ内容を応用する。これらの科目で学んだ事柄を本講受講前に整理し確認しておく必要がある。

[授業計画]

1. メタボリックシンドローム、肥満
2. 糖尿病I
3. 糖尿病II
4. 内分泌代謝疾患: 脂質異常症・痛風・高尿酸血症
5. 高血圧
6. 循環器疾患
7. 肝疾患I
8. 肝疾患II・膵臓疾患
9. 腎疾患 I : a. 慢性腎臓病(慢性腎不全)
10. 腎疾患 II : b. 糖尿病腎症 c. 急性腎障害(急性腎不全)
11. 腎代替療法: 血液浄化療法(血液透析、腹膜透析)、腎移植
12. 筋肉骨疾患・老年症候群
13. 消化器疾患: 炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病)
14. 試験

科目名	臨床栄養学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	竹中 優		
<p>[成績評価方法] 試験</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] プレゼンテーションについてコメントや概説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] エッセンシャル臨床栄養学 著者名:佐藤 和人他 出版社:医歯薬出版株式会社 疾病の成因・病態・診断・治療 人体の構造と機能および疾病の成り立ち 著者名:竹中 優編 出版社:医歯薬出版株式会社 (978-4-263-70586-5)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	臨床栄養学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	竹中 優		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 疾患に関する理解を深める。各疾患の病態・栄養状態を評価し、適切な栄養療法を考える事ができる。</p> <p>[授業概要] 臨床医学概論・臨床栄養学概論・臨床栄養学Iで学んだ疾患への理解を元に、臨床症状、病態生理、治療、予後等を学ぶ。内科臨床医(総合内科専門医)が臨床経験を活かして、臨床栄養学の考え方の理解をサポートする。主要な疾患に関して、疾病者の病態・栄養状態を評価し、それぞれの病態に応じた治療法としての栄養療法を理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度。臨床医学概論、臨床栄養学概論、臨床栄養学Iで学んだ内容を応用する。これらの科目で学んだ事柄を本講受講前に整理し確認しておく必要がある。</p> <p>[授業計画] 1. メタボリックシンドローム、肥満 2. 糖尿病I 3. 糖尿病II 4. 内分泌代謝疾患: 脂質異常症・痛風・高尿酸血症 5. 高血圧 6. 循環器疾患 7. 肝疾患I 8. 肝疾患II・膵臓疾患 9. 腎疾患 I : a. 慢性腎臓病(慢性腎不全) 10. 腎疾患 II : b. 糖尿病腎症 c. 急性腎障害(急性腎不全) 11. 腎代替療法: 血液浄化療法(血液透析、腹膜透析)、腎移植 12. 筋肉骨疾患・老年症候群 13. 消化器疾患: 炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病) 14. 試験</p>			

科目名	臨床栄養学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	竹中 優		
<p>[成績評価方法] 試験</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] プレゼンテーションについてコメントや概説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] エッセンシャル臨床栄養学 著者名:佐藤 和人他 出版社:医歯薬出版株式会社 疾病の成因・病態・診断・治療 人体の構造と機能および疾病の成り立ち 著者名:竹中 優編 出版社:医歯薬出版株式会社 (978-4-263-70586-5)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	臨床栄養学Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		講義	
担当者	竹中 優		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 疾患に関する理解を深める。各疾患の病態・栄養状態を評価し、適切な栄養療法を考える事ができる。</p> <p>[授業概要] 臨床医学概論・臨床栄養学概論・臨床栄養学Iで学んだ疾患への理解を元に、臨床症状、病態生理、治療、予後等を学ぶ。内科臨床医(総合内科専門医)が臨床経験を活かして、臨床栄養学の考え方の理解をサポートする。主要な疾患に関して、疾病者の病態・栄養状態を評価し、それぞれの病態に応じた治療法としての栄養療法を理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度。臨床医学概論、臨床栄養学概論、臨床栄養学Iで学んだ内容を応用する。これらの科目で学んだ事柄を本講受講前に整理し確認しておく必要がある。</p> <p>[授業計画] 1. メタボリックシンドローム、肥満 2. 糖尿病I 3. 糖尿病II 4. 内分泌代謝疾患: 脂質異常症・痛風・高尿酸血症 5. 高血圧 6. 循環器疾患 7. 肝疾患I 8. 肝疾患II・膵臓疾患 9. 腎疾患 I : a. 慢性腎臓病(慢性腎不全) 10. 腎疾患 II : b. 糖尿病腎症 c. 急性腎障害(急性腎不全) 11. 腎代替療法: 血液浄化療法(血液透析、腹膜透析)、腎移植 12. 筋肉骨疾患・老年症候群 13. 消化器疾患: 炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病) 14. 試験</p>			

科目名	臨床栄養学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	竹中 優		
<p>[成績評価方法] 試験</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] プレゼンテーションについてコメントや概説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] エッセンシャル臨床栄養学 著者名:佐藤 和人他 出版社:医歯薬出版株式会社 疾病の成因・病態・診断・治療 人体の構造と機能および疾病の成り立ち 著者名:竹中 優編 出版社:医歯薬出版株式会社 (978-4-263-70586-5)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	臨床栄養学概論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	榊原 美津枝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 栄養ケアマネジメントの概念を理解し、傷病者の栄養ケアマネジメントの過程を理解する。</p> <p>[授業概要] 栄養ケアマネジメントの必要性と定義を学び、医療倫理や医療保険制度及び介護保険制度の現状を理解し、栄養ケアマネジメントの過程の実際について学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業前に教科書を熟読し予習しておく、授業後は復習し習得する。 各回、予習復習合わせて3時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床栄養学の基礎・医療倫理について 2. 医療・介護と臨床栄養について 3. 栄養ケアマネジメントの概要について 4. 栄養アセスメントについて 5. 栄養ケア計画のプロセスについて 6. 食事療法(経口栄養療養)について 7. 経腸栄養療養・経静脈栄養療養について 8. 糖尿病食品交換表について 9. 腎臓病食品交換表等について 10. 栄養教育について 11. 栄養ケアの実施と記録 12. 薬と栄養・食物の相互作用について 13. 栄養ケアのアセスメント 14. 試験 			

科目名	臨床栄養学概論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	榊原 美津枝		
<p>[成績評価方法] 試験(70%)、授業態度・小テスト・レポート課題(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・レポート課題は、後日添削して返却します。また、次回授業で説明します。 ・確認テストは、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験・小テスト・レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:小テスト・レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト・レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート課題</p> <p>[教科書(ISBN)]</p>			

S81300 [HDB2-010]

科目名	臨床栄養学概論		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	榊原 美津枝			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
<p>[到達目標] 栄養ケアマネジメントの概念を理解し、傷病者の栄養ケアマネジメントの過程を理解する。</p> <p>[授業概要] 栄養ケアマネジメントの必要性と定義を学び、医療倫理や医療保険制度及び介護保険制度の現状を理解し、栄養ケアマネジメントの過程の実際について学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業前に教科書を熟読し予習しておく、授業後は復習し習得する。 各回、予習復習合わせて3時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床栄養学の基礎・医療倫理について 2. 医療・介護と臨床栄養について 3. 栄養ケアマネジメントの概要について 4. 栄養アセスメントについて 5. 栄養ケア計画のプロセスについて 6. 食事療法(経口栄養療養)について 7. 経腸栄養療養・経静脈栄養療養について 8. 糖尿病食品交換表について 9. 腎臓病食品交換表等について 10. 栄養教育について 11. 栄養ケアの実施と記録 12. 薬と栄養・食物の相互作用について 13. 栄養ケアのアセスメント 14. 試験 				

科目名	臨床栄養学概論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	榊原 美津枝		
<p>[成績評価方法] 試験(70%)、授業態度・小テスト・レポート課題(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・レポート課題は、後日添削して返却します。また、次回授業で説明します。 ・確認テストは、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験・小テスト・レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:小テスト・レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト・レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート課題</p> <p>[教科書(ISBN)]</p>			

S81301 [HDB2-010]

科目名	臨床栄養学概論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	榊原 美津枝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 栄養ケアマネジメントの概念を理解し、傷病者の栄養ケアマネジメントの過程を理解する。</p> <p>[授業概要] 栄養ケアマネジメントの必要性と定義を学び、医療倫理や医療保険制度及び介護保険制度の現状を理解し、栄養ケアマネジメントの過程の実際について学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業前に教科書を熟読し予習しておく、授業後は復習し習得する。 各回、予習復習合わせて3時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床栄養学の基礎・医療倫理について 2. 医療・介護と臨床栄養について 3. 栄養ケアマネジメントの概要について 4. 栄養アセスメントについて 5. 栄養ケア計画のプロセスについて 6. 食事療法(経口栄養療養)について 7. 経腸栄養療養・経静脈栄養療養について 8. 糖尿病食品交換表について 9. 腎臓病食品交換表等について 10. 栄養教育について 11. 栄養ケアの実施と記録 12. 薬と栄養・食物の相互作用について 13. 栄養ケアのアセスメント 14. 試験 			

科目名	臨床栄養学概論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	榊原 美津枝		
<p>[成績評価方法] 試験(70%)、授業態度・小テスト・レポート課題(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・レポート課題は、後日添削して返却します。また、次回授業で説明します。 ・確認テストは、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験・小テスト・レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:小テスト・レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト・レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート課題</p> <p>[教科書(ISBN)]</p>			

S81302 [HDB2-010]

科目名	臨床栄養学概論		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	榊原 美津枝			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
<p>[到達目標] 栄養ケアマネジメントの概念を理解し、傷病者の栄養ケアマネジメントの過程を理解する。</p> <p>[授業概要] 栄養ケアマネジメントの必要性と定義を学び、医療倫理や医療保険制度及び介護保険制度の現状を理解し、栄養ケアマネジメントの過程の実際について学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業前に教科書を熟読し予習しておく、授業後は復習し習得する。 各回、予習復習合わせて3時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床栄養学の基礎・医療倫理について 2. 医療・介護と臨床栄養について 3. 栄養ケアマネジメントの概要について 4. 栄養アセスメントについて 5. 栄養ケア計画のプロセスについて 6. 食事療法(経口栄養療養)について 7. 経腸栄養療養・経静脈栄養療養について 8. 糖尿病食品交換表について 9. 腎臓病食品交換表等について 10. 栄養教育について 11. 栄養ケアの実施と記録 12. 薬と栄養・食物の相互作用について 13. 栄養ケアのアセスメント 14. 試験 				

科目名	臨床栄養学概論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	榊原 美津枝		
<p>[成績評価方法] 試験(70%)、授業態度・小テスト・レポート課題(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・レポート課題は、後日添削して返却します。また、次回授業で説明します。 ・確認テストは、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験・小テスト・レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:小テスト・レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験・小テスト・レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート課題</p> <p>[教科書(ISBN)]</p>			

S81303 [HDB2-010]

科目名	臨床栄養学実習 I (校外)	前期～後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	榊原 美津枝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 病院の管理栄養士の業務を理解し、栄養ケアマネジメントについて実践的に修得する。</p> <p>[授業概要] 臨床栄養学臨床実習において、病院管理栄養士業務の知識・技術・態度を修得する。 具体的には、カルテ閲覧・面接から患者情報を収集し、患者の栄養スクリーニング、栄養アセスメント、必要栄養量・患者のニーズに基づく栄養ケアの作成、および献立作成・発注業務・食数業務・調理業務、提供した食事の摂取状況の把握、栄養相談(栄養カウンセリング)の実施、栄養相談報告書の記入、チーム医療への参画、栄養ケアのモニタリング、再評価など一連の栄養ケアマネジメントを実践的に学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床栄養学概論、臨床栄養学 I・II、ライフステージ栄養学臨床栄養管理学実習 I について復習しておくこと。 臨床栄養学臨床実習の配属病院の栄養管理の特徴について調べておく。</p> <p>[授業計画] 大学内において、「病院の管理栄養士の実務」を予習・復習する。 1. 臨床栄養管理の流れ(食事オーダー・食事の種類) 2. 臨床栄養管理の流れ(栄養アセスメントの実際) 3. 臨床栄養管理の流れ(栄養ケアの実際) 4. チーム医療の実際(糖尿病) 5. チーム医療の実際(NST) 6. チーム医療の実際(緩和・嚥下・化学療法など) 7. 栄養指導の実際(個人指導) 8. 栄養指導の実際(集団指導)</p> <p>3回生は、臨床栄養学実習 I・II (校外)の単位として、総合演習 II (4回生開講科目)の後期に指示された日に受講する。</p>			

科目名	臨床栄養学実習 I (校外)	前期～後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	榊原 美津枝		
<p>[成績評価方法] 臨床栄養学臨地実習の評価(70%)、実習課題・報告内容など(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・課題等の内容について指導を行います。 ・実習ノートを後日添削して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>[教科書(ISBN)] 臨地実習・校外実習ハンドブック ～より深い学びのために～ 著者名:藤原政嘉・田中俊治・赤尾 正 出版社:みらい (978-4-86015-330-4)</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学 基礎編・疾患別編 著者名:本田 佳子 出版社:羊土社 (978-4-7581-0882-9、 978-4-7581-0883-6)</p>			

S81700 [HDI3-010]

科目名	臨床栄養学実習Ⅱ(校外)	前期～後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	榊原 美津枝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 病院の管理栄養士の業務を理解し、栄養ケアマネジメントについて実践的に修得する。</p> <p>[授業概要] 臨床栄養学臨床実習において、病院管理栄養士業務の知識・技術・態度を修得する。 具体的には、カルテ閲覧・面接から患者情報を収集し、患者の栄養スクリーニング、栄養アセスメント、必要栄養量・患者のニーズに基づく栄養ケアの作成、および献立作成・発注業務・食数業務・調理業務、提供した食事の摂取状況の把握、栄養相談(栄養カウンセリング)の実施、栄養相談報告書の記入、チーム医療への参画、栄養ケアのモニタリング、再評価など一連の栄養ケアマネジメントを実践的に学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床栄養学概論、臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ、ライフステージ栄養学臨床栄養管理学実習Ⅰについて復習しておくこと。 臨床栄養学臨床実習の配属病院の栄養管理の特徴について調べておく。</p> <p>[授業計画] 大学内において、「病院の管理栄養士の実務」を予習・復習する。 1. 臨床栄養管理の流れ(食事オーダー・食事の種類) 2. 臨床栄養管理の流れ(栄養アセスメントの実際) 3. 臨床栄養管理の流れ(栄養ケアの実際) 4. チーム医療の実際(糖尿病) 5. チーム医療の実際(NST) 6. チーム医療の実際(緩和・嚥下・化学療法など) 7. 栄養指導の実際(個人指導) 8. 栄養指導の実際(集団指導)</p> <p>3回生は、臨床栄養学実習Ⅰ・Ⅱ(校外)の単位として、総合演習Ⅱ(4回生開講科目)の後期に指示された日に受講する。</p>			

科目名	臨床栄養学実習Ⅱ(校外)	前期～後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	榊原 美津枝		
<p>[成績評価方法] 臨床栄養学臨地実習の評価(70%)、実習課題・報告内容など(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・課題等の内容について指導を行います。 ・実習ノートを後日添削して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>[教科書(ISBN)] 臨地実習・校外実習ハンドブック ～より深い学びのために～ 著者名:藤原政嘉・田中俊治・赤尾 正 出版社:みらい (978-4-86015-330-4)</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学 基礎編・疾患別編 著者名:本田 佳子 出版社:羊土社 (978-4-7581-0882-9、 978-4-7581-0883-6)</p>			

S81710 [HDI3-011]

科目名	臨床栄養学実習Ⅲ(校外)	前期～後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	榊原 美津枝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 病院の管理栄養士の業務を理解し、栄養ケアマネジメントについて実践的に修得する。</p> <p>[授業概要] 臨床栄養学臨床実習において、病院管理栄養士業務の知識・技術・態度を修得する。 具体的には、カルテ閲覧・面接から患者情報を収集し、患者の栄養スクリーニング、栄養アセスメント、必要栄養量・患者のニーズに基づく栄養ケアの作成、および献立作成・発注業務・食数業務・調理業務、提供した食事の摂取状況の把握、栄養相談(栄養カウンセリング)の実施、栄養相談報告書の記入、チーム医療への参画、栄養ケアのモニタリング、再評価など一連の栄養ケアマネジメントを実践的に学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床栄養学概論、臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ、ライフステージ栄養学臨床栄養管理学実習Ⅰについて復習しておくこと。 臨床栄養学臨床実習の配属病院の栄養管理の特徴について調べておく。</p> <p>[授業計画] 大学内において、「病院の管理栄養士の実務」を予習・復習する。 1. 臨床栄養管理の流れ(食事オーダー・食事の種類) 2. 臨床栄養管理の流れ(栄養アセスメントの実際) 3. 臨床栄養管理の流れ(栄養ケアの実際) 4. チーム医療の実際(糖尿病) 5. チーム医療の実際(NST) 6. チーム医療の実際(緩和・嚥下・化学療法など) 7. 栄養指導の実際(個人指導) 8. 栄養指導の実際(集団指導)</p> <p>3回生は、臨床栄養学実習Ⅰ・Ⅱ(校外)の単位として、総合演習Ⅱ(4回生開講科目)の後期に指示された日に受講する。</p>			

科目名	臨床栄養学実習Ⅲ(校外)	前期～後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	榊原 美津枝		
<p>[成績評価方法] 臨床栄養学臨地実習の評価(70%)、実習課題・報告内容など(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・課題等の内容について指導を行います。 ・実習ノートを後日添削して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>[教科書(ISBN)] 臨地実習・校外実習ハンドブック ～より深い学びのために～ 著者名:藤原政嘉・田中俊治・赤尾 正 出版社:みらい (978-4-86015-330-4)</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学 基礎編・疾患別編 著者名:本田 佳子 出版社:羊土社 (978-4-7581-0882-9、 978-4-7581-0883-6)</p>			

S83010 [HDI3-027]

科目名	臨床栄養活動論	前期	2 単位
サブタイトル	実臨床での活動	講義	
担当者	竹中 優、杉岡 ふみ子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 臨床栄養管理の考え方、基本的手法を修得する。</p> <p>[授業概要] 疾病者の病態や栄養状態を評価・判定し適切な栄養管理を行う為に必要な考え方を学ぶ。各種疾患について栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養ケアプラン作成、モニタリング、評価など管理栄養士の基本的な臨床栄養活動を理解する。代表的な疾患に関して、症例を用いて具体的な栄養治療を学ぶ。「医療と臨床栄養」と「症例検討」はそれぞれ独立して講ずる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床栄養活動論を学ぶにあたって、知識・考え方の基礎となる専門基礎分野科目「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」や専門分野科目である「基礎栄養学」、「応用栄養学」等々を復習しておくこと。臨床栄養学I,IIの内容は本講において使用するの、確実に理解していることが必須である。</p> <p>[授業計画] 1. 医療に必要な職業倫理・診療記録SOAPIについて(杉岡) 2. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(1):心疾患(杉岡) 3. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(2):腎疾患(杉岡) 4. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(3):栄養障害①(杉岡) 5. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(4):栄養障害②(杉岡) 6. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(5):栄養障害③(杉岡) 7. 症例検討:代謝疾患(1)(竹中) 8. 症例検討:代謝疾患(2)(竹中) 9. 症例検討:代謝疾患(3)(竹中) 10. 症例検討:腎臓疾患(1)(竹中) 11. 症例検討:腎臓疾患(2)(竹中) 12. 症例検討:腎臓疾患(3)(竹中) 13. 症例検討:その他(竹中) 14. 試験</p>			

科目名	臨床栄養活動論	前期	2 単位
サブタイトル	実臨床での活動	講義	
担当者	竹中 優、杉岡 ふみ子		
<p>[成績評価方法] 試験</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 講義時に説明を行う(竹中)。 レポート返却時にコメントを返す。講義時に説明を行う。(杉岡)</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 糖尿病治療ガイド 最新版 著者名:日本糖尿病学会 出版社:文光堂 栄養アセスメントに役立つ臨床検査値の読み方考え方ケーススタディ第3版 著者名:奈良 信雄 出版社:医歯薬出版株式会社 (978-4-263-70839-2)</p> <p>[参考書(ISBN)] エッセンシャル臨床栄養学(第9版) 著者名:佐藤 和人他 出版社:医歯薬出版株式会社 (9784263708262) 栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学 基礎編(改訂第3版) 著者名:本田佳子ら 出版社:羊土社 (9784758113694)) 栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学 疾患別編 改訂第3版 著者名:本田佳子ら 出版社:羊土社 (9784758113706)</p>			

科目名	臨床栄養活動論	前期	2 単位
サブタイトル	実臨床での活動	講義	
担当者	竹中 優、杉岡 ふみ子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 臨床栄養管理の考え方、基本的手法を修得する。</p> <p>[授業概要] 疾病者の病態や栄養状態を評価・判定し適切な栄養管理を行う為に必要な考え方を学ぶ。各種疾患について栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養ケアプラン作成、モニタリング、評価など管理栄養士の基本的な臨床栄養活動を理解する。代表的な疾患に関して、症例を用いて具体的な栄養治療を学ぶ。「医療と臨床栄養」と「症例検討」はそれぞれ独立して講ずる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床栄養活動論を学ぶにあたって、知識・考え方の基礎となる専門基礎分野科目「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」や専門分野科目である「基礎栄養学」、「応用栄養学」等々を復習しておくこと。臨床栄養学I,IIの内容は本講において使用するの、確実に理解していることが必須である。</p> <p>[授業計画] 1. 医療に必要な職業倫理・診療記録SOAPIについて(杉岡) 2. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(1):心疾患(杉岡) 3. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(2):腎疾患(杉岡) 4. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(3):栄養障害①(杉岡) 5. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(4):栄養障害②(杉岡) 6. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(5):栄養障害③(杉岡) 7. 症例検討:代謝疾患(1)(竹中) 8. 症例検討:代謝疾患(2)(竹中) 9. 症例検討:代謝疾患(3)(竹中) 10. 症例検討:腎臓疾患(1)(竹中) 11. 症例検討:腎臓疾患(2)(竹中) 12. 症例検討:腎臓疾患(3)(竹中) 13. 症例検討:その他(竹中) 14. 試験</p>			

科目名	臨床栄養活動論	前期	2 単位
サブタイトル	実臨床での活動	講義	
担当者	竹中 優、杉岡 ふみ子		
<p>[成績評価方法] 試験</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 講義時に説明を行う(竹中)。 レポート返却時にコメントを返す。講義時に説明を行う。(杉岡)</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 糖尿病治療ガイド 最新版 著者名:日本糖尿病学会 出版社:文光堂 栄養アセスメントに役立つ臨床検査値の読み方考え方ケーススタディ第3版 著者名:奈良 信雄 出版社:医歯薬出版株式会社 (978-4-263-70839-2)</p> <p>[参考書(ISBN)] エッセンシャル臨床栄養学(第9版) 著者名:佐藤 和人他 出版社:医歯薬出版株式会社 (9784263708262) 栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学 基礎編(改訂第3版) 著者名:本田佳子ら 出版社:羊土社 (9784758113694)) 栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学 疾患別編 改訂第3版 著者名:本田佳子ら 出版社:羊土社 (9784758113706)</p>			

科目名	臨床栄養活動論	前期	2 単位
サブタイトル	実臨床での活動	講義	
担当者	竹中 優、杉岡 ふみ子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 臨床栄養管理の考え方、基本的手法を修得する。</p> <p>[授業概要] 疾病者の病態や栄養状態を評価・判定し適切な栄養管理を行う為に必要な考え方を学ぶ。各種疾患について栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養ケアプラン作成、モニタリング、評価など管理栄養士の基本的な臨床栄養活動を理解する。代表的な疾患に関して、症例を用いて具体的な栄養治療を学ぶ。「医療と臨床栄養」と「症例検討」はそれぞれ独立して講ずる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床栄養活動論を学ぶにあたって、知識・考え方の基礎となる専門基礎分野科目「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」や専門分野科目である「基礎栄養学」、「応用栄養学」等々を復習しておくこと。臨床栄養学I,IIの内容は本講において使用するの、確実に理解していることが必須である。</p> <p>[授業計画] 1. 医療に必要な職業倫理・診療記録SOAPIについて(杉岡) 2. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(1):心疾患(杉岡) 3. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(2):腎疾患(杉岡) 4. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(3):栄養障害①(杉岡) 5. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(4):栄養障害②(杉岡) 6. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(5):栄養障害③(杉岡) 7. 症例検討:代謝疾患(1)(竹中) 8. 症例検討:代謝疾患(2)(竹中) 9. 症例検討:代謝疾患(3)(竹中) 10. 症例検討:腎臓疾患(1)(竹中) 11. 症例検討:腎臓疾患(2)(竹中) 12. 症例検討:腎臓疾患(3)(竹中) 13. 症例検討:その他(竹中) 14. 試験</p>			

科目名	臨床栄養活動論	前期	2 単位
サブタイトル	実臨床での活動	講義	
担当者	竹中 優、杉岡 ふみ子		
<p>[成績評価方法] 試験</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 講義時に説明を行う(竹中)。 レポート返却時にコメントを返す。講義時に説明を行う。(杉岡)</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 糖尿病治療ガイド 最新版 著者名:日本糖尿病学会 出版社:文光堂 栄養アセスメントに役立つ臨床検査値の読み方考え方ケーススタディ第3版 著者名:奈良 信雄 出版社:医歯薬出版株式会社 (978-4-263-70839-2)</p> <p>[参考書(ISBN)] エッセンシャル臨床栄養学(第9版) 著者名:佐藤 和人他 出版社:医歯薬出版株式会社 (9784263708262) 栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学 基礎編(改訂第3版) 著者名:本田佳子ら 出版社:羊土社 (9784758113694)) 栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学 疾患別編 改訂第3版 著者名:本田佳子ら 出版社:羊土社 (9784758113706)</p>			

科目名	臨床栄養活動論	前期	2 単位
サブタイトル	実臨床での活動	講義	
担当者	竹中 優、杉岡 ふみ子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 臨床栄養管理の考え方、基本的手法を修得する。</p> <p>[授業概要] 疾病者の病態や栄養状態を評価・判定し適切な栄養管理を行う為に必要な考え方を学ぶ。各種疾患について栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養ケアプラン作成、モニタリング、評価など管理栄養士の基本的な臨床栄養活動を理解する。代表的な疾患に関して、症例を用いて具体的な栄養治療を学ぶ。「医療と臨床栄養」と「症例検討」はそれぞれ独立して講ずる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床栄養活動論を学ぶにあたって、知識・考え方の基礎となる専門基礎分野科目「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」や専門分野科目である「基礎栄養学」、「応用栄養学」等々を復習しておくこと。臨床栄養学I,IIの内容は本講において使用するの、確実に理解していることが必須である。</p> <p>[授業計画] 1. 医療に必要な職業倫理・診療記録SOAPIについて(杉岡) 2. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(1):心疾患(杉岡) 3. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(2):腎疾患(杉岡) 4. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(3):栄養障害①(杉岡) 5. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(4):栄養障害②(杉岡) 6. 栄養アセスメントとSOAPIによる記録(5):栄養障害③(杉岡) 7. 症例検討:代謝疾患(1)(竹中) 8. 症例検討:代謝疾患(2)(竹中) 9. 症例検討:代謝疾患(3)(竹中) 10. 症例検討:腎臓疾患(1)(竹中) 11. 症例検討:腎臓疾患(2)(竹中) 12. 症例検討:腎臓疾患(3)(竹中) 13. 症例検討:その他(竹中) 14. 試験</p>			

科目名	臨床栄養活動論	前期	2 単位
サブタイトル	実臨床での活動	講義	
担当者	竹中 優、杉岡 ふみ子		
<p>[成績評価方法] 試験</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 講義時に説明を行う(竹中)。 レポート返却時にコメントを返す。講義時に説明を行う。(杉岡)</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 糖尿病治療ガイド 最新版 著者名:日本糖尿病学会 出版社:文光堂 栄養アセスメントに役立つ臨床検査値の読み方考え方ケーススタディ第3版 著者名:奈良 信雄 出版社:医歯薬出版株式会社 (978-4-263-70839-2)</p> <p>[参考書(ISBN)] エッセンシャル臨床栄養学(第9版) 著者名:佐藤 和人他 出版社:医歯薬出版株式会社 (9784263708262) 栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学 基礎編(改訂第3版) 著者名:本田佳子ら 出版社:羊土社 (9784758113694)) 栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学 疾患別編 改訂第3版 著者名:本田佳子ら 出版社:羊土社 (9784758113706)</p>			

科目名	臨床栄養管理学実習 I		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	杉岡 ふみ子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
<p>[到達目標] 臨床の現場において、治療上、栄養・食事療法が重要となる様々な疾患について、チーム医療の一員として、臨床栄養管理が実践できるようになることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 栄養障害または栄養障害と関連の深い疾患を通して、栄養アセスメントの具体的な方法・栄養ケアプランの立て方を学び、それらをもとに疾患に対応する献立作成を目指す。 ※電卓を持参すること。調理実習、増粘剤の実習では、実習着(上着、ズボン、帽子)を持参。また、献立作成時には食品成分表を持参のこと。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床医学概論、臨床栄養学概論、臨床栄養学 I、II、臨床の関連科目について復習し、理解を深めておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、栄養ケアマネジメントの概要、栄養障害スクリーニング 2. 栄養アセスメント(身体計測等)、栄養ケアマネジメントの実施、栄養管理計画書 3. 周術期の栄養管理と献立作成 4. 周術期の栄養管理の実際(調理実習) 5. 経腸栄養法による栄養管理/消化器疾患の栄養ケアマネジメント 6. 高齢期、褥瘡の栄養ケアマネジメント / 静脈栄養による栄養管理 7. 摂食・嚥下障害食講義 固形化剤について(実習) 8. 摂食・嚥下障害食 献立作成 9. 摂食・嚥下障害食(調理実習) 10. がん・血液造血系疾患の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 11. アレルギー疾患の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 12. 呼吸器疾患、感染症、重傷患者の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 13. 発表・まとめ 14. 試験 				

科目名	臨床栄養管理学実習 I	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	杉岡 ふみ子		
<p>[成績評価方法] 試験(70%)、実習等レポート課題(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート返却時にコメントを返す。講義時に説明を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート等課題、試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:レポート等課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:レポート等課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験、実習等課題レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習等課題レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] 栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学 疾患別編改訂第3版 著者名:本田佳子 他 出版社:羊土社 (978-4-7581-1370-0)</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養科学イラストレイテッド臨床栄養学 基礎編改訂第3版 著者名:本田佳子 他 出版社:羊土社 (978-4-7581-1369-4)) エッセンシャル臨床栄養学(第9版) 著者名:佐藤和人 他 出版社:医歯薬出版 (978-4-263-70826-2) 食品成分表八訂</p>			

科目名	臨床栄養管理学実習 I		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	杉岡 ふみ子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
<p>[到達目標] 臨床の現場において、治療上、栄養・食事療法が重要となる様々な疾患について、チーム医療の一員として、臨床栄養管理が実践できるようになることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 栄養障害または栄養障害と関連の深い疾患を通して、栄養アセスメントの具体的な方法・栄養ケアプランの立て方を学び、それらをもとに疾患に対応する献立作成を目指す。 ※電卓を持参すること。調理実習、増粘剤の実習では、実習着(上着、ズボン、帽子)を持参。また、献立作成時には食品成分表を持参のこと。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床医学概論、臨床栄養学概論、臨床栄養学 I、II、臨床の関連科目について復習し、理解を深めておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、栄養ケアマネジメントの概要、栄養障害スクリーニング 2. 栄養アセスメント(身体計測等)、栄養ケアマネジメントの実施、栄養管理計画書 3. 周術期の栄養管理と献立作成 4. 周術期の栄養管理の実際(調理実習) 5. 経腸栄養法による栄養管理/消化器疾患の栄養ケアマネジメント 6. 高齢期、褥瘡の栄養ケアマネジメント / 静脈栄養による栄養管理 7. 摂食・嚥下障害食講義 固形化剤について(実習) 8. 摂食・嚥下障害食 献立作成 9. 摂食・嚥下障害食(調理実習) 10. がん・血液造血系疾患の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 11. アレルギー疾患の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 12. 呼吸器疾患、感染症、重傷患者の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 13. 発表・まとめ 14. 試験 				

科目名	臨床栄養管理学実習 I	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	杉岡 ふみ子		
<p>[成績評価方法] 試験(70%)、実習等レポート課題(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート返却時にコメントを返す。講義時に説明を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート等課題、試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:レポート等課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:レポート等課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験、実習等課題レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習等課題レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] 栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学 疾患別編改訂第3版 著者名:本田佳子 他 出版社:羊土社 (978-4-7581-1370-0)</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養科学イラストレイテッド臨床栄養学 基礎編改訂第3版 著者名:本田佳子 他 出版社:羊土社 (978-4-7581-1369-4)) エッセンシャル臨床栄養学(第9版) 著者名:佐藤和人 他 出版社:医歯薬出版 (978-4-263-70826-2) 食品成分表八訂</p>			

科目名	臨床栄養管理学実習 I		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	杉岡 ふみ子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
<p>[到達目標] 臨床の現場において、治療上、栄養・食事療法が重要となる様々な疾患について、チーム医療の一員として、臨床栄養管理が実践できるようになることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 栄養障害または栄養障害と関連の深い疾患を通して、栄養アセスメントの具体的な方法・栄養ケアプランの立て方を学び、それらをもとに疾患に対応する献立作成を目指す。 ※電卓を持参すること。調理実習、増粘剤の実習では、実習着(上着、ズボン、帽子)を持参。また、献立作成時には食品成分表を持参のこと。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床医学概論、臨床栄養学概論、臨床栄養学 I、II、臨床の関連科目について復習し、理解を深めておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、栄養ケアマネジメントの概要、栄養障害スクリーニング 2. 栄養アセスメント(身体計測等)、栄養ケアマネジメントの実施、栄養管理計画書 3. 周術期の栄養管理と献立作成 4. 周術期の栄養管理の実際(調理実習) 5. 経腸栄養法による栄養管理/消化器疾患の栄養ケアマネジメント 6. 高齢期、褥瘡の栄養ケアマネジメント / 静脈栄養による栄養管理 7. 摂食・嚥下障害食講義 固形化剤について(実習) 8. 摂食・嚥下障害食 献立作成 9. 摂食・嚥下障害食(調理実習) 10. がん・血液造血系疾患の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 11. アレルギー疾患の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 12. 呼吸器疾患、感染症、重傷患者の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 13. 発表・まとめ 14. 試験 				

科目名	臨床栄養管理学実習 I	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	杉岡 ふみ子		
<p>[成績評価方法] 試験(70%)、実習等レポート課題(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート返却時にコメントを返す。講義時に説明を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート等課題、試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:レポート等課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:レポート等課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験、実習等課題レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習等課題レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] 栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学 疾患別編改訂第3版 著者名:本田佳子 他 出版社:羊土社 (978-4-7581-1370-0)</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養科学イラストレイテッド臨床栄養学 基礎編改訂第3版 著者名:本田佳子 他 出版社:羊土社 (978-4-7581-1369-4)) エッセンシャル臨床栄養学(第9版) 著者名:佐藤和人 他 出版社:医歯薬出版 (978-4-263-70826-2) 食品成分表八訂</p>			

科目名	臨床栄養管理学実習 I		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	杉岡 ふみ子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
<p>[到達目標] 臨床の現場において、治療上、栄養・食事療法が重要となる様々な疾患について、チーム医療の一員として、臨床栄養管理が実践できるようになることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 栄養障害または栄養障害と関連の深い疾患を通して、栄養アセスメントの具体的な方法・栄養ケアプランの立て方を学び、それらをもとに疾患に対応する献立作成を目指す。 ※電卓を持参すること。調理実習、増粘剤の実習では、実習着(上着、ズボン、帽子)を持参。また、献立作成時には食品成分表を持参のこと。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床医学概論、臨床栄養学概論、臨床栄養学 I、II、臨床の関連科目について復習し、理解を深めておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、栄養ケアマネジメントの概要、栄養障害スクリーニング 2. 栄養アセスメント(身体計測等)、栄養ケアマネジメントの実施、栄養管理計画書 3. 周術期の栄養管理と献立作成 4. 周術期の栄養管理の実際(調理実習) 5. 経腸栄養法による栄養管理/消化器疾患の栄養ケアマネジメント 6. 高齢期、褥瘡の栄養ケアマネジメント / 静脈栄養による栄養管理 7. 摂食・嚥下障害食講義 固形化剤について(実習) 8. 摂食・嚥下障害食 献立作成 9. 摂食・嚥下障害食(調理実習) 10. がん・血液造血系疾患の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 11. アレルギー疾患の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 12. 呼吸器疾患、感染症、重傷患者の栄養アセスメントと栄養ケアプラン 13. 発表・まとめ 14. 試験 				

科目名	臨床栄養管理学実習 I	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	杉岡 ふみ子		
<p>[成績評価方法] 試験(70%)、実習等レポート課題(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート返却時にコメントを返す。講義時に説明を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:レポート等課題、試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:レポート等課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:レポート等課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験、実習等課題レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習等課題レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] 栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学 疾患別編改訂第3版 著者名:本田佳子 他 出版社:羊土社 (978-4-7581-1370-0)</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養科学イラストレイテッド臨床栄養学 基礎編改訂第3版 著者名:本田佳子 他 出版社:羊土社 (978-4-7581-1369-4)) エッセンシャル臨床栄養学(第9版) 著者名:佐藤和人 他 出版社:医歯薬出版 (978-4-263-70826-2) 食品成分表八訂</p>			

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅱ		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	榊原 美津枝			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
<p>[到達目標] チーム医療の一員として実施する、栄養ケアマネジメントのスキルの修得を目指す。</p> <p>[授業概要] 栄養・食事療法が重要となる疾患について、その病態や栄養状態の特徴を理解し、栄養ケアマネジメント技術を修得するための授業である。 代謝・内分泌、動脈硬化、腎、肝・胆・膵疾患の症例を想定し、 1.必要栄養量・栄養補給方法・食事形態などの栄養ケアプランを立てる。 2.栄養ケアプランに沿った栄養教育(栄養・食事指導)を学習する。 3.「栄養管理システム」を用い、栄養ケアプランに沿った治療食献立を作成する。 4.作成した献立について、病院における患者や調理師を想定し、調理指導を学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各種疾患の病態を理解し、栄養ケアプラン(必要栄養量・栄養補給方法・食事形態)の作成、栄養教育個別・集団の栄養・食事指導の実施、献立作成・調理実習などを行うための手順を理解しておく。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション・栄養食事療法と献立の展開について 2. 糖尿病の食事療法について(栄養教育の実施) 3. 動脈硬化性疾患の食事療法について(栄養教育の実施) 4. 慢性腎臓病(KKD)の食事療法について(栄養教育の実施) 5. 肝・胆・膵疾患の食事療法(栄養教育の実施) 6. 糖尿病・メタボリックシンドロームの栄養管理・献立作成 7. 動脈硬化性疾患の栄養管理・献立作成 8. エネルギーコントロール食の調理実習 9. 動脈硬化性疾患食の調理実習 10. 慢性腎不全の栄養管理・献立作成 11. 肝不全・慢性膵炎の栄養管理・献立作成 12. たんぱく質塩分コントロール食 調理実習 13. 肝不全食・慢性膵炎食の調理実習 14. 試験</p>				

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	榊原 美津枝		
<p>[成績評価方法] 試験(60%)、発表・レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・レポート課題は、後日添削して返却します。 ・確認テストは、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:試験発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] 食物と栄養学基礎シリーズ10 臨床栄養学 著者名:吉田 勉 出版社:榊学文社 (978-4-7620-3309-4) 糖尿病食事療法のための食品交換表 著者名:日本糖尿病協会 出版社:文光堂 (978-4-8306-6046-7) 食物と栄養学基礎シリーズ9 栄養教育論 著者名:吉田 勉 出版社:学文社 (978-4-7620-2723-9)</p> <p>[参考書(ISBN)] 実践 臨床栄養学実習 ー栄養食事療法と献立の展開ー 著者名:長浜 幸子 出版社:第一出版 (978-4-8041-1337-1) 栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学 基礎編 著者名:本田 佳子 出版社:羊土社 (978-4-7581-0882-9)</p>			

S81360 [HDB3-010]

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	榊原 美津枝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] チーム医療の一員として実施する、栄養ケアマネジメントのスキルの修得を目指す。</p> <p>[授業概要] 栄養・食事療法が重要となる疾患について、その病態や栄養状態の特徴を理解し、栄養ケアマネジメント技術を修得するための授業である。 代謝・内分泌、動脈硬化、腎、肝・胆・膵疾患の症例を想定し、 1.必要栄養量・栄養補給方法・食事形態などの栄養ケアプランを立てる。 2.栄養ケアプランに沿った栄養教育(栄養・食事指導)を学習する。 3.「栄養管理システム」を用い、栄養ケアプランに沿った治療食献立を作成する。 4.作成した献立について、病院における患者や調理師を想定し、調理指導を学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各種疾患の病態を理解し、栄養ケアプラン(必要栄養量・栄養補給方法・食事形態)の作成、栄養教育個別・集団の栄養・食事指導の実施、献立作成・調理実習などを行うための手順を理解しておく。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション・栄養食事療法と献立の展開について 2. 糖尿病の食事療法について(栄養教育の実施) 3. 動脈硬化性疾患の食事療法について(栄養教育の実施) 4. 慢性腎臓病(KKD)の食事療法について(栄養教育の実施) 5. 肝・胆・膵疾患の食事療法(栄養教育の実施) 6. 糖尿病・メタボリックシンドロームの栄養管理・献立作成 7. 動脈硬化性疾患の栄養管理・献立作成 8. エネルギーコントロール食の調理実習 9. 動脈硬化性疾患食の調理実習 10. 慢性腎不全の栄養管理・献立作成 11. 肝不全・慢性膵炎の栄養管理・献立作成 12. たんぱく質塩分コントロール食 調理実習 13. 肝不全食・慢性膵炎食の調理実習 14. 試験</p>			

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	榊原 美津枝		
<p>[成績評価方法] 試験(60%)、発表・レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・レポート課題は、後日添削して返却します。 ・確認テストは、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:試験発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] 食物と栄養学基礎シリーズ10 臨床栄養学 著者名:吉田 勉 出版社:榊学文社 (978-4-7620-3309-4) 糖尿病食事療法のための食品交換表 著者名:日本糖尿病協会 出版社:文光堂 (978-4-8306-6046-7) 食物と栄養学基礎シリーズ9 栄養教育論 著者名:吉田 勉 出版社:学文社 (978-4-7620-2723-9)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 実践 臨床栄養学実習 一栄養食事療法と献立の展開一 著者名:長浜 幸子 出版社:第一出版 (978-4-8041-1337-1) 栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学 基礎編 著者名:本田 佳子 出版社:羊土社 (978-4-7581-0882-9)</p>			

S81361 [HDB3-010]

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅱ		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	榊原 美津枝			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
<p>[到達目標] チーム医療の一員として実施する、栄養ケアマネジメントのスキルの修得を目指す。</p> <p>[授業概要] 栄養・食事療法が重要となる疾患について、その病態や栄養状態の特徴を理解し、栄養ケアマネジメント技術を修得するための授業である。 代謝・内分泌、動脈硬化、腎、肝・胆・膵疾患の症例を想定し、 1.必要栄養量・栄養補給方法・食事形態などの栄養ケアプランを立てる。 2.栄養ケアプランに沿った栄養教育(栄養・食事指導)を学習する。 3.「栄養管理システム」を用い、栄養ケアプランに沿った治療食献立を作成する。 4.作成した献立について、病院における患者や調理師を想定し、調理指導を学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各種疾患の病態を理解し、栄養ケアプラン(必要栄養量・栄養補給方法・食事形態)の作成、栄養教育個別・集団の栄養・食事指導の実施、献立作成・調理実習などを行うための手順を理解しておく。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション・栄養食事療法と献立の展開について 2. 糖尿病の食事療法について(栄養教育の実施) 3. 動脈硬化性疾患の食事療法について(栄養教育の実施) 4. 慢性腎臓病(KKD)の食事療法について(栄養教育の実施) 5. 肝・胆・膵疾患の食事療法(栄養教育の実施) 6. 糖尿病・メタボリックシンドロームの栄養管理・献立作成 7. 動脈硬化性疾患の栄養管理・献立作成 8. エネルギーコントロール食の調理実習 9. 動脈硬化性疾患食の調理実習 10. 慢性腎不全の栄養管理・献立作成 11. 肝不全・慢性膵炎の栄養管理・献立作成 12. たんぱく質塩分コントロール食 調理実習 13. 肝不全食・慢性膵炎食の調理実習 14. 試験</p>				

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	榊原 美津枝		
<p>[成績評価方法] 試験(60%)、発表・レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・レポート課題は、後日添削して返却します。 ・確認テストは、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:試験発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] 食物と栄養学基礎シリーズ10 臨床栄養学 著者名:吉田 勉 出版社:榊学文社 (978-4-7620-3309-4) 糖尿病食事療法のための食品交換表 著者名:日本糖尿病協会 出版社:文光堂 (978-4-8306-6046-7) 食物と栄養学基礎シリーズ9 栄養教育論 著者名:吉田 勉 出版社:学文社 (978-4-7620-2723-9)</p> <p>[参考書(ISBN)] 実践 臨床栄養学実習 一栄養食事療法と献立の展開一 著者名:長浜 幸子 出版社:第一出版 (978-4-8041-1337-1) 栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学 基礎編 著者名:本田 佳子 出版社:羊土社 (978-4-7581-0882-9)</p>			

S81362 [HDB3-010]

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅱ		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	榊原 美津枝			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
<p>[到達目標] チーム医療の一員として実施する、栄養ケアマネジメントのスキルの修得を目指す。</p> <p>[授業概要] 栄養・食事療法が重要となる疾患について、その病態や栄養状態の特徴を理解し、栄養ケアマネジメント技術を修得するための授業である。 代謝・内分泌、動脈硬化、腎、肝・胆・膵疾患の症例を想定し、 1.必要栄養量・栄養補給方法・食事形態などの栄養ケアプランを立てる。 2.栄養ケアプランに沿った栄養教育(栄養・食事指導)を学習する。 3.「栄養管理システム」を用い、栄養ケアプランに沿った治療食献立を作成する。 4.作成した献立について、病院における患者や調理師を想定し、調理指導を学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各種疾患の病態を理解し、栄養ケアプラン(必要栄養量・栄養補給方法・食事形態)の作成、栄養教育個別・集団の栄養・食事指導の実施、献立作成・調理実習などを行うための手順を理解しておく。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション・栄養食事療法と献立の展開について 2. 糖尿病の食事療法について(栄養教育の実施) 3. 動脈硬化性疾患の食事療法について(栄養教育の実施) 4. 慢性腎臓病(KKD)の食事療法について(栄養教育の実施) 5. 肝・胆・膵疾患の食事療法(栄養教育の実施) 6. 糖尿病・メタボリックシンドロームの栄養管理・献立作成 7. 動脈硬化性疾患の栄養管理・献立作成 8. エネルギーコントロール食の調理実習 9. 動脈硬化性疾患食の調理実習 10. 慢性腎不全の栄養管理・献立作成 11. 肝不全・慢性膵炎の栄養管理・献立作成 12. たんぱく質塩分コントロール食 調理実習 13. 肝不全食・慢性膵炎食の調理実習 14. 試験</p>				

科目名	臨床栄養管理学実習Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	榊原 美津枝		
<p>[成績評価方法] 試験(60%)、発表・レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・レポート課題は、後日添削して返却します。 ・確認テストは、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:試験、発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:試験発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:発表・レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] 食物と栄養学基礎シリーズ10 臨床栄養学 著者名:吉田 勉 出版社:榊学文社 (978-4-7620-3309-4) 糖尿病食事療法のための食品交換表 著者名:日本糖尿病協会 出版社:文光堂 (978-4-8306-6046-7) 食物と栄養学基礎シリーズ9 栄養教育論 著者名:吉田 勉 出版社:学文社 (978-4-7620-2723-9)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 実践 臨床栄養学実習 一栄養食事療法と献立の展開一 著者名:長浜 幸子 出版社:第一出版 (978-4-8041-1337-1) 栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学 基礎編 著者名:本田 佳子 出版社:羊土社 (978-4-7581-0882-9)</p>			

S81363 [HDB3-010]

科目名	臨地実習特別演習 I	前期～後期	1 単位
サブタイトル	実習への準備と振り返り	演習	
担当者	竹市 仁美、狩野 百合子、才新 直子、田村 奈緒子、後藤 昌弘、小倉 嘉夫、置村 康彦、清水 扶美、木村 万里子、安田 敬子、柳原 美津枝、宮本 有香、安藤 清一、杉岡 ふみ子、西井 穂、橋本 多美子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 事前指導では、実習先で行うべき課題の設定ができ、それに応じた学習ができるようにする。 事後指導では、実習で行った内容についての反省を行い、問題解決ができるようにする。</p> <p>[授業概要] 公衆栄養学・給食経営管理論の各臨地実習の教育内容の充実をはかるため、施設担当者により実施される科目である。各施設担当の教員が配属された学生に対して実習内容の事前・事後指導を行う。事前指導では、施設担当者が実習先担当者と密接に連絡をとりながら、課題作成の指導を行い、課題に基づく学習を徹底し実習に臨んでもらう。また、事後指導では実習終了後に実習内容についての反省と課題において発見された問題の解決をはかるよう指導する。実習施設担当教員が実習先と緊密な連携をとって実習内容の適正化、充実化を図るため、少人数の演習とする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨地実習の目標を明確にし、課題について事前学習すること。 特に実習先の特徴を把握すること。 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 1. 公衆栄養学臨地実習を受けるにあたって《公衆栄養学》 2. 施設からの連絡事項と事前学習《公衆栄養学》 3. 実習目標の設定と取り組み、抱負《公衆栄養学》 4. 保健所・保健センターの業務《公衆栄養学》 5. 経営管理実習を受けるにあたって《給食経営管理論》 7. 実習施設先の衛生・施設設備管理についての事前学習《給食経営管理論》 8. 対象者ごとの栄養管理についての事前学習《給食経営管理論》 9. 各特定給食施設の位置付けと特徴についての事前学習《給食経営管理論》 10. 臨地実習の評価・反省 11. 臨地実習(各施設別)を終えての報告・体験内容のまとめ 12. 施設別臨地実習についての反省と課題 13. 実習記録の確認とまとめ (授業は、各臨地実習日程に準じた集中講義とする。)</p>			

科目名	臨地実習特別演習 I	前期～後期	1 単位
サブタイトル	実習への準備と振り返り	演習	
担当者	竹市 仁美、狩野 百合子、才新 直子、田村 奈緒子、後藤 昌弘、小倉 嘉夫、置村 康彦、清水 扶美、木村 万里子、安田 敬子、榎原 美津枝、宮本 有香、安藤 清一、杉岡 ふみ子、西井 穂、橋本 多美子		
<p>[成績評価方法] 事前課題(60%)、実習報告等(40%) 事前課題確認時及び実習報告内容について指導助言します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題提出時にフィードバックします。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-1/社会・環境と健康についての知識と理解を基盤とした健康に関する知識を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-1/健康、栄養、及び食に関する問題点を発見し、解決に必要な情報を科学的根拠(エビデンス)に基づき収集・整理・分析する能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-2/健康、栄養、及び食に関して収集・整理・分析した内容を、他者に適切に伝達するプレゼンテーション能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-1/管理栄養士としての職務に対する責任感を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-2/管理栄養士として他者と協調して行動でき、自らの考えを伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-4/健康・栄養問題とそれらを取り巻く自然や社会、経済、文化的要因に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 臨地実習・校外実習ハンドブック ～より深い学びのために～ 著者名:藤原政喜ほか 出版社:みらい (9784860000000) 管理栄養士・栄養士必携 2024年度版 一データ・資料集一 著者名:日本栄養士会 編 出版社:第一出版 (978480841-1460-6)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	臨地実習特別演習Ⅱ	前期～後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	榑原 美津枝、狩野 百合子、才新 直子、竹中 優、田村 奈緒子、後藤 昌弘、小倉 嘉夫、置村 康彦、清水 扶美、木村 万里子、安田 敬子、竹市 仁美、宮本 有香、安藤 清一、杉岡 ふみ子、西井 穂、橋本 多美子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 病院の管理栄養士の業務を理解し、栄養ケアマネジメントについて実践的に修得する。</p> <p>[授業概要] 臨床栄養学臨地実習において、病院管理栄養士業務の知識・技術・態度を修得する。 具体的には、カルテ閲覧・面接から患者情報を収集し、患者の栄養スクリーニング、栄養アセスメント、必要栄養量・患者のニーズに基づく栄養ケアの作成、および献立作成・発注業務・食数業務・調理業務、提供した食事の摂取状況の把握、栄養相談(栄養カウンセリング)の実施、栄養相談報告書の記入、チーム医療への参画、栄養ケアのモニタリング、再評価など一連の栄養ケアマネジメントを実践的に学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 臨床栄養学概論、臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ、ライフステージ栄養学臨床栄養管理学実習Ⅰについて復習しておくこと。 臨床栄養学臨地実習の配属病院の栄養管理の特徴について調べておく。</p> <p>[授業計画] 大学内において、「病院の管理栄養士の実務」を予習・復習する。 1. 臨床栄養管理の流れ(食事オーダー・食事の種類) 2. 臨床栄養管理の流れ(栄養アセスメントの実際) 3. 臨床栄養管理の流れ(栄養ケアの実際) 4. チーム医療の実際(糖尿病) 5. チーム医療の実際(NST) 6. チーム医療の実際(緩和・嚥下・化学療法など) 7. 栄養指導の実際(個人指導) 8. 栄養指導の実際(集団指導)</p> <p>3回生は、臨床栄養学実習Ⅰ・Ⅱ(校外)の単位として、総合演習Ⅱ(4回生開講科目)の後期に指示された日に受講する。</p>			

科目名	臨地実習特別演習Ⅱ	前期～後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	榊原 美津枝、狩野 百合子、才新 直子、竹中 優、田村 奈緒子、後藤 昌弘、小倉 嘉夫、置村 康彦、清水 扶美、木村 万里子、安田 敬子、竹市 仁美、宮本 有香、安藤 清一、杉岡 ふみ子、西井 穂、橋本 多美子		
<p>[成績評価方法] 臨床栄養学臨地実習の評価(70%)、実習課題・報告内容など(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・課題等の内容について指導を行います。 ・実習ノートを後日添削して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-2/人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-4/臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄1-5/対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄2-3/健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>学科DP番号/DP内容:管栄3-3/管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実習課題・報告内容</p> <p>[教科書(ISBN)] 臨地実習・校外実習ハンドブック ～より深い学びのために～ 著者名:藤原政嘉・田中俊治・赤尾 正 出版社:みらい (978-4-86015-330-4)</p> <p>[参考書(ISBN)] 栄養科学イラストレイテッド 臨床栄養学 基礎編・疾患別編 著者名:本田 佳子 出版社:羊土社 (978-4-7581-0882-9、978-4-7581-0883-6)</p>			

S82160 [HDI3-016]